

目次

イラスト目次	2 ページ
詳細目次	12 ページ

1	運転する前に	21 ページ
----------	---------------	--------

運転する前に必要な操作と取り扱い

運転する
前に

2	運転するときに	107 ページ
----------	----------------	---------

運転するときに必要な操作と取り扱い

運転する
ときに

3	快適装備の使いかた	277 ページ
----------	------------------	---------

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

快適装備の
使いかた

4	お手入れのしかた	337 ページ
----------	-----------------	---------

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

お手入れの
しかた

5	トラブルが起きたら	389 ページ
----------	------------------	---------

車が故障したとき、事故にあったときの処置

トラブルが
起きたら

車両スペック	458 ページ
--------	---------

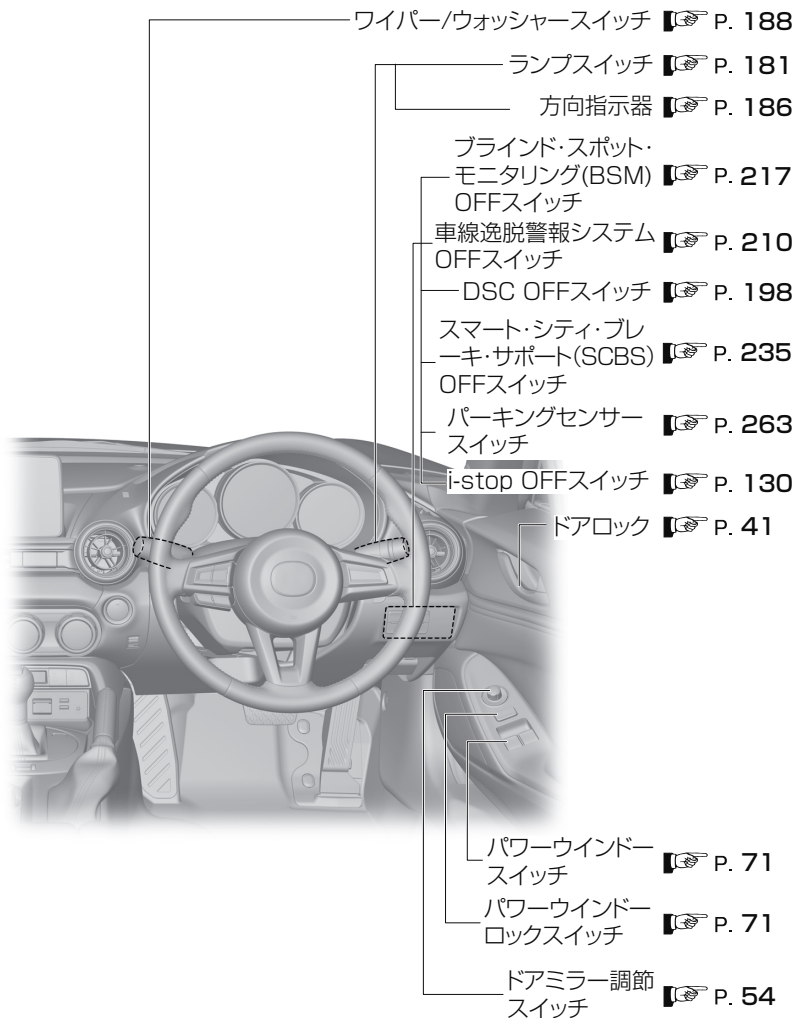
車両
スペック

さくいん	469 ページ
------	---------

さく
いん

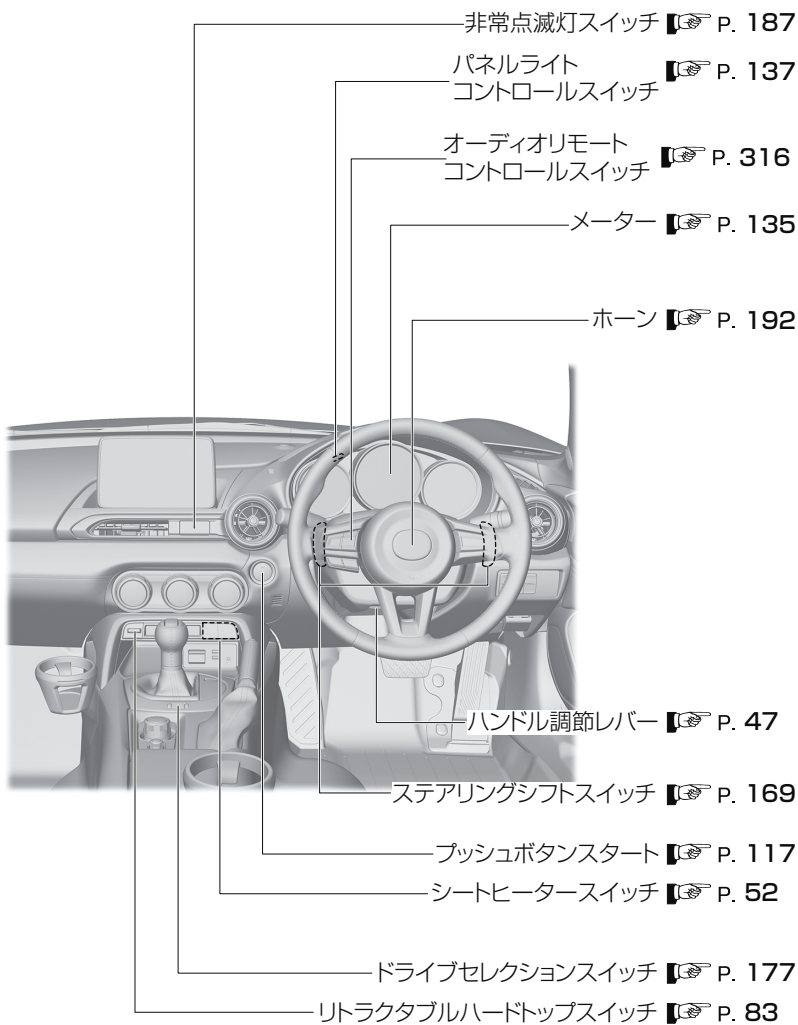
イラスト目次

ハンドルまわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

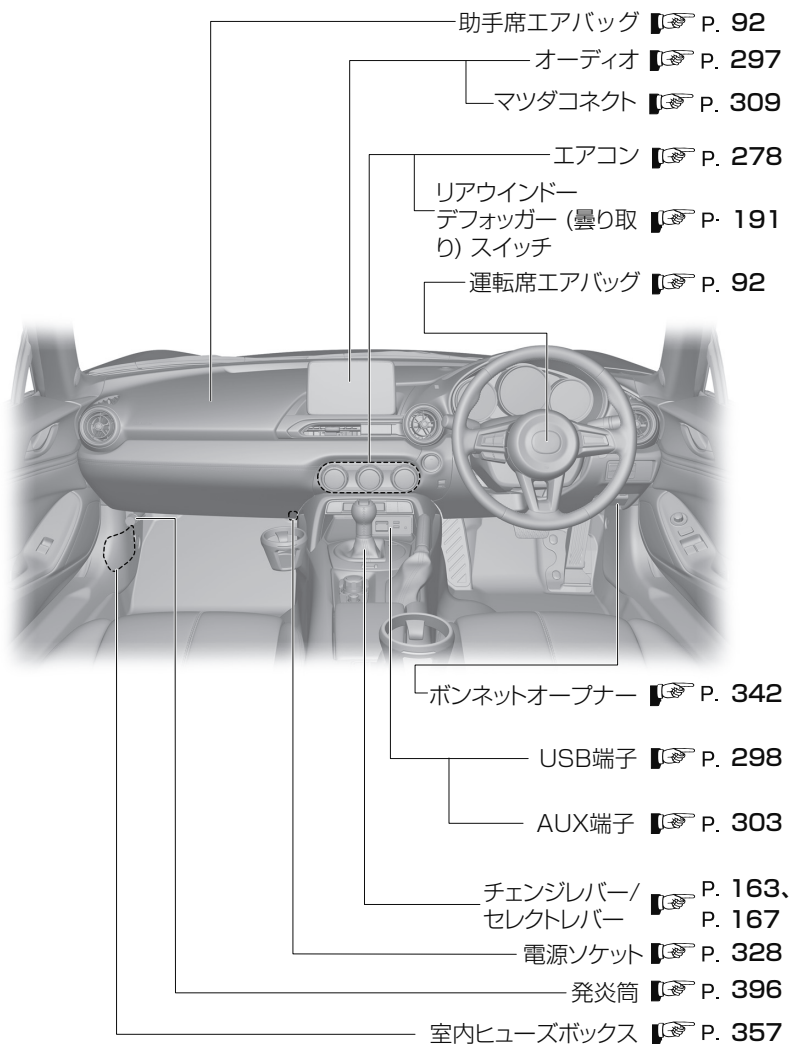
運転席まわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

イラスト目次

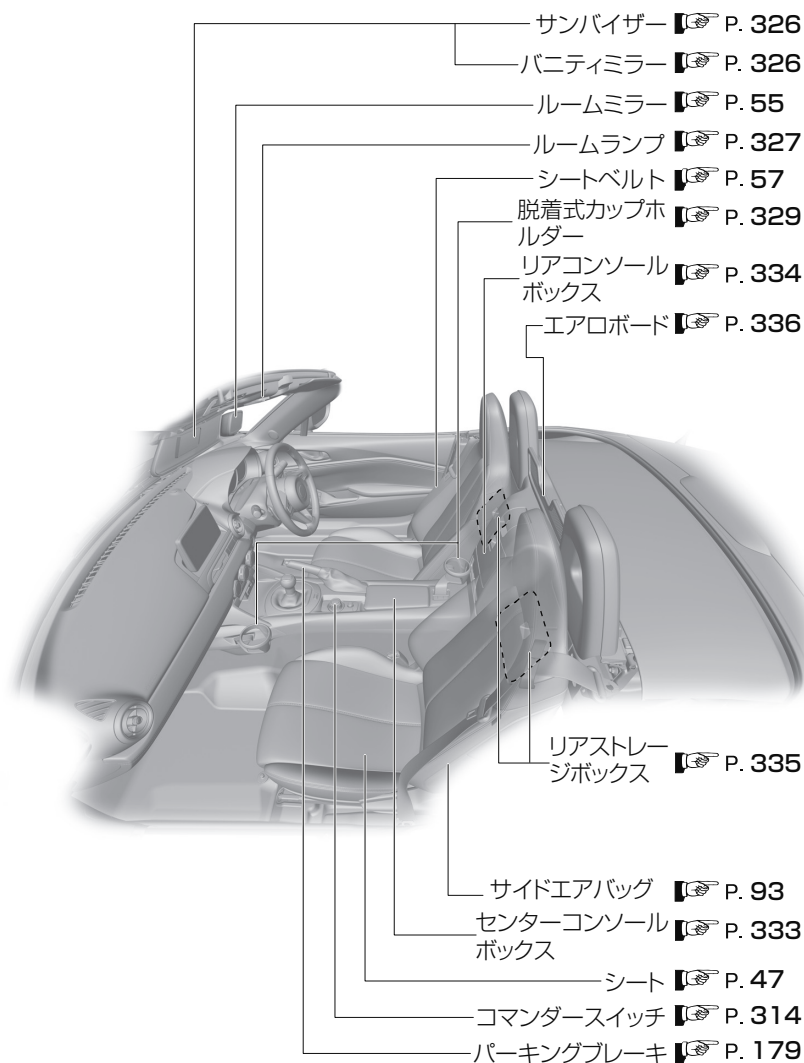
インストルメントパネルまわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

室内

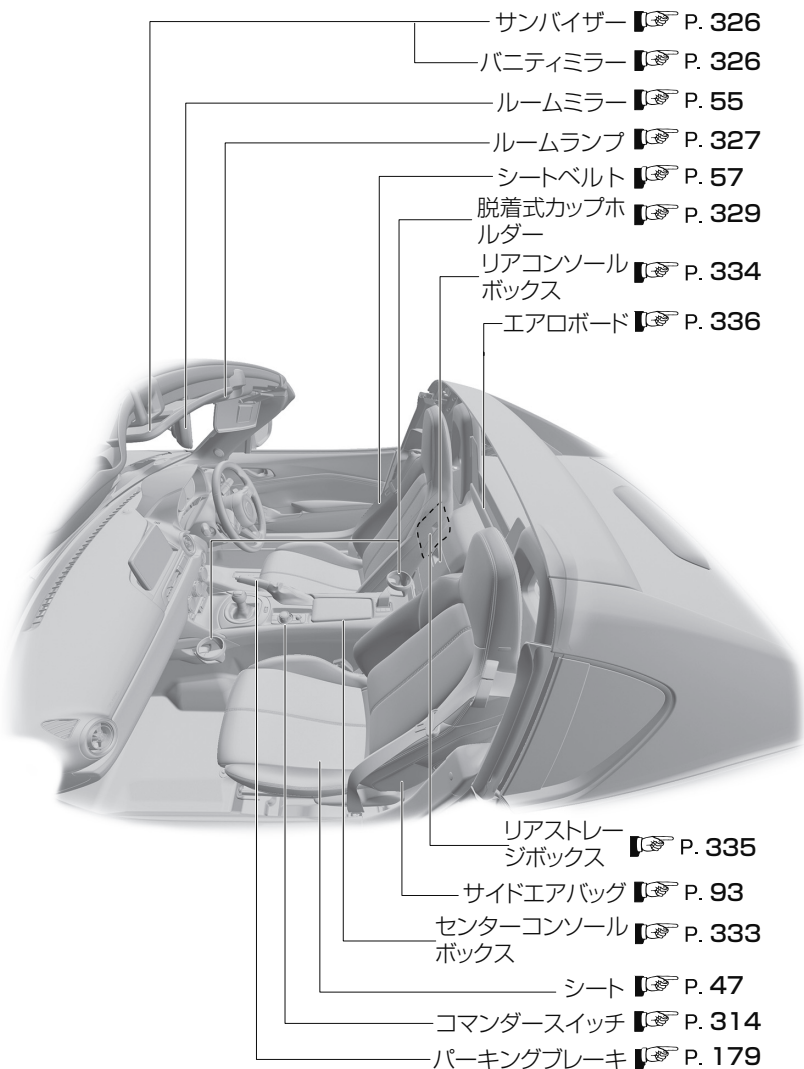
ソフトトップ



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

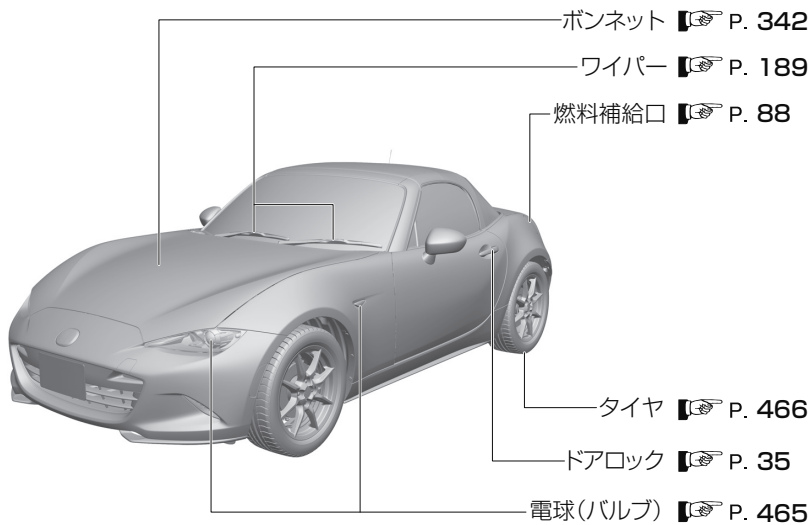
イラスト目次

ハードトップ



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

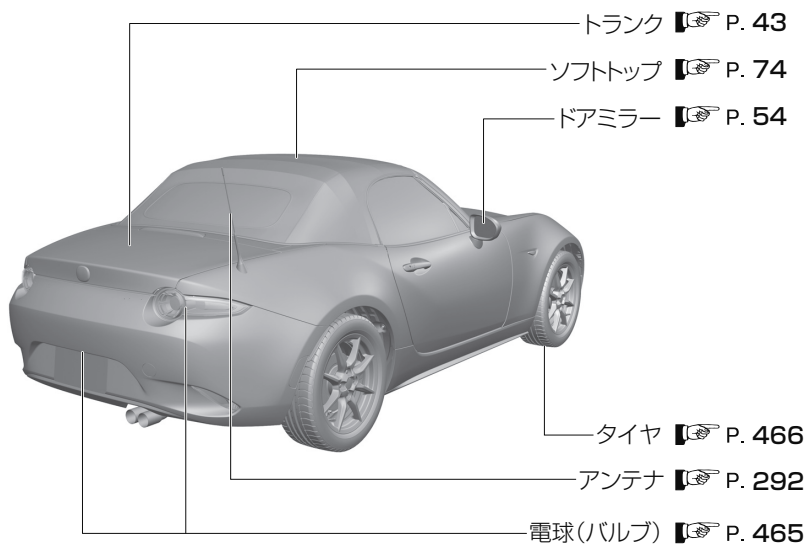
フロント外観(ソフトトップ)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

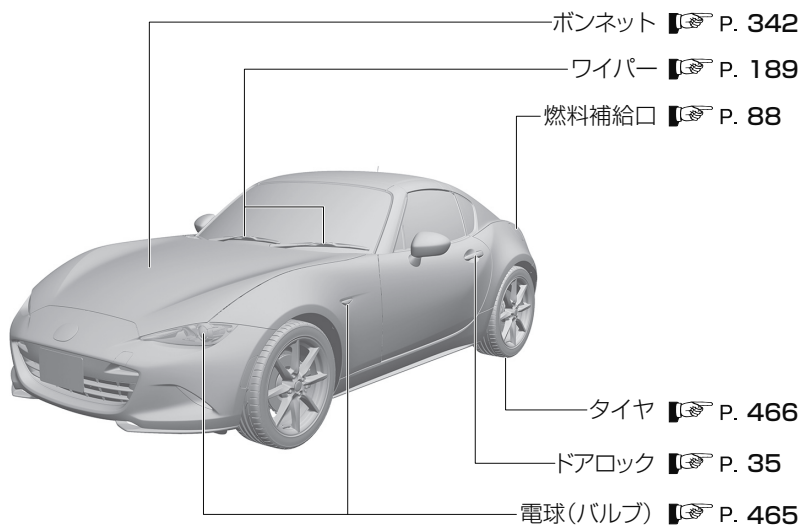
イラスト目次

リア外観(ソフトトップ)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

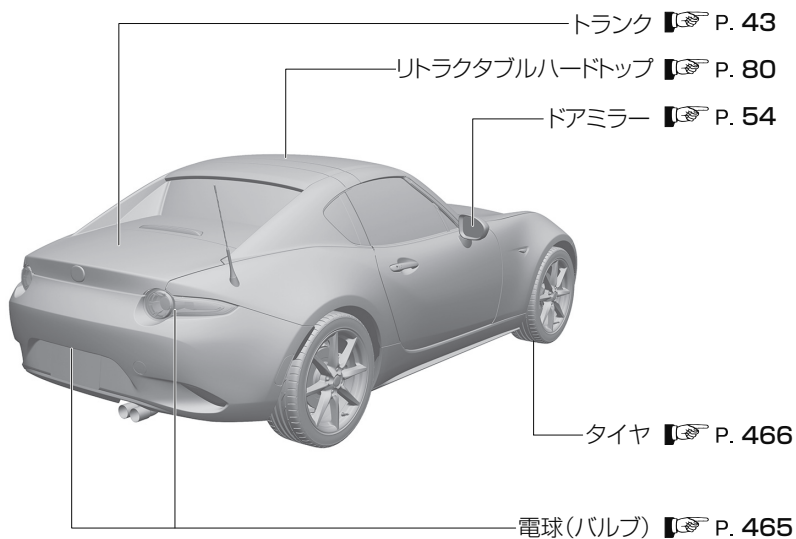
フロント外観(ハードトップ)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

イラスト目次

リア外観(ハードトップ)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

MEMO

詳細目次

1 運転する前に

安全なドライブのために	24
お出かけ前に.....	24
お子さまを乗せるとき.....	26
安全装備について.....	26
キー	27
キーについて.....	27
ドア	35
ドアの開閉.....	35
トランク	43
トランクの開閉.....	43
シート	46
シート使用上の注意.....	46
シート.....	47
シートヒーター.....	52
ドアミラー	54
ドアミラーの操作.....	54
ルームミラー	55
ルームミラーの操作.....	55
シートベルト	57
シートベルトについて.....	57
シートベルトの正しい着用のしかた.....	59
シートベルトを使用するとき.....	61
お子さまの安全	64
お子さま専用シートについて.....	64
チャイルドシートを固定するとき.....	70

ウインドー	71
窓ガラスの開閉.....	71
ソフトトップ	74
ソフトトップの開閉.....	74
リトラクタブルハードトップ	80
リトラクタブルハードトップの開閉.....	80
燃料補給口	86
給油するとき.....	86
盗難防止システム	90
イモビライザーシステム.....	90
SRS エアバッグシステム	92
SRS エアバッグシステムについて.....	92
エアバッグの種類.....	92
エアバッグの注意点.....	93
アクティブボンネット	102
アクティブボンネットについて.....	102
安全に運転をしていただくために	105
積雪、寒冷時の取り扱い.....	105

2 運転するときに

安全なドライブのために	110
運転するとき.....	110
運転装置について.....	112
こんなことにも注意.....	112
駐停車するとき.....	115
お子さまを乗せるとき.....	116

エンジンの始動と停止	117
電源ポジション (エンジンスイッチ).....	117
エンジンの始動.....	118
エンジンの停止.....	123
i-stop について.....	125
i-ELOOP について	133
i-ELOOP とは.....	133
メーター、警告灯、表示灯の見方	135
メーター.....	135
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A).....	138
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B).....	145
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM).....	150
警告灯、表示灯.....	154
マニュアルトランスミッションの使いかた	163
マニュアルトランスミッション.....	163
オートマチックトランスミッションの使いかた	166
オートマチック車の特性.....	166
各位置の働き.....	167
シフトロック装置.....	168
セレクトレバーの操作.....	168
マニュアルモード.....	169
ダイレクトモード.....	173
オートマチック車を運転するときに.....	173
ドライブセレクションについて	177
ドライブセレクションとは (オートマチック車).....	177
ブレーキ	179
ブレーキの操作.....	179
サスペンション	180
車高調整式サスペンション.....	180

スイッチの使いかた	181
ランプスイッチ.....	181
方向指示器.....	186
非常点滅灯スイッチ.....	187
ワイパー/ウォッシャースイッチ.....	188
リアウインドーデフォグガー (曇り取り) スイッチ.....	191
ホーン.....	192
ABS について	193
ABS とは.....	193
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) について	194
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) とは.....	194
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について	195
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは.....	195
トラクションコントロールシステム (TCS) について	196
TCS とは.....	196
ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について	197
DSC とは.....	197
i-ACTIVSENSE について	200
i-ACTIVSENSE とは.....	200
ハイビームコントロールシステム (HBC) とは.....	202
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) とは.....	205
車線逸脱警報システムとは.....	207
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) とは.....	213
交通標識認識システム (TSR) とは.....	218
ドライバーアテンションアラート (DAA) とは.....	226
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) とは.....	228
アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) とは.....	232

AT 誤発進抑制制御 [前進時] とは.....	237
スマートシティブレーキサポート [後退時] (SCBS R) とは.....	241
AT 誤発進抑制制御 [後退時] とは.....	246
フォワードセンシングカメラ (FSC) について.....	250
レーダーセンサー (リア) について.....	254
超音波センサー (フロント) について.....	256
超音波センサー (リヤ) について.....	256

クルーズコントロールについて	257
クルーズコントロールとは.....	257

駐車支援システムについて	263
駐車支援システムとは.....	263

様々な状況での運転のときは	272
悪天候での運転.....	272

環境保護のために	274
経済的な運転.....	274

3 快適装備の使いかた

空調	278
エアコンの上手な使いかた.....	278
吹き出し口.....	279
マニュアルエアコン.....	281
フルオートエアコン.....	284

オーディオ	288
オーディオをご使用の前に.....	288
アンテナ.....	292
オーディオの操作方法.....	293
オーディオソースの使いかた.....	297

マツダコネクト	309
マツダコネクトとは?.....	309
マツダコネクトの基本操作.....	312

室内装備	326
サンバイザー.....	326
室内照明.....	326
電源ソケット.....	328
脱着式カップホルダー.....	329
収納.....	333
エアロボード.....	336

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために	338
必ずまもる.....	338
お車に触れるときはけがに注意する.....	339

点検、整備	340
点検整備について.....	340
定期点検.....	341
日常点検の前に.....	342
日常点検.....	344
その他の手入れ.....	351

ヒューズ切れ、電球切れのとき	352
ヒューズの受け持つ装置.....	352
ランプ類、電気装置が作動しないとき.....	357

電池交換	370
電池を交換するときは.....	370

車の手入れ	373
外装の手入れ.....	373
内装の手入れ.....	382

季節の準備	385
冬にそなえて.....	385
夏にそなえて.....	387

環境保護のために	388
----------	-----

廃棄物を処理するときは.....	388
------------------	-----

5 トラブルが起きたら

故障したとき	392
--------	-----

路上で動けなくなったとき.....	392
-------------------	-----

スタックしたとき.....	394
---------------	-----

踏切内で動けなくなったとき.....	395
--------------------	-----

緊急用具の取り扱い	396
-----------	-----

発炎筒.....	396
----------	-----

工具の格納場所.....	397
--------------	-----

パンクしたとき	399
---------	-----

タイヤパンク応急修理キット.....	399
--------------------	-----

バッテリーがあがったとき	408
--------------	-----

バッテリーあがりについて.....	408
-------------------	-----

オーバーヒートしたとき	411
-------------	-----

オーバーヒートについて.....	411
------------------	-----

フューエルリッドが開かなくなったとき	413
--------------------	-----

フューエルリッドが開かなくなったときは.....	413
--------------------------	-----

キーが作動しないとき	414
------------	-----

キー一時停止機能.....	414
---------------	-----

けん引について	415
---------	-----

けん引してもらうとき.....	415
-----------------	-----

故障車をけん引するとき.....	416
------------------	-----

万一事故が起きたとき	418
------------	-----

警告灯/表示灯	419
---------	-----

警告灯が点灯、点滅したときは.....	419
---------------------	-----

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にメッセージが表示されたときは.....	429
センターディスプレイにメッセージが表示されたときは.....	431

警報チャイム	433
---------------	------------

チャイムがなったときは.....	433
------------------	-----

トランク	438
-------------	------------

トランクが開けられなくなったとき.....	438
-----------------------	-----

ルーフが閉まらなくなったとき	445
-----------------------	------------

ルーフが閉まらなくなったときは.....	445
----------------------	-----

MEMO

1 運転する前に

安全なドライブのために	24
お出かけ前に.....	24
お子さまを乗せるとき.....	26
安全装備について.....	26
キー	27
キーについて.....	27
ドア	35
ドアの開閉.....	35
トランク	43
トランクの開閉.....	43
シート	46
シート使用上の注意.....	46
シート.....	47
シートヒーター.....	52
ドアミラー	54
ドアミラーの操作.....	54
ルームミラー	55
ルームミラーの操作.....	55
シートベルト	57
シートベルトについて.....	57
シートベルトの正しい着用のしかた.....	59
シートベルトを使用するとき.....	61
お子さまの安全	64
お子さま専用シートについて.....	64
チャイルドシートを固定するとき.....	70
ウインドー	71
窓ガラスの開閉.....	71

1 運転する前に

ソフトトップ	74
ソフトトップの開閉.....	74
リトラクタブルハードトップ	80
リトラクタブルハードトップの開閉.....	80
燃料補給口	86
給油するとき.....	86
盗難防止システム	90
イモビライザーシステム.....	90
SRS エアバッグシステム	92
SRS エアバッグシステムについて.....	92
エアバッグの種類.....	92
エアバッグの注意点.....	93
アクティブボンネット	102
アクティブボンネットについて.....	102
安全に運転をしていただくために	105
積雪、寒冷時の取り扱い.....	105

MEMO

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に 安全なドライブのために

お出かけ前に

日常点検は必ず実施する

340 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

350 ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

347 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

86 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

燃料補給時の注意

86 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

荷物を積むときは固定する

荷物を積むときは、助手席にそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定してください。走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

可燃物、危険物は積まない

燃料の入った容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあります。

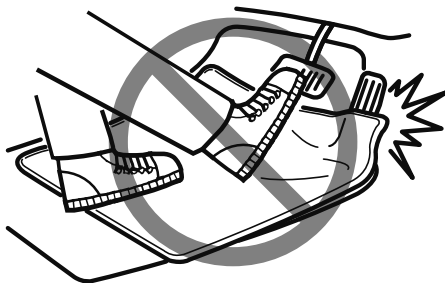
運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマットは車に合ったものを使用する



フロアマットは純正品を使用することをおすすめします。
フロアマットは車に合ったものを使用し、大きすぎるフロアマットを使用しないでください。

フロアマットを車に敷くときは次の点を守ってください。

- フロアマットは重ねて使用しない。
- フロアカーペットの上のフックでしっかり固定して使用する。

守られていないと、フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

キーは運転者が携帯する

32 ページの「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」、35 ページの「ドアの開閉」をよくお読みください。

正しい運転姿勢に調節する

47 ページの「運転席の操作」をよくお読みください。

シートベルトは全員着用する

59 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

外気取り入れ口をふさがない

278 ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1.運転する前に 安全なドライブのために

お子さまを乗せるとき

お子さまにもシートベルトを着用させる

59 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、93 ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

チャイルドシートは正しく取り付ける

64 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

ドア、窓ガラス、ソフトトップ、リトラクタブルハードトップの開閉やシートなどの調節は大人が操作する

35 ページの「ドアの開閉」、74 ページの「ソフトトップの開閉」、80 ページの「リトラクタブルハードトップの開閉」をよくお読みください。

窓から手や顔を出させない

71 ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

安全装備について

SRS エアバッグシステムの注意

92 ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

アクティブボンネットの注意

102 ページの「アクティブボンネット」をよくお読みください。

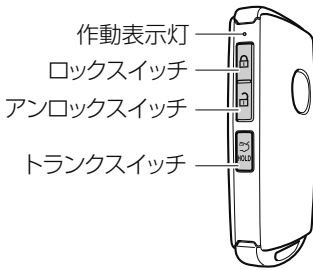
キーについて

キー

知識

キーは必ず運転者が携帯してください。

キー



キーを携帯することにより、キーを取り出すことなく次の操作ができます。

- エンジンを始動/停止する。

(アドバンストキーレス機能装備車)

- ドア、トランク、フューエルリッドを施錠/解錠する。
- トランクを開ける。

またリモートコントロールの操作にも使用します。
キーは 2 本あります。

節電機能

キーの節電機能を ON にすることで、アドバンストキーレスエントリー*1&プッシュボタンスタートシステムの機能が OFF となり、キーの電池消費を抑えることができます。節電機能が ON の状態でも、キーのスイッチ操作によるリモートコントロール機能は有効です。ただし、キーの作動表示灯は点灯/点滅しません。

節電機能を ON にするとき

次の操作によって節電機能を ON にしたとき、非常点滅灯とチャイム*1 がそれぞれ 1 回作動します。

1. キーのロックスイッチを 3 秒以内に 4 回押して、作動表示灯を点灯させます。
2. 作動表示灯が点灯している間 (5 秒間) に、ロックスイッチを 1.5 秒以上押し続けます。
3. キーのいずれかのスイッチを押して、作動表示灯が点灯/点滅しないことを確認します。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に

キー

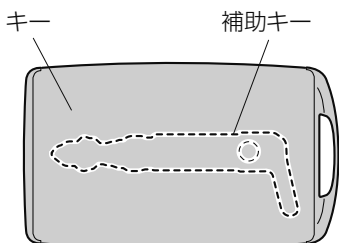
節電機能を OFF にするとき

次の操作によって節電機能を OFF にしたとき、非常点滅灯とチャイム*1 がそれぞれ 1 回作動します。

1. キーのいずれかのスイッチを押して、作動表示灯が点灯/点滅しないことを確認します。
2. キーのロックスイッチを 3 秒以内に 4 回押して、作動表示灯を点灯させます。
3. 作動表示灯が点灯している間 (5 秒間) に、ロックスイッチを 1.5 秒以上押し続けます。

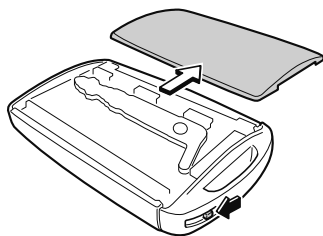
*1 アドバンストキーレス機能装備車

補助キー

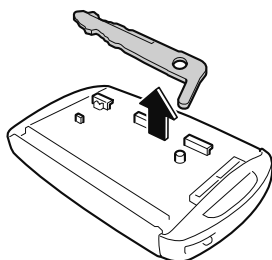


取りはずし可能な補助キーが、キー内部にあります。ドア、トランク、フューエルリッド、リアコンソールボックスの施錠/解錠に使用します。

補助キーの取りはずしかた

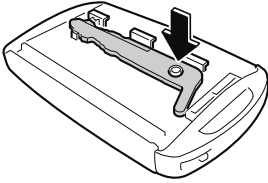


1. ノブを矢印方向に押しながら、下側カバーを取りはずします。

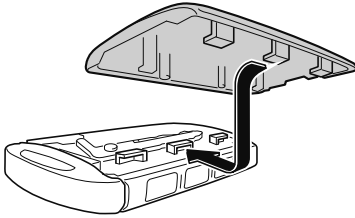


2. 補助キーを取りはずします。

補助キーの取り付けかた



1. 図のように補助キーを取り付けます。



2. キーのスロットに下側カバーのツメを差し込むように、下側カバーを取り付けます。

キーナンバープレート



キーナンバープレート

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーをもとに、マツダ販売店で補助キーを作ることができます。

- 車両以外の安全な場所に大切に保管してください。
- お客様以外の方にキーナンバーを知られないようにしてください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に

キー

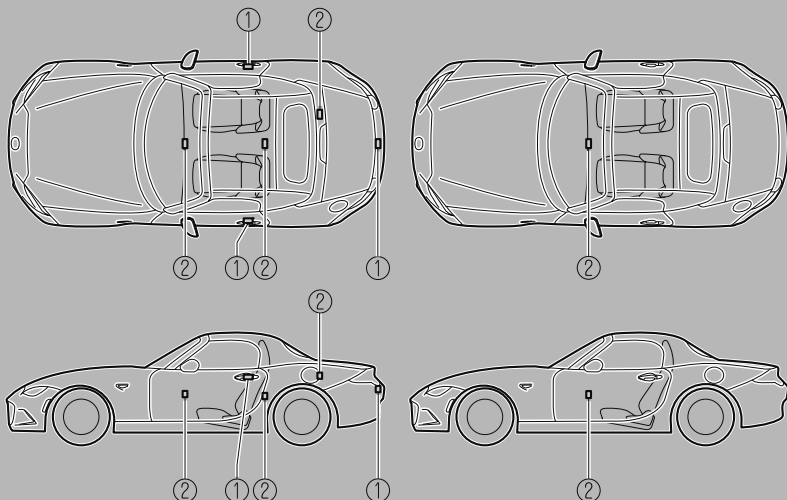
キーの注意点

警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内・車外のアンテナから約 22 cm 以内に医療用機器を近づけない。電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

(アドバンストキーレス機能装備車) (アドバンストキーレス機能非装備車)



①車外のアンテナ ②車内のアンテナ



必ず守る

次にある以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型除細動器

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。



必ず守る

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

キーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはキーが正常に作動しないことがあります。

- 携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
- 金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
- パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
- 近くに電波を発する設備があるとき



禁止

キーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。



必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 重い物を上に置かないでください。
- 直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。
- 磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。



禁止

航空機内ではキーを操作しないでください。

キーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、キーのスイッチが容易に押されないように注意してください。

📖 知識

● 電池の寿命について

電池の寿命は、約1年です。メーターにKEY表示灯(緑)が点滅したまたはマルチインフォメーションディスプレイ(タイプA)にKEY警告表示が表示した場合は、新しい電池と交換してください。

電池の消耗度合いによってはメーターにKEY表示灯(緑)が点滅しないまたはマルチインフォメーションディスプレイ(タイプA)にKEY警告表示が表示しない場合もありますので、1年を目安に電池の交換をおすすめします。



運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に

キー

知識

- **キーの紛失について**
キーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、マツダ販売店にご相談ください。
- **キーを追加するときは**
別売りのキーを購入される場合、お手持ちのキーとあわせて、同じ車両で6個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。

アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使つての操作

アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、ドア、トランクの施錠/解錠、エンジンの始動/停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、トランクの施錠/解錠ができます。

→37ページ「キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能装備車)」

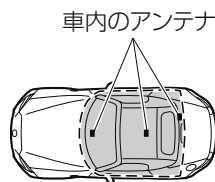
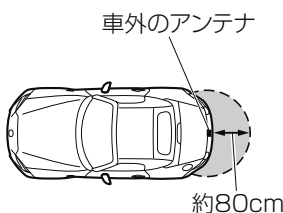
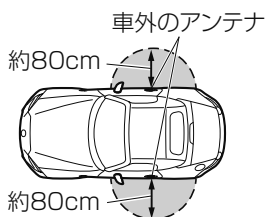
機能の作動範囲

キーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

ドア、トランクの施錠/解錠

トランクの解錠

エンジンの始動



● 作動範囲

知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
 - 電池が消耗しているとき
電池交換の目安は 31 ページをお読みください。
 - 強い電波、ノイズのある場所
 - 窓ガラスやドアハンドル、トランクに近づきすぎた場合
- 次のような場所にキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
 - インストルメントパネルの周辺
 - 小物入れなど
- 次のような場所にキーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては、キーが車内にあってもドアが施錠される場合があります。
 - インストルメントパネルの周辺
 - 小物入れなど
 - 携帯電話などの通信機器の近く
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
時

お
手
入
れ
の
時

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使ったの操作

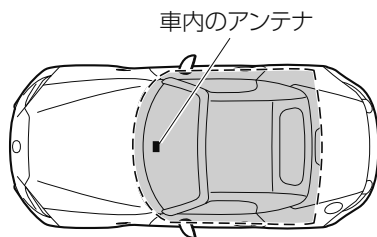
キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、エンジンの始動/停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、トランクの施錠/解錠ができます。


→40 ページ「キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能非装備車)」

機能の作動範囲

キーを携帯し、作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

エンジンの始動



 作動範囲

知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
 - 電池が消耗しているとき
電池交換の目安は 31 ページをお読みください。
 - 強い電波、ノイズのある場所
- 次のような場所にキーを置くとエンジンの始動ができない場合があります。
 - インstrumentパネルの周辺
 - 小物入れなど
- 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

ドアの開閉

警告



必ず守る

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。
半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

お子さまにドアの開閉をさせない。
手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

半ドア警告灯/警告表示が点灯/表示したまま走行しない。
走行中に、ドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

ドアを開閉するときは、強風や傾斜地など周囲の状況を確認して開閉してください。指をはさんだり、ドアが通行人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

バッテリーあがりなどで自動で窓ガラスが上下作動しなくなったときは、窓ガラスを室内側へ押しながらゆっくり開閉してください。窓ガラスとソフトトップ/リトラクタブルハードトップが干渉してドアが開閉できなくなったり、窓ガラスが破損するおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に ドア

知識

- **車から離れるときは**

必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

- 次のような場所にキーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては、キーが車内にあってもドアが施錠される場合があります。
 - インストルメントパネルの周辺
 - 小物入れなど
 - 携帯電話などの通信機器の近く
- ドアを開けると自動で窓ガラスが少し下がり、ドアを閉めると自動で窓ガラスが上がります。これは密閉性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断られたときは、自動で窓ガラスが上下作動しなくなります。上下作動しなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
→73 ページ「自動開閉機構」

キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能装備車)

知識

施錠/解錠するときに鳴るチャイムを鳴らないように設定を変更することができます。また、音量を変更することができます。マツダコネクト取扱書を参照してください。変更する場合は次の手順で行なってください。

1. 電源ポジションを OFF にして、すべてのドア、トランクを閉めます。
2. 運転席ドアを開けます。
3. 運転席ドアを開けてから、30 秒以内にキーのロックスイッチを 5 秒以上長押しします。すべてのドア、トランク、フューエルリッドが解錠され、現在設定されている音量でチャイムが鳴ります。(現在の設定がチャイムを鳴らないように設定している場合は鳴りません。)キーのロックスイッチを押すごとに設定が切り替わり、設定される音量でチャイムが鳴ります。(チャイムを鳴らないように設定した場合は鳴りません。)
4. 次のいずれかを行なって設定の変更を終了します。
 - 電源ポジションを ACC か ON にする。
 - 運転席ドアを閉める。
 - トランクを開ける。
 - 10 秒間キーの操作をしない。
 - キーのロックスイッチ以外のスイッチを押す。
 - リクエストスイッチを押す。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に ドア

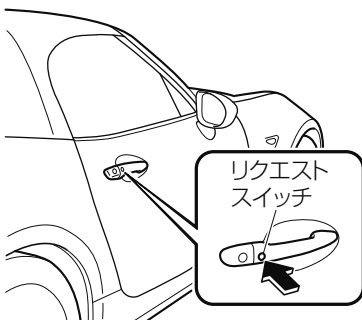
リクエストスイッチ

キーを携帯し、ドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、トランク、フューエルリッドが施錠/解錠します。

📖 知識

施錠について

いずれかのドアが開いていると施錠できません。



施錠するとき

リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。

解錠するとき

リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

📖 知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、トランク、フューエルリッドが確実に施錠されたことを確認してください。
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。
マツダコネクト取扱書を参照してください。

オートロック機能

キーを携帯してすべてのドアを閉めると、チャイムが 1 回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約 3 秒後に自動的にすべてのドア、トランク、フューエルリッドを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約 30 秒後に自動的に施錠します。) ただし、次のようなときは施錠されません。

- 車内に別のキーがあるとき。
- ドア、トランクが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
施錠されるまでの時間を変更することができます。
マツダコネクト取扱書を参照してください。
 - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
 - 電源ポジションを OFF 以外にする。

知識

- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

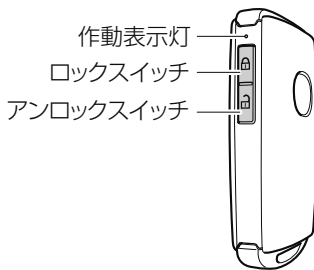
リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。

スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
 - 電源ポジションが OFF 以外有的时候
 - いずれかのドアが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



施錠するとき

ロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。

解錠するとき

アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。施錠されるまでの時間を変更することができます。マツダコネクト取扱書を参照してください。
 - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
 - 電源ポジションを OFF 以外にする。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に ドア

キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能非装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
 - 電源ポジションが OFF 以外するとき
 - いずれかのドアが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



施錠するとき

ロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 1 回作動します。

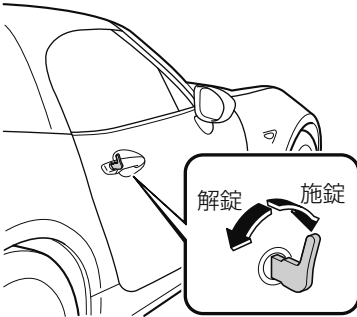
解錠するとき

アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 2 回作動します。

知識

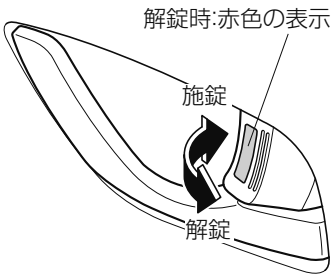
- **作動のお知らせについて**
 - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
 - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
施錠されるまでの時間を変更することができます。
マツダコネクト取扱書を参照してください。
 - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
 - 電源ポジションを OFF 以外にする。

補助キーによる施錠/解錠



運転席ドアに、補助キーを差し込み、まわすとすべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。

ロックノブによる施錠/解錠



解錠時:赤色の表示

運転席ドアのロックノブを操作すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。

助手席ドアのロックノブを操作すると、助手席ドアの施錠/解錠ができます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

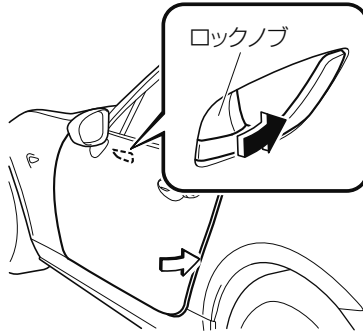
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ドア

車外から操作するとき

助手席ドアは車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、ロックノブを施錠側にすると解錠側にはね返るためこの方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

トランクの開閉

⚠ 警告



禁止

トランクルーム内に人を乗せない。
トランクルームに閉じ込められると中から開けられません。また、急ブレーキ時
や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

トランクリッドは必ず閉めてから走行する。
開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれ
あり危険です。

⚠ 注意



必ず守る

トランクリッドを開ける前に、トランクリッドの雪や氷などの付着物を取り除い
てください。トランクリッドを開けたときに、雪や氷などの重みでトランクリッ
ドが閉まり、けがをするおそれがあります。



必ず守る

強風時にトランクリッドを開閉するときは、注意して開閉してください。トラン
クリッドが風にあおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。



必ず守る

トランクリッドを開けるときは全開にして、トランクリッドが止まることを確認
してください。トランクリッドを途中で止めると、振動や突風などでトランクリ
ッドが閉まり、けがをするおそれがあります。



必ず守る

トランクルームの荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気
熱によりやけどをするおそれがあります。

運
転
す
る
前
に

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

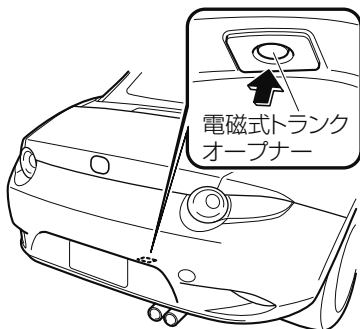
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に トランク

トランクを開けるとき

電磁式トランクオープナーの操作による開けかた



ドアを解錠し、電磁式トランクオープナーを押しトランクを持ち上げます。

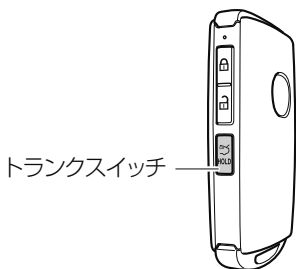
アドバンストキーレス機能装備車はキーを携帯して電磁式トランクオープナーを押すと、施錠されている状態でもトランクを開けることができます。

知識

(アドバンストキーレス機能装備車)

- ドア、トランクが施錠されている状態から、電磁式トランクオープナーを押してトランクを開けるときは、すぐに解錠されないことがあります。
- ドアが施錠されている状態から、車内にキーを入れたままトランクを閉めると、トランクは閉まりますが、施錠されません。電磁式トランクオープナーを押すことにより、トランクを開けることができます。ただし、この操作をしてもトランクを開けることができないときは、トランクを押さえつけるようにして完全に閉めてから電磁式トランクオープナーを押して開けてください。

リモートコントロール機能による開けかた



トランクスイッチを約 1 秒押すと開きます。

知識

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、トランクの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置を行なうと、トランクを開けることができます。
→438 ページ「トランクが開けられなくなったとき」

トランクを閉めるとき

トランクリッドをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。
トランクリッドを閉めたあとは、電磁式トランクオープナーを押さずにトランクリッドを動かし、確実に閉まっていることを確認してください。

警告



必ず守る

トランクリッドを閉めたあとは、トランクリッドをゆさぶって確実に閉まっていることを確認する。
走行中にトランクリッドが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

トランクリッドを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。
万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

シート使用上の注意

警告



必ず守る

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。

走行中に行なうと、必要以上にシートが動いて姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

シートが損傷した場合は必ずマツダ販売店で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシート内部のエアバッグシステムの部品が本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。衝突後やシートクッションが破れたり、ウレタンまで達するほどの損傷の場合は、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。



禁止

背もたれは倒しすぎない。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

操作後は確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くとき姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。



必ず守る

シートを前後に動かすときや、後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。



必ず守る

車室内を清掃したり、シートの下に落としたりしたものを拾ったりするためにシートの下に手を入れるときは、けがをしないように注意してください。シートレールやシートフレーム、シート下周辺の可動部、および周辺部品にあたり、けがをするおそれがあります。



必ず守る

シートの周りには物を置かないでください。物がある状態でシートを操作するとシートに無理な力がかかり損傷するおそれがあります。

⚠ 注意



急な坂道でのシート操作はしないでください。シートが不意に動き、けがを
おそれがあります。

禁止

シート

運転席の操作

マツダが推奨するドライビングポジションにすることで、リラックスした姿勢を保ち、ドライバーが長時間の運転でも疲れにくく、自然に素早い操作をすることができます。また、前方の視野を確保し、安全で楽しく運転することができます。マツダが推奨するドライビングポジションにするには、次の手順で調節します。

1. ハンドルとシートを初期位置へ移動する。
2. シートの背もたれの角度を調節する。
3. シートの前後位置を調節する。
4. ハンドルの位置を調節する。

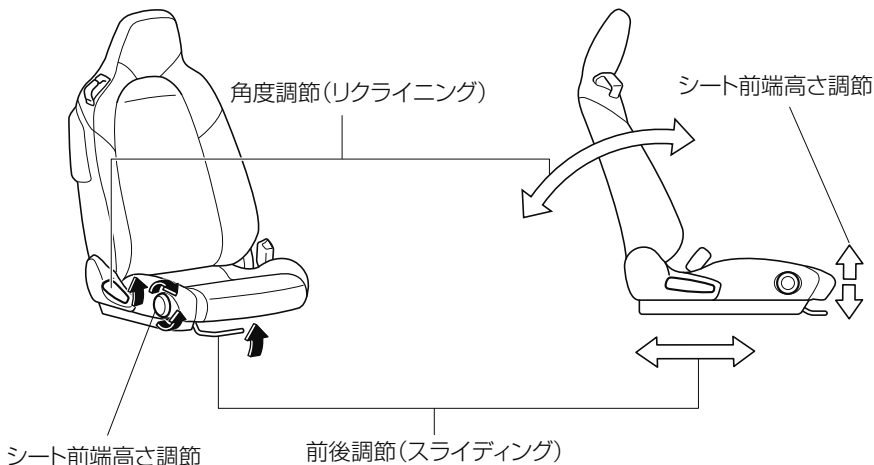
⚠ 警告



背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

禁止

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シート

マツダが推奨するドライビングポジションに調節する前に

調節する前にハンドル、シートを初期位置へ移動させます。

ハンドルの初期位置への移動のしかた

⚠ 警告



必ず守る

調節は必ず車両を停止した状態で行なう。

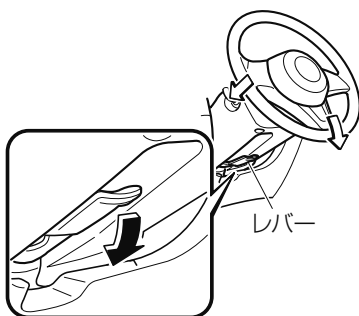
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。

走行中ハンドルが不意に動くとき運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



レバーを下げ、ハンドルの高さを一番下の位置にし、奥まで押し下げます。

シートの初期位置への移動のしかた

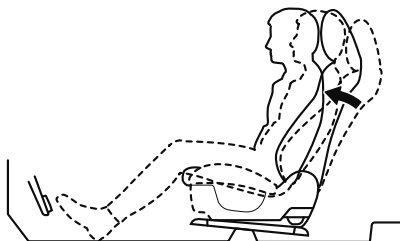
1. シートを一番後ろに下げます。
2. シートに深く腰かけて、背もたれと背中を密着させます。

マツダが推奨するドライビングポジションへの調節手順

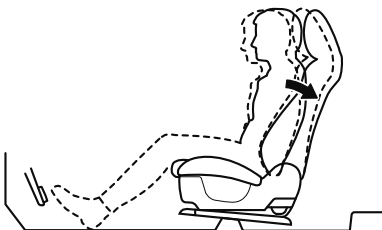
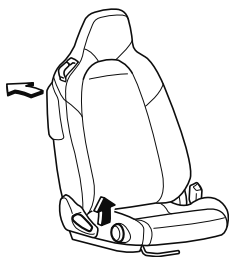
シートの背もたれの角度を調節する (リクライニング)

楽な姿勢で座れる角度にシートの背もたれを調節します。

1. 少し前かがみの姿勢で、お腹まわりが窮屈と感じる角度まで背もたれを起こします。



2. お腹まわりに窮屈な感じがなく、楽に座れる姿勢まで背もたれを倒します。



運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の
しかた

トラ
ブル
が
起き
たら

車両
スペック

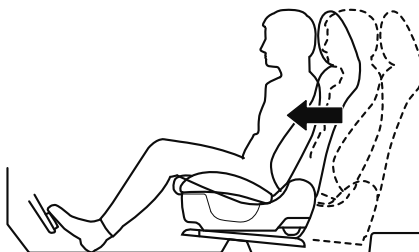
さく
いん

1. 運転する前に シート

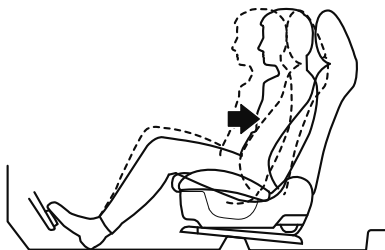
シートの前後位置を調節する (スライディング)

ペダルが操作しやすい位置に調節します。

1. 左足はフットレストに置き、右足はアクセルペダルとブレーキペダルの中間、ペダルを踏みかえられる位置にかかとを置きます。
2. かかとを床につけた状態でブレーキペダルに右足を乗せ、足首が少し窮屈に感じるまでシートをできるだけ前へ動かします。

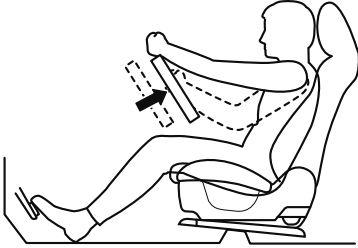


3. ブレーキペダルに右足を乗せたまま、足首が窮屈と感じなくなるまでシートを後ろへ動かします。
4. かかとを床につけたまま、ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み替えがスムーズにできることを確認します。
5. かかとを床につけたままアクセルペダルを一番奥まで踏み、足首が伸び切った感じを受けないことを確認します。

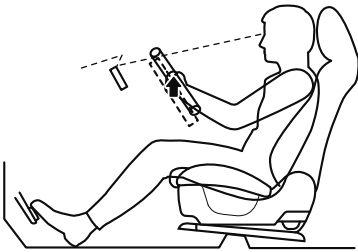


ハンドルの位置を調節する

運転操作がしやすく、メーターが見える位置に調節します。

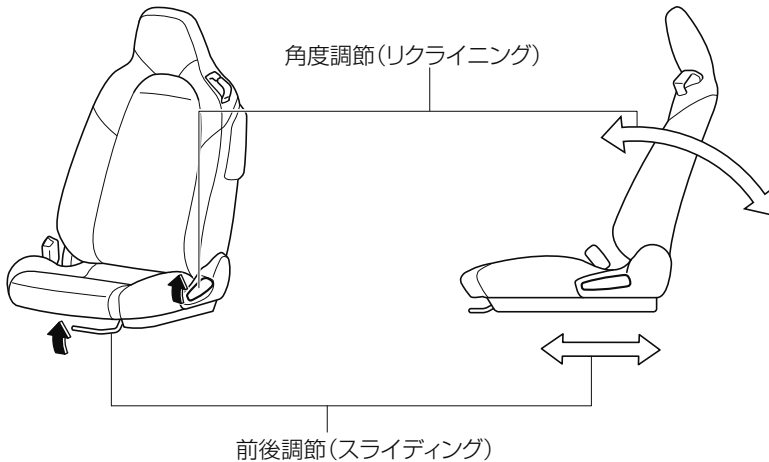


1. 背もたれに背中を密着させた状態で、両腕をのぼし、ハンドル上部に両手を置いて、手首の位置までハンドルを引き寄せます。



2. メーター類がしっかり見えるように、ハンドルの高さを調節します。
3. レバーを引き上げてハンドルを固定します。

助手席の操作



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

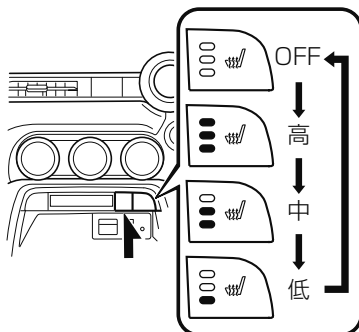
さく
いん

1. 運転する前に シート

シートヒーター

シートヒーターの使いかた グレード/仕様別装備

シートを温めることができます。電源ポジションが ON のとき、スイッチを押すと作動します。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。スイッチを押すごとに、図のように作動状態が切り替わります。



⚠ 注意



必ず守る

次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意してください。

- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方
- 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方



必ず守る

低温やけどを起こさないために、次のことをお守りください。

- 毛布や座布団など保温性のよいものをかけた状態で使用しないでください。異常加熱するおそれがあります。
- 仮眠するときは使用しないでください。
- 突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピンなどでシートクッションをつきささないでください。異常加熱するおそれがあります。



禁止

シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。

知識

- エンジン回転中に使用してください。エンジンを止めたままで、シートヒーターを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ドアミラー

ドアミラーの操作

⚠ 警告

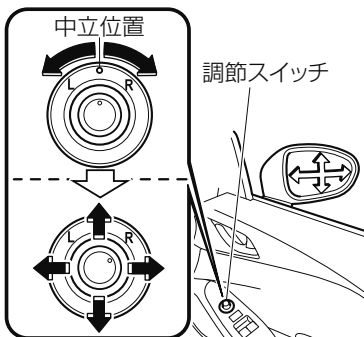


調節は走行前に行なう。
走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。



1. 調節スイッチを助手席側 **L** または運転席側 **R** のどちらか調節したいミラー側にまわします。
2. 調節スイッチを操作して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、調節スイッチを中立位置にもどします。

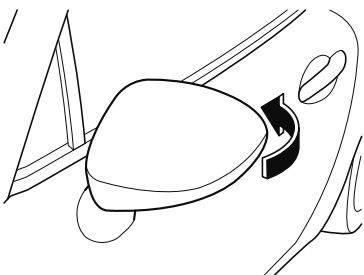
ドアミラーを格納するとき

⚠ 注意



ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。

禁止



ミラー本体を手で倒して格納します。
走行前には、ミラー本体を手で持ち、ロックするところまでもどします。

ルームミラーの操作

⚠ 警告

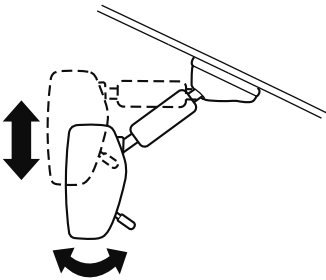


調節は走行前に行なう。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

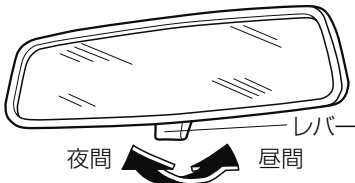
ルームミラーの角度/高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調節します。

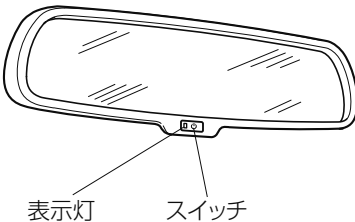
後続車のヘッドランプがまぶしいとき

マニュアルタイプ



通常はレバーを押した状態にします。
夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、
レバーを手前に引いて切り替えます。

オートタイプ



電源ポジションが ON のとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押すごとに ON、OFF が切り替わります。
スイッチが ON のときは表示灯が点灯します。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

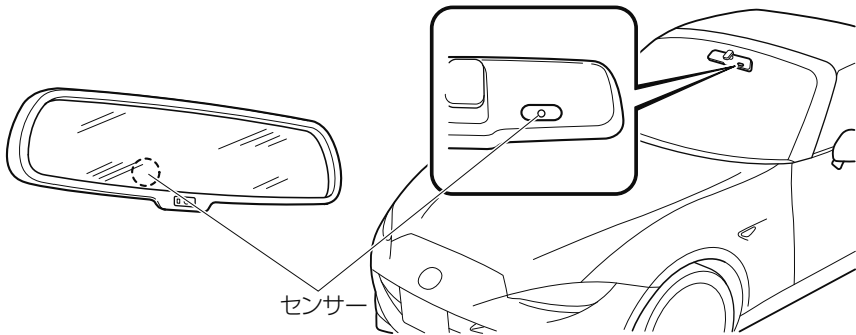
さくいん

1. 運転する前に ルームミラー

📖 知識

センサーについて

センサーをガラスクリーナーでふいたり、ステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



電源ポジションが ON のときチェンジレバー/セレクトレバーを R に入れると防眩機能は一時停止します。

シートベルトについて

⚠ 警告

メンテナンスについて



禁止

シートベルトを分解・改造・交換しない。

万一方の場合、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受ける。

プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。

そのままの状態で使用すると、万一方の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店に相談する。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。

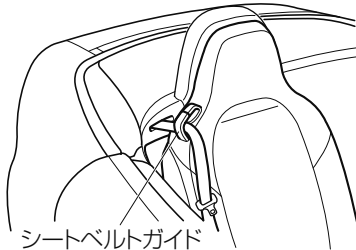
正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

シートベルトやシートベルトガイドが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に シートベルト

ELR (緊急時固定) 機構

全席のシートベルトに装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー機構

全席のシートベルトに装備されています。
車両前方または側方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をもっと高める装置です。

知識

- プリテンショナー機構は、車両前方または側方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。

ロードリミッター機構

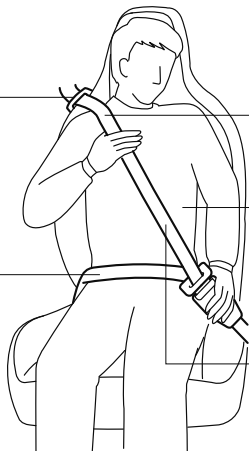
全席のシートベルトに装備されています。
車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトがシートベルトガイドに通っていることを確認します。

ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



ベルトが首、あご、顔などにあたらず、肩に十分かかるようにします。

上体を起こし、シートに深く腰かけます。

ベルトにねじれがないか確認します。

警告



必ず守る

シートベルトは全員が正しく着用する。

着用しないと身体が拘束されないため、急ブレーキ時や衝突時に車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しない。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

ベルトがねじれた状態で使用しない。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。



禁止

肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

背もたれは倒しすぎない。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に シートベルト

警告



必ず守る

腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。
シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。
ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



禁止

シートベルトのバックルの中に異物を入れない。
異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは



必ず守る

お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトが首や顔などにあたり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのチャイルドシート、ジュニアシートを使用する。
シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。
チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルトを使用するとき

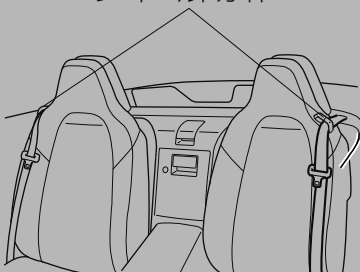
⚠ 警告



必ず守る

シートベルトを着用するときはシートベルトガイドに必ず通す。
通さずに使用すると万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、
重大な障害につながるおそれがあります。

シートベルトガイド



シートベルトを着用するとき



1. プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。
2. ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

📖 知識

ベルトがロックして引き出せないときは

一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

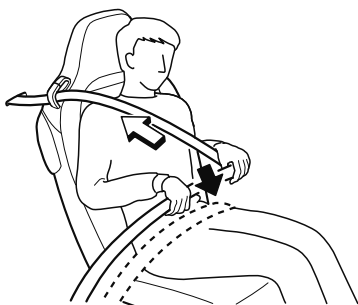
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シートベルト

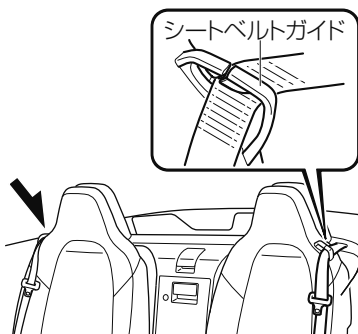


3. ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

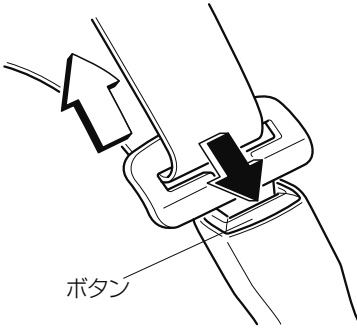


4. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみがないようにベルトを引いて身体に密着させます。

シートベルトは、着用する前にシートベルトがシートベルトガイドに正しく通っていることと、ねじれていないことを確認してください。



シートベルトをはずすとき



はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

シートベルト着用忘れチャイム

運転席/助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20 km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。) シートベルトを着用すると鳴り止みます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に お子さまの安全

お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。

シートベルト固定タイプのチャイルドシートは、助手席のシートベルトを使用してシートに固定します。

この車両は、ISOFIX 対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジが装備されていないため、ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートを取り付けることができません。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

警告



必ず守る

お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

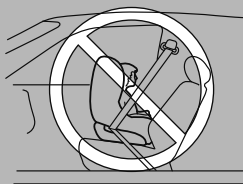
お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

助手席には絶対にチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負ったりする可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼り付けられています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないことを示しています。



警告ラベル



知識

ISO は International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

お子さま専用シートの種類

UN-R 44 法規および UN-R 129 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。



知識

- UN-R は United Nations Regulation (国連規則) の略です。
- UN-R 44 法規および UN-R 129 法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重	サイズ等級/器具 (CRF)
0	10kg まで	ISO/L1
		ISO/L2
		ISO/R1
0+	13kg まで	ISO/R1
		ISO/R2
		ISO/R3
I	9~18kg	ISO/R2
		ISO/R3
		ISO/F2
		ISO/F2X
		ISO/F3
II	15~25kg	—
III	22~36kg	—

本書では、3 種類のお子さま専用シートについて説明します。
取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

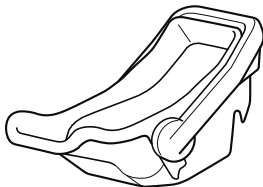
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に お子さまの安全

ベビーシート

UN-R 44法規の
グループ0、0+に相当



チャイルドシート

UN-R 44法規の
グループIに相当



ジュニアシート

UN-R 44法規の
グループII、IIIに相当



シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

⚠ 警告



必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

シート位置	着座位置
	助手席
汎用ベルト式に適する着席位置	無 (L)
アイサイズ着席位置	X
適する最大の後向き装具 (R1)	X
適する最大の後向き装具 (R2)	X
適する最大の後向き装具 (R2X)	X
適する最大の後向き装具 (R3)	X
適する最大の前向き装具 (F2)	X
適する最大の前向き装具 (F2X)	X
適する最大の前向き装具 (F3)	X
適する最大の横向き装具 (L1)	X
適する最大の横向き装具 (L2)	X
適する最大のブースター装具 (B2)	X
適する最大のブースター装具 (B3)	X
サポートレッグ付装具に適した着席位置 (有/無)	無
ロアアンカレッジを備えるがトップテザーのない着席位置 (有/無)	無

上表の記号について:

U = この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

UF = この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

L = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に

お子さまの安全

IUF = この質量グループでの使用を認可された「汎用」 カテゴリー前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。

IL = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」 カテゴリーの ISOFIX チャイルドシートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

i-U = 前向きおよび後向き i-Size 「汎用」 チャイルドシートに適しています。

i-UF = 前向き i-Size 「汎用」 チャイルドシートのみに適しています。

有 = 装具を使用して、チャイルドシートを固定できる席です。

無 = 装具を使用して、チャイルドシートを固定できない、または装具がない席です。

X = お子さま専用シートを取り付けることはできません。

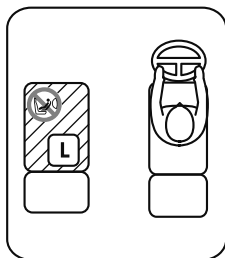
マツダ純正のお子さま専用シートを取り付けることができます。取り付けることのできるお子さま専用シートについては、アクセサリカタログをご参照ください。







知識

- 助手席にお子さま専用シートを取り付けるときは、シート位置をできるだけ後ろに調節してください。
→51 ページ「助手席の操作」

知識

- 助手席にお子さま専用シートを取り付けにくいときやお子さま専用シートがシートベルトでしっかり固定できないときは、次の操作をしてお子さま専用シートがシートベルトでしっかり固定できるようにシートを調節してください。
 - ・ シートを前方または後方に動かす
 - ・ シートの背もたれを前後に動かす



- U** : シートベルトで固定するお子さま専用シート（ユニバーサルタイプ）に適しています。
- UF** : シートベルトで固定するお子さま専用シート（ユニバーサルタイプ）の前向きに取り付けるタイプに適しています。
- L** : 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。
-  : ISOFIX 対応お子さま専用シートに適しています。
-  : i-Size および ISOFIX 対応お子さま専用シートに適しています。
-  : 前向きお子さま専用シートに適しています。
-  : 後ろ向きのお子さま専用シートを取り付けないでください。
-  : お子さま専用シートを取り付けることはできません。
-  : トップテザーアンカレッジが装備されている座席です。

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に お子さまの安全

チャイルドシートを固定するとき

シートベルトを使用するとき

注意



必ず守る

シートを前後に動かすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。
背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。

お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

また、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

窓ガラスの開閉

パワーウインドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

警告



窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。
特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な
傷害につながるおそれがあります。



お子さまにパワーウインドースイッチの操作をさせない。
万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまが同乗しているときは、パワーウインドーロックスイッチをロックの位
置にしておく。
お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるお
それがあります。



窓から手や顔を出させない。
走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に
当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意



次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように
注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スイッチを引き続けたままの状態

運
転
す
る
前
に

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

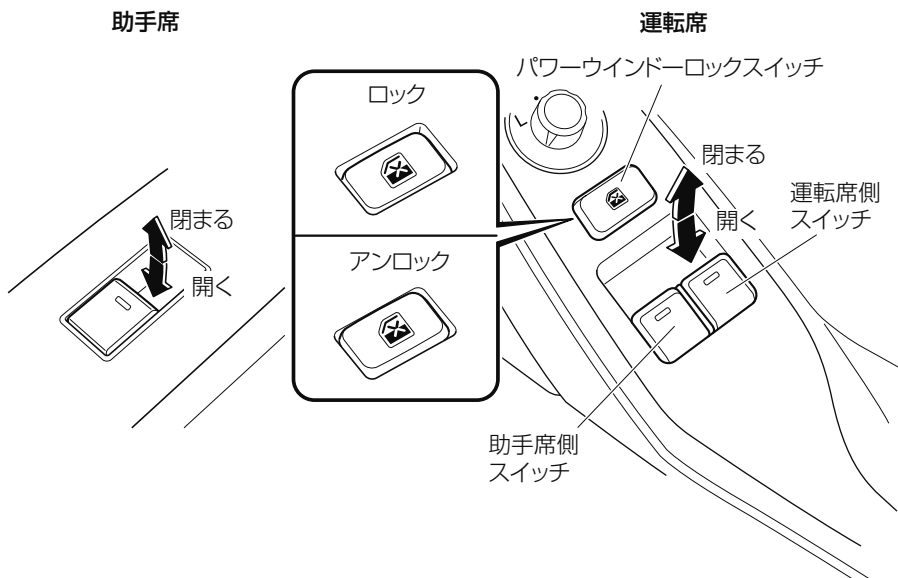
さ
く
い
ん

1. 運転する前に ウインドー

窓ガラスの開閉のしかた

電源ポジションが ON のとき、スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。

助手席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



📖 知識

- 電源ポジションを ACC または OFF にしたあとでも、全席の窓ガラスを約 40 秒間、開閉することができます。
- 窓ガラスの開閉動作が止まったあとにもスイッチを操作し続けると、窓ガラスを開閉できなくなることがあります。窓ガラスの開閉ができないときはしばらく待って、再度操作してください。

自動開閉機構

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

知識

- ドアを開けた状態では窓ガラスは全閉しません。
- **自動開閉機構が作動しなくなったときは**
車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または窓ガラスの開閉動作が止まったあとスイッチを操作し続けたときは、自動開閉機構が正常に作動しなくなります。
次の操作で復帰させてください。
 1. ドア、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップを閉めます。
 2. 電源ポジションを ON にします。
 3. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
 4. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。
 ドア、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップ開閉時の窓ガラスの自動作動が正常に作動しなくなったときも上記の操作を行なって復帰させてください。

はさみ込み防止機構

窓ガラスを自動で閉めるとき (→73 ページ「自動開閉機構」) に、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。

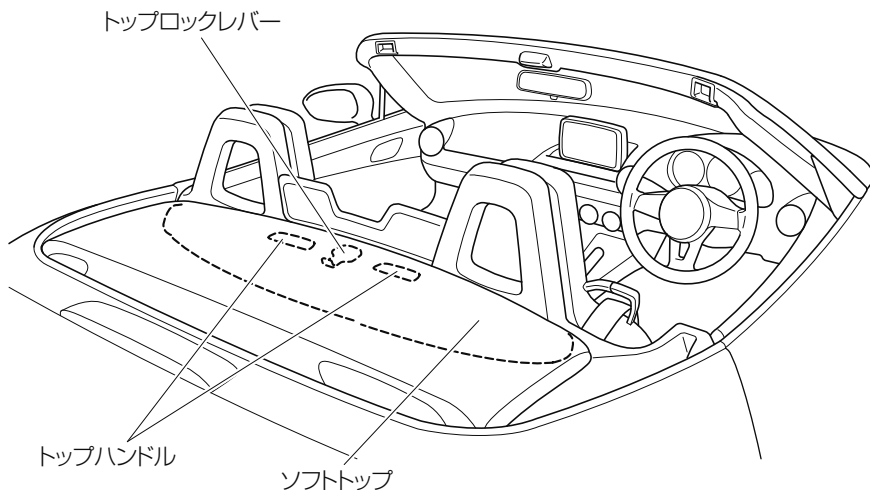
知識

- はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、窓枠の周囲に異物がないかを確認し、スイッチを引き続けて窓ガラスを閉めてください。
- 次のようなときに、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
 - ・ 自動で窓ガラスを閉めている途中で強い衝撃を感知したとき
 - ・ 極低温下で自動で窓ガラスを閉めたとき

1. 運転する前に ソフトトップ

ソフトトップの開閉

ソフトトップを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全な場所に停車してから行なってください。



警告



風が強いときにはソフトトップを開閉しない
風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。



走行中は、車両から手や頭などを出さない
走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

注意



ソフトトップを開けた状態で乗り降りするときは、フロントガラスの角に頭や身体をぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。



ソフトトップを開閉するときは、フレームなどで手や指をはさまないように慎重に行なってください。

⚠ 注意



必ず守る

ソフトトップ周辺に落ち葉などがあるときは取り除いてください。ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。ドレーンフィルターの清掃は、年に1回程度行なってください。

→374 ページ「洗車するとき」



必ず守る

ソフトトップを開けるときは、リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチがOFFになっていることを確認してください。デフォグガーの熱でソフトトップや内装材が損傷するおそれがあります。



必ず守る

ソフトトップは高品質の幌生地を使用しているため、手入れの方法を誤ると生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれがあります。

→375 ページ「ソフトトップの手入れ」 グレード/仕様別装備



禁止

ソフトトップがめれた状態で折りたたまないでください。品質低下やカビの原因になります。



禁止

外気温が5°C以下のときはソフトトップを開閉しないでください。凍結などにより、ソフトトップが損傷するおそれがあります。

📖 知識

- 盗難やいたずら防止のため、また雨から室内を保護するために、車から離れるときはソフトトップや両側ドア、窓ガラスが確実に閉まっていることを確認してください。
- ソフトトップの開閉により、自動で窓ガラスが下がります。これは操作性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断れたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
→73 ページ「自動開閉機構」

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用
かた

お手
入れ
の
しかた

トラ
ブル
が
起きたら

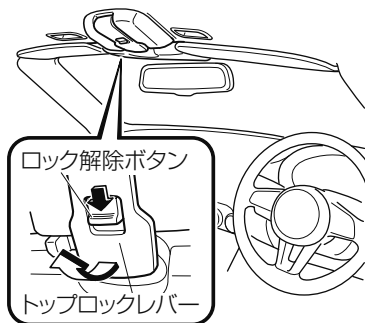
車両
仕様

さく
いん

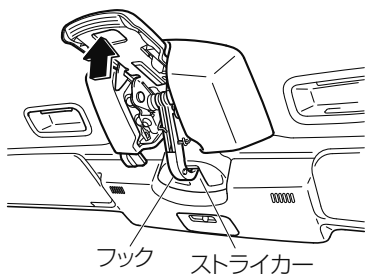
1. 運転する前に ソフトトップ

ソフトトップを開けるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。
3. ソフトトップが格納される部分に、物が置かれていないことを確認します。
4. ロック解除ボタンを前方に押しながら、トップロックレバーを手前に引いてロックを解除します。



5. フックをストライカーからはずします。

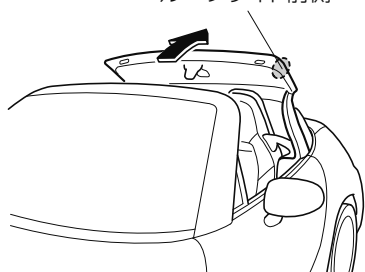


知識

窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。

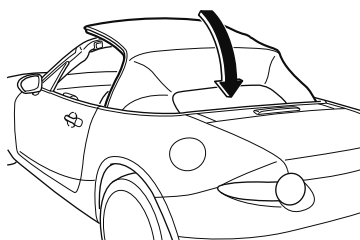
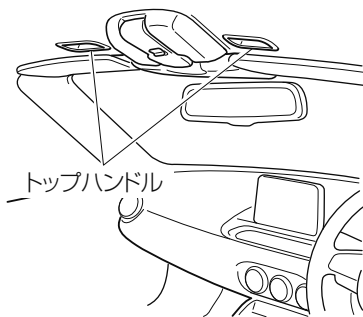
ルーフサイド前側

6. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持って、ソフトトップを車両後方へ引きます。

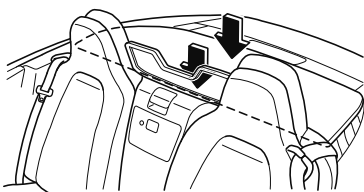


知識

トップハンドルを使うと、車内からソフトトップを開けることができます。



7. リアガラスを手で軽く押さえながら、ソフトトップを後方へ移動し、折りたたみます。



8. ソフトトップの後側を押さえた状態で、前側をカチッと音がするまで押さえつけます。ソフトトップをゆさぶり、確実にロックされたことを確認します。

警告



折りたたんだソフトトップの上に荷物などを置かない。
走行中に飛散し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

注意



折りたたんだソフトトップの上に座らないでください。ソフトトップの損傷や、転落してけがをするおそれがあります。

禁止

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用がた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

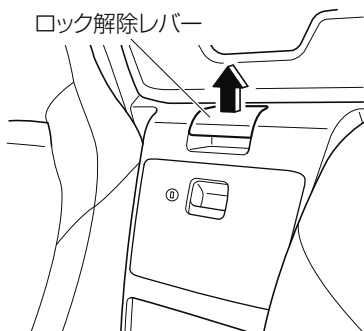
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ソフトトップ

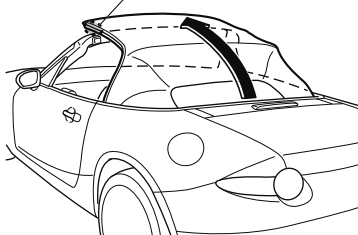
ソフトトップを閉めるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。



3. ロック解除レバーを上引き、ロックを解除します。

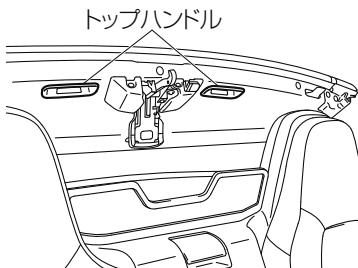
ルーフサイド前側



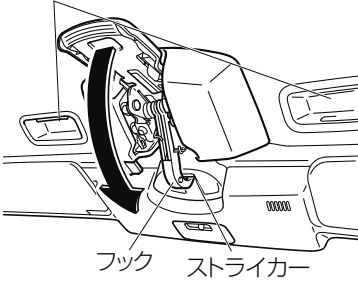
4. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持ちながら、ゆっくりと引き上げます。

知識

- 窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。
- トップハンドルを使うと、車内からソフトトップを閉めることができます。



トップハンドル



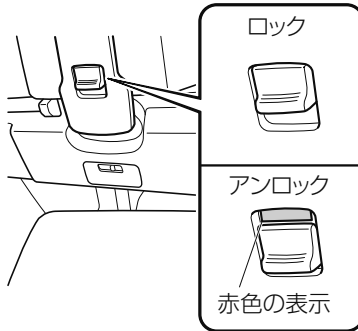
- シートに座り、トップハンドルを持って、ソフトトップをフロントガラス側に押し当てます。フックがストライカーにかかっていることを確認し、トップロックレバーをゆっくり動かして、カチッと音がするまで押し上げます。

注意



必ず守る

ロック解除ボタンに赤色の表示が見えているときは、ソフトトップがロックされていません。ソフトトップをもとにもどすときは確実にロックし、赤色の表示が見えないことを確認してください。ロックしないまま走行すると、ソフトトップが不意に開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

ソフトトップ（幌）の汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスと幌の合わせ目付近に直接水をかけないでください。車内に水が入るおそれがあります。

→375 ページ「ソフトトップの手入れ」 グレード/仕様別装備

知識

- ソフトトップを長期間開けた状態で放置すると幌が収縮し、ソフトトップを閉めるときにトップロックレバーのフックがストライカーにかかりにくくなる場合があります。
- トップロックレバーをロックしてもソフトトップの閉まりが悪い場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

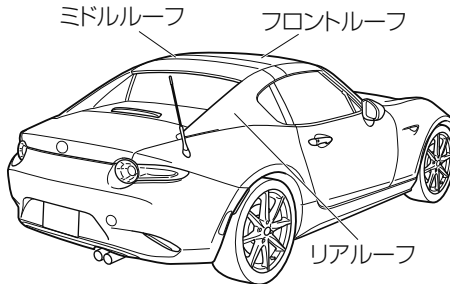
1. 運転する前に

リトラクタブルハードトップ

リトラクタブルハードトップの開閉

リトラクタブルハードトップは、スイッチ操作により、ルーフ、窓ガラスが連動して作動し、フロントルーフをリアルーフ下に格納するシステムです。

車から離れるときは、盗難やいたずら防止のため、また雨から室内を保護するために、ルーフや両側ドア、窓ガラスが確実に閉まっていることを確認してください。



警告



必ず守る

ルーフを開閉するときは、周囲に人がいないことを確認する
ルーフを動かしたとき、車両にはさまれるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

車両が動いているときは、シートベルトを着用しシートに座る
車内で立ったり、リアルーフまたはコンソールの上に座ると、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

走行中は、車両から手や頭などを出さない
走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

ルーフを開けた状態で乗り降りするときは、フロントガラスの角に頭や身体をぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。



禁止

ルーフが半開の状態では走行しないでください。ルーフが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

お子さまにルーフの操作をさせないでください。お子さまが誤って操作すると、不意にルーフが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだりするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

リアルーフやミドルルーフの周辺およびフロントルーフの格納部に荷物を置かないでください。荷物やハードトップが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

ルーフ周辺に落ち葉などがあるときは取り除いてください。排水口が詰まるおそれがあります。



必ず守る

ルーフを開けるときは、リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチがOFFになっていることを確認してください。デフォグガーの熱でルーフや内装材が損傷するおそれがあります。



必ず守る

ルーフを開閉するときは、ルーフの上や上方（地上高約 1.6m）に障害物がないことを確認してください。ルーフや障害物を損傷するおそれがあります。



禁止

ルーフを開閉しているときは、ルーフに荷重をかけないでください。ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。



禁止

ルーフの汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスとルーフの合わせ目付近に直接水をかけないでください。車内に水が入るおそれがあります。

→377 ページ「リトラクタブルハードトップの手入れ」

グレード/仕様別装備



必ず守る

ルーフを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全かつ水平な場所に停車してから行なってください。坂道や段差に乗り上げた状態で開閉すると、ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。



禁止

自動洗車機（コイン洗車機）や高圧洗車機を使用しないでください。ルーフが損傷するおそれがあります。



禁止

外気温が低く、ルーフおよびその周辺が凍結している場合は、無理に開閉しないでください。ルーフが損傷するおそれがあります。



禁止

ルーフがぬれているときは、ルーフを開けないでください。車内に水が入り、故障につながるおそれがあります。



禁止

風が強いときにはルーフを開閉しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

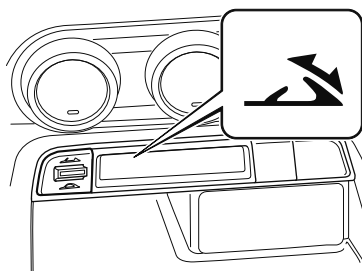
さくいん

1. 運転する前に

リトラクタブルハードトップ

リトラクタブルハードトップ作動表示

作動表示灯



点灯時

ルーフが半開であることをお知らせします。

点滅時

ルーフが開閉中であることをお知らせします (スイッチ操作中)。

消灯時

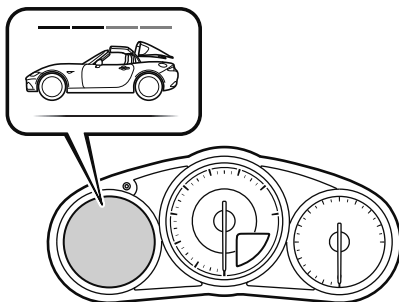
ルーフが全開または全閉であることをお知らせします。

知識

作動表示灯の点滅が早いときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

ルーフ開閉状態表示

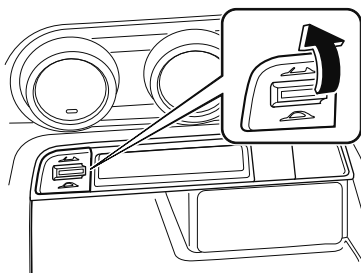
ルーフの開閉状態を、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に表示します。



ルーフを開けるとき

ルーフを開けて走行するときは、車内の荷物が風で飛ばされないようにしてください。

1. 交通のさまたげにならない安全で平らな場所に停車させます。
 - マニュアル車はチェンジレバーをニュートラル位置にします。
 - オートマチック車はセレクトレバーをPに入れます。
 - パーキングブレーキをかけます。
2. トランクが閉まっていることを確認します。
3. バッテリーあがり防止のため、エンジンをかけます。
4. ルーフの開作動が完了するまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続けます。開作動が完了すると、チャイムが鳴り、作動表示灯が消灯します。



知識

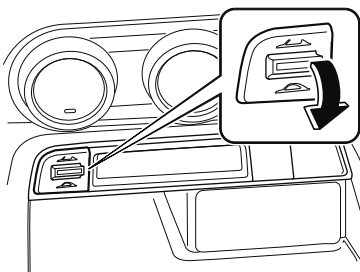
- リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押すと、チャイムが鳴ります。
- 窓ガラスが閉まっているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作すると、窓ガラスが少し開きます。ルーフの開作動が完了するまでリトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続けると窓ガラスはもとの位置にもどります。ただし、条件によっては窓ガラスがもとの位置にもどらない場合があります。
- リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押ししている間は作動表示灯が点滅し、ルーフが開きます。
- 開けているときにリトラクタブルハードトップスイッチから手をはなすと、ルーフは止まります。もう一度スイッチを開側に押すと、再び開きます。
- 半開の状態から開くときは、リアルーフが完全に開いたあと、フロントルーフが開きます。

1. 運転する前に

リトラクタブルハードトップ

ルーフを閉めるとき

1. 交通のさまたげにならない安全で平らな場所に停車させます。
 - マニュアル車はチェンジレバーをニュートラル位置にします。
 - オートマチック車はセレクトレバーをPに入れます。
 - パーキングブレーキをかけます。
2. トランクが閉まっていることを確認します。
3. シートを一番前の位置にしているときは、少し後ろに下げます。
4. バッテリーあがり防止のため、エンジンをかけます。



5. ルーフの閉作動が完了するまで、リトラクタブルハードトップスイッチを閉側に押し続けます。閉作動が完了すると、チャイムが鳴り、作動表示灯が消灯します。

知識

- リトラクタブルハードトップスイッチの閉側を押すと、チャイムが鳴ります。
- 窓ガラスが閉まっているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作すると、窓ガラスが少し開きます。ルーフの閉作動が完了するまでリトラクタブルハードトップスイッチを閉側に押し続けると窓ガラスはもとの位置にもどります。ただし、条件によっては窓ガラスがもとの位置にもどらない場合があります。その場合はパワーウィンドウスイッチで窓ガラスを完全に閉めてください。
- リトラクタブルハードトップスイッチの閉側を押している間は作動表示灯が点滅し、ルーフが閉まります。
- 閉めているときにリトラクタブルハードトップスイッチから手をはなすと、ルーフは止まります。もう一度スイッチを閉側に押すと、再び閉まります。

リトラクタブルハードトップの作動条件

次の条件をすべて満たしているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作するとルーフを開閉することができます。

- 電源ポジションが ON のとき
- チェンジレバー/セレクトレバーが R 以外のとき
- 車速が 10 km/h 以下のとき
- トランクが閉まっているとき
- 車両の傾斜角度が 15 度以下のとき

⚠ 注意



禁止

開閉作動中に車速が 10 km/h を超えるとルーフの開閉が途中で停止します。ルーフが途中で止まると、後方の視界が悪くなったり、ルーフが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。交通状況に応じて車を停車させて、再度リトラクタブルハードトップスイッチを操作してルーフの開閉を完了させてください。

📖 知識

- ルーフを開閉するときは、安全のため「ルーフを開けるとき」、「ルーフを閉めるとき」の手順にしたがって、ルーフの開閉を行なってください。
→83 ページ「ルーフを開けるとき」
→84 ページ「ルーフを閉めるとき」
- 作動条件をすべて満たしているにも関わらず開閉できない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
緊急時は、応急処置として手動で閉めることができます。
→445 ページ「ルーフが閉まらなくなったとき」

窓ガラスの連動作動について

ルーフの開閉時には、操作性を向上させるため、自動で窓ガラスが下がります。

📖 知識

- 車両整備などでバッテリーとの接続が断れたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
→73 ページ「自動開閉機構」

給油するとき

燃料計が“E”に近づいたら、早めに給油してください。
エンジン性能を最大限に発揮させるために、指定された燃料を使用してください。
→458 ページ「燃料」

警告



給油するときは必ず次のことを守る。

必ず守る

- エンジンを止める。
- タバコなどの火気を給油口に近づけない。
- こぼれた燃料は速やかに拭き取る。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため、火災や爆発のおそれがあります。



給油を行なう前に、車体の金属部分に触れて身体の静電気を除去する。

必ず守る

放電による火花で、燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。



給油中は必ず次のことを守る。

必ず守る

- 給油はひとりで行ない、給油口に他の人を近づけない。
- 車内に戻ったり、帯電している人や物に触れない。
- 携帯電話やスマートフォン、その他電子機器などを使用しない。

再帯電により、燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。



フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なう。

必ず守る

放電による火花で、燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。



フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずす。

必ず守る

急に開けると燃料が噴き出すことがあるため、火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。



気化した燃料を吸い込まないようにする。

禁止

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。



給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。

必ず守る

給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。

警告



禁止

給油の自動停止後は、追加給油しない。

追加給油すると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。



禁止

給油の自動停止後は、すぐに給油ノズルを引き抜かない。

給油ノズル内に残った燃料がこぼれ出て、火災につながるおそれがあります。



必ず守る

フューエルキャップは確実に閉める。

フューエルキャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

注意



禁止

指定燃料以外の燃料を使用したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を使用すると、例えば次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品の損傷（最悪の場合、車両火災）
- エンジンの出力低下や始動性能の悪化



必ず守る

給油するときは、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



必ず守る

給油するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。



禁止

給油中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。



禁止

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑制装置などの故障につながるおそれがあります。

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

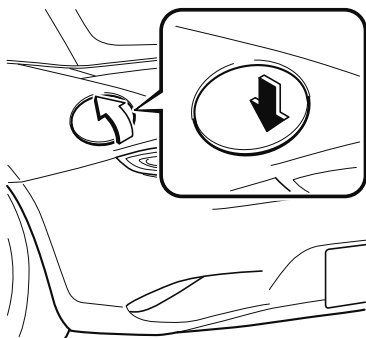
車両スペック

さくいん

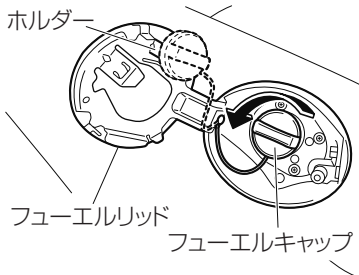
1. 運転する前に 燃料補給口

給油のしかた

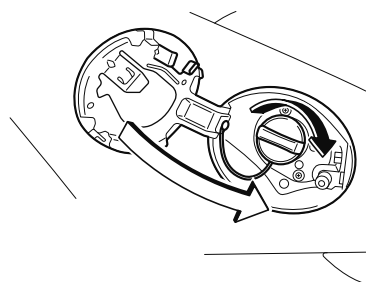
給油するときはすべてのドア、窓ガラスを閉め、電源ポジションを OFF にして行なってください。



1. ドアを解錠した状態でフューエルリッドの端を押し、フューエルリッドを開きます。フューエルリッドは車の左側後方にあります。また、ドアの施錠/解錠に連動しています。



2. フューエルキャップをゆっくり左に回して開けます。
3. フューエルキャップをフューエルリッドのホルダーにかけます。
4. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油します。給油が自動で停止したら、ノズルを抜きます。



5. フューエルキャップを右に回し、カチッと 1 回音がするまで締め付けます。
6. カチッと音がするまでフューエルリッドを押しつけて閉めます。

7. 車から離れるときは、必ずドアを施錠してください。
→35 ページ「ドアの開閉」

知識

- フューエルリッドを開めたあと、ドアを施錠してください。
ドアを施錠したあとフューエルリッドを閉めると、フューエルリッドは施錠されません。
- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、エンジンの性能を十分発揮できないことがあります。また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音聞こえることがあります。

運転
前に

運転
する
ときに

快適
装備の
使用
に
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

万一、キーが電池切れや故障の場合は、電池切れ時のエンジン始動手順を行なうとイモビライザーシステムが解除され、エンジンを始動できます。

→122 ページ「キーが電池切れしたときのエンジン始動」

注意



必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。
- 強い衝撃をあたえたり、めらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。

システムの作動



電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

システムの解除

登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンを始動できます。そのときセキュリティ表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- キーを（車内でも）感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

処置方法

一度、電源ポジションを OFF にもどし、キーを別の場所に置いて、再度エンジンを始動してください。

→32 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」

→34 ページ「キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」

セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は（点灯/点滅したままなど）、一度電源ポジションを OFF にもどし、しばらく待って再度エンジン始動してください。

3 回行ってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、マツダ販売店で点検を受けてください。

運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのままマツダ販売店で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。

知識

イモビライザーシステムを修理するときは

コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。

キーを追加するときは

- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。
- キーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でキーを追加することはできません。

キーを紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。登録されていないキーではエンジンを始動することができません。

SRS エアバッグシステム

SRS エアバッグシステムについて

SRS とは Supplemental Restraint System (サブメンタルレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

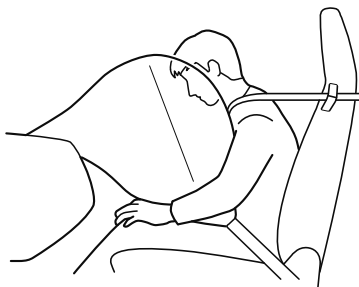
エアバッグの種類

運転席エアバッグ



運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

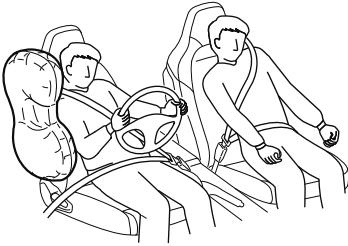
助手席エアバッグ



助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

サイドエアバッグ

グレード/仕様別装備



サイドエアバッグはシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

エアバッグの注意点

⚠ 警告

お車に乗る前に



必ず守る

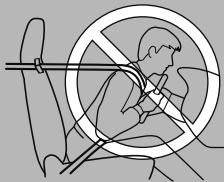
運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。
SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。
シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートに座ったときは



禁止

ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

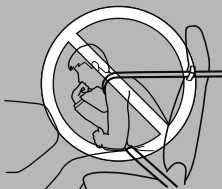
1. 運転する前に SRS エアバッグシステム

警告



禁止

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。
エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは



必ず守る

お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
シートベルトが首や顔などにあったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのチャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

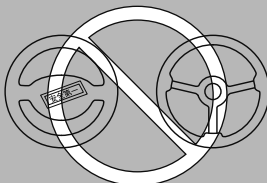


こんなことにも注意



禁止

ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。
万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



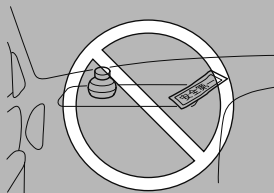
警告



禁止

インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

車両前部にグリルガードなどを装着しない。

SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

サスペンションの改造をしない。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスや廃車について



必ず守る

事故後は必ずマツダ販売店で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店に相談する。

次の作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- シートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- 室内の電装品の取りはずし、取り付け

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

SRS エアバッグシステム

警告



必ず守る

車を廃車にする場合は、必ずマツダ販売店に相談する。
不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

サイドエアバッグについて



禁止

シート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。
シートに座ったときは、ドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートにシートカバーを使用しない。
シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

ドアやシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けない。
サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの下に荷物などを置かない。
シートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意



禁止

エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。



禁止

ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイドエアバッグが作動するおそれがあります。

知識

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。

知識

- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときに窓ガラスが破損することがあります。

エアバッグの作動条件について

運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイドエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に SRS エアバッグシステム

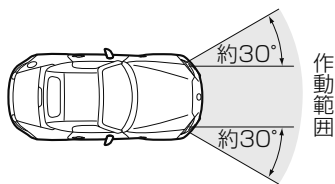
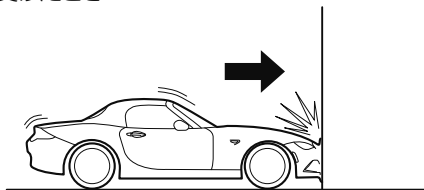
エアバッグが作動するとき

運転席/助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

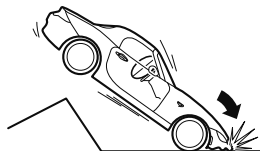


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

中央分離帯や縁石などに衝突したとき

深い穴や溝に落ちたとき

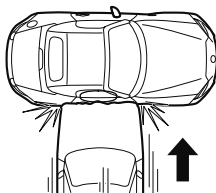
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



サイドエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に衝突されたとき



エアバッグが作動しにくいとき

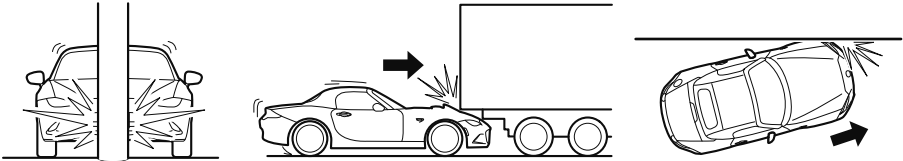
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席/助手席エアバッグ

立木や電柱に衝突したとき

トラックの下などに潜り込んだとき

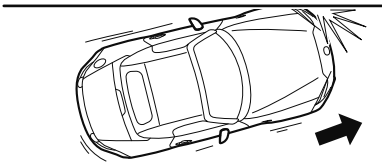
斜め前方に衝突したとき



サイドエアバッグ

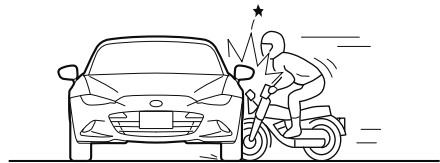
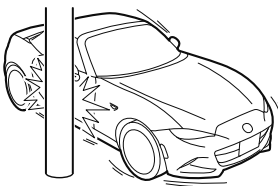
斜め前方に衝突したとき

横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき

2輪車が側面に衝突したとき



運転前に

運転するとき

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に SRS エアバッグシステム

エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

運転席/助手席エアバッグ

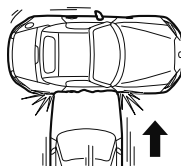
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき

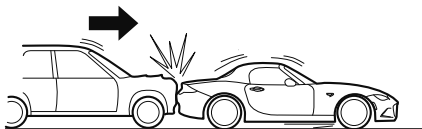


横方向から衝突されたとき

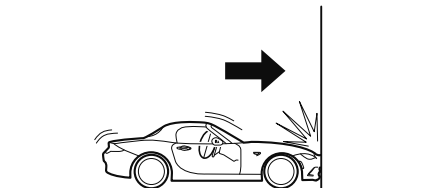


サイドエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



EDR (イベントデータレコーダー) について

本車両は、SRS エアバッグおよびアクティブボンネット制御のためのコンピューターを搭載しています。

そのコンピューターは、システムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、次のデータを記録・蓄積する EDR を装備しています。

記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- 作動に関する情報 (加速度波形など)
- 故障診断情報

知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

データの開示について

マツダおよびマツダの委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

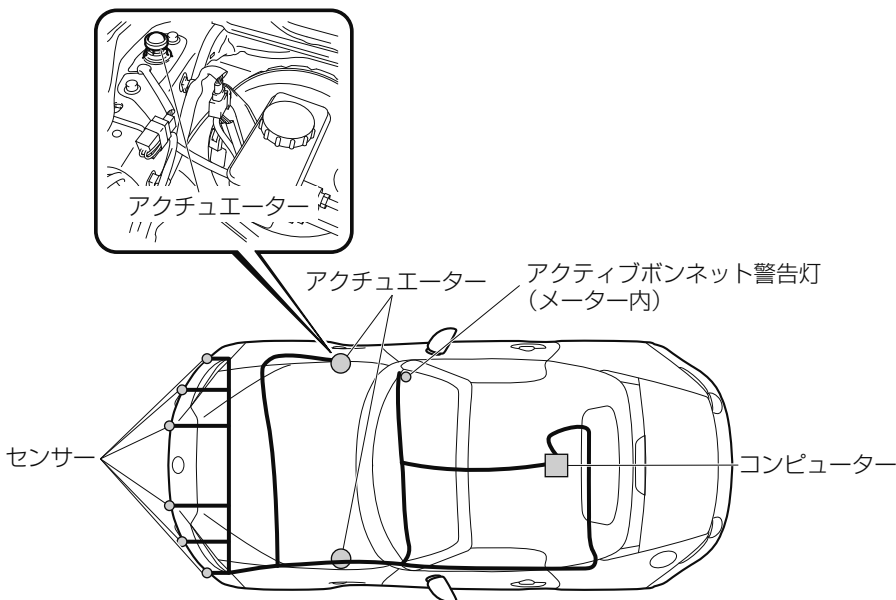
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1.運転する前に アクティブボンネット

アクティブボンネットについて

万一、歩行者と衝突して、一定以上の衝撃が車両前部に加わったとき、ボンネットの後端を瞬時に持ち上げ、エンジンルーム内の部品との空間を広く保つことで、歩行者の頭部がボンネットに衝突したときの衝撃をやわらげます。電源ポジションが ON のとき、作動速度範囲内で走行中に、歩行者やその他の物体との衝突により、フロントバンパー裏に取り付けているセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動し、ボンネットを持ち上げます。



⚠ 警告



必ず守る

アクティブボンネットが作動したときは、必ずマツダ販売店に相談する。アクティブボンネットが作動したとき、ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がります。ボンネットが上がったまま走行すると視界が妨げられ、おもわぬ事故につながるおそれがあります。また、ボンネットを無理に押しもどさないでください。作動したボンネットは手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。アクティブボンネットが作動したあとマツダ販売店まで運転する場合は、持ち上がったボンネットが視界の妨げにならないことを確認したあと、十分に速度を落とし注意して運転してください。

⚠ 注意



アクティブボンネットが作動した直後は、アクチュエーターに触れないでください。作動直後はアクチュエーターが熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。

取り扱いについて

- ボンネットが完全に閉まっていないと、正常に作動しないおそれがあります。走行前に必ず確認してください。
- 電源ポジションを ON にしたあと、約 8 秒間はシステムが正常に作動しないことがあります。
- 4 輪とも異常摩耗していない同一指定サイズのタイヤを適正な空気圧で使用してください。異常摩耗しているタイヤ、異なるサイズ、適正でない空気圧のタイヤを使用すると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパー周辺に衝撃が加わったときは、アクティブボンネットが作動しなくてもセンサーが損傷している可能性があります。必ずマツダ販売店で点検を受けてください。
- アクティブボンネットの部品や配線を取りはずしたり修理しないでください。また、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しないおそれがあります。修理や交換作業が必要なときはマツダ販売店にご相談ください。
- フロントバンパー、ボンネット、サスペンション、エアロパーツをマツダ純正品以外に交換しないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパーにマツダ純正品以外を取り付けしないでください。また、ボンネットに物を取り付けしないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、アクチュエーターに荷重を加えないでください。アクチュエーターが損傷し、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 部品を装着するときは、マツダ販売店にご相談ください。不適切に取り付けると、衝撃を正しく検知できず、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 廃車にするときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないと、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- アクティブボンネットは、一度作動すると再使用できません。マツダ販売店で交換してください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

1. 運転する前に アクティブボンネット

作動するとき、しないとき

作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

- 作動速度範囲での走行時、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を正面から受けたとき（衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、一定以上の衝撃が加われば作動します。また、軽い物、小さな動物や他の小さな物体でも衝突の状況、速度によっては作動することがあります。）
- その他に、次のような車両下部やフロントバンパーに衝撃を受けたときも作動することがあります。
 - 縁石に衝突したとき
 - 深い溝や穴に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつかったとき
 - 駐車場のスロープ、うねりのある道路、突起物や落下物などにぶつかったとき

作動しにくいとき

次のような場合は、衝撃を感知しにくいいため、作動しないことがあります。

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったとき
- かばんなど衝撃を吸収できるものを携帯した歩行者と衝突したとき

作動しないとき

次のようなときには作動しません。

- 作動速度範囲外での走行時にフロントバンパーが衝撃を受けたとき
- 横方向や後部から衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき（事故の状況、形態によっては、アクティブボンネットシステムが作動することがあります。）

積雪、寒冷時の取り扱い

お車に乗る前に

ルーフ/幌、ボンネットに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。またボンネットに雪が積もったまま走行すると、万一のときにアクティブボンネットが作動しにくくなるおそれがあります。走行前に取り除いてください。
- 気温が5°C以下のときは、ソフトトップの開閉操作をしないでください。凍結により幌生地が損傷するおそれがあります。

ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウィンドー、ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。無理に動かそうとすると故障の原因になります。

お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

MEMO

2 運転するときに

安全なドライブのために	110
運転するとき.....	110
運転装置について.....	112
こんなことにも注意.....	112
駐停車するとき.....	115
お子さまを乗せるとき.....	116
エンジンの始動と停止	117
電源ポジション (エンジンスイッチ).....	117
エンジンの始動.....	118
エンジンの停止.....	123
i-stop について.....	125
i-ELOOP について	133
i-ELOOP とは.....	133
メーター、警告灯、表示灯の見方	135
メーター.....	135
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A).....	138
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B).....	145
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM).....	150
警告灯、表示灯.....	154
マニュアルトランスミッションの使いかた	163
マニュアルトランスミッション.....	163
オートマチックトランスミッションの使いかた	166
オートマチック車の特性.....	166
各位置の働き.....	167
シフトロック装置.....	168
セレクトレバーの操作.....	168
マニュアルモード.....	169
ダイレクトモード.....	173
オートマチック車を運転するときに.....	173

2 運転するときに

ドライブセレクションについて	177
ドライブセレクションとは (オートマチック車).....	177
ブレーキ	179
ブレーキの操作.....	179
サスペンション	180
車高調整式サスペンション.....	180
スイッチの使いかた	181
ランプスイッチ.....	181
方向指示器.....	186
非常点滅灯スイッチ.....	187
ワイパー/ウォッシャースイッチ.....	188
リアウインドーデフォグガー (曇り取り) スイッチ.....	191
ホーン.....	192
ABS について	193
ABS とは.....	193
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) について	194
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) とは.....	194
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について	195
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは.....	195
トラクションコントロールシステム (TCS) について	196
TCS とは.....	196
ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について	197
DSC とは.....	197
i-ACTIVSENSE について	200
i-ACTIVSENSE とは.....	200

2 運転するときに

ハイビームコントロールシステム (HBC) とは.....	202
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) とは.....	205
車線逸脱警報システムとは.....	207
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) とは.....	213
交通標識認識システム (TSR) とは.....	218
ドライバーアテンションアラート (DAA) とは.....	226
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) とは.....	228
アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) とは.....	232
AT 誤発進抑制制御 [前進時] とは.....	237
スマートシティブレーキサポート [後退時] (SCBS R) とは.....	241
AT 誤発進抑制制御 [後退時] とは.....	246
フォワードセンシングカメラ (FSC) について.....	250
レーダーセンサー (リア) について.....	254
超音波センサー (フロント) について.....	256
超音波センサー (リヤ) について.....	256
クルーズコントロールについて	257
クルーズコントロールとは.....	257
駐車支援システムについて	263
駐車支援システムとは.....	263
様々な状況での運転のときは	272
悪天候での運転.....	272
環境保護のために	274
経済的な運転.....	274

2. 運転するときに 安全なドライブのために

運転するとき

坂道ではエンジブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。下り坂ではフットブレーキとエンジブレーキを併用してください。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。また、走行中にチェンジレバーをニュートラル位置に入れたままにしないでください。エンジブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。エンジブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離れたときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよく効きます。

オートマチック車は走行中にセレクトレバーをNにいれない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に半クラッチ操作を行わないでください。

- クラッチやブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

パンクやバースト（破裂）してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。次のようなときはパンクやバースト（破裂）が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

スタックした状態から脱出するときは注意する

394 ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

安全なドライブのために

異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じる時。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

運転装置について

オートマチック車を運転するとき

173 ページの「オートマチック車を運転するとき」、166 ページの「オートマチック車の特性」、118 ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

タイヤについて

347 ページの「タイヤの点検」、338 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、386 ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

けん引してもらおうとき

415 ページの「けん引してもらおうとき」をよくお読みください。

こんなことにも注意

発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

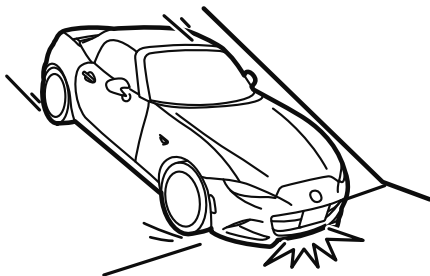
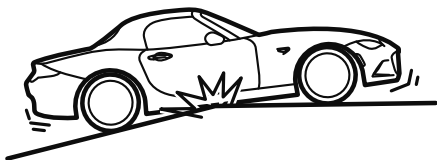
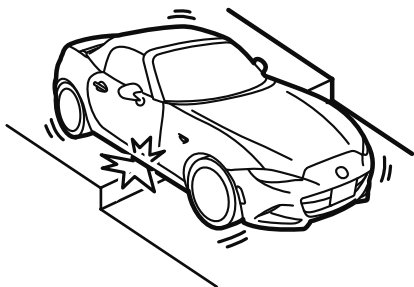
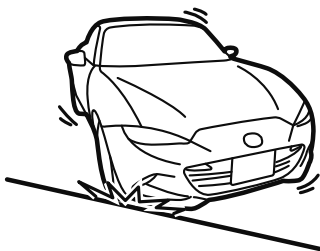
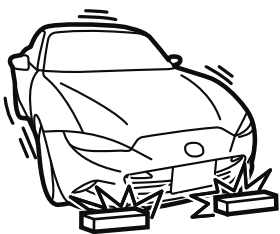
運転中は携帯電話を使用しない

運転しながらハンズフリー以外の携帯電話やスマートフォンを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



運転する
前に

運転する
ヤミドリ

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

安全なドライブのために

違法改造はしない

338 ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

338 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、347 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

タイヤバルブキャップは純正品を使用する

347 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

338 ページの「部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する」をよくお読みください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

338 ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

アクセサリーを取り付けない

フロントガラスや窓ガラス、また、その周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、アクセサリーの吸盤が凸レンズの働きをして、火災につながるおそれがあります。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

411 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

340 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

411 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

バッテリーの取り扱いに気をつける

408 ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

航空機内ではキーを操作しない

27 ページの「キー」をよくお読みください。

一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色/無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい/吐き気/頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気を取り入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

駐停車するとき

燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくとも火災につながるおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたまま仮眠しないでください。無意識にチェンジレバー/セレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

運転する
前に

運転する
中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

安全なドライブのために

換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へ入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

坂道駐車はパーキングブレーキをかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをかけ、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れてください。急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

車から離れるときはパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、エンジンを止め、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

お子さまを乗せるとき

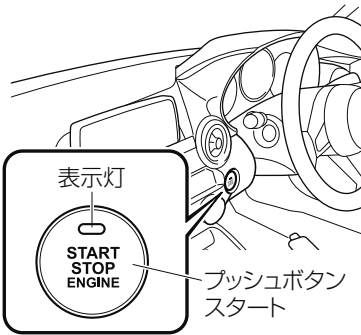
車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

電源ポジション (エンジンスイッチ)

各位置の働き



マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏まない状態で、プッシュボタンスタートを押すごとに OFF、ACC、ON の順に電源ポジションが切り替わります。ON からもう一度、プッシュボタンスタートを押すと OFF へもどります。

電源ポジション	働き
OFF	プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、消灯します。
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどの電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、点灯します。
ON	全ての電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、点灯します。(エンジン回転中は、プッシュボタンスタートの表示灯は消灯します。)

知識

- **ハンドルがロックされているときは**
プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅します。ハンドルを左右に動かしながら、プッシュボタンスタートを押して、ハンドルのロックを解除してください。
- プッシュボタンスタートを押して、エンジンが始動する前に燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。電源ポジションを ACC (オートマチック車は、セレクトレバーが P の位置になっていること) で放置した場合は、約 25 分間で電源ポジションが OFF になります。
- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっばいに踏み込んだ状態で、プッシュボタンスタートを押すとエンジンが始動します。電源ポジションの切り替えを行なう場合は、ペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してください。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

エンジンの始動と停止

エンジンの始動

エンジンをかける前に

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. マニュアル車はチェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3. 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→47 ページ「運転席の操作」

クラッチスタートシステムについて (マニュアル車)

クラッチスタートシステムとは、クラッチペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してもエンジンを始動させない装置で、車が動き出すのを防止します。
エンジンを始動するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。

知識

エンストで動けなくなったとき
ギヤを入れたままプッシュボタンスタートを押し続けても車は動きません。
→395 ページ「エンストで動けなくなったとき」

エンジンがかかるとき

警告

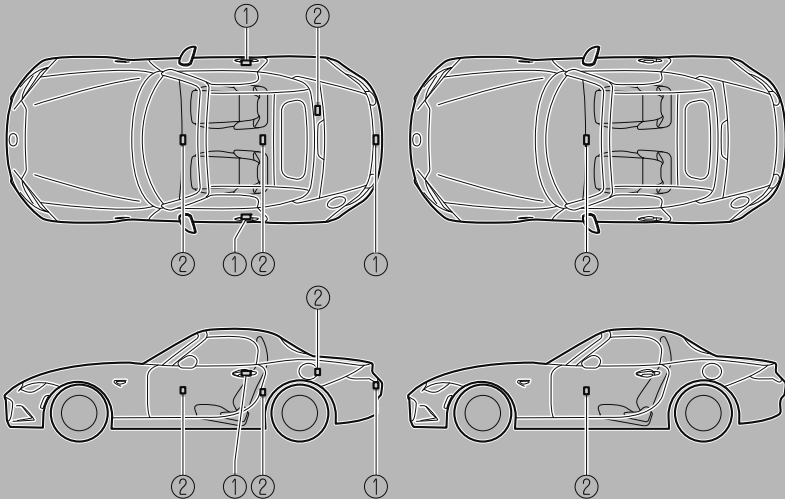


禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内・車外のアンテナから約 22 cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

(アドバンストキーレス機能装備車) (アドバンストキーレス機能非装備車)



①車外のアンテナ ②車内のアンテナ



必ず守る

次にある以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型除細動器

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。



必ず守る

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

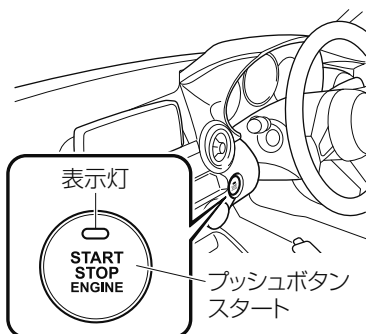
さくいん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

📖 知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- 電源ポジションの状態 (OFF、ACC、ON) に関係なく、エンジンを始動できます。

1. キーを携帯していることを確認します。
2. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。
3. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっばいに踏み込み続けます。
4. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) とメーター内の KEY 表示灯 (緑) が点灯することを確認します。
プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅するときは、キーの電池切れなどが考えられます。
→122 ページ「キーが電池切れしたときのエンジン始動」



5. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯している状態でプッシュボタンスタートを押します。

⚠️ 注意



プッシュボタンスタートに異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがありますが、ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

知識

- 次のようなときは、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイ(タイプA)にKEY警告表示が表示され、エンジンをかけることができません。



KEY警告灯(赤)

- キーの電池切れ
- キーが作動範囲内不在
 - 32 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
 - 34 ページ「キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
- キーを車内でも感知しにくい場所に置いている
- キーに類似した他社のキーが作動範囲内にある
- プッシュボタンスタートの表示灯(橙)が点滅しているときは、通常の操作ではエンジンを始動できない場合があります。マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっばいに踏み込み、エンジンが完全に始動するまでプッシュボタンスタートを押し続けてください。
- エンジン始動後、プッシュボタンスタートの表示灯(橙)は消灯し、電源ポジションはON状態になります。
- 冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- 冷間始動後は、排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがあります。部品機能の異常ではありません。
- プッシュボタンスタートを押して、エンジンが始動する前に燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- **(マニュアル車(i-stop 装備車))**
エンスト時、エンジンが完全停止したあと約3秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。
ただし次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んで再始動させることができません。
 - 運転席のドアが開いているとき
 - 運転席のシートベルトが装着されていないとき
 - エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
 - エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

キーが電池切れしたときのエンジン始動

⚠ 注意



禁止

キーの使用について

次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーに他のキーの金属部や金属製のものが接している



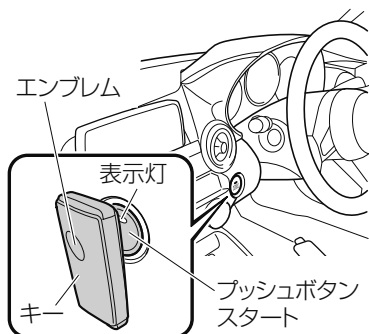
- キーにスペアのキーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある



- キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

キーの電池切れなどで、エンジンが始動できないときは、次の手順でエンジンを始動することができます。

1. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっぱい踏み込み続けます。
3. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅するのを確認します。
4. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅中に、キーのエンブレム中心をプッシュボタンスタートの中心にあわせて重ねます。



5. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯に変わったら、プッシュボタンスタートを押します。

知識

- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンが始動しないようになっています。
- プッシュボタンスタート機能に異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。
- プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯しない場合は、最初から操作を行なってください。それでも点灯しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションの切り替えを行なう場合は、プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯に変わったあと、マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを放してからプッシュボタンスタートを押してください。電源ポジションが ACC、ON、OFF の順に切り替わります。なお、電源ポジションが OFF になると、それ以降は電源ポジションの切り替えができませんので、エンジンを始動する場合は最初から操作を行なってください。

エンジンの停止

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置、オートマチック車はセレクトレバーを P の位置にします。
2. プッシュボタンスタートを押します。エンジンが停止し、電源ポジションが OFF になります。

警告



緊急時以外は、走行中にエンジンを停止しない。

禁止

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

エンジンの始動と停止

知識

- **キーの電池容量について**
電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたとき、キーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内の KEY 表示灯 (緑) が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に KEY 警告表示が表示されます。新しい電池と交換してください。
→370 ページ「キー」
- **電源ポジションについて**
オートマチック車はセレクトレバーが P 以外の位置のときに、プッシュボタンスタートを押してエンジンを停止させると、電源ポジションは ACC になります。
- **電源ポジションを OFF にせずに車から離れると**
メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に KEY 警告表示が表示され、警告チャイムが鳴ります。
→433 ページ「チャイムがなったときは」
- **エンジンルームの冷却について**
エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションを ON から OFF にしても、エアコンの ON/OFF にかかわらずクーリングファンが数分間回転することがあります。

緊急エンジン停止

車両が停止していなくてもプッシュボタンスタートを押し続ける、または素早く何度も押すとエンジンが停止します。電源ポジションは ACC になります。

i-stop について

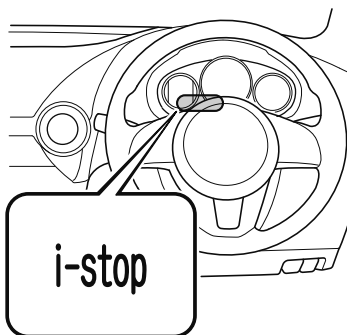
グレード/仕様別装備

i-stop (アイ・ストップ) は、燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

アイドリングストップ・再始動

知識

- 次の条件のときに、i-stop 表示灯 (緑) が点灯します。
 - アイドリングストップ中のとき



- エンジンが再始動すると、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

マニュアル車

1. ブレーキペダル、次にクラッチペダルを踏み込んで、車両を停車させます。
2. クラッチペダルを踏み込んだまま、チェンジレバーをニュートラルの位置にします。クラッチペダルから足を放したあと、アイドリングストップします。
3. クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動します。

オートマチック車

1. 走行状態 (R レンジ、M レンジの 2 速固定モード時以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。
2. D/M (2 速固定モードではない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動します。
3. セレクトレバーが N または P レンジでは、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) または R レンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行ってください。)

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック



さくいん

エンジンの始動と停止

作動条件



作動するとき

次の条件のとき i-stop 表示灯 (緑) が点灯して、アイドリングストップします。

- エンジン暖機後
- エンジンを始動し、一度走行したあと
- ボンネットを閉めて、エンジンを始動したとき
- バッテリーの状態が良好のとき
- 運転席ドア、ボンネットが閉まっているとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- **(マニュアルエアコン)**
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが以外の位置になっているとき
 - 最大風量以外のとき
 - 吹き出し風の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
- **(フルオートエアコン)**
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが以外の位置になっているとき
 - エアコンの温度設定ダイヤルが最大暖房または最大冷房 (A/C ON) 以外の位置になっているとき
 - 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
- i-stop 警告灯 (橙) が点灯/点滅していないとき
- キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能が正常なとき
- ブレーキ負圧が十分に高いとき
- ハンドルを操作していないとき
- **(マニュアル車)**
 - 車速が 3km/h 以下のとき
 - チェンジレバーがニュートラルの位置のとき
 - クラッチペダルを踏んでいないとき
- **(オートマチック車)**
 - 車両が停車しているとき
 - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジのとき
 - オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
 - オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
 - ハンドルがほぼ直進状態のとき (直進状態にしてもハンドルに力がかかっているとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルにかけている力をゆるめてください。)
 - ブレーキペダルを踏んで停車させたとき
 - 急制動ではないとき

作動しないとき

次の条件のとき、アイドリングストップしません。

- 走行せずにアイドリングを続けているとき
- (マニュアルエアコン)
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルがの位置でファン調節ダイヤルが0以外のとき
 - 最大風量のとき
 - 吹き出し風の温度がエアコンの設定温度から大きく外れているとき
- (フルオートエアコン)
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルがの位置になっているとき
 - エアコンの温度設定ダイヤルが最大暖房または最大冷房 (A/C ON) の位置になっているとき
 - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れているとき
- 外気温が非常に低い、または高いとき
- 気圧が低いとき (標高が高いところを走行しているとき)
- (オートマチック車)
 - 急な坂道で停車したとき
 - 停車時のハンドルが直進状態でないとき
- (リトラクタブルハードトップ装備車)
 - リトラクタブルハードトップが作動しているとき

知識

アイドリングストップするまでに時間がかかるとき

- 車両を長時間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
- 外気温が高いとき、または低いとき
- バッテリー交換などによりバッテリー端子をはずしたあと

エンジンの停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなるとき

- 外気温が高いとき、または、低いとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- 車両電装品の消費電力が多いとき

アイドリングストップ中にエンジンが自動で再始動するとき

次のようなときは自動でエンジンを再始動します。

- ボンネットを開けたとき
- 運転席シートベルトを外したとき
- 運転席ドアを開けたとき

運転
前に

運転
中

快適
装備の
使用
が
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た



ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

知識

- i-stop OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
- 外気温が非常に低い、または高いとき
- **(マニュアルエアコン)**
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルがの位置でファン調節ダイヤルを0以外にしたとき
 - 最大風量にしたとき
 - 吹き出し風の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
- **(フルオートエアコン)**
 - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルをの位置にしたとき
 - エアコンの温度設定ダイヤルを最大暖房または最大冷房 (A/C ON) の位置にしたとき
 - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
- 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
- アイドリングストップしてから2分経過したとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- **(オートマチック車)**
 - セレクトレバーがD/M (2速固定モードではない) レンジで、アクセルペダルを踏んだとき
 - セレクトレバーをRレンジにしたとき
 - セレクトレバーをNまたはPレンジからD/M (2速固定モードではない) レンジにしたとき
 - セレクトレバーがD/M (2速固定モードではない) レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
 - セレクトレバーがMレンジで、2速固定モードにしたとき
- **(リトラクタブルハードトップ装備車)**
 - リトラクタブルハードトップスイッチを操作したとき

アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作したとき (オートマチック車)

- アイドリングストップ中にセレクトレバーをD/M (2速固定モードではない) レンジからNまたはPレンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーをD/M (2速固定モードではない) またはRレンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行ってください。)
- アイドリングストップ中にセレクトレバーをD/M (2速固定モードではない) レンジからNまたはPレンジへ操作し、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき、自動でエンジンが再始動します。

知識

バッテリー端子をはずしたとき

バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、i-stop の機能を確認する必要がありますので、マツダ販売店にご相談ください。

i-stop 警告灯 (橙)/i-stop 表示灯 (緑)

i-stop

i-stop は、安心かつ快適にご使用いただくために、運転者の操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、i-stop 警告灯 (橙)/i-stop 表示灯 (緑) によりさまざまな注意を運転者にお知らせします。

知識

マツダコネクト装備車は、i-stop の作動状況を燃費モニターの作動状況表示に表示します。
マツダコネクト取扱書を参照してください。

i-stop 警告灯 (橙)

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- i-stop OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯します。

知識

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき
- エンジンがかかっている状態で、i-stop OFF スイッチを操作しても点灯し続けるとき

点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

エンジンの始動と停止

i-stop 表示灯 (緑)

点灯するとき

- アイドリングストップ中に点灯し、エンジンが再始動すると消灯します。

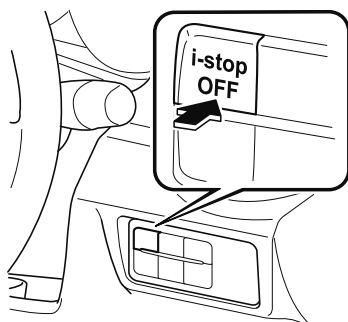
点滅するとき

- (マニュアル車)
 - アイドリングストップ中、チェンジレバーをニュートラル以外の位置にしたとき点滅し、アイドリングストップ中であることをお知らせします。
クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動し消灯します。

i-stop 警告チャイム

アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、自動でエンジンが再始動します。エンジンが再始動すると、チャイムが鳴り止みます。

i-stop OFF スイッチ



スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、i-stop の作動が解除され、メーター内の i-stop 警告灯 (橙) が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけると i-stop が作動可能な状態になり、i-stop 警告灯 (橙) が消灯します。

知識

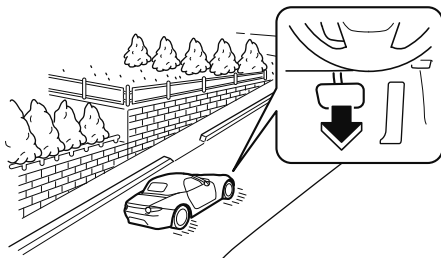
i-stop を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると i-stop は作動可能な状態にもどります。

発進補助装置について (オートマチック車)

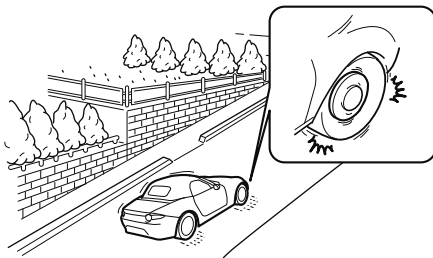
i-stop 装備車には発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中 (車両の後退防止)
- 再始動時 (急なクリーブ現象発生による車両の飛び出し防止)
ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに、ブレーキまたはオートマチックトランスミッションの制御により車両が急に動き出すことを防止しています。

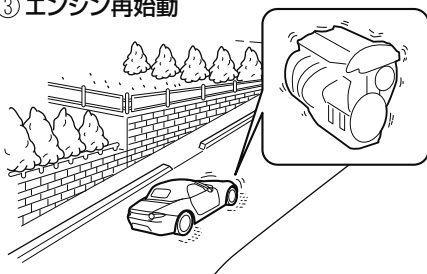
① ブレーキペダルから足を放す



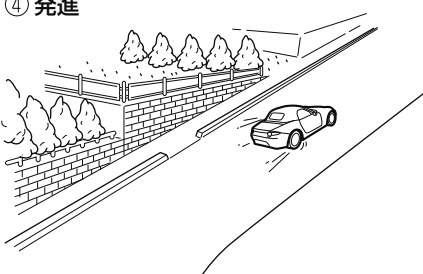
② 車を保持



③ エンジン再始動



④ 発進



運転する
前に

運転する
ヤキ

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

エンジンの始動と停止

警告



必ず守る

システムを過信しない

発進補助機能は、あくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 2 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると、意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。道路の勾配や積載、けん引の状態によって、意図せず車両が動き出す可能性がありますのでご注意ください。



必ず守る

発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放す

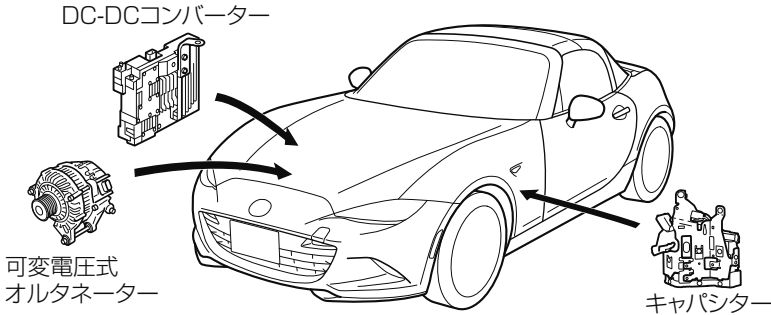
アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。セレクトレバーが N レンジの状態では、発進補助機能が解除されたあとに意図せず車両が動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため発進補助機能は作動しません。
- 発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

i-ELOOP とは グレード/仕様別装備

車が減速する際に発生する運動エネルギーを利用して発電を行うことで、発電に使うエンジン負荷をおさえ、走りの性能と燃費の向上に貢献するシステムです。
大量の電気を瞬時に蓄え、適時に無駄なく電装品の電源として活用します。



! 注意



禁止

次のものには高電流が流れているため触れないでください。

- 可変電圧式オルタネーター
- DC-DC コンバーター
- キャパシター



必ず守る

キャパシターを廃棄する場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。

詳しくは次の URL を参照ください。

<http://mazda.com/recycle/capa/>

📖 知識

- i-ELOOP のエネルギー回生状況を燃費モニターの i-stop/i-ELOOP/気筒休止状態表示に表示します。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

i-ELOOP について

i-ELOOP 表示灯 (緑)/エネルギー回生状況表示

i-ELOOP のエネルギー回生状況や車両状態を、i-ELOOP 表示灯またはエネルギー回生状況表示により、運転者にお知らせします。

i-ELOOP 表示灯 (センターディスプレイ非装備車)

i-ELOOP

エネルギー回生中に点灯します。

エネルギー回生状況表示 (センターディスプレイ装備車)

i-ELOOP のエネルギー回生状況を燃費モニターの i-stop、i-ELOOP 状態表示に表示します。

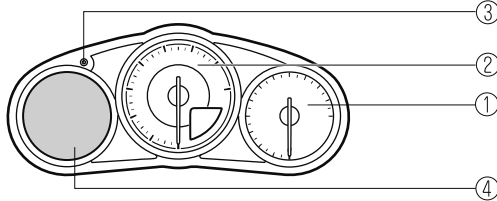
マツダコネクト取扱書を参照してください。

メーター

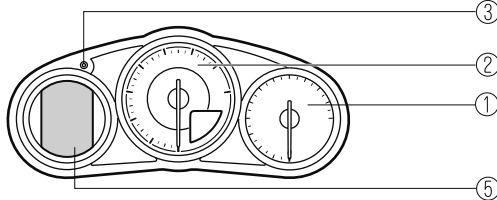
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

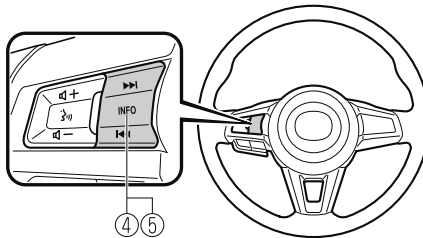
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプA)



マルチインフォメーションディスプレイ (タイプB)



ステアリングスイッチ



- | | |
|-------------------------------------|---------|
| (1) スピードメーター..... | 136 ページ |
| (2) タコメーター..... | 136 ページ |
| (3) パネルライトコントロールスイッチ..... | 137 ページ |
| (4) マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A)..... | 138 ページ |
| (5) マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B)..... | 145 ページ |

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに メーター、警告灯、表示灯の見方

スピードメーター

走行速度を km/h で示します。

タコメーター

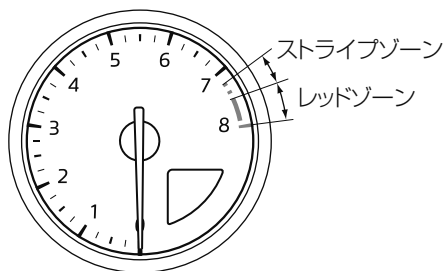
1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

⚠ 注意



必ず守る

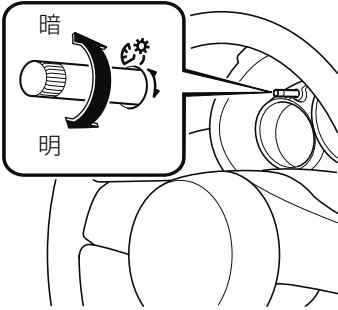
指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。



📖 知識

ストライプゾーンはレッドゾーンに入らないようにするために、早めの変速を促すゾーンです。

パネルライトコントロールスイッチ



電源ポジションが ON で車幅灯が点灯しているときにパネルライトは減光されます。ただし、昼間にライトを点けたときなど、ライトセンサーが車両の周辺が明るいと感知した場合、パネルライトは減光されません。

知識

- 夕方や薄暗い場所で電源ポジションを ON にすると、ライトセンサーが周辺の明るさを感知するまでの数秒間パネルライトが減光され、明るさを感知した後に減光が解除される場合があります。
- 車幅灯が点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。
→181 ページ「ヘッドランプの点灯/消灯」

パネルライトコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストールメントパネルの明るさを調節できます。

- 左にまわすと暗くなり、最も暗い位置で音が鳴ります。
- 右にまわすと明るくなります。

減光解除機能

電源ポジションが ON で、メーターが減光しているときに、パネルライトコントロールスイッチを右に音が鳴るまでまわすと、減光を解除できます。メーターなどが見えにくい場合は減光を解除してください。

知識

- 減光を解除しているときは、車幅灯が点灯しても、メーターは減光されません。
- **(マツダコネクト装備車)**
減光を解除しているとき、センターディスプレイは常に昼画面になります。マツダコネクト取扱書を参照してください。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

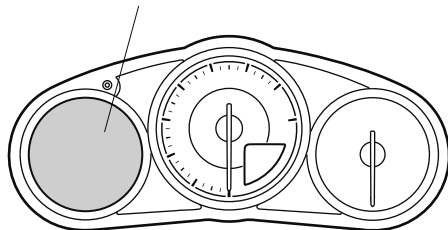
さくいん

2. 運転するときに メーター、警告灯、表示灯の見方

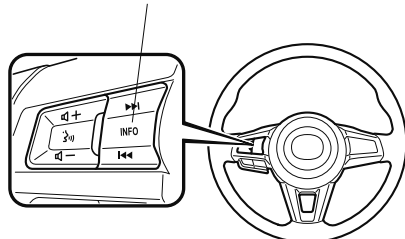
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A)

グレード/仕様別装備

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプA)



INFOスイッチ



マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) は次の情報を表示します。

- オドメーター
- トリップメーター
- 水温計
- 燃料計
- 外気温
- 走行可能距離
- 平均燃費
- 瞬間燃費
- メンテナンスモニター
- 交通標識認識システム (TSR) 表示
- 車線逸脱警報システム表示
- ドライバーアテンションアラート (DAA) 表示
- ルーフ開閉状態表示 (ハードトップ車)
- メッセージ表示画面

INFOスイッチを押すごとに表示が切り替わります。

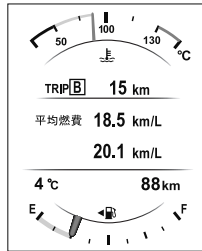
水温計、
トリップメーターA、
平均燃費、瞬間燃費、
外気温、
オドメーター、
燃料計



INFOスイッチを押す

INFOスイッチを押す

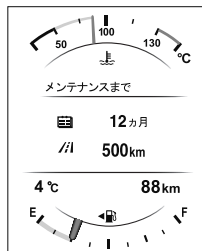
水温計、
トリップメーターB、
平均燃費、瞬間燃費、
外気温、
オドメーター、
燃料計



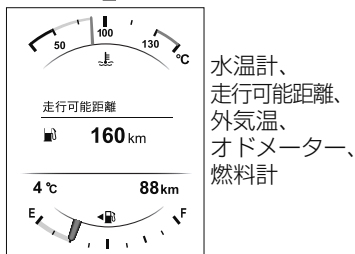
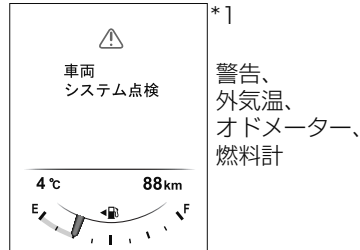
INFOスイッチを押す

INFOスイッチを押す

水温計、
メンテナンスモニター、
外気温、
オドメーター、
燃料計



INFOスイッチを押す



水温計、
走行可能距離、
外気温、
オドメーター、
燃料計

*1：警告があるときのみ表示します。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

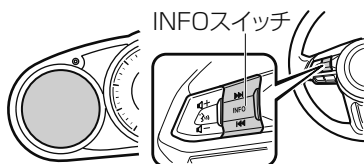
車両スペック

さくいん

2. 運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

オドメーター/トリップメーター



オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

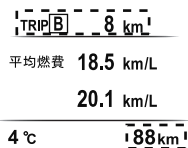
一定区間の走行距離を km 単位で示します (右側の数字は 100 m 単位です)。2 種類 (TRIP A, TRIP B) の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。電源ポジションが ON のとき、INFO スイッチを押すごとに、TRIP A、TRIP B が切り替わります。トリップメーターを “0” にもどすときは、それぞれのモードのときに INFO スイッチを 1 秒以上押します。

トリップ
メーターA、
オドメーター



INFOスイッチを押す ↓

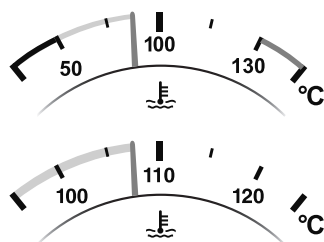
トリップ
メーターB、
オドメーター



知識

- 次のようなときは、トリップメーターの表示が “0” にもどります。
 - 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたとき。
 - 走行距離が 9999.9 km を超えたとき。

水温計



電源ポジションが ON のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

パネルライトコントロールスイッチを押すと、高温域水温計に切り替えることができます。

⚠️ 注意



高水温警告灯（赤）が点滅したときは、オーバーヒートのおそれがあります。エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。

必ず守る

→411 ページ「オーバーヒートについて」

燃料計

Full



電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。

燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。

→427 ページ「処置する」

目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→88 ページ「給油のしかた」

1/4 Full




Empty



燃料が少なくなると、エンジン不調やエンストする場合があります。エンジン不調やエンストが発生する場合は、すみやかに安全な場所へ車を移動させ、燃料を少なくとも 10 L 補給してください。

📖 知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
-  の矢印は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

メーター、警告灯、表示灯の見方

外気温表示

4 °C

電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

走行可能距離表示



160 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の残量目盛りが“E”に近づくか、燃料残量警告表示が表示されたら早めに燃料を補給してください。燃料残量警告表示が表示されると、燃料計の目盛りが 1/4 以上になるまで燃料を加えないと走行可能距離表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。
- お車を購入されたときやバッテリー端子をはずした後など過去の燃費情報がないときは、実際に走行できる距離と異なる数値を表示することがあります。

平均燃費表示

TRIP[A] 8 km

平均燃費 18.5 km/L

20.1 km/L

お車を購入されたとき、または過去のデータをリセットしたときからの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータをリセットするには、INFOスイッチを1.5秒以上押し、トリップメーターを“0.0”にもどします。データをリセットすると、燃費を再算出して表示する前に1分間--- km/Lを表示します。

瞬間燃費表示

TRIP **A** 8 km

走行中の瞬間燃費を、消費燃料から算出して表示します。

平均燃費 18.5 km/L

20.1 km/L


知識

時速が約5 km/h以下になると--- km/Lを表示します。

メンテナンスモニター

メンテナンスまで

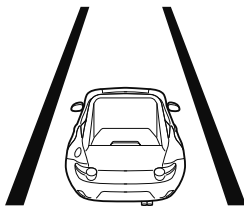
 12ヵ月

 500km

メンテナンスモニターをONにすると、定期点検またはオイル点検/交換の時期をお知らせすることが出来ます。

メンテナンス時期までの残日数が15日以下、または残走行距離が1000 km以下になると、電源ポジションをONにしたときにメッセージが表示されます。メンテナンスモニターの設定方法や表示内容は、メンテナンスモニターを参照してください。マツダコネクト取扱書を参照してください。

車線逸脱警報システム表示



システムの作動状態を表示します。
→207ページ「車線逸脱警報システムとは」

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

交通標識認識システム (TSR) 表示 グレード/仕様別装備



カメラで認識した交通標識を表示します。
→218 ページ「交通標識認識システム (TSR) とは」

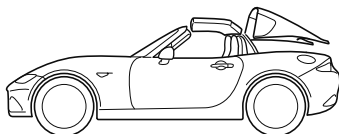
グレード/仕様別装備

ドライバーアテンションアラート (DAA) 表示 グレード/仕様別装備



運転者に休憩を促すメッセージを表示します。
→226 ページ「ドライバーアテンションアラート (DAA) とは」 グレード/仕様別装備

ルーフ開閉状態表示 (ハードトップ車)



ルーフの開閉状態を表示します。
→82 ページ「リトラクタブルハードトップ作動表示」

メッセージ表示

システムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージを表示します。

メッセージと同時にメーター内の警告灯/表示灯が点灯/点滅、またはディスプレイにシンボルが表示されたとき

警告灯/表示灯、または表示されたシンボルの内容を確認してください。
154 ページ「警告表示/警告灯、表示/表示灯」

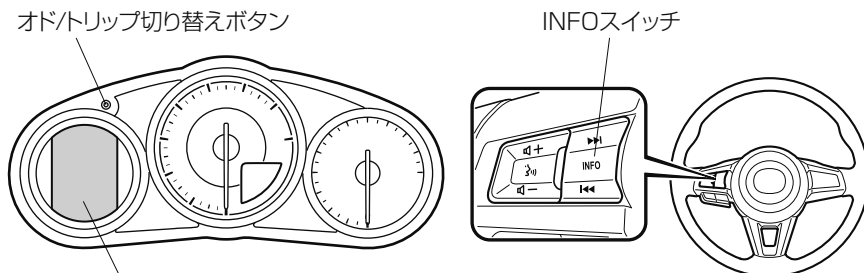
ディスプレイにメッセージのみ表示されたとき

ディスプレイの指示に従ってください。表示の内容については次のページを参照ください。

429 ページ「マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にメッセージが表示されたときは」 グレード/仕様別装備

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B)

グレード/仕様別装備



マルチインフォメーションディスプレイ (タイプB)

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B) は次の情報を表示します。

- オドメーター
- トリップメーター
- 水温計
- 燃料計
- 外気温
- トリップコンピューター

運転
前に
前

運転
中に
中

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

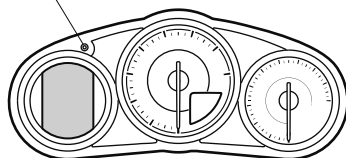
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

メーター、警告灯、表示灯の見方

オドメーター/トリップメーター

オド/トリップ切り替えボタン



オドメーター/トリップメーターが表示されているとき、オド/トリップ切り替えボタンを押すごとに、オドメーターとトリップメーターの表示が切り替わります。

オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します。

右側の数字は 100 m 単位です。

2 種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。

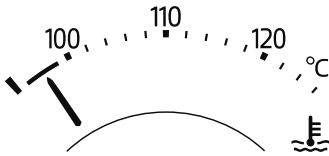
たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。

トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときオド/トリップ切り替えボタンを 1 秒以上押し続けます。

知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター/トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します (ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え/リセットされます)。
 - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
 - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
 - 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたとき。
 - 走行距離が 9999.9 km を超えたとき。
 - **(マツダコネクテッド装備車)**
燃費モニターとトリップメーター (TRIP A) を同期 (リセット) させる機能が ON のときは、トリップメーターで TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が連動してリセットされます。
マツダコネクテッド取扱書を参照してください。
 - **(マツダコネクテッド非装備車)**
トリップメーターで TRIP A をリセットすると、平均燃費データと TRIP A が連動してリセットされます。

水温計



電源ポジションが ON のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

⚠ 注意



必ず守る

高水温警告灯 (赤) が点滅したときは、オーバーヒートのおそれがあります。エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。

→411 ページ「オーバーヒートについて」

📖 知識

- 通常の走行ではエンジン冷却水の温度は 100 °C 以下で安定しており、表示は 100 °C より低い範囲を示します。
- エンジンの負荷が増えてエンジン冷却水の温度が 100 °C を超えたときは、エンジン冷却水の温度を示します。

燃料計

Full



1/4



Empty



電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。

燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。

→427 ページ「処置する」

目盛りが“E” に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→88 ページ「給油のしかた」

燃料が少なくなると、エンジン不調やエンストする場合があります。エンジン不調やエンストが発生する場合は、すみやかに安全な場所へ車を移動させ、燃料を少なくとも 10 L 補給してください。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら


車両スペック

さくいん

2. 運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 1/4 以下の表示は、残量がより詳細に分かるように、目盛りを細かくしています。
-  の矢印は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

外気温表示

外気温

4 °C

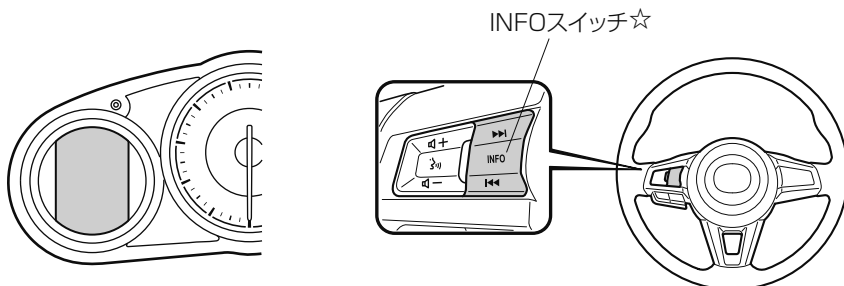
電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

トリップコンピューター



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

電源ポジションが ON のとき、次の情報を表示します。

- 走行可能距離表示
- 平均燃費表示
- 瞬間燃費表示
- 平均車速表示

📖 知識

- 表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、マツダ販売店にご相談ください。

走行可能距離表示

走行可能距離

280 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

📖 知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の残量目盛りが“E”に近づくと、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。燃料残量警告灯が点灯すると、燃料計の目盛りが 1/4 以上になるまで燃料を加えないと走行可能距離表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。
- お車を購入されたときやバッテリー端子をはずした後など過去の燃費情報がないときは、実際に走行できる距離と異なる数値を表示することがあります。

平均燃費表示

平均燃費

17.2 km/L

お車を購入されたとき、または過去のデータをリセットしたときからの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

📖 知識

- **(マツダコネクト装備車)**
燃費モニターとトリップメーター (TRIP A) を同期 (リセット) させる機能が ON のときは、トリップメーターで TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が連動してリセットされます。マツダコネクト取扱書を参照してください。
- **(マツダコネクト非装備車)**
トリップメーターで TRIP A をリセットすると、平均燃費データと TRIP A が連動してリセットされます。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2.運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

瞬間燃費表示

瞬間燃費 **20.0** km/L 走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費を消費燃料から算出して表示します。

知識

車速が約 5 km/h 以下になると --- km/L を表示します。

平均車速表示

平均車速 **20** km/h お車を購入されたとき、または、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押します。データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間 --- km/h を表示します。

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

i-DM はマツダ車の「走る喜び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) ランプ

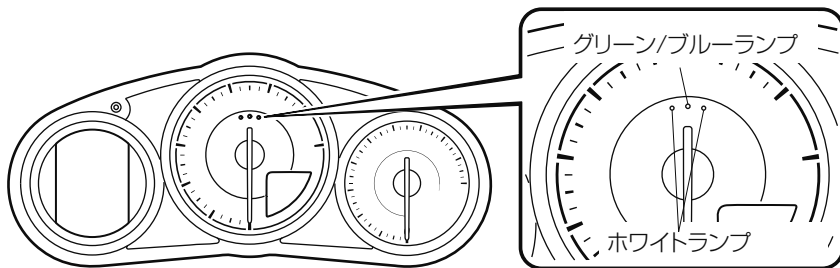
走行中の運転操作（アクセル、ブレーキ、ハンドル）の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の状況を知らせます。（コーチング機能）

知識

- i-DM ランプを非表示にしているときは表示しません。

知識

- i-DM ランプの表示/非表示を変更することができます。
マツダコネクテ取扱書を参照してください。



グリーンランプ

次の運転のときはランプが緑で点灯します。

内容	運転のポイント
やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。	<ul style="list-style-type: none">• 加速をするとき/やめるときに、アクセルペダルをゆっくり踏む/もどす• 減速をするとき/やめるときに、ブレーキペダルをゆっくり踏む/もどす• 旋回をするとき/直進にもどすときに、ハンドルをゆっくり切る/もどす

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

メーター、警告灯、表示灯の見方

ブルーランプ

次の運転のときはランプが青で点灯します。

内容	運転のポイント
<p>しなやかな運転を示します。特に次の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。</p> <p>走行タイプ 1 適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。</p> <p>走行タイプ 2 加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。</p>	<p>走行タイプ 1 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加速をするときに、最適な踏み込み量/速さでアクセルペダルを操作する ● 減速をするときに、最適な踏み込み量/速さでブレーキペダルを操作する ● 旋回をするときに、最適な切り込み量/速さでハンドルを操作する <p>走行タイプ 2 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加速をするときに、一定の加速度を継続するようにアクセルペダルを操作する ● 減速をするときに、一定の減速度を継続するようにブレーキペダルを操作する ● 旋回をするときに、一定の横 G を維持するようにハンドルおよびアクセルペダルを操作する

ホワイトランプ

次の運転のときはランプが白で点灯します。

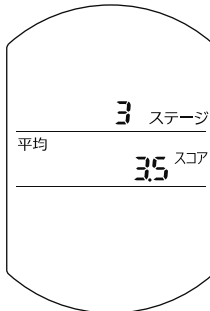
内容	運転のポイント
<p>体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまりよくない運転です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 加速をするとき/やめるときに、アクセルペダルをやや急に踏む/もどす ● 減速をするとき/やめるときに、ブレーキペダルをやや急に踏む/もどす ● 旋回をするとき/直進にもどすときに、ハンドルをやや急に切る/もどす

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示

運転の評価をスコア (点数) で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。ステージの上限を 5th ステージに変更できます。また、これまでの走行履歴をリセットして 1st ステージに戻すことができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

マツダコネクト非装備車

運転終了後、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、現在のステージ、今回のスコア (現在の評価値) とアベレージスコア (過去 10 回のスコアの平均値) を表示します。



マツダコネクト装備車

i-DM の情報をセンターディスプレイに表示します。マツダコネクト取扱書を参照してください。

運転前に

運転中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

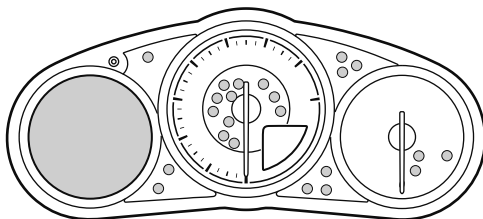
2. 運転するときに メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯、表示灯

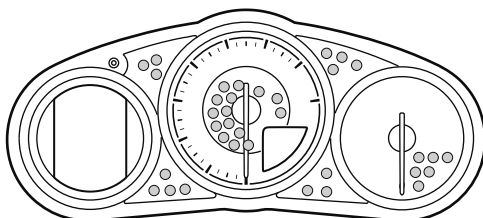
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

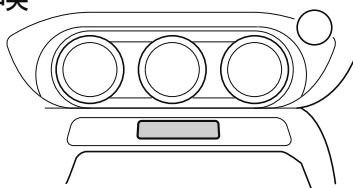
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプA)



マルチインフォメーションディスプレイ (タイプB)












インストルメントパネル中央



警告表示/警告灯

故障時などに表示/点灯/点滅します。

表示	警告灯名称	ページ
(!) (赤)	ブレーキ警告灯*1*2	420

表示	警告灯名称	ページ
	充電警告表示/警告灯*1	420
	オイル警告灯*1	420
 (赤)	高水温警告表示/警告灯*1	420
	電動パワーステアリング警告表示/警告灯*1	420
	マスター警告表示/警告灯*1	422
 (橙)	電動バキュームポンプ警告灯*1	422
	ABS 警告灯*1	422
	エンジン警告灯*1	422
i-stop (橙)	i-stop 警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	点灯したとき 129
		点滅したとき 422
i-ELOOP	i-ELOOP 警告表示/警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
AT	オートマチックトランスミッション警告表示/警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
	エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯*1	422

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用が
かた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	警告灯名称	ページ
	アクティブボンネット警告灯*1	422
	リトラクタブルハードトップ警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
 (橙/白)	KEY 警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	故障したとき 422
		故障以外のとき 427
 (赤)	KEY 警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	点灯したとき 422
		点滅したとき 427
	ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
 (橙)	ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
	アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告表示/警告灯*1 <small>グレード/仕様別装備</small>	422
	車線逸脱警報システム警告表示/警告灯	表示/点灯したとき 422
		点滅したとき 212
 (橙)	ドライバー・アテンション・アラート (DAA) 警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	422



表示	警告灯名称	ページ
	LED ヘッドランプ警告灯*1	422
	燃料残量警告表示/警告灯	427
	シートベルト警告灯	427
	半ドア警告灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	427
	半ドア警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	427
	トランク開警告表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	427
	スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/ 警告灯*1	427

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

*2 パーキングブレーキをかけているときは点灯し続けます。

表示/表示灯

システムが作動中などに点灯/点滅します。

表示	表示灯名称	ページ
	KEY 表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	27
	セキュリティ表示灯*1	90

運転
前に

運転
中

快適
装備の
使用
がた

お手
入れ
の
しか
た







トラ
ブル
が
起き
たら






車両
スペ
ック

さく
いん

2.運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	表示灯名称	ページ
	レンチ表示/表示灯* ¹ <small>グレード/仕様別装備</small>	162
 (青)	低水温表示灯	162
i-stop (緑)	i-stop 表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	129
i-ELOOP (白/緑)	i-ELOOP 表示/表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	134
	セレクトレバー位置表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	167
	車幅灯表示灯	181
	ヘッドランプ上向き表示灯	ヘッドランプが上向き(ハイビーム)のとき 184
		パッシング合図のとき 184
	方向指示/非常点滅表示灯	方向指示灯 186
		非常点滅表示灯 187

表示	表示灯名称	ページ
	TCS/DSC 作動表示灯*1	TCS が作動したとき 196
		DSC が作動したとき 198
		故障したとき 422
	DSC OFF 表示灯*1	199
SPORT	セレクトモードインジケータ <small>グレード/仕様別装備</small>	178
 (緑)	ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	204
	アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	206
	ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯*1	217
	車線逸脱警報システム OFF 表示灯	211

運転する
前に

運転する
ヤレ

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた



トラブルが
起きたら





車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	表示灯名称	ページ
	スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 表示 グレード/仕様別装備	アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) 235
		スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) 245
	スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) / AT 誤発進抑制制御表示灯 グレード/仕様別装備	アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) 234
		AT 誤発進抑制制御 [前進時] 240
		AT 誤発進抑制制御 [後退時] 249

表示	表示灯名称	ページ
	スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯*1	アドバ スト・スマ ート・シテ ィ・ブレー キ・サポー ト (アドバ ンスト SCBS) 235
		AT 誤発進 抑制制御 [前進時] 241
		AT 誤発進 抑制制御 [後退時] 249
 (白)	ドライバー・アテンション・アラート (DAA) 表示 <small>グレード/仕様別装備</small>	227
 (白/橙)	クルーズメイン表示/表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	257
 (緑)	クルーズコントロール表示/表示灯 <small>グレード/仕様別装備</small>	257

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

運転する
前に

運転する
ために

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

レンチ表示/表示灯

グレード/仕様別装備



あらかじめ設定されたメンテナンス時期になると点灯します。
設定/リセット方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

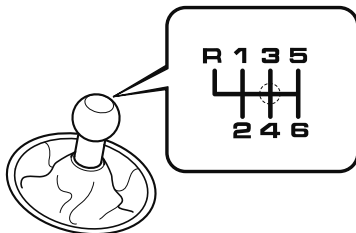
低水温表示灯 (青)



エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続けます。
十分に暖機しても点灯したままのときはマツダ販売店で点検を受けてください。

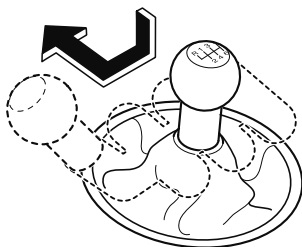
2.運転するときに マニュアルトランスミッションの使いかた

マニュアルトランスミッション



チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。

○ ニュートラル位置



マニュアルトランスミッションは、シフトの誤操作を防ぐ装置が装備されています。Rに入れるときは、チェンジレバーを下方向へ押ししながらR方向へ操作してください。

⚠ 注意



必ず守る

Rに入れるときは、車が完全に止まってから行なってください。トランスミッションの故障につながるおそれがあります。



禁止

5速から4速に変速するときは、チェンジレバーを横方向に押し過ぎないでください。思いがけず2速に入りトランスミッションの故障につながるおそれがあります。



禁止

Rに入れるとき以外は、誤操作を防ぐためにチェンジレバーを下方向へ押さないでください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

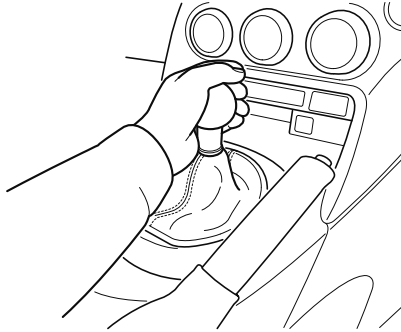
車両スペック

さくいん

マニュアルトランスミッションの使いかた

知識

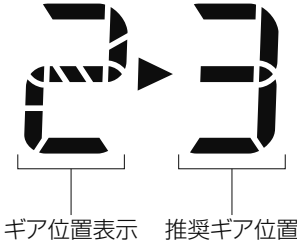
- センターコンソールボックスへひじを置かず、チェンジレバーを横から軽く包み込むように握ると自然な姿勢で運転できます。



- Rに入らないときは、チェンジレバーをニュートラル位置にもどし、クラッチペダルを踏み直して、再度操作してください。
- **(i-stop 装備車)**
エンスト時、エンジンが完全停止したあと 3 秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。
次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。
 - 運転席のドアが開いているとき
 - 運転席のシートベルトが装着されていないとき
 - エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
 - エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

ギア・シフト・インジケーター (GSI)

GSIは、燃費のよい快適な走行をサポートします。メーター内で選択したギア位置を表示し、実際の走行状態に適したギア位置に変更するよう運転者に知らせます。



表示	内容
ギア位置表示	現在のギア位置を表示
推奨ギア位置	走行状態に適したギア位置を表示

⚠️ 注意



必ず守る

GSIを過信しないでください。実際の走行状況では、表示と異なるシフト操作が必要な場合があります。変速する前に道路や周囲の状況を正確に判断してください。

📖 知識

次のようなとき、GSIは表示しません。

- 停車時
- チェンジレバーがニュートラル位置またはRのとき
- 後退時
- 発進時、クラッチを完全につないでいないとき
- 走行中に2秒以上クラッチペダルを踏み続けたとき

運転する前に

運転する

快適装備の使用

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

オートマチックトランスミッションの使いかた

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンすることができます。

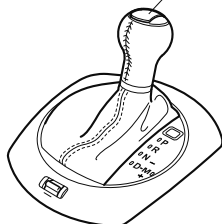
- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

知識

アクセルペダルを踏み込んでいくと途中で重くなり、さらに踏み込むと軽くなります。この踏力の変化はキックダウンさせるためのアクセルペダルの踏み込み量を容易に認識し、キックダウンさせる・させないをコントロールするための機能です。

各位置の動き

セレクトレバーボタン



□ P

□ R

□ N —

□ D-M □
+

P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。

R (リバース)

車を後退させる位置。

チャイムが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。

エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D (ドライブ)

通常走行する位置。

車速に応じて 1 速から 6 速までを自動変速します。

M (マニュアル)

マニュアル走行する位置。

ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

→169 ページ「マニュアルモード」

セレクトレバー位置表示



電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示します。

ギヤ位置表示

マニュアルモードのとき使用しているギヤ位置を表示します。

AAS モードについて

AAS (アクティブアダプティブシフト) モードとは、運転者が快適に運転するため、道路の状況や運転者の操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。セレクトレバーが D の状態で、登り坂や下り坂、コーナーや高地を走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することで AAS モードになる場合があります。走行状態、路面状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが遅れたり、行なわれない場合がありますが、異常ではありません。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

オートマチックトランスミッションの使いかた

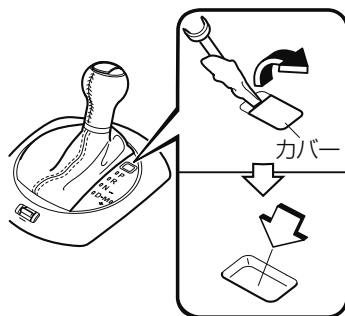
シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

知識

電源ポジションが ACC または OFF のときは、セレクトレバーを P から動かすことはできません。

シフトロック装置の解除

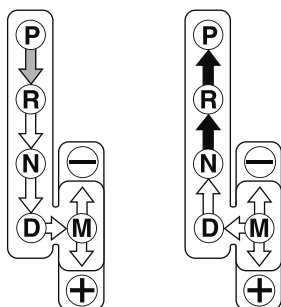


万一、セレクトレバーを P から操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押したまま、セレクトレバーボタンを押してセレクトレバーを操作します。

知識

マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

セレクトレバーの操作



レバー操作	
→	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
→	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作します。
→	セレクトレバーボタンを押して操作します。

📖 知識

● 誤作動防止について

⇨の操作は、誤作動防止のため、ギヤ位置ごとに節度をつけ確実にこなしてください。

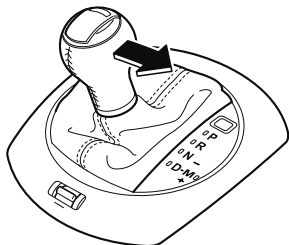
● 先にブレーキペダルを踏んでから操作する

セレクトレバーをPから操作するとき、セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

運転する前に

運転する前に

マニュアルモード



セレクトレバーをDからMに入れるとマニュアルモードになります。

マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

セレクトレバーをMからDに入れるとマニュアルモードが解除されます。

快適装備の使用が

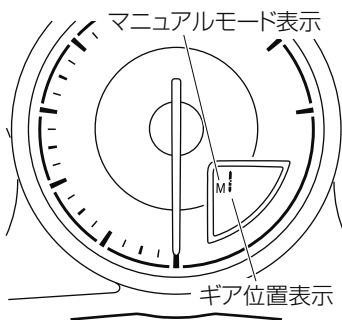
お手入れのしかた

📖 知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギアは1速になります。
- Dレンジ5速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギアは4速になります。また、Dレンジ6速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギアは5速になります。

トラブルが起きたら

表示灯



マニュアルモード表示

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示のMが表示されます。

ギヤ位置表示

ギヤ位置が表示されます。

高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が2回点滅します。

車両スペック

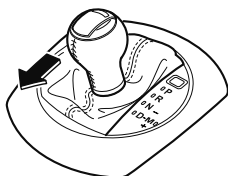
さくいん

オートマチックトランスミッションの使いかた

シフトアップのしかた

セレクターレバーまたはステアリングシフトスイッチによりシフトアップ (M1→M2→M3→M4→M5→M6) することができます。

セレクターレバー



セレクターレバーでの操作

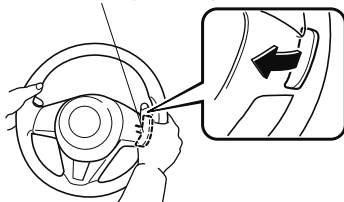
セレクターレバーを十側に動かすとシフトアップ (高速ギアに変速) します。

ステアリングシフトスイッチでの操作

ハンドル右裏側の UP スイッチ (+/OFF) を手前に引くとシフトアップ (高速ギアに変速) します。

ステアリングシフトスイッチ

UP スイッチ (+/OFF)



知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードではタコメーターの指針がレッドゾーンに入らないように運転してください。なお、アクセルペダルをいっばいに踏み込んでいる間は自動変速に切り替わります。
ただし、DSC を OFF にしているときは、この機能は停止されます。また、エンジン回転が高い状態で連続走行されたときには、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。
- ステアリングシフトスイッチは、走行中セレクターレバーが D レンジでも、一時的に使用することができます。また、UP スイッチ (+/OFF) を一定時間以上手前に引いたときは自動変速にもどります。

運転する
前に

運転する
ために

快適装備の
使用に
かた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

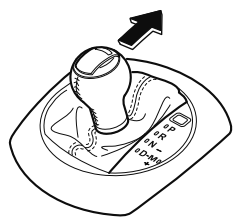
車両
スペック

さく
いん

シフトダウンのしかた

セレクトレバーまたはステアリングシフトスイッチによりシフトダウン (M6→M5→M4→M3→M2→M1) することができます。

セレクトレバー



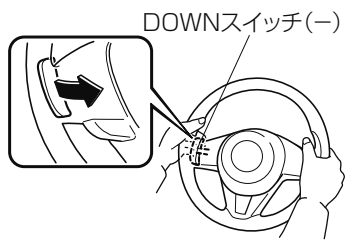
セレクトレバーでの操作

セレクトレバーを一側に動かすとシフトダウン (低速ギアに変速) します。

ステアリングシフトスイッチでの操作

ハンドル左裏側の DOWN スイッチ (ー) を手前に引くとシフトダウン (低速ギアに変速) します。

ステアリングシフトスイッチ



警告

必ず守る 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避ける。
タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでも、アクセルペダルをいっぱい踏み込むとキックダウンします。ただし、DSC を OFF にしているときは、キックダウンしません。
→166 ページ「オートマチック車の特性」

2.運転するときに

オートマチックトランスミッションの使いかた

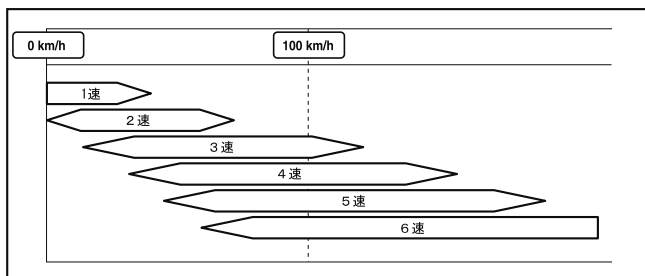
2 速固定モード

車速が約 10 km/h 以下のときにセレクトレバーを十側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギア位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。

2 速固定モードのときに、セレクトレバーを十側または一側に動かして 2 速以外にすると 2 速固定モードは解除されます。

シフトチェンジ (変速) 制限速度

マニュアルモードでは、各ギア位置において次の表のような制限速度を設けています。制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



シフトアップ

制限速度より低いときはシフトアップしません。

シフトダウン

制限速度を超えているときはシフトダウンしません。

制限速度を超えていてシフトダウンしなかった場合には、ギア位置表示が 2 回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっばいに踏み込むと、キックダウンします。ただし、DSC を OFF にしているときは、キックダウンしません。

知識

2 速固定モード時も、キックダウンします。

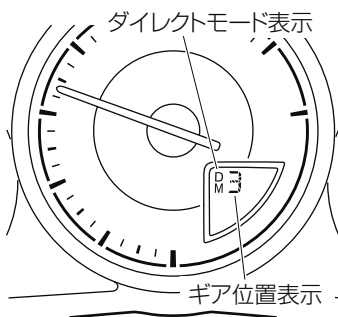
オートシフトダウン

減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。

知識

2速固定モード時は、2速のまま停車します。

ダイレクトモード



セレクトレバーをDの位置で走行中、ステアリングシフトスイッチを操作すると一時的にギア位置を切り替えることができます。ダイレクトモードのときは、メーターにDとMが表示され、使用しているギア位置が表示されます。ダイレクトモードは、次の状態になると解除されます。

- UPスイッチ(+/OFF)を一定時間以上手前に引いたとき
- 一定時間以上走行したとき(操作時の走行状態により時間は異なります)
- 停車したとき、または、低速走行になったとき

オートマチック車を運転するときに

発進または後退するとき

警告



セレクトレバーがPまたはNの位置のときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行ないますので、アクセル操作は慎重に行なってください。

1. ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
前進…D、M
後退…R
2. セレクトレバーの位置を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルを踏み発進します。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに

オートマチックトランスミッションの使いかた

注意



後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。

必ず守る

知識

- セレクトレバーを R の位置に入れるとチャイムが鳴り、セレクトレバーが R の位置に入っていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーを R に入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを N にもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルを踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき

通常走行

セレクトレバーを D に入れて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。

ギヤは 1 速から 6 速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーを D から M に入れると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→169 ページ「マニュアルモード」

急加速

セレクトレバーが D または M のとき、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

知識

セレクトレバーが M で DSC を OFF にしているときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでも自動変速されません。セレクトレバーを操作してください。

急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないためらかな走行ができます。

下り坂での走行

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギアにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて1段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーをNまたはPに入れます。

警告



停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。

セレクトレバーがP、N以外に入っているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。



停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置に入れ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーをPに入れます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジンを止めます。

警告



駐車するときは、セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかける。パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPに入れただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。



エンジンをかけたまま駐車しない。

万一セレクトレバーがP、N以外に入っていた場合、クリーブ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に

運転する

快適装備の使用

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2.運転するときに

オートマチックトランスミッションの使いかた

注意



必ず守る

セレクトレバーをPに入れるときは、車を完全に止めてから行なってください。
車が完全に止まる前にセレクトレバーをPに入れると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること

警告



禁止

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライブセレクションとは (オートマチック車)

ドライブセレクションとは、車両の走行モードを切り替えることができるシステムです。スポーツモードを選択すると、アクセルペダルを踏み込んだときの車両応答性が高められます。より安全に高速道路に合流したり、追い越したりしたいときにご使用ください。

⚠ 注意

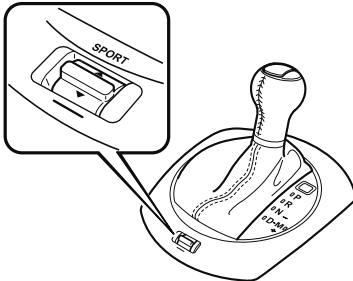


めれた路面や積雪路などすべりやすい路面を走行しているときは、スポーツモードの使用を避けてください。タイヤがスリップするおそれがあります。

📖 知識

- スポーツモードを選択すると、高いエンジン回転数での走行が多くなり、燃費が悪化することがあります。通常時はスポーツモードを解除して走行することをおすすめします。
- 次のようなときは、走行モードの切り替えはできません。
 - ・ ABS/TCS/DSC が作動しているとき
 - ・ (クルーズコントロール装備車)
クルーズコントロールで定速走行をしているとき
 - ・ 急激なハンドル操作を行なっているとき

ドライブセレクションスイッチ



ドライブセレクションスイッチを**SPORT**側 (前方) に押すと、スポーツモードになります。ドライブセレクションスイッチを**OFF**側 (手前) に引くと、スポーツモードが解除されます。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使用は

お手入れの

トラブルが

車両

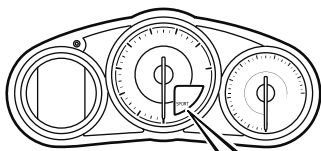
さく

ドライブセレクションについて

知識

- 次の操作をするとスポーツモードは解除されます。
 - 電源ポジションを OFF にしたとき。
 - **(クルーズコントロール装備車)**
クルーズコントロールを設定したとき。
- スポーツモードを選択したときの走行状態によっては、シフトダウンしたり、少し加速したりすることがあります。

セレクトモードインジケータ



スポーツモードを選択しているときに、メーター内のセレクトモードインジケータが点灯します。

SPORT

知識

走行モードを切り替えることができないときは、セレクトモードインジケータが点滅してお知らせします。

ブレーキの操作

パーキングブレーキ

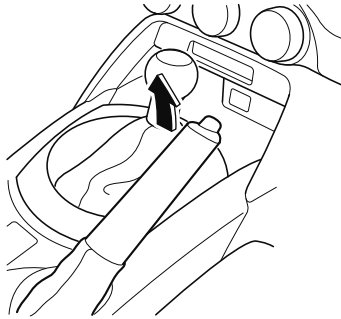
⚠ 警告



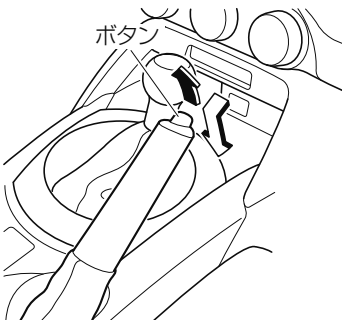
禁止

パーキングブレーキをかけたまま走行しない。
ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

かけるとき



解除するとき



レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

運転する
前に

運転する
とき

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに サスペンション

車高調整式サスペンション グレード/仕様別装備

車高調整を行なうことができます。
調整を行なう場合は、必ずマツダ販売店で行なってください。

警告



必ず守る

調整には専門知識が必要です。必ずマツダ販売店で行なってください。

正しい方法で調整しないと車の走行安定性や操縦性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ランプスイッチ

ヘッドランプの点灯/消灯

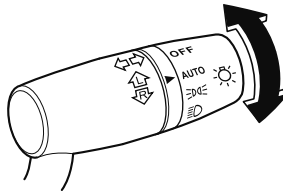
電源ポジションが ON のとき使用できます。車幅灯、尾灯、番号灯のみ電源ポジションが ON 以外でも使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。

各ランプが点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。



知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 対向車がまぶしくないヘッドランプを採用しています。そのため、海外のような一時的な右側通行で使用するときでも、ヘッドランプの光軸を調整する必要はありません。



OFF
↓
AUTO
↓
☰☺☻
↓
☰☺☻

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん


2. 運転するときに スイッチの使いかた

電源ポジション	ACC もしくは OFF				ON			
	OFF* 1	AUT 0	☺☹☺	☹☺☹	OFF* 1	AUT 0	☺☹☺	☹☺☹
ヘッドランプ	消灯	消灯	消灯	消灯	自動で点灯/消灯*2*4		自動で点灯/消灯*3*4	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯*5	点灯	点灯*5			点灯	

- *1 ランプスイッチは自動で AUTO の位置に戻ります。
- *2 夜間はヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動で点灯します。
- *3 車幅灯、尾灯、番号灯は、昼夜問わず自動で点灯します。ヘッドランプは、昼間は自動で消灯し、夜間は自動で点灯します。
- *4 停車中にランプスイッチを OFF の位置に切り替えると、点灯しているランプがすべて消灯します。停車中にランプスイッチを ☺☹☺ 以外の位置から ☺☹☺ の位置に切り替えると、ヘッドランプが消灯します。消灯したランプは、車両を発進させると、再び点灯します。
- *5 ランプが点灯しているときに、電源ポジションを ON から ON 以外にしても、ランプは点灯し続けます。運転席ドアを開く、または点灯状態が 30 秒経過すると消灯します。

オートライト機能

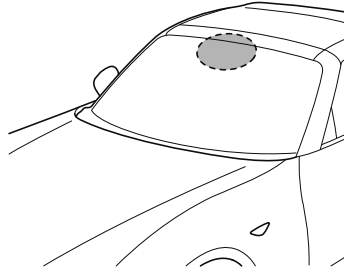
電源ポジションが ON のとき使用できます。

ランプスイッチを AUTO、 の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯/消灯します。

注意



フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



知識

車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを変更することができます。マツダコネクト取扱書を参照してください。

ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、電源ポジションを OFF にして、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

知識

ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更することができます。マツダコネクト取扱書を参照してください。

運転する
前に

運転する
ヤマト

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

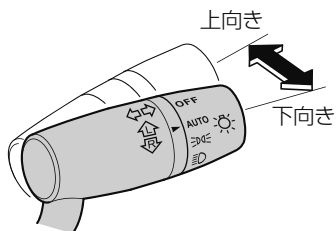
トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2.運転するときに スイッチの使いかた

ヘッドランプの切り替え

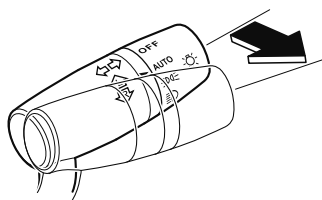


レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。



ヘッドランプが上向き (ハイビーム) で点灯しているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

パッシング合図



電源ポジションが ON のとき使用できます。ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き (ハイビーム) で点灯します。

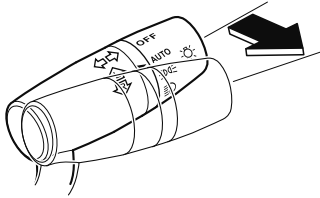


同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

カミング・ホーム・ライト

レバーを操作すると、ヘッドランプ (下向き) を点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションが ACC または OFF のときに、レバーを引くとヘッドランプが下向き（ロービーム）で点灯します。ドアを閉めてから一定時間経過すると消灯します。

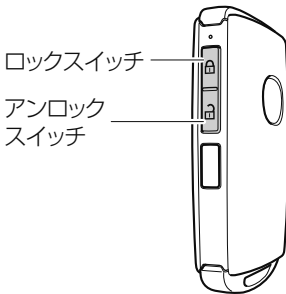
知識

- すべてのドアを閉めてからヘッドランプが消灯するまでの時間を変更することができます。マツダコネクテ取扱書を参照してください。
- レバーを引いたあと、何も操作しない状態が 3 分間続いた場合、ヘッドランプは消灯します。
- ヘッドランプが点灯中に、もう一度レバーを引くとヘッドランプは消灯します。

リービング・ホーム・ライト

車両から離れているときにキーのアンロックスイッチを押すと、ランプを点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションおよびランプスイッチが、次の状態のときにキーのアンロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信するとランプが点灯します。一定時間（30 秒）経過すると消灯します。

- 電源ポジション: OFF
- ランプスイッチ: 、、AUTO

リービング・ホーム・ライトを作動させると、次のランプが点灯します。ヘッドランプの下向き（ロービーム）、車幅灯、尾灯、番号灯

知識

- リービング・ホーム・ライトの作動/非作動を変更することができます。マツダコネクテ取扱書を参照してください。
- キーのロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信すると消灯します。
- ランプスイッチを OFF にすると消灯します。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

ヘッドランプレベリング

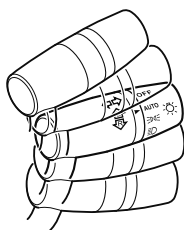
ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

方向指示器

方向指示器の操作

電源ポジションが ON のとき使用できます。

方向指示器



左折
↓
左に
車線変更
↓
OFF
↓
右に
車線変更
↓
右折

車線変更する場合

レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

左折、または右折する場合

レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

方向指示灯



知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器のブザーの音量を変更することができます。マツダコネクト取扱書を参照してください。

スリーフラッシュターンシグナル

レバーを操作し、すぐに手を離すと方向指示灯が3回点滅します。

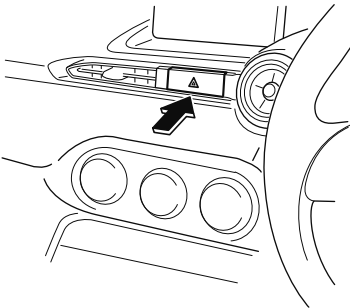
知識

スリーフラッシュターンシグナルの作動/非作動を変更することができます。
マツダコネクテ取扱書を参照してください。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

非常点滅灯スイッチ



スイッチを押すとすべての方向指示灯および、メーター内にある非常点滅表示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。

非常点滅表示灯



知識

- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。
→195 ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」
- エマージェンシーシグナルシステム (ESS) 作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させ、後続車に注意をうながします。
→195 ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

ワイパー/ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

警告



寒冷地では不凍液が入ったウォッシャー液を使用する。また寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスを温めてから行なう。
寒冷時に不凍液が含まれないウォッシャー液を使用した場合、フロントガラス上で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシャー液を噴射する前に、デフロスターを使用してフロントガラスが十分に温まっていることを確認してください。

注意



凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。



ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。



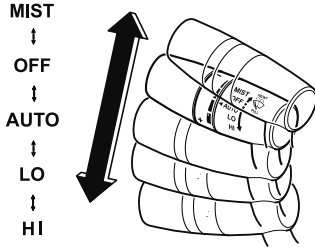
ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。マツダ販売店にご相談ください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを OFF の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

ワイパー/ウォッシャー

ワイパーの操作



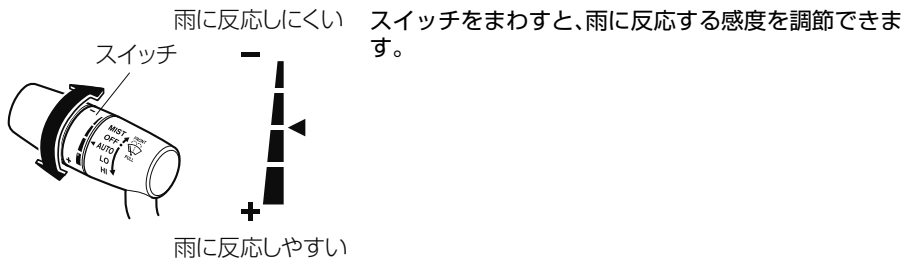
レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
AUTO	オートワイパー機能/間欠作動*1
LO	低速作動
HI	高速作動

*1 オートワイパー機能は、設定変更で作動/非作動を変更することができます。オートワイパー機能を非作動にすると、間欠作動に固定されます。マツダコネクタ取扱書を参照してください。

オートワイパー機能

レバーを AUTO の位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動



運転前に

運転する

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

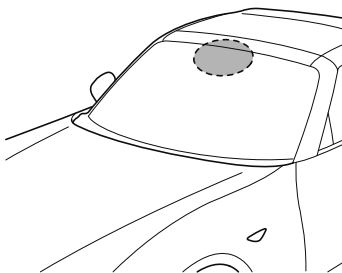
スイッチの使いかた

⚠ 注意



禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の雨量を感知できなくなり、オートワイパー機能が正常に作動しないことがあります。



禁止

・電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、次のような場合はワイパーが自動で作動することがあります。

- フロントガラスのレインセンサー上部に触れたり、布などで拭いたとき。
- フロントガラスや車内のレインセンサー部に衝撃が加わったとき。



必ず守る

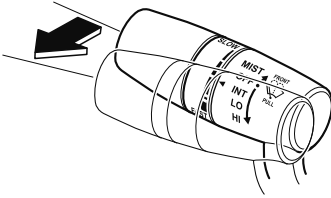
電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、フロントガラスやワイパーを触らないでください。ワイパーが自動で作動し、指を挟んだり、ワイパーが損傷するおそれがあります。

氷や雪を除去する、またはフロントガラスを清掃するときは、確実にワイパーレバーが OFF の位置になっていることを確認してください。

📖 知識

- レインセンサーの温度が -10°C 以下、または 85°C 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物（氷や塩水などを含むもの）が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを LO または HI にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線などの影響により、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーを OFF の位置にして走行することをおすすめします。

ウォッシャーの操作

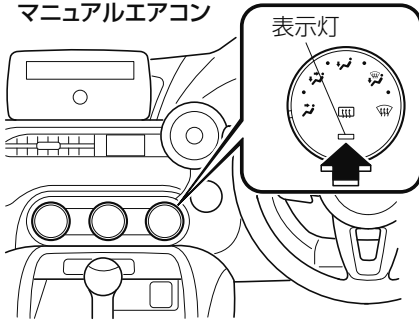


レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

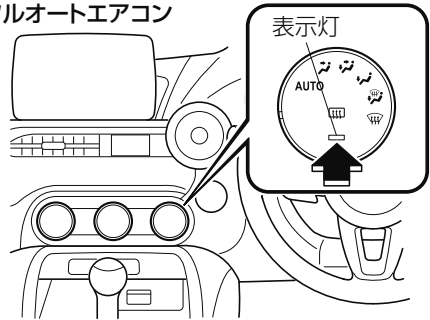
リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ

リアウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。
電源ポジションが ON のとき使用できます。
スイッチを押すと約 15 分間作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。

マニュアルエアコン



フルオートエアコン



⚠ 注意



禁止

リアウインドーの内側には熱線が取り付けられています。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。

→380 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」



必ず守る

ソフトトップまたはリトラクタブルハードトップを開けるときは、リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチが OFF になっていることを確認してください。デフォグガーの熱でソフトトップやリトラクタブルハードトップ、内装材が損傷するおそれがあります。

運転する前に

運転する

快適装備の使用がた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

知識

- エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ホーン

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

ABS とは

ABS (アンチロックブレーキシステム) は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

警告



ABS を過信せず安全運転に心がける。
ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることもあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凹凸道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

注意



前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じることがあります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

知識

- ABS は低速 (約 10 km/h 以下) では作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後に、モーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) について

ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) とは

HLA とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。

急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。

- **(マニュアル車)**
チェンジレバーが R 以外のときは上り坂で作動し、R の位置のときは下り坂で作動します。
- **(オートマチック車)**
セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R の位置のときは下り坂で作動します。

警告



HLA を過信しない。

HLA はあくまでも発進するときの補助機能です。システムが作動する時間は限られています (約 2 秒間) ので、アクセルやブレーキの適切な操作を怠ると、車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあるため危険です。発進時は周囲の安全を確認してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 緩勾配の坂道では HLA が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときや、車両が完全に停車していないときは HLA は作動しません。
- HLA 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/DSC 作動表示灯が点灯しているときは、HLA が作動しないことがあります。
- DSC OFF スイッチを押して TCS/DSC を解除しても HLA は解除されません。

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は、急ブレーキをかけた時の车速が約 55 km/h 以上の時に、すべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させ、後続車に注意をうながすシステムです。

知識

- **点滅について**
すべての方向指示灯が高速点滅中に停車した場合、すべての方向指示灯は通常の周期で点滅します。このときは、非常点滅灯スイッチを操作するとすべての方向指示灯が消灯します。
- **作動について**
 - ・ ABS 作動時は、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しやすくなります。そのため、すべりやすい路面でブレーキを踏むと、すべての方向指示灯が点滅することがあります。
 - ・ 非常点滅灯スイッチが操作されると、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は作動しません。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS とは

TCS (トラクションコントロールシステム) は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

警告



TCS を過信せず安全運転に心がける。

TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じるがありますが、異常ではありません。
- TCS を解除するときは、DSC OFF スイッチを押して解除してください。
→198 ページ「DSC OFF スイッチ」

TCS/DSC 作動表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について

DSC とは

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

DSC は約 20 km/h 以上で作動可能な状態になります。
「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。

→193 ページ「ABS とは」

→196 ページ「TCS とは」

警告



必ず守る

DSC を過信せず安全運転に心がける。

DSC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

特に TCS/DSC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。

注意



必ず守る

DSC を正常に作動させるために次の点をお守りください。

- 前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン (溝の模様) が同一のタイヤを装着してください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- 指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。

知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

TCS/DSC 作動表示灯



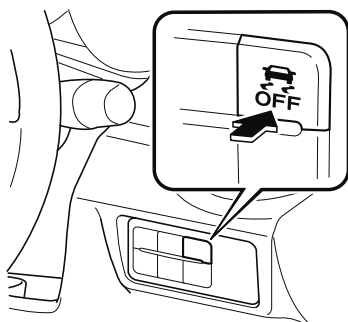
点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

DSC OFF スイッチ



スイッチを押すと TCS/DSC/キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC)*¹ が停止され、メーター内の DSC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度押すと TCS/DSC/KPC*¹ が作動可能な状態になり、DSC OFF 表示灯が消灯します。

*¹ KPC は、急なカーブなどでブレーキを制御して旋回時のロール姿勢を安定させる機能です。なお、KPC の作動状態をお知らせする機能はありません。

知識

- むかみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS/DSC を停止します。
- TCS/DSC を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS/DSC は作動可能な状態にもどります。
- TCS/DSC を停止したときは、TCS/DSC が装備されていない車と同じ走行性能になります。
- DSC OFF スイッチを 10 秒以上押し続けると、その後 DSC OFF スイッチを押しても TCS/DSC を停止することができなくなります。その場合、一度電源ポジションを OFF にして、再度電源ポジションを ON にすると、通常の DSC OFF スイッチの操作が可能になります。

知識

- DSC OFF スイッチを押して、DSC OFF 表示灯が点灯していても、車速が 6 km/h 以下の場合には TCS は作動します。

DSC OFF 表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- DSC OFF スイッチを押して、TCS/DSC を停止すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - TCS/DSC を停止していないのに点灯したとき。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

i-ACTIVSENSE とは

i-ACTIVSENSE (アイ・アクティブセンス) とは、フォワードセンシングカメラ (FSC) やレーダーセンサーなどの検知システムを利用したマツダの先進安全・運転支援システムの総称です。これらのシステムは、アクティブセーフティ技術とプリクラッシュセーフティ技術で構成されています。

これらのシステムはあくまで、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、運転負荷や事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

アクティブセーフティ技術とは

アクティブセーフティ技術とは、安全・安心な運転を支援し、事故を未然に防止する技術です。

認知支援システム

夜間視界

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC).....	202 ページ
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH).....	205 ページ

左右側面・後側方認知

車線逸脱警報システム.....	207 ページ
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM).....	213 ページ

標識認知

交通標識認識システム (TSR).....	218 ページ
-----------------------	---------

運転者疲労検知

ドライバー・アテンション・アラート (DAA).....	226 ページ
------------------------------	---------

駐車場発進時後方認知

リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA).....	228 ページ
--------------------------------	---------

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

プリクラッシュセーフティ技術とは

プリクラッシュセーフティ技術とは、事故が避けづらい状況での衝突回避、避けられず衝突した際の被害低減を図る技術です。

低速度域衝突被害軽減

前進時

アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)... 232 ページ
AT 誤発進抑制制御 [前進時].....237 ページ

後退時

スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)..... 241 ページ
AT 誤発進抑制制御 [後退時].....246 ページ

カメラ、センサーについて

フォワードセンシングカメラ (FSC)

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、車線表示を検知したり、夜間走行時にはヘッドランプ、テールランプ、街灯を認識したりしています。また、前方の車両や歩行者、障害物も認識します。フォワードセンシングカメラ (FSC) は、次のシステムが共用しています。

- ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)
- アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)
- 車線逸脱警報システム
- 交通標識認識システム (TSR)
- ドライバー・アテンション・アラート (DAA)
- アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)
- AT 誤発進抑制制御 [前進時]

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、フロントガラスの上のルームミラー付近に設置されています。
→250 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」

レーダーセンサー (リア)

レーダーセンサー (リア) は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。レーダーセンサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA)

レーダーセンサー (リア) はリアバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。
→254 ページ「レーダーセンサー (リア) について」

i-ACTIVSENSE について

超音波センサー (フロント)

超音波センサー (フロント) は、超音波センサーから送信される超音波が前方の障害物に反射し、もどってきた超音波を受信することによって対象物を検知します。超音波センサー (フロント) は AT 誤発進抑制制御 [前進時] で使用しています。

超音波センサー (フロント) はフロントバンパーに設置されています。

→256 ページ「超音波センサー (フロント) について」 グレード/仕様別装備

超音波センサー (リア)

超音波センサー (リア) は、超音波センサーから送信される超音波が後方の障害物に反射し、もどってきた超音波を受信することによって対象物を検知します。超音波センサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)
- AT 誤発進抑制制御 [後退時]

超音波センサー (リア) はリアバンパーに設置されています。

→256 ページ「超音波センサー (リア) について」

ハイビームコントロールシステム (HBC) とは グレード/仕様別装備

HBC は、フォワードセンシングカメラ (FSC) を使用することにより夜間走行時に前方の状況を判断し、ヘッドランプの上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を自動的に切り替えるシステムです。

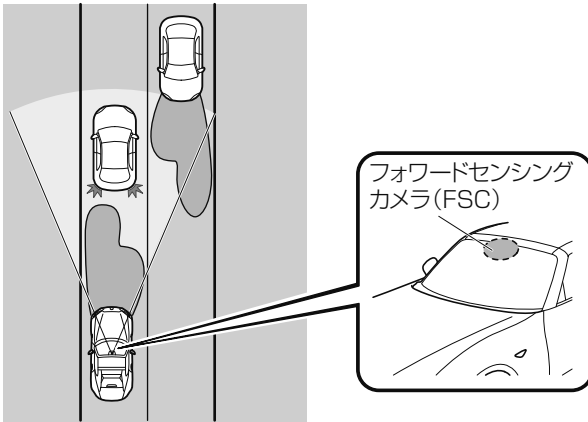
→250 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」

車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がいなときは、ヘッドランプは上向き (ハイビーム) に切り替わります。

次のときは、ヘッドランプは下向き (ロービーム) に切り替わります。

- 前方に前方車や対向車のランプ類を検知したとき
- 街灯が並んでいるエリアや、路面の明るい街中を走行しているとき
- 車速が約 20 km/h 未満のとき

HBC が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。



⚠ 注意



禁止

サスペンションの改造、ヘッドランプユニットの改造、カメラの取りはずしを行わないでください。HBC が正常に作動しなくなるおそれがあります。



必ず守る

システムを過信せず、常に周囲の状況に注意を払い、必要に応じて上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を手動で切り替えるなど、安全運転に心がけてください。

📖 知識

次のような状況では、ヘッドランプの切り替わるタイミングが変化することがあります。適切に切り替わらない場合は、視界や道路状況、交通状況に応じて、上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を手動で切り替えてください。

- 周囲に街灯、電光掲示、信号機などの光源があるとき
- 周囲に反射板や標識などの反射物があるとき
- 雨、雪、霧などで視界が悪いとき
- カーブの多い道、起伏の激しい道を走行しているとき
- 前方車や対向車のランプが暗いときや電球切れしているとき
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- 荷室に重い荷物をのせたとき
- 前方車が水をまき上げて走行するなど前方の視界状況が悪いとき

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

作動させるとき

電源ポジションが ON の状態でランプスイッチが**AUTO**の位置のときにヘッドランプを上向き（ハイビーム）にします。



周囲の明るさから HBC が夜と判断すると作動します。同時にメーター内の HBC 表示灯（緑）が点灯します。

ランプスイッチを**AUTO**の位置以外にするか、下向き（ロービーム）またはパッシングにすると解除します。

知識

- 車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がないときは、ヘッドランプは上向き（ハイビーム）に切り替わります。車速が 20 km/h 未満のときは、ヘッドランプは下向き（ロービーム）に切り替わります。
- カーブを走行しているときは、下向き（ロービーム）から上向き（ハイビーム）に切り替わらないことがあります。
- HBC を作動しないように変更できます。設定変更の方法については、マツダコネクテ取扱書を参照してください。

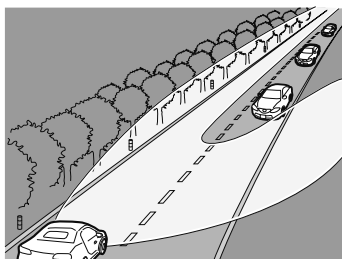
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) とは グレード/仕様別装備

ALHは、フォワードセンシングカメラ (FSC) を使用することにより夜間走行時に前方車や対向車の状況判断し、ヘッドランプの照射範囲、照射部分や明るさを自動的に変化させるシステムです。

→250 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」

ALHは、ヘッドランプの上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を次のように制御し、前方車や対向車を眩惑することなく運転者の視界確保を支援します。

グレアフリー (防眩) ハイビーム

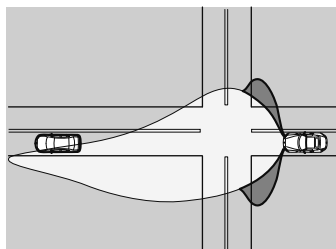


ヘッドランプ上向き (ハイビーム) の配光を前方車の部分だけ減光して照射します。車速約 30 km/h 以上で走行中に、ヘッドランプ上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を切り替えます。また、車速が約 20 km/h 未満になると、ヘッドランプは下向き (ロービーム) に切り替わります。

知識

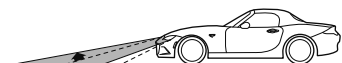
ヘッドランプが上向き (ハイビーム) のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

ワイド配光ロービーム



車速約 40 km/h 未満で走行中に、ヘッドランプ下向き (ロービーム) の照射範囲を拡大して照射します。

ハイウェイモード



高速走行時にヘッドランプの照射角度を上方向へ移動して照射します。

ALH が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

i-ACTIVSENSE について

注意



サスペンションの改造、ヘッドランプユニットの改造、カメラの取りはずしを行なわないでください。ALH が正常に作動しなくなるおそれがあります。



システムを過信せず、常に周囲の状況に注意を払い、必要に応じて、上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を手動で切り替えるなど、安全運転に心がけてください。

知識

次のような状況では、ALH が正常に作動しない場合があります。視界や道路状況、交通状況に応じて、上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を手動で切り替えてください。

- 周囲に街灯、電光掲示、信号機などの光源があるとき
- 周囲に反射板や標識などの反射物があるとき
- 雨、雪、霧などで視界が悪いとき
- カーブの多い道、起伏の激しい道を走行しているとき
- 前方車や対向車のランプが暗いときや電球切れしているとき
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- ラゲッジルームや後席へ重い荷物をのせたとき
- 前方車が水をまき上げて走行するなど前方の視界状況が悪いとき

アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) を作動させるとき



電源ポジションが ON の状態でランプスイッチが AUTO の位置のときにヘッドランプを上向き（ハイビーム）にすると作動します。同時にメーター内の ALH 表示灯（緑）が点灯します。

周囲の明るさから ALH が夜と判断すると作動します。

ランプスイッチを AUTO の位置以外にするか、下向き（ロービーム）またはパッシングにすると解除します。

知識

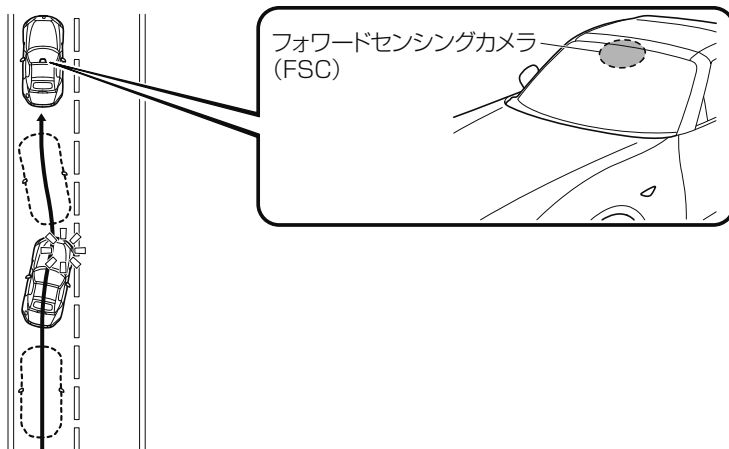
ALH を作動しないように変更できます。

設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

車線逸脱警報システムとは

車線逸脱警報システムは自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせる装置です。走行中にフォワードセンシングカメラ (FSC) で車線の白線 (黄線) を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、車線逸脱警報により運転者に知らせます。白線 (黄線) の整備された道路でご使用ください。

→250 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」



警告



禁止

次のような状況のときは、車線逸脱警報システムを使わない。
実際の走行状況にあわせた適切な作動ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急カーブのある道
- 悪天候のとき (雨、霧、雪のときなど)



禁止

車線逸脱警報システムを過信しない。
車線逸脱警報システムの機能には限界があります。常にハンドルの操作で進路を修正し、安全運転に心がけてください。車線逸脱警報システムは、前方不注意を補助するものではないため、車線逸脱警報システムを過信しすぎると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

サスペンションの改造を行わないでください。車線逸脱警報システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ために

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

知識

- 自車が車線を逸脱したときは、車線逸脱警報（警報音と警告表示）が作動します。適切にハンドルを操作し、車線に沿って車線の中央を走行するようにしてください。
- 車線変更などで方向指示器を操作すると、車線逸脱警報システムの警報を自動解除します。方向指示器をもどし、車線の中央付近を走行して、システムが白線（黄線）を検知すると、車線逸脱警報システムが復帰します。
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作をしながら車線の白線（黄線）へ接近したときは、運転者が車線を変更すると判断し、車線逸脱警報システムの警報を自動解除します。
- 短時間のうちに連続して車線をはみ出したときは、車線逸脱警報システムが作動しない場合があります。
- 車線の白線（黄線）を検知していないときは、車線逸脱警報システムは作動しません。

知識

- 次のようなときは、車線の白線（黄線）を正しく検知することができず、車線逸脱警報システムが正常に作動しない場合があります。
 - ・ インstrumentパネルの上に置いた物が、フロントガラスに反射してカメラに写ったとき
 - ・ 荷室などに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
 - ・ タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき
 - ・ 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどの分岐路を走行するとき
 - ・ 白線（黄線）がかすれや汚れなどにより見えにくいとき
 - ・ 前方車が白線（黄線）の近くを走行して、白線（黄線）が見えにくいとき
 - ・ 天候（雨、霧、雪のときなど）により、白線（黄線）が見えにくいとき
 - ・ 工事による車線規制や仮設の車線がある区間を走行するとき
 - ・ 道路補修の消し残り線、影、残雪、雨のたまった轍など、白線（黄線）と紛らわしい線が見えるとき
 - ・ トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わるとき
 - ・ ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
 - ・ フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
 - ・ 逆光を浴びて路面が光っているとき
 - ・ 雨あがりなどで、路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
 - ・ ガードレールなどの影が、道路上に白線（黄線）と平行して写っているとき
 - ・ 車線の幅が狭いときや広いとき
 - ・ 道路がうねっているとき
 - ・ 段差などにより車が大きく揺れたとき
 - ・ 2本以上の白線（黄線）が隣接して描かれているとき
 - ・ 交差点付近に様々な路面表示や様々な形状のレーンマーカがあるとき

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

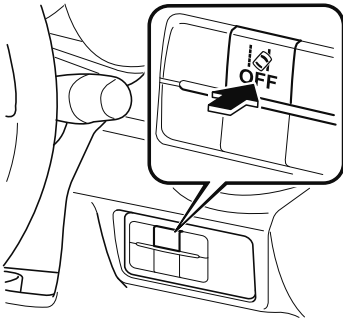
トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

作動させるとき



車線逸脱警報システム OFF スイッチを押します。メーター内の車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯していることを確認します。車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯するとシステムが待機状態になります。

車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯した状態で車線の中央を走行します。次の条件をすべて満たすと、システム作動状態になります。

- 左右もしくは一方に白線 (黄線) が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 車速約 45 km/h 以上で走行しているとき
- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき

次のとき、車線逸脱警報システムは待機状態になります。

- 白線 (黄線) を検知できないとき
- 車速が約 40 km/h 未満になったとき
- 急なカーブを走行したとき
- 不適切な速度でカーブを走行したとき

知識

- 左右のどちらか一方の車線の白線 (黄線) を検知するまでは、車線逸脱警報システムは待機状態のままになります。
- 左右のどちらか一方の車線の白線 (黄線) を検知した場合、検知できていない方向への逸脱は警報できません。
- 車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断する距離、警報感度 (警報しやすさ) を変更できます。設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

自動解除

次のようなときは、車線逸脱警報システムが自動で解除され、メーター内の車線逸脱警報システム警告灯が点灯、または警告表示が表示します。なお、車線逸脱警報システムが作動可能な状態になると自動で復帰し、車線逸脱警報システム警告灯が消灯、または警告表示が非表示になります。

- カメラ内部の温度が高温または低温になったとき
- カメラ付近のフロントガラスが曇ったとき
- カメラ付近のフロントガラスに遮蔽物があり前が見えないとき

警報の自動中止

次のような操作を行なうと、運転者の意思で車線変更しているとシステムが判断し、車線逸脱警報システムの警報が自動で中止されます。なお、操作後は、車線逸脱警報システムが自動で復帰します。

- 急なハンドル操作をしたとき
- 急なブレーキ操作をしたとき
- 急なアクセル操作をしたとき
- 方向指示器を操作したとき (方向指示器がもどった後、進路を修正するための 3 秒程度は、車線逸脱警報システムが作動しない場合があります)

知識

方向指示器を出したまま約 30 秒経過した後、車線の白線 (黄線) に近づくと、車線逸脱警報システムが警報を行なう場合があります。

解除するとき



車線逸脱警報システムを解除するときは、車線逸脱警報システム OFF スイッチを押します。車線逸脱警報システム OFF 表示灯が点灯します。

知識

- 電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、車線逸脱警報システムが作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときは車線逸脱警報システムは作動可能な状態のままです。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

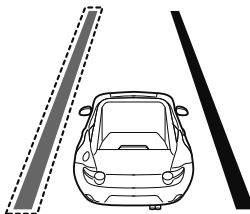
さくいん

車線逸脱警報

車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断すると、車線逸脱警報システム警報チャイムが鳴り、車線逸脱警報システム警告灯が点滅します。適切にハンドルを操作し、車線の中央を走行するようにしてください。

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A)

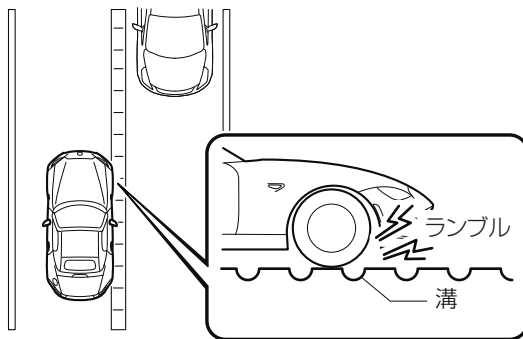
車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した方向を、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に表示します。



知識

- 外部の騒音など状況によっては、車線逸脱警報システム警報チャイムが聞こえない場合があります。
- 車線逸脱警報システム警報チャイムの音量を変更できます。設定変更の方法については、マツダコネクテ取扱書を参照してください。
- 車線逸脱警報システム警報チャイムの種類 (ランブル*1/ビープ) を変更できます。設定変更の方法については、マツダコネクテ取扱書を参照してください。

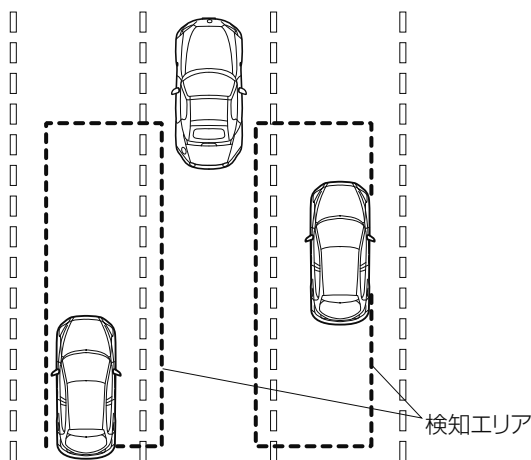
*1 道路舗装表面の一部に一定間隔で溝を配置し、車がその上を通過するときゴトゴトという振動と音を発生させることで、車線の逸脱を運転者に知らせる注意喚起舗装路をランブルストリップスといいます。ランブルとは、ランブルストリップスを通過するとき発生する音を疑似的に作り出した音です。



ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) とは

BSM は、自車の後方から接近する車両の存在を知らせることにより、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。

BSM は、車速が約 15 km/h 以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置した BSM 接近表示灯を点灯させます。BSM 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、BSM 接近表示灯が点滅するとともに警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。当システムの検知エリアは、自車の左右に隣接する車線で、自車のドア後端付近から自車の後方約 50 m までです。



警告



実際の車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。



本システムは車線変更時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、隣接車線に車両が存在する場合でも BSM 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

知識

- BSM は次の条件をすべて満たしているときに作動します。
 - 電源ポジションが ON のとき
 - BSM スイッチを押してメーター内の BSM OFF 表示灯が消灯しているとき
 - 車速が約 15 km/h 以上のとき

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

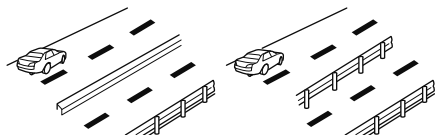
知識

- BSM は次のときには作動しません。
 - BSM OFF 表示灯が消灯している場合でも、車速が約 10 km/h を下回ったとき
 - チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R に入れて後退中のとき
- 次の場合、システムは BSM OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。BSM OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
 - BSM 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
 - レーダーセンサー（リア）の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
 - レーダーセンサー（リア）付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき（氷、雪や泥が付着しているときは、これらを取り除いてください。）
 - 雪道を長時間走行したとき
 - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダーセンサー（リア）付近の温度が非常に高くなったとき
 - バッテリーの電圧が下がっているとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー（リア）が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 隣車線後方の検知エリアにいても、自車に接近してこない車両（接近車両はレーダーの検出データをもとにシステムが判断しています。）
 - 自車とほとんど速度差なく長い時間並走している車両
 - 対向車
 - 自車が追い越そうとしている隣接車線の車両
 - 道路幅が極端に広い場合の隣接車線の車両（レーダーセンサー（リア）の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）
- 次のような場合は、BSM 接近表示灯の点滅および警報チャイムの警告が遅れるか、点滅/警告ができないことがあります。
 - 車両が 2 つ離れた車線から隣接車線に車線変更してきたとき
 - 急勾配を走行しているとき
 - 峠を越えるとき
 - 回転半径が小さいとき（急カーブや交差点を曲がる時など）
 - 自車線と隣接車線の高さに差があるとき
 - BSM スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後
- 道路幅が極端に狭い場合は、2 車線横の車両を検知する場合があります。（レーダーセンサー（リア）の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）

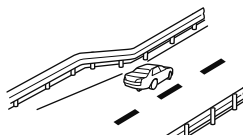
知識

- 道路上および道路端の停止物（ガードレール、トンネル、側壁、駐車車両など）に対してBSM 接近表示灯が点灯する場合があります。

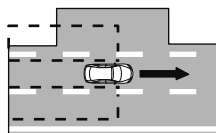
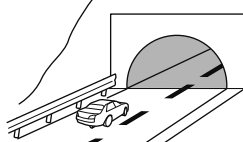
ガードレール、コンクリート壁等が
並行している場合



ガードレールや側壁の幅が
狭くなっているところ



トンネルの出入口やトンネル内の
側壁、待避所



- 市街地の交差点を曲がるときなどに、BSM 接近表示灯が点滅、または警報チャイムが複数回鳴る場合があります。
- トレーラーなどをけん引したり、車両後部に自転車のキャリアなどを装着した場合は、BSM を解除してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。
- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられている BSM 接近表示灯の点灯/点滅が見えにくいことがあります。
 - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
 - 窓ガラスに曇、雪、汚れ、霜が付着しているとき
- チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R の位置にすると、リア・クロス・トラフィック・アラート（RCTA）に切り替わります。
→228 ページ「リア・クロス・トラフィック・アラート（RCTA）とは」

運転
前に

運転
中

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

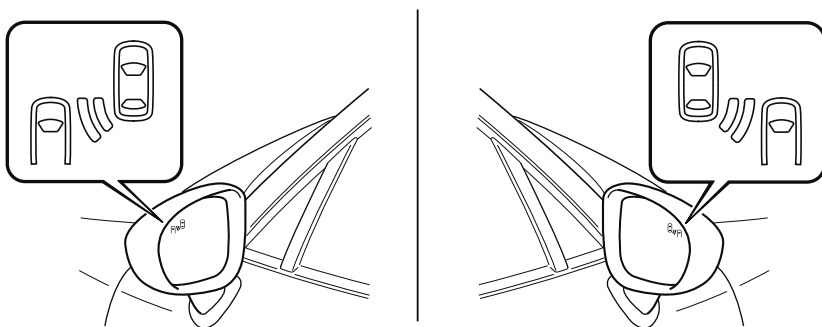
さく
いん

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯/ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警報チャイム

BSMまたはリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動中は、BSM 接近表示灯や警報チャイムで、隣接車線や自車後方に車両が存在することを知らせます。

BSM 接近表示灯

ドアミラーに取り付けられています。後方からの接近車両を検知すると点灯します。電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。



前進時 (BSM 作動)

後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置した BSM 接近表示灯が点灯します。また、BSM 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、BSM 接近表示灯 が点滅します。

後退時 (リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動)

自車後方の左右に接近する車両を検知して、BSM 接近表示灯が点滅します。

減光解除機能

車幅灯が点灯しているとき、BSM 接近表示灯が点灯すると、点灯したときの明るさが減光されます。

雪道や霧での走行時など、周囲が明るく減光状態では BSM 接近表示灯が見えにくい場合には、減光解除ボタンを押すと減光が解除され BSM 接近表示灯が点灯したときの明るさが明るくなります。

→137 ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

BSM 警報チャイム

BSM 接近表示灯の点滅と同時に鳴ります。

知識

BSM 警報チャイムの音量を変更できます。
設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) を停止させるには

BSM を作動しないようにできます。



BSM を作動しないようにすると、BSM OFF 表示灯が点灯します。

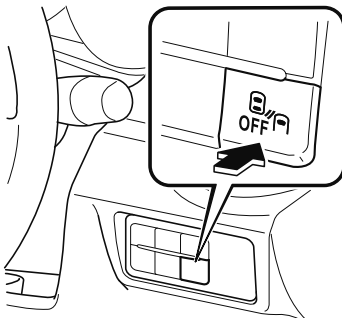
知識

電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、BSM およびリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) が作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときは BSM およびリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) は作動可能な状態のままです。

センターディスプレイ装備車

設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

センターディスプレイ非装備車



BSM OFF 表示灯が点灯するまで BSM OFF スイッチを押し続けると、BSM が OFF になります。BSM OFF 表示灯が消灯するまで BSM OFF スイッチを再度押し続けると、BSM は作動可能な状態にもどります。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

交通標識認識システム (TSR) とは グレード/仕様別装備

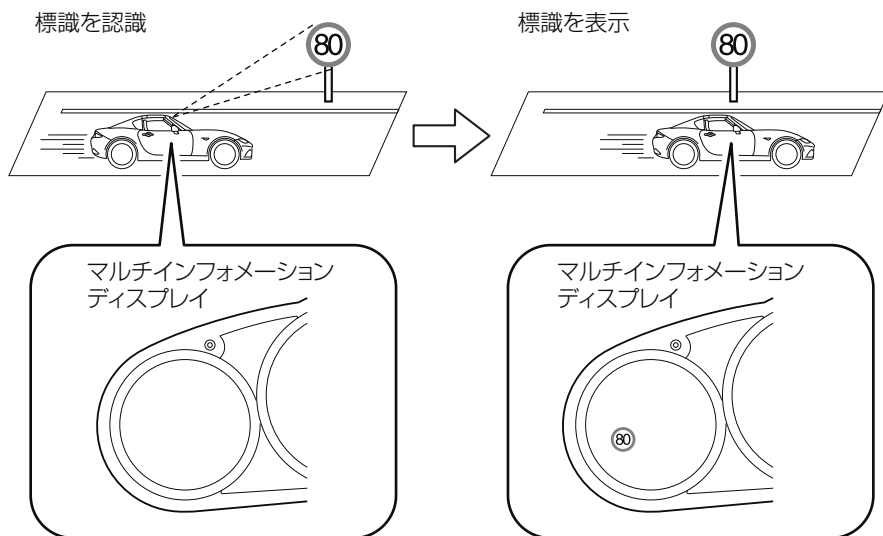
※TSR: Traffic Sign Recognition

TSR は、走行中にフォワードセンシングカメラ (FSC) が認識した交通標識を、マルチインフォメーションディスプレイに表示することで、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。

TSR は、最高速度標識 (補助標識も含む)、車両進入禁止標識、一時停止標識、および追越しのための右側部分のみ出し禁止標識の交通標識を表示します。

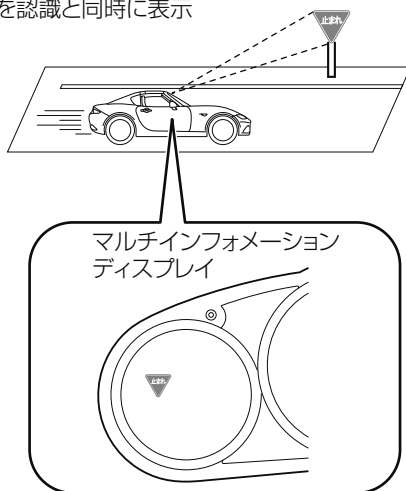
走行中、マルチインフォメーションディスプレイに表示した最高速度標識の速度を、自車の速度が超えているときは、マルチインフォメーションディスプレイの表示および警報音で運転者にお知らせします。

最高速度標識、車両進入禁止標識、追越しのための右側部分のみ出し禁止標識



一時停止標識

標識を認識と同時に表示



警告



走行中は必ず目視にて交通標識を確認する。

必ず守る

TSR は、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。天候状況や交通標識に問題がある場合など、交通標識を認識できないまたは実際の状況とは異なる交通標識を表示することがあります。交通標識の確認を怠ると思わぬ事故につながるおそれがありますので、必ず運転者の責任において、実際の交通標識を確認してください。

運転する
前に

運転する
ヤキ

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

知識

- フォワードセンシングカメラ (FSC) に異常がある場合、TSR は作動しません。
- 次のようなときは、TSR が正常に作動しない場合があります。
 - インストルメントパネルの上に置いた物が、フロントガラスに反射してカメラに写っているとき
 - 荷室などに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
 - タイヤの空気圧が適正空気圧に調整されていないとき
 - 標準タイヤ以外のタイヤを装着しているとき
 - 高速道路などの、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどの分岐路やその周辺を走行しているとき
 - トンネルの出入り口などの、周辺の明るさが急に変わるとき
 - ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
 - フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
 - フロントガラス、カメラに露 (水滴) が生じているとき
 - 前方に強い光を受けているとき (逆光やヘッドランプ上向き (ハイビーム) など)
 - 急カーブを走行しているとき
 - 強い光が道路に反射しているとき
 - 夜間やトンネル内などを走行中、交通標識が自車のヘッドランプの光を受けにくい位置にあるとき
 - 雨、霧、雪などの天候時に走行しているとき
 - 交通標識が泥、雪などで汚れているとき
 - 交通標識が木の茂み、車などで隠れているとき
 - 影などで交通標識の明るさが一部異なるとき
 - 交通標識が曲がっていたり、歪んでいるとき
 - 交通標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
 - 交通標識が明るすぎたり、暗すぎたりするとき (電光標識含む)
 - 交通標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
 - 読み取る交通標識の色、形などに似たものがあるとき (類似の交通標識、看板など)
- TSR を作動しないように変更できます。
設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

交通標識ディスプレイ表示

次の交通標識をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。
最高速度標識 (補助標識も含む)



補助標識の条件 (時間帯、右左折時、区間の終わりなど) をフォワードセンシングカメラ (FSC) が正しく分類できなかった場合、次の画面を表示します。



車両進入禁止標識



一時停止標識



追越しのための右側部分はみ出し禁止標識



運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

i-ACTIVSENSE について

追越しのための右側部分はみ出し禁止標識は、最高速度標識と同時に表示することができません。



知識

最高速度標識（補助標識も含む）

- 次の条件をすべて満たしているとき、最高速度標識を表示します。
 - 約 1 km/h 以上で走行しているとき
 - フォワードセンシングカメラ (FSC) が最高速度標識を自車対象標識として認識し、最高速度標識を通過したとき
- 次のときは、最高速度標識表示を終了します。
 - 最高速度標識を認識し、車両が最高速度標識を通過してから、一定の距離を走行したとき
 - 自車が路線を変えたと判断したとき
 - 新たに、フォワードセンシングカメラ (FSC) が異なる最高速度標識を認識したとき (新しい最高速度標識を表示する)
 - 最高速度標識を表示してから一定の時間経過後、表示中の最高速度標識より約 30 km/h 以上速度超過しているとき

知識

車両進入禁止標識

- 次の条件をすべて満たしているとき、車両進入禁止標識を表示します。
 - 約 60 km/h 以下で走行しているとき
 - フォワードセンシングカメラ (FSC) が車両進入禁止標識を自車対象標識として認識し、車両進入禁止標識を通過したとき
- 車両進入禁止標識を認識し、車両が車両進入禁止標識を通過してから、一定の時間経過したときは、車両進入禁止標識表示を終了します。

一時停止標識

- 次の条件をすべて満たしているとき、一時停止標識を表示します。
 - 約 30 km/h 以下で走行しているとき
 - フォワードセンシングカメラ (FSC) が一時停止標識を自車対象標識として認識したとき
- 一時停止標識表示を開始してから、一定の時間経過したときは、一時停止標識表示を終了します。

追越しのための右側部分はみ出し禁止標識

- 次の条件をすべて満たしているとき、追越しのための右側部分はみ出し禁止標識を表示します。
 - 約 1 km/h 以上で走行しているとき
 - フォワードセンシングカメラ (FSC) が追越しのための右側部分はみ出し禁止標識を自車対象標識として認識し、追越しのための右側部分はみ出し禁止標識を通過したとき
- 次のときは、追越しのための右側部分はみ出し禁止標識表示を終了します。
 - 追越しのための右側部分はみ出し禁止標識を認識し、車両が追越しのための右側部分はみ出し禁止標識を通過してから、一定の距離を走行したとき
 - 自車が路線を変えたと判断したとき

運転する
前に

運転する
中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

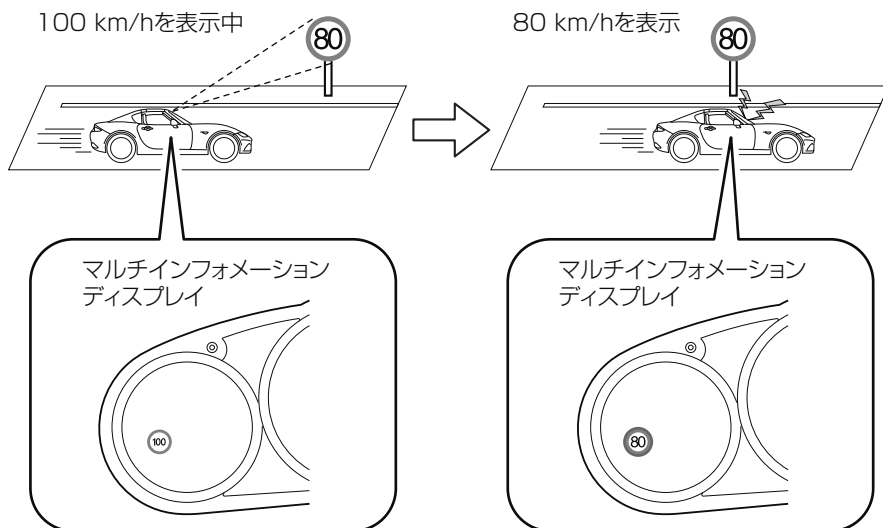
さく
いん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

速度超過警報

マルチインフォメーションディスプレイに表示している最高速度標識より自車の速度が超えるとマルチインフォメーションディスプレイに表示している最高速度標識のまわりが橙色に3回点滅し、同時に警報音が3回吹鳴します。速度超過の状態が続いていれば点灯に切り替わります。周囲の状況を確認しながら、ブレーキペダルを踏むなどの操作をし、法定速度内に減速してください。

90 km/hで走行中



速度超過警報は初期設定で作動しないように設定されています。速度超過警報を作動させたいときは、カスタマイズ設定を行なってください。なお、警報パターンおよび警報タイミングは設定内容によって異なります。

設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

警報パターン

- Off: 速度超過警報は作動しません。
- 表示のみ: ディスプレイに表示されている最高速度標識のまわりが橙色に 3 回点滅し、速度超過の状態が続いていれば点灯に切り替わります。
- 表示十音: ディスプレイに表示されている最高速度標識のまわりが橙色に 3 回点滅し、同時に警報音が 3 回吹鳴します。速度超過の状態が続いていれば点灯に切り替わります。

警報タイミング

- +0: ディスプレイに表示されている最高速度標識を超えたとき速度超過警報が作動します。
- +5: ディスプレイに表示されている最高速度標識を 5 km/h 超えたとき速度超過警報が作動します。
- +10: ディスプレイに表示されている最高速度標識を 10 km/h 超えたとき速度超過警報が作動します。



知識

- 次のときは、速度超過警報を終了します。
 - 車速が表示している最高速度標識未満になったとき (カスタマイズで速度超過警報の警報タイミングを変更している場合は、変更した車速未満になったとき、速度超過警報は終了します)
 - 最高速度標識表示が更新され、更新された表示より自車の速度が低いとき
 - 最高速度標識表示を終了したとき
- 表示している最高速度標識より、自車の速度が超えているときは、警報表示と同時に速度超過警報音が鳴ります。
→433 ページ「チャイムがなったときは」
- 補助標識付き最高速度標識を認識し、表示することは可能ですが、補助標識の条件 (時間帯、右左折時、区間の終わりなど) を判断することはできません。
したがって、自車が補助標識の条件以外のときでも、表示された最高速度標識より速度が超えたときは、速度超過警報が作動します。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) が最高速度標識を低い速度で誤認識した場合は、法定速度で走行しているときでも速度超過警報が作動します。

運転する
前に

運転する
ヤレ!

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

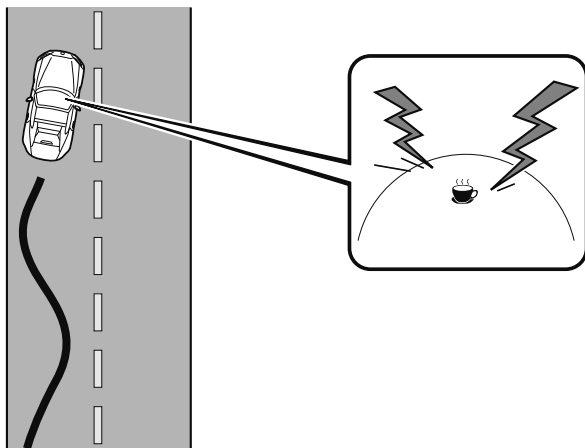
さく
いん

2.運転するときに i-ACTIVSENSE について

ドライバーアテンションアラート (DAA) とは グレード/仕様別装備

DAA は、運転者の疲労や注意力の低下を検知し、運転者に休憩を促すシステムです。
DAA は、車線内を車速が約 65 km/h 以上で走行しているとき、フォワードセンシングカメラ (FSC) や各種車両情報から運転者の疲労増加や注意力低下を推定して、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) の表示、警報チャイムにより運転者へ休憩を促します。

DAA は高速道路や自動車専用道路などで使用してください。
→250 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」



⚠ 警告



必ず守る

DAA を過信せず安全運転に心がける。

DAA は、運転者の疲労や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩を促すシステムです。ふらつきを防止するものではないため、過信しすぎると、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転に集中し、適切にハンドルを操作してください。また、道路状況や走行状況等によっては、運転者の疲労や注意力の低下を適切に検知出来ない場合があります。運転者は十分に休憩を取り、安全運転に心がけてください。

知識

- DAA は、次の条件をすべて満たしているときに作動します。
 - 車速が約 65 km/h 以上のとき
 - 車線の白線 (黄線) を検知しているとき
 - 運転者の走行データ学習が完了したとき
- DAA は、次のときには作動しません。
 - 車速が約 65 km/h を下回ったとき
 - 車線の白線 (黄線) を検知できないとき
 - 急カーブを走行しているとき
 - 車線変更したとき
- DAA は、次のときには正常に作動しない場合があります。
 - 車線の白線 (黄線) がかすれや汚れなどにより見えにくいとき
 - 強風や悪路走行で車両が揺れ続けたとき
 - スポーティーな走行をしているとき
 - 頻繁に車線変更を行っているとき
- DAA は、車速が約 65 km/h 以上で約 20 分間走行したときの走行データをもとに、運転者の疲労や注意力の低下を検知しています。次のときは学習した走行データがリセットされます。
 - 15 分以上停車したとき
 - 車速が約 65 km/h 未満で約 30 分間走行したとき
 - 電源ポジションを OFF にしたとき
- DAA は、一度休憩を促すと、45 分間は次回休憩をお知らせしません。

ドライバーアテンションアラート (DAA) 表示 (白)



休憩をおすすめします

運転者の疲労や注意力の低下を検知すると、警報チャイムが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に表示されます。

ドライバーアテンションアラート (DAA) を停止させるには

DAA を作動しないようにできます。
設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

運転する
前に

運転する
中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

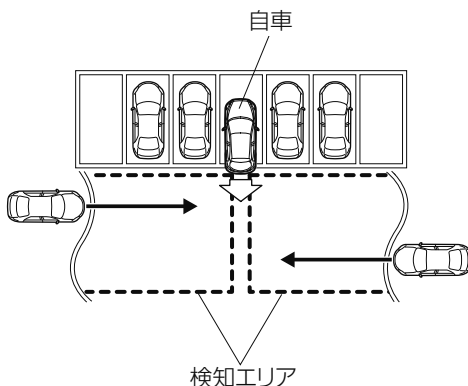
さく
いん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) とは

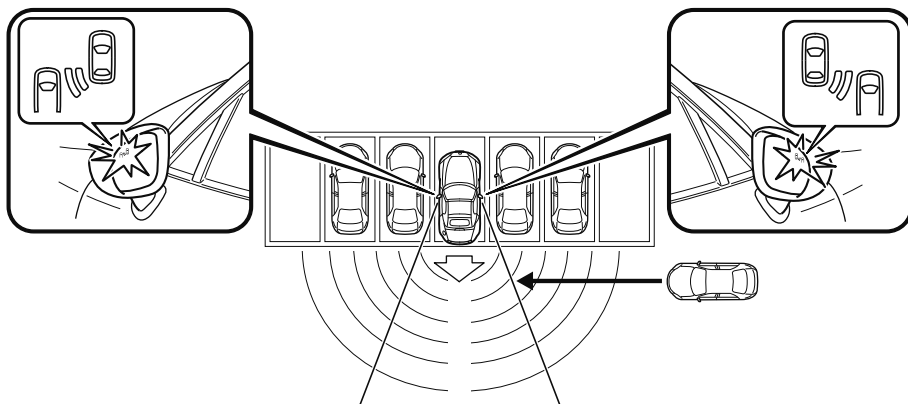
RCTA は、自車の後方に接近する車両の存在を知らせることにより、車両後退時の後方確認を支援するシステムです。

RCTA は、駐車場などから後退するときに自車の左右に接近した車両を検知して、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅、および警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。



RCTA 作動

1. チェンジレバー (マニュアル車) またはセレクトレバー (オートマチック車) を R の位置にすると、RCTA が作動します。
2. 車両が接近し、自車と衝突の可能性がある場合、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅、同時に警報チャイムが鳴ります。



警告



必ず守る

実際の車両後退時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

本システムは車両後退時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、自車後方に車両が存在する場合でもブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

知識

- 次の場合、システムはブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
 - ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
 - レーダーセンサー (リア) の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
 - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき
 - 雪道を長時間走行したとき
 - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダー付近の温度が非常に高くなったとき
 - バッテリーの電圧が下がっているとき

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

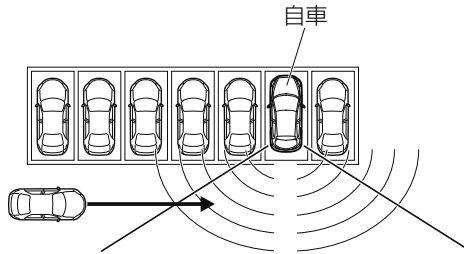
車両スペック

さくいん

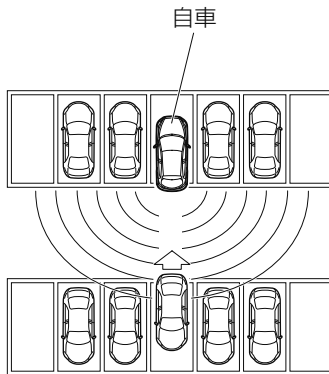
2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

知識

- 次の場合、レーダーセンサー（リア）が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 後退時の车速が約 10 km/h 以上のとき
 - 隣接した壁や駐車車両によりレーダーセンサー（リア）の検知エリアが妨げられているとき（レーダーセンサー（リア）の検知エリアが妨げられない位置まで、自車を後退させてください。）

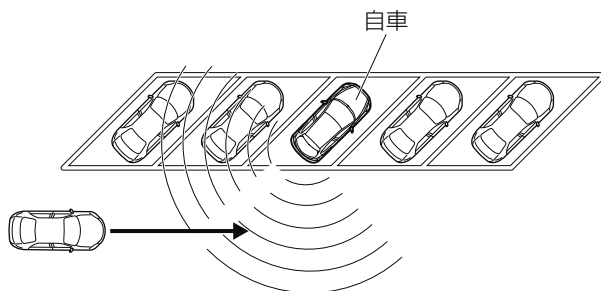


- 自車の真後ろから車両が接近してきたとき



知識

- 車両が斜めに駐車されているとき



- ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後
- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられているブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点灯/点滅が見えにくいことがあります。
 - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
 - 窓ガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着しているとき

運転する
前に

運転する
ヤミ

快適装備の
使用がた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

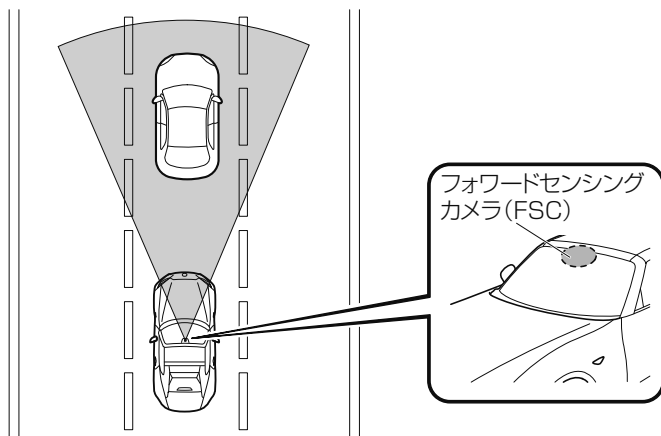
車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) とは

アドバンスト SCBS は、車速が約 4 km/h～約 80 km/h (対象が前方車のとき)/約 10 km/h～約 80 km/h (対象が歩行者のとき)で走行中にフォワードセンシングカメラ (FSC) が前方車や歩行者へ衝突する可能性があると感じたときに、ディスプレイや警報音により運転者に対して衝突の危険性を知らせます。さらに衝突を回避できないと判断したときには、ブレーキ制御 (アドバンスト SCBS ブレーキ) を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。また、運転者がブレーキペダルを踏んだときは、ブレーキが素早く確実にかかるよう補助します。(ブレーキアシスト (アドバンスト SCBS ブレーキアシスト))



警告



禁止

システムを過信しない

- アドバンスト SCBS は、あくまでも衝突時の被害を軽減するシステムです。システムを過信してアクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アドバンスト SCBS は、前方車および歩行者に対して作動するシステムです。2 輪車や動物、壁に対しては作動保障しません。

⚠ 注意



必ず守る

次のようなときは、誤って作動しないようにシステムを停止させてください。

- けん引されるとき、または、他の車をけん引するとき
- シャシーローラーを使用するとき
- 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき

作動を停止させるときは次のページを参照してください。

→235 ページ「アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) を停止させるには」

📖 知識

- アドバンスト SCBS は次の条件のとき作動します。
 - エンジンがかかっているとき
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯していないとき
 - (対象が前方車のとき)
車速が約 4 km/h~約 80 km/h のとき
 - (対象が歩行者のとき)
車速が約 10 km/h~約 80 km/h のとき
 - アドバンスト SCBS を停止していないとき
- 次のような状態のときはアドバンスト SCBS が正常に作動しない場合があります。
 - 運転者が意図的に運転操作 (アクセル操作、ハンドル操作) を行なったとき
 - 前方車と部分的な接触の可能性があるとき
 - 濡れた路面や積雪、じゃり道などの滑りやすい路面を走行しているとき
 - 気温が低いときやブレーキが濡れているときなどブレーキの効が悪くなっているとき
 - 前方車と同程度の速度で走行しているとき
 - 急なアクセルペダル操作をしているとき
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ハンドルを操作しているとき
 - セレクトレバーを操作しているとき

運転する
前に

運転する
ヤマト

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

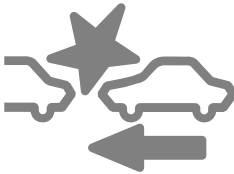
2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

知識

- 次のようなときは、アドバンスト SCBS が作動する場合があります。
 - カーブ入口に路側物があるとき
 - カーブで対向車両とすれ違うとき
 - 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
 - ETC ゲートを通過するとき
 - 前方車に急接近したとき
 - 2 輪車や動物、壁、立ち木
- **(マニュアル車)**
アドバンスト SCBS ブレーキの作動により車両が停止した場合、クラッチペダルを踏み込まないとエンジンが停止します。

スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 表示灯 (赤)

グレード/仕様別装備



アドバンスト SCBS 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

衝突警報 グレード/仕様別装備

ブレーキ!

前方車や障害物と衝突する可能性がある場合、衝突警報音が「ピピピピピ…」と鳴り続け、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に警報が表示されます。

知識

衝突警報の作動距離や音量を変更できます。
マツダコネクト取扱書を参照してください。

自動ブレーキ作動表示

グレード/仕様別装備



SCBS 自動ブレーキ作動

アドバンスト SCBS ブレーキ作動後やブレーキアシスト (アドバンスト SCBS ブレーキアシスト) 作動後に、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に「SCBS 自動ブレーキ作動」と表示されます。

知識

- アドバンスト SCBS ブレーキ作動中やブレーキアシスト (アドバンスト SCBS ブレーキアシスト) 作動中は、衝突警報音が断続的に吹鳴します。
→433 ページ「チャイムが鳴ったときは」
- アドバンスト SCBS ブレーキの作動により車両が停止した場合、ブレーキペダルを踏まないと、約 2 秒後にチャイムが吹鳴し、アドバンスト SCBS ブレーキが自動的に解除されます。

アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) を停止させるには

アドバンスト SCBS を作動しないようにできます。



アドバンスト SCBS を作動しないようにすると、スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が点灯します。

知識

- アドバンスト SCBS を作動しないようにすると、スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) も作動しなくなります。
- アドバンスト SCBS を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとアドバンスト SCBS は作動可能な状態にもどります。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

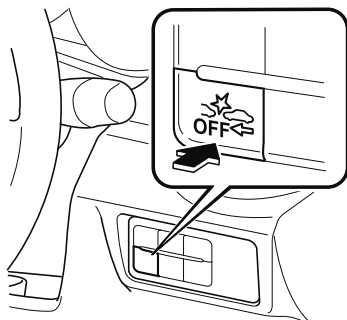
車両スペック

さくいん

センターディスプレイ装備車

設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

センターディスプレイ非装備車

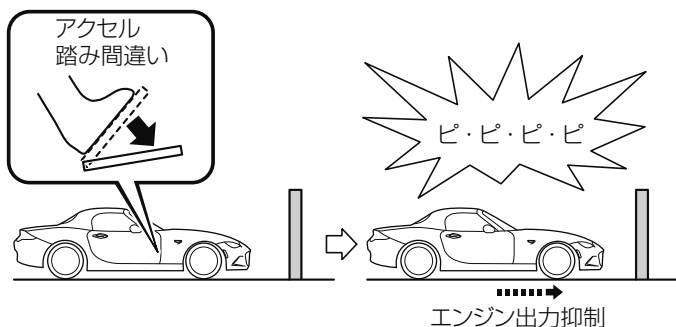


スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が点灯するまでスマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF スイッチを押し続けると、アドバンスト SCBS が OFF になります。

スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が消灯するまでスマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF スイッチを再度押し続けると、アドバンスト SCBS は作動可能な状態にもどります。

AT 誤発進抑制制御 [前進時] とは グレード/仕様別装備

AT 誤発進抑制制御 [前進時] は車両が徐行中 (約 10 km/h 以下) や停車時、前方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた (アクセルペダルを踏み間違えたと判断した) ときに、エンジン出力を抑制することで、衝突時の被害を軽減します。システム作動中は、AT 誤発進抑制制御 [前進時] 表示で作動中をお知らせすると同時に、警報音で運転者に警告します。



警告



AT 誤発進抑制制御 [前進時] を過信せず安全運転に心がける

必ず守る

AT 誤発進抑制制御 [前進時] は、ペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を十分に確認して操作してください。シフト、アクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない

停車状態を保ったり、発進を緩やかにするものではありません。また、障害物の近くで故意にアクセルを踏み込まないでください。意に反して車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

踏切内に閉じ込められた場合、フォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) が遮断機を障害物と判断し、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動することがあります。遮断機を押しつけて進む場合、あわてずにアクセルを踏み続ける、または踏みなおして脱出してください。脱出の際、車両が急加速することがありますので注意して運転してください。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

知識

- AT 誤発進抑制制御 [前進時] は次の条件のときに作動します。
 - エンジンがかかっているとき
 - アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)/スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) を停止していないとき
 - DSC OFF スイッチを押して DSC を作動停止状態にしていないとき
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯していないとき
 - マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に「SCBS 前進時作動しません」と表示されていないとき
 - セレクトレバーが D/M レンジのとき
- フォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) の検知能力には限界があります。次のようなときは、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動しない場合があります。
 - フロントガラスまたはフロントバンパーに氷、雨滴曇り、雪、霜、汚れ、ビニール袋等の異物が付着しているとき
 - ウィンドウウォッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
- 次のようなときは、フォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) が障害物を検知できず、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動しない場合があります。
 - 障害物の高さが低いとき (低い壁、低いガードレール、トレーラーなどの後部)
 - 障害物が小さいとき
 - 障害物が細いとき (標識の支柱や電柱など)
 - 障害物が自車の中心から外れた位置にあるとき
 - 障害物の面が自車に対して垂直に向いていないとき
 - 垂れ幕や、雪が付着した車両など、障害物がやわらかいとき
 - 障害物が凹凸のある形状をしているとき
 - 障害物が極端に近いとき
 - フェンス、ガラスなど均一な模様や模様のない障害物
 - 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
 - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

知識

- 次のような状況では、フォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) が障害物を正しく検知できず、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動しない場合があります。
 - カーブ、坂道するとき
 - ハンドルを大きく切っているとき
 - ボンネットの上に雪などの障害物があるとき
 - 雨・霧・雪など天候が悪いとき
 - 湿度が低いとき、高いとき
 - 気温が低いとき、高いとき
 - 風が強いとき
 - 走行路が平坦ではないとき
 - 前方車の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
 - 荷室へ重い荷物をのせたとき
 - 障害物などと部分的な接触の可能性があるとき
 - カーブが連続する道路やカーブの出入口を走行しているとき
 - ルーフレールなどを装着してフォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) をおおうような長尺物を装着したとき
 - 超音波センサー (フロント) 付近に無線アンテナ、フォグランプ、字光式ナンバープレートなどを取りつけたとき
 - 車、歩行者、二輪車、自転車などが横から割り込んだり、飛び出してきたとき
 - 朝方、夕方、薄暗いとき、夜間や屋内駐車場など周囲が暗いとき
 - ヘッドランプが照射されていない場所に障害物があるとき
 - 前方に強い光を受けているとき (逆光やヘッドランプ上向き (ハイビーム) など)
 - 自車が進路変更を行ない、障害物のすぐ後ろに接近したとき
 - 衝突などで、超音波センサー (フロント) の方向がずれたとき
 - 他車のホーン、エンジン音、超音波センサーなど、他の音波の影響を受けたとき

運転する
前に

運転する
ヤレ

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

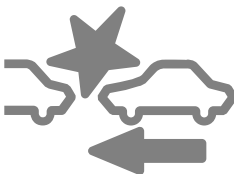
車両
スペック

さく
いん

知識

- 次のようなときは、フォワードセンシングカメラ (FSC) および超音波センサー (フロント) が障害物と判断し、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動する場合があります。
 - 急な登坂路があるとき
 - 輪留めがあるとき
 - ETC や踏切などバーがあるとき
 - 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスを感知しているとき
 - 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき
 - 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
 - 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
 - ビニールカーテン、旗などを潜って通行するとき
 - パイロンなどのプラスチック類
 - 完全に開いていない遮断機
 - シャシーダイナモなど使用するとき
 - キャリアカーに積載するとき
 - 前方車に接近して走行するとき
 - カーブや交差点の先に障害物があるとき
 - 障害物に接近して通過するとき
- システムが故障しているときは、スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯します。
→ 154 ページ [警告表示/警告灯]

AT 誤発進抑制制御表示灯 (赤) グレード/仕様別装備



AT 誤発進抑制制御 [前進時] 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

AT 誤発進抑制制御表示 グレード/仕様別装備

注意！
アクセルを
踏んでいます

AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動中に、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に表示します。

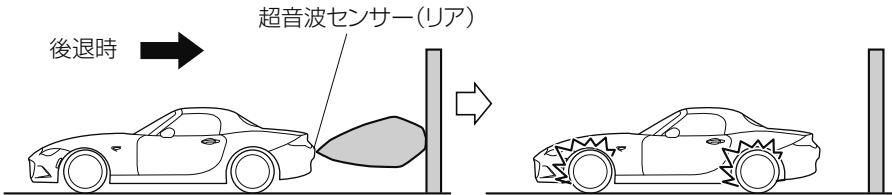
AT 誤発進抑制制御を停止させるには

アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)/スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) を停止させると、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が停止します。

作動を停止させる方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

スマートシティブレーキサポート [後退時] (SCBS R) とは

SCBS R は車速が約 2 km/h～約 8 km/h で後退中に後方の障害物を超音波センサーが検知し、衝突を回避できないと判断したときに、ブレーキ制御 (SCBS R ブレーキ) を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。



⚠ 警告



システムを過信しない。

必ず守る。

- SCBS R は、あくまでも衝突時の被害を軽減するシステムです。システムを過信してアクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SCBS R の超音波センサー (リア) はリアバンパーに設置され、AT 誤発進抑制制御 [後退時] と共用しています。SCBS R の正しい作動のため、次のことをご守りください。
 - 超音波センサー (リア) にステッカー (透明なものを含む) などを貼り付けないでください。超音波センサー (リア) が障害物を正しく検知できず思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 超音波センサー (リア) の分解などを行なわないでください。
 - 飛び石などで超音波センサー (リア) 周辺に傷などが認められるときは、ただちに SCBS R の使用を停止し、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。超音波センサー (リア) の周辺にひび割れや引っかき傷などがあるまま運転を続けると意に反して作動し、思わぬ事故につながるおそれがあります。作動を停止させる方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。
 - リアバンパーを交換する際は、マツダ販売店に相談してください。

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

i-ACTIVSENSE について

警告



サスペンションを改造しない。

禁止

車高や車の傾きが変わると障害物を正しく検知できないため、SCBS R が正常に作動しない場合があります。



超音波センサー（リア）に強い衝撃を与えない。

禁止

洗車時に超音波センサー（リア）に強い水圧を与えたり、強くこすったりしないでください。また、荷物の出し入れなどでリアバンパーに強い衝撃を与えないでください。障害物を正しく検知できず、SCBS R が正常に作動しない場合があります。

注意



必ず守る

草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行する際は、SCBS R を停止してください。



必ず守る

4 輪ともすべて指定されたサイズで、同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンのタイヤを使用してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。タイヤを混ぜて使用すると、SCBS R が正常に作動しなくなるおそれがあります。



必ず守る

超音波センサー（リア）は氷、雪などが付着した場合など、状況によっては障害物を正しく検知できない場合があります。このようなときは、正しい制御ができないおそれがあります。常に後方を注意して運転してください。

知識

- アクセル操作、ブレーキ操作やハンドル操作によって車両姿勢が変化し、障害物が見えにくくなったり、不要な障害物が見えやすくなったりします。このような場合、SCBS R が作動しなかったり、作動する場合があります。

知識

- SCBS Rは、次の条件のとき作動します。
 - エンジンがかかっているとき
 - チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R の位置にしているとき
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート（SCBS）警告表示/警告灯（橙）が表示/点灯していないとき
 - マルチインフォメーションディスプレイ（タイプ A）に「後退時 SCBS 作動しません」と表示されていないとき
 - 車速が約 2 km/h～約 8 km/h のとき
 - アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート（アドバンスト SCBS）を停止していないとき
 - DSC が故障状態でないとき
- SCBS R は、超音波センサー（リア）が発信した超音波が、後方の障害物に反射し、超音波センサー（リア）に戻ってきた超音波を受信することで、後方の障害物を検知し、作動しています。
- 次のようなときは、超音波センサー（リア）が障害物を検知できず、SCBS R が作動しない場合があります。
 - 低い壁、荷台の低いトラックなど、障害物の高さが低いとき
 - 荷台の高いトラックなど、障害物の高さが高いとき
 - 障害物が車両や壁のように大きくないとき
 - 標識のポールなど、障害物が細いとき
 - 障害物が自転車の中心から外れた位置にあるとき
 - 障害物の面が自転車に対して垂直に向いていないとき
 - 垂れ幕や、雪が付着した車両など、障害物がやわらかいとき
 - 障害物が凹凸のある形状をしているとき
 - 障害物が極端に近いとき

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

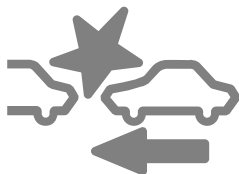
さくいん

知識

- 次のような状況では、超音波センサー（リア）が障害物を正しく検知できず、SCBS Rが正常に作動しない場合があります。
 - 超音波センサー（リア）付近に何か付着したりしているとき
 - ハンドルを大きく切ったり、ブレーキやアクセル操作をしているとき
 - 障害物の周辺に他の障害物があるとき
 - 雨、霧、雪など天候が悪いとき
 - 湿度が低いとき、高いとき
 - 気温が低いとき、高いとき
 - 風が強いとき
 - 走行路が平坦ではないとき
 - 荷室へ重い荷物をのせたとき
 - 超音波センサー（リア）付近に無線アンテナ、フォグランプ、字光式ナンバープレートなどを取りつけたとき
 - 衝突などで、超音波センサー（リア）の方向がずれたとき
 - 他車のホーン、エンジン音、超音波センサー（リア）など、他の音波の影響を受けたとき
- 次のようなときは、超音波センサー（リア）が対象の障害物だと検知し、SCBS Rが作動する場合があります。
 - 急な登坂路があるとき
 - 輪留めがあるとき
 - 垂れ幕、ETC や踏切などバーがあるとき
 - 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスなどに接近して走行するとき
 - 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき
 - 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
- **(マニュアル車)**
SCBS R ブレーキの作動により車両が停止した場合、クラッチペダルを踏み込まないとエンジンが停止します。
- システムが故障しているときは、スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯します。
→ 154 ページ「警告表示/警告灯」

スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 表示灯 (赤)

グレード/仕様別装備



SCBS R 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

自動ブレーキ作動表示

グレード/仕様別装備



SCBS 自動ブレーキ作動

SCBS R ブレーキ作動後に、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に「SCBS 自動ブレーキ作動」と表示されます。

知識

- SCBS R ブレーキ作動中は、衝突警報音が断続的に鳴ります。
→433 ページ「チャイムがなったときは」
- SCBS R ブレーキの作動により車両が停止した場合、ブレーキペダルを踏まないと、約 2 秒後にチャイムが鳴り、SCBS R ブレーキが自動的に解除されます。

スマートシティブレーキサポート [後退時] (SCBS R) を停止させるには

SCBS R を作動しないようにできます。



SCBS R を作動しないようにすると、スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が点灯します。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

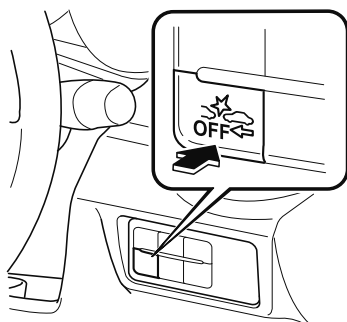
知識

- SCBS R を作動しないようにすると、アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) も作動しなくなります。
- SCBS R を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると SCBS R は作動可能な状態にもどります。

センターディスプレイ装備車

設定変更の方法については、マツダコネクテ取扱書を参照してください。

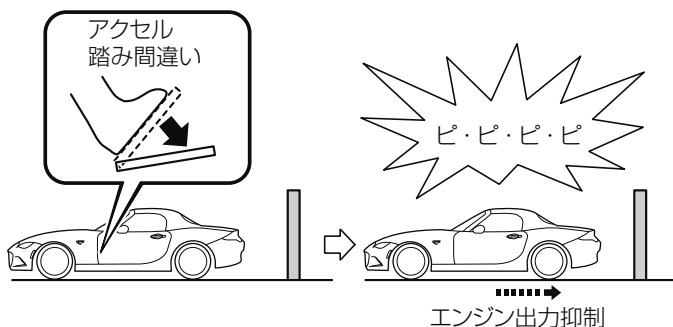
センターディスプレイ非装備車



スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が点灯するまでスマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF スイッチを押し続けると、SCBS R が OFF になります。スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯が消灯するまでスマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF スイッチを再度押し続けると、SCBS R は作動可能な状態にもどります。

AT 誤発進抑制制御 [後退時] とは グレード/仕様別装備

AT 誤発進抑制制御 [後退時] は車両が徐行中 (約 10 km/h 以下) や停車時、後方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた (アクセルペダルを踏み間違えたと判断した) ときに、エンジン出力を抑制することで、衝突時の被害を軽減します。システム作動中は、AT 誤発進抑制制御 [後退時] 表示で作動中をお知らせすると同時に、警報音で運転者に警告します。



警告



必ず守る

AT 誤発進抑制制御 [後退時] を過信せず安全運転に心がける。

AT 誤発進抑制制御 [後退時] は、ペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を十分に確認して操作してください。アクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。

停車状態を保ったり、発進を緩やかにするものではありません。また、障害物の近くで故意にアクセルを踏み込まないでください。意に反して車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- AT 誤発進抑制制御 [後退時] は次の条件のときに作動します。
 - エンジンがかかっているとき
 - セレクトレバーを R の位置にしているとき
 - アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)/スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) を停止していないとき
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯していないとき
 - マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に「SCBS 後退時作動しません」と表示されていないとき
- 次のようなときは、超音波センサー (リア) が障害物を検知できず、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動しない場合があります。
 - 低い壁、荷台の低いトラックなど、障害物の高さが低いとき
 - 荷台の高いトラックなど、障害物の高さが高いとき
 - 障害物が車両や壁のように大きくないとき
 - 標識のポールなど、障害物が細いとき
 - 障害物が自車の中心から外れた位置にあるとき
 - 障害物の面が自車に対して垂直に向いていないとき
 - 垂れ幕や、雪が付着した車両など、障害物がやわらかいとき
 - 障害物が凹凸のある形状をしているとき
 - 障害物が極端に近いとき

運転する前に

運転する前に

快適装備の使用に

お取り扱いに

トラブルが起きたら

車両スペック

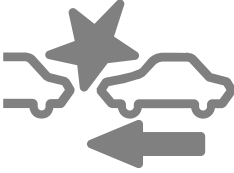
さくいん

知識

- 次のような状況では、超音波センサー（リア）が障害物を正しく検知できず、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が正常に作動しない場合があります。
 - 超音波センサー（リア）付近に何か付着したりしているとき
 - ハンドルを大きく切ったり、ブレーキやアクセル操作をしているとき
 - 障害物の周辺に他の障害物があるとき
 - 雨、霧、雪など天候が悪いとき
 - 湿度が低いとき、高いとき
 - 気温が低いとき、高いとき
 - 風が強いとき
 - 走行路が平坦ではないとき
 - 荷室へ重い荷物をのせたとき
 - 超音波センサー（リア）付近に無線アンテナ、フォグランプ、字光式ナンバープレートなどを取りつけたとき
 - 衝突などで、超音波センサー（リア）の方向がずれたとき
 - 他車のホーン、エンジン音、超音波センサー（リア）など、他の音波の影響を受けたとき
- 次のようなときは、超音波センサー（リア）が障害物と検知し、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動する場合があります。
 - 急な登坂路があるとき
 - 輪留めがあるとき
 - 垂れ幕、ETC や踏切などバーがあるとき
 - 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスなどに接近して走行するとき
 - 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき
 - 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
- システムが故障しているときは、スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯 (橙) が表示/点灯します。
→ 154 ページ「警告表示/警告灯」

AT 誤発進抑制制御表示灯 (赤)

グレード/仕様別装備



AT 誤発進抑制制御 [後退時] 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

AT 誤発進抑制制御 [後退時] 表示

グレード/仕様別装備

注意！
アクセルを
踏んでいます

AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動中に、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に表示します。

AT 誤発進抑制制御 [後退時] を停止させるには

アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)/スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) を停止させると、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が停止します。

作動を停止させる方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

フォワードセンシングカメラ (FSC) について

この車両にはフォワードセンシングカメラ (FSC) が装備されています。フォワードセンシングカメラ (FSC) は次のシステムが共用しています。

- ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)
- アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)
- 車線逸脱警報システム
- 交通標識認識システム (TSR)
- ドライバー・アテンション・アラート (DAA)
- アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)
- AT 誤発進抑制制御 [前進時]

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、夜間走行時に前方の状況を判断したり、車線表示を検知したりしています。フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。

フォワードセンシングカメラ (FSC) はルームミラー付近に設置されています。



警告



禁止

サスペンションを改造しない

車高や車の傾きが変わると前方車や障害物を正しく検知できないため、システムが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠️ 注意



必ず守る

正しい作動のため、次のことをお守りください。

- フォワードセンシングカメラ (FSC) を取りはずさないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) のカバーをはずさないでください。
- インストルメントパネルの上に光を反射するものを置かないでください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスにアクセサリ、ステッカーやフィルムを貼らないでください。フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズの前方に妨げとなるものと、透明なステッカーでも誤作動の原因となります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスは、汚れたり曇ったりしないように常に綺麗な状態にしてください。曇ったときは、曇り取りスイッチを押してガラスの曇りを取ってください。
- フロントガラスの手入れをするときは、ガラスクリーナーなどが、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズに付着しないようにしてください。また、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズには触れないでください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 前方のフロントガラス内側の清掃はマツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズを汚したり、傷をつけたりしないでください。また、分解などもしないでください。故障、誤動作の原因になります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体周辺の修理を行なうときは、マツダ販売店にご相談ください。
- ルームミラー周辺の修理を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。
- カメラのレンズの手入れは、マツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一、衝撃が加わった場合は、ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)、アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)、車線逸脱警報システム、交通標識認識システム (TSR)、ドライバーク・アテンション・アラート (DAA)、アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)、および AT 誤発進抑制制御 [前進時] の使用を中止しマツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) の向きは厳密に調整されていますので、フォワードセンシングカメラ (FSC) の取り付け位置を変更したり、取りはずしたりしないでください。故障、誤動作の原因になります。



必ず守る

4 輪ともすべて指定されたサイズで、同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンのタイヤを使用してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。タイヤを混ぜて使用すると、フォワードセンシングカメラ (FSC) が正常に作動しなくなるおそれがあります。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

注意



必ず守る

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、ガラスの汚れを検知してお知らせする機能を備えていますが、ビニール袋や氷、雪などが付着した場合など、状況によっては検知できない場合があります。このようなときは前方車を正しく判断できず、正しい制御ができないおそれがあります。常に前方を注意して運転してください。

知識

- フォワードセンシングカメラ (FSC) は、次のすべての条件を満たしたときに歩行者を認識します。
 - 歩行者が身長約 1 m～2 m のとき
 - 頭部、両肩、脚などの輪郭が判別できるとき
- 次のようなときはフォワードセンシングカメラ (FSC) が歩行者と認識できない場合があります。
 - 複数人で歩いているとき、集団でいるとき
 - 別の障害物の近くにいるとき
 - 歩行者がしゃがんでいる、横たわっている、前かがみになっているとき
 - 歩行者が急に目の前に飛び出してきたとき
 - 歩行者が傘をさしている、大きな荷物を持っているなど、何かを持っているとき
 - 夜間などに暗い場所にいる、背景と近い色の服を着ているなど背景に溶け込んでいるとき
- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が正確に対象物を検知できず、各システムが正常に作動しない場合があります。
 - 前方車が車高の低い車両のとき
 - 前方車と同程度の速度で走行しているとき
 - 夜間、またはトンネル内でヘッドランプを点灯していないとき

知識

- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できないことがあります。
 - 雨・霧・雪など天候が悪いとき
 - ウィンドウォッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
 - フロントガラスに氷、曇り、雪、霜、雨滴、汚れ、ビニールなどの異物が付着しているとき
 - 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
 - 模様のない壁の横を走行しているとき (フェンスや縦じま模様の壁を含む)
 - 前方車のテールランプ (尾灯/制動灯など) が消灯しているとき
 - 前方車がヘッドランプの照射範囲外にいるとき
 - 急カーブ、急な上り坂、急な下り坂を走行しているとき
 - トネルの出入り口を走行しているとき
 - ルーフレールなどを装着してフォワードセンシングカメラ (FSC) をおおうような長尺物をのせたとき
 - 前方車の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
 - 偏摩耗の著しいタイヤを装着して走行しているとき
 - 下り坂や凸凹な道路を走行しているとき
 - 路面に水たまりがあるとき
 - 夜間や夕方、朝方、トンネルや屋内の駐車場など周囲が暗いとき
 - ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているときなどヘッドランプの明るさが十分でないとき
 - 対象物がフォワードセンシングカメラ (FSC) の死角にいるとき
 - 対象物が横から飛び出したり、目の前に割り込んだとき
 - 自車が車線変更をして対象物に接近したとき
 - 対象物との距離が極端に近い状態で走行しているとき
 - タイヤチェーン・応急用スペアタイヤを使用しているとき
 - 重い荷物の積載などにより車が傾いているとき
 - 前方に強い光を受けたとき (逆光やヘッドランプ上向き (ハイビーム) など)
 - 車両前方にたくさんの光を発するものがあるとき
 - 前方車にテールランプ (尾灯/制動灯など) が装備されていないとき
 - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

運転する前に

運転する

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

知識

- フォワードセンシングカメラ (FSC) は、逆光や霧などで正常に作動できない場合、フォワードセンシングカメラ (FSC) に関連するシステムの機能を一時的に停止し、次の警告灯/警告表示を点灯させますが、故障ではありません。
 - ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告灯
 - アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告灯
 - 車線逸脱警報システム警告灯/警告表示
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告灯/警告表示 (橙)
- フォワードセンシングカメラ (FSC) は、高温で正常に機能できない場合、フォワードセンシングカメラ (FSC) に関連するシステムの機能を一時的に停止し、次の警告灯/警告表示を点灯させますが、故障ではありません。エアコンを作動させるなどしてフォワードセンシングカメラ (FSC) 周辺の温度を下げてください。
 - ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告灯
 - アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告灯
 - 車線逸脱警報システム警告灯/警告表示
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告灯/警告表示 (橙)
- フォワードセンシングカメラ (FSC) が、ガラスの汚れや曇りを検知した場合、フォワードセンシングカメラ (FSC) に関連するシステムの機能を一時的に停止し、次の警告灯/警告表示を点灯させますが、故障ではありません。ガラスの汚れを取り除く、または、曇り取りスイッチを押してガラスの曇りを取ってください。
 - ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告灯
 - アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告灯
 - 車線逸脱警報システム警告灯/警告表示
 - スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告灯/警告表示 (橙)
- 飛び石などでフロントガラスに傷などが認められるときは、フロントガラスを必ず交換してください。交換する際は、マツダ販売店にご相談ください。

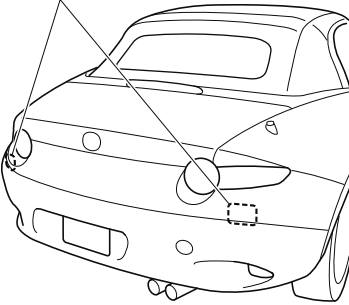
レーダーセンサー (リア) について

この車両にはレーダーセンサー (リア) が装備されています。レーダーセンサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA)

レーダーセンサー (リア) は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。

レーダーセンサー (リア)



レーダーセンサー (リア) は、リアバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。レーダーセンサー (リア) の正しい作動のため、レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー表面は、いつもきれいにしておいてください。またステッカーなども貼り付けしないでください。
→373 ページ「外装の手入れ」

⚠ 注意



必ず守る

リアバンパーに強い衝撃が加わったときは、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。ただちにシステムの使用を中止し、マツダ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

- レーダーセンサー (リア) の検知性能には限界があります。次のような場合は検知性能が低下し、正常に作動しないことがあります。
 - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパーが変形したとき
 - リアバンパーのレーダーセンサー (リア) 付近に氷、雪や泥が付着しているとき
 - 雨、雪、霧などの悪天候のとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー (リア) が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 小型の二輪車、自転車、歩行者、動物、ショッピングカート、道路上および道路端の静止物体
 - レーダーが反射しにくい形状の車両 (車高の低い空荷のトレーラー、スポーツカーなど)
- レーダーセンサー (リア) が接近車両を正しく検知するために、車両搭載状態でレーダーセンサー (リア) の向きを車両ごとに調整して出荷しています。レーダーセンサー (リア) の向きが何らかの原因でずれた場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
- レーダーセンサー (リア) の修理、交換およびレーダーセンサー (リア) 付近のバンパー修理、塗装、交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。
- レーダーセンサー (リア) は、日本国内の電波法の認可を受けています。日本国外で走行する際には、その国の認可を受ける必要があります。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

超音波センサー (フロント) について

グレード/仕様別装備

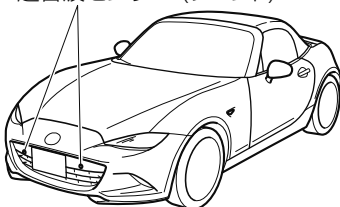
この車両には超音波センサー (フロント) が装備されています。超音波センサー (フロント) は次のシステムが使用しています。

- AT 誤発進抑制制御 [前進時]

超音波センサー (フロント) は、超音波センサー (フロント) から送信される超音波が前方の障害物に反射し、もどってきた超音波を受信することによって対象物を検知します。

超音波センサー (フロント) は、フロントバンパーに設置されています。

超音波センサー (フロント)



超音波センサー (リヤ) について

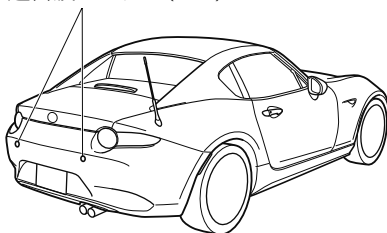
この車両には超音波センサー (リア) が装備されています。超音波センサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)
- AT 誤発進抑制制御 [後退時]

超音波センサー (リア) は、超音波センサー (リア) から送信される超音波が後方の障害物に反射し、もどってきた超音波を受信することによって対象物を検知します。

超音波センサー (リア) は、リアバンパーに設置されています。

超音波センサー (リア)



2.運転するときに クルーズコントロールについて

クルーズコントロールとは グレード/仕様別装備

アクセルペダルを踏まなくても車速を約 30~100 km/h の間に設定できる装置です。高速道路、加速/減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

警告



禁止

次のような場所では使用しない。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）
- 急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、セット速度をこえることがあります）
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）

表示/表示灯



クルーズメイン表示 (白)/表示灯 (橙)

点灯するとき

ON スイッチを押すと点灯します。
OFF/CAN スイッチを押すと消灯します。

クルーズコントロール表示 (緑)/表示灯 (緑)

点灯するとき

速度が設定されると点灯します。
OFF/CAN スイッチを押すと消灯します。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

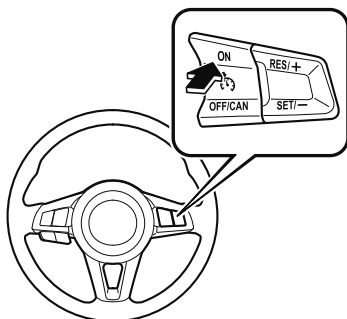
トラブルが
起きたら

車両
スペック

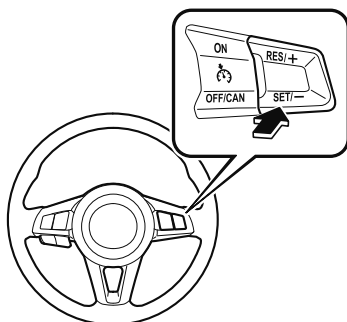
さく
いん

2. 運転するときに クルーズコントロールについて

設定するとき



1. ON スイッチを押すと速度の設定ができる状態になります。同時にメーター内のクルーズメイン表示 (白)/表示灯 (橙) が点灯します。



2. アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。
3. SET- スイッチを押すと定速走行をはじめます。同時にメーター内のクルーズコントロール表示 (緑)/表示灯 (緑) が点灯します。クルーズコントロール表示 (緑)/表示灯 (緑) が点灯したら、すぐにスイッチから手を離します。

警告



必ず守る

クルーズコントロールを使用しないときは、必ず OFF にする。
常に使用できる状態にしておくと、誤ってクルーズコントロールを作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 次のときは、クルーズコントロールの速度設定ができません。
 - **(オートマチック車)**
セレクトレバーがPまたはNレンジのとき
 - **(マニュアル車)**
チェンジレバーがニュートラル位置のとき
 - パーキングブレーキをかけているとき
- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- RES/+スイッチを押したままにすると加速をはじめます。SET-スイッチを押したままにすると減速をはじめます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

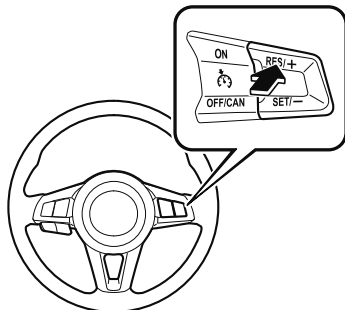
さく
いん

2. 運転するときに クルーズコントロールについて

設定速度を上げるとき

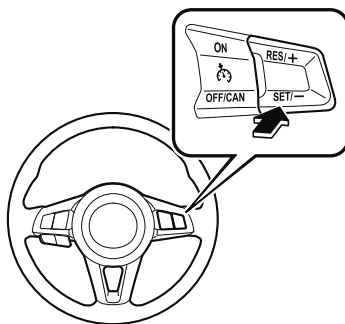
次の操作で設定速度を上げることができます。

スイッチで加速するとき



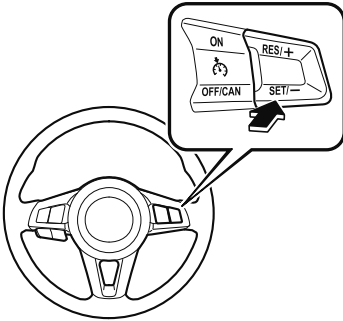
RES/+スイッチを押したまま、希望の速度になったところで手を離します。
スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節(約 1 km/h) ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4 km/h 上がります。

アクセルペダルで加速するとき



アクセルペダルを踏み、希望の速度になったらそこで SET/- スイッチを押します。
スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

設定速度を下げるとき



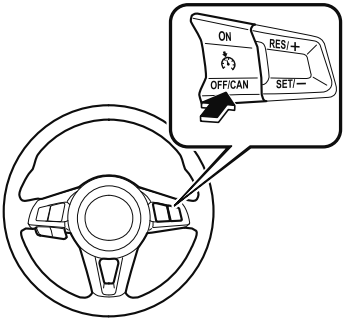
SET/ースイッチを押し続け、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節(約 1 km/h)ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4 km/h 下がります。

運転する前に

運転する

解除するとき



OFF/CAN スイッチを長押し、または 2 回押すと、クルーズコントロールが解除され、クルーズコントロール表示(緑)/表示灯(緑)とクルーズメイン表示(白)/表示灯(橙)が消灯します。

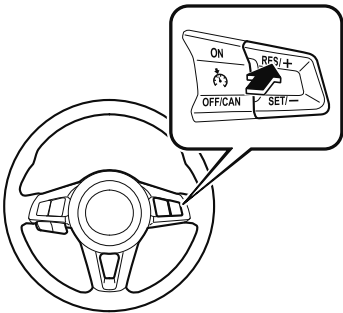
快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん



次のようなときは、クルーズコントロールが解除されクルーズコントロール表示(緑)/表示灯(緑)が消灯しますが、クルーズメイン表示(白)/表示灯(橙)は点灯したままです。車速が 30 km/h 以上であれば、RES/+ スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- OFF/CAN スイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- **(マニュアル車)** クラッチペダルを踏んだとき

知識

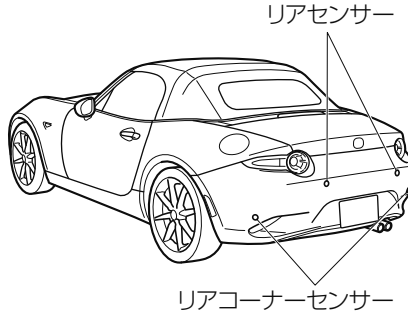
- 次のような状態になった場合も、クルーズコントロールシステムが一時的に解除されます。
 - パーキングブレーキをかけているとき
 - **(オートマチック車)**
セレクトレバーが P または N レンジのとき
 - **(マニュアル車)**
チェンジレバーがニュートラル位置のとき
- クルーズコントロールシステムが一時的に解除された場合、解除された条件にひとつでも該当する場合は、速度を再設定することが出来ません。
- 設定速度より、約 15 km/h 以上下がったとき、クルーズコントロールが解除されることがあります。
- 車速が 30 km/h 未満になると、クルーズコントロールが解除されます。この場合、車速を 30 km/h 以上にして RES/+ スイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。クルーズコントロールを設定しなおしてください。
- **(オートマチック車)**
クルーズコントロールを使用して走行しているときは、マニュアルモード (セレクトレバーを D から M レンジに操作) にしてもクルーズコントロールは解除されません。そのため、低速ギヤにシフトダウンしてもエンジンブレーキが効きません。減速が必要なときは、設定速度を下げるか、ブレーキペダルを踏んでください。

駐車支援システムとは

駐車支援システムは次のシステムで構成されています。

- **パーキングセンサー**
車庫入れや縦列駐車など低速走行時に、超音波センサーで検出した車両周辺の障害物とのおおよその距離を、ブザーおよび検知表示により運転者に知らせるシステムです。

センサーの取り付け位置



パーキングセンサー

パーキングセンサーは、車庫入れや縦列駐車など低速走行時に、超音波センサーで検出した車両周辺の障害物とのおおよその距離を、ブザーおよび検知表示により運転者に知らせます。

警告



必ず前方/後方および周囲の安全を直接確認しながら運転する。

必ず守る

パーキングセンサーはあくまでも後退するときの補助装置です。また、センサーの検出範囲は限られていますので、システムを過信して前進/後退すると障害物に接触したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

センサーの検出範囲内にアクセサリー用品などを取り付けないでください。システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

障害物の種類や周囲の条件によっては、センサーが障害物を検出できる距離が短くなったり、障害物を検出できない場合があります。必ず前方/後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

運転する
前に

運転する
中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

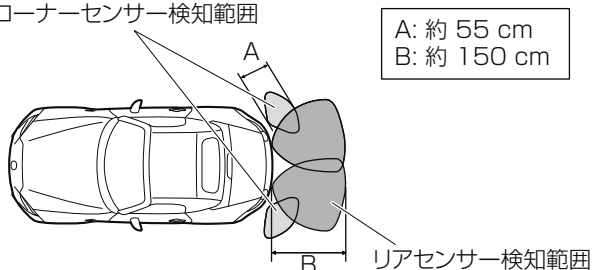
知識

- 次のようなときは、システムが正常に作動しない場合があります。
 - センサー部に氷、雪、泥などが付着したとき（取り除けば正常に復帰します。）
 - センサー部が凍結したとき（溶ければ正常に復帰します。）
 - センサーを手でふさいだとき
 - センサー付近に強い衝撃が加わったとき
 - 車両姿勢が大きく傾いたとき
 - 炎天下や寒冷時
 - 凸凹道、坂道、砂利道、草むら走行時など
 - 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、他車のセンサーなどの超音波を発生するものが近づいたとき
 - どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
 - 市販のフェンダーポール、無線機用アンテナを車に取り付けたとき
 - 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
 - 障害物がセンサーに近付きすぎているとき
- 次のような障害物は、パーキングセンサーが検出しない、もしくは検出しにくいことがあります。
 - 針金、ロープなどの細いもの
 - 綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
 - 鋭角的な形を持つもの
 - 背が高く上部が張り出しているもの
 - 背の低いもの
- バンパーの真下付近は感知しません。センサーより低い物体や細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知なくなることがあります。
- 接触事故などでバンパーへ衝撃が加わったときは、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。センサーの位置がずれると障害物を正常に検出できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- パーキングセンサースイッチを ON にしてもブザーが鳴らない場合や表示灯が点灯しない場合は、システムの故障が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- システムの異常を示すブザーが鳴った場合は、システムの故障が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 低温時やセンサー部に泥や氷、雪などが付着した場合にも、システムの異常を示すブザーが鳴る場合があります。センサー部に付着した異物を取り除いてください。

センサーの検出可能範囲

センサーは、次に示す範囲の障害物を検出します。

リアコーナーセンサー検知範囲



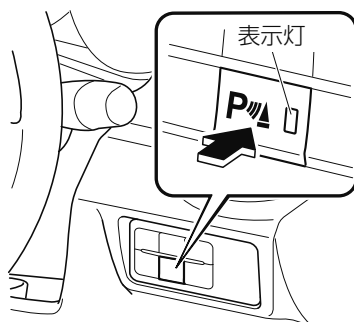
A: 約 55 cm
B: 約 150 cm

作動させるとき

電源ポジションが ON のときに、パーキングセンサースイッチを押すと、ブザーが鳴り、表示灯が点灯します。

パーキングセンサーが ON のときに電源ポジションを ON にした場合は、表示灯が点灯します。

作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。



知識

電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、パーキングセンサーが ON の状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたとき、パーキングセンサーは ON の状態のままです。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

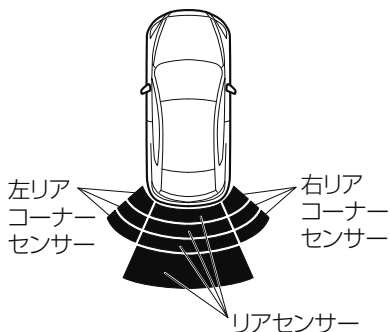
さくいん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

作動条件

電源ポジションが ON のときにパーキングセンサースイッチを ON にすると使用できます。

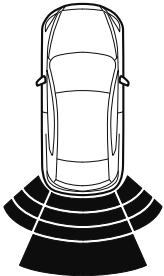
検知表示

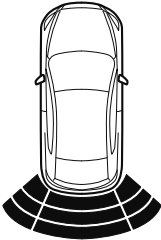
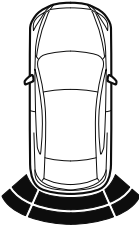
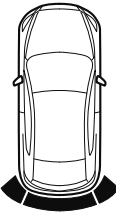


知識

検知表示は表示/非表示を変更することができます。
マツダコネクテッド取扱書を参照してください。

距離表示の見方

表示	車両と障害物の距離
	リアセンサー: 約 150~60 cm

表示	車両と障害物の距離
	<p>リアセンサー: 約 60~45 cm リアコーナーセンサー: 約 55~38 cm</p>
	<p>リアセンサー: 約 45~35 cm リアコーナーセンサー: 約 38~25 cm</p>
	<p>リアセンサー: 約 35 cm 以内 リアコーナーセンサー: 約 25 cm 以内</p>

運転する
前に

運転する
ヤミに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

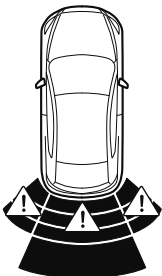
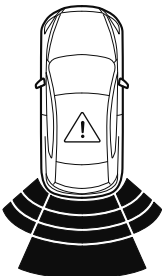
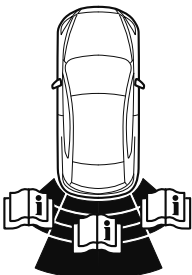
車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

こんなときは

異常が発生した場合は、次の表示により異常が発生したことをお知らせします。

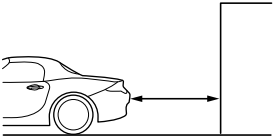
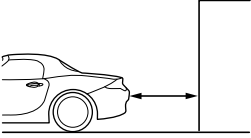
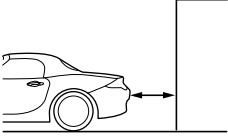
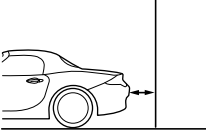
	検知表示	解決方法
断線		マツダ販売店で点検を受けてください。
システム異常		マツダ販売店で点検を受けてください。
霜/汚れ		障害物検知表示に対応するセンサー部に異物が付着していないか確認してください。システムが復帰しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。

ブザー

障害物との距離に応じた鳴り方で、障害物とのおよその距離を運転者に知らせます。複数個所の障害物を検知した場合は、最も近い障害物との距離に応じて吹鳴します。

システム作動中は、ブザーが次のように作動します。

リアセンサー

車両と障害物の距離	ブザーの鳴り方
約 150 cm～60 cm 	ピッ・ピッ・ピッ (遅い継続音)
約 60～45 cm 	ピッピッピッ (継続音)
約 45～35 cm 	ピピピピ (早い継続音)
約 35 cm 以内 	ピー (継続音)

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

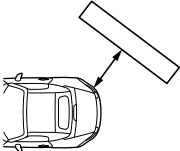
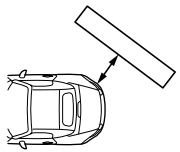
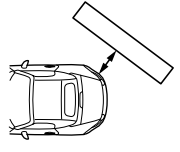
トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

リアコーナーセンサー

車両と障害物の距離	ブザーの鳴り方
約 55 cm～38 cm 	ピッピッピッ (継続音)
約 38～25 cm 	ピピピピ (早い継続音)
約 25 cm 以内 	ピー (連続音)

知識

一つのセンサーが同じ障害物を約 6 秒以上検知し続けた場合、ブザーが鳴り止みます。
(近距離時以外)

こんなときは

次のようなとき、ブザーの鳴らし方や表示の仕方です異常を知らせます。

表示/ブザー	確認すること
ブザーが吹鳴しない。	システムの異常が考えられます。早めにマツダ販売店で点検を受けてください。
ブザーが「ピピピッ」と5回なった。	センサー部に異物が付着していないか確認してください。直らない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
特定の検知表示が表示し続ける。	検知表示に対応するセンサー部に異物が付着していないか確認をしてください。直らない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

運転する
前に

運転する
とき

快適装備の
使用

お手入れの
仕方

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん


様々な状況での運転のときは

悪天候での運転

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。

このようなときは、吹き出し口をに切り替えます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。



警告



ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。

禁止

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

積雪、寒冷時の運転

すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

→386 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠ 注意



必ず守る

運転席/助手席側ワイパーアームを立てるときは、運転席側のワイパーアームから立ててください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりともどしてください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおっております。必要に応じてマツダ販売店で求めください。

📖 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

運転する前に

運転する前に

快適装備の使用

お取り扱い

トラブルが起きたら

車両仕様

さくいん

2. 運転するときに 環境保護のために

経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を浪費します。

不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。

空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。
空ぶかしは環境にも車にもよくありません。

エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。

ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
速度にムラのある走り方をすると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。

経済的速度

一般道路で40km/h、高速道路で80km/h程度の等速走行が経済的です。

運転する
前に

運転する
中

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時 (オートマチック車)

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

WLTC モード燃費について

「WLTC モード」とは

「市街地モード (WLTC-L)」、「郊外モード (WLTC-M)」、「高速道路モード (WLTC-H)」の3つの走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な燃費試験方法です。WLTCとは Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle (世界統一試験サイクル) モードの略称です。

知識

WLTC モードは従来の JC08 モードよりも実際の走行環境に近い燃費試験方法です。

市街地モード (WLTC-L)	信号や渋滞などの影響を受ける比較的低速な走行を想定
郊外モード (WLTC-M)	信号や渋滞などの影響をあまり受けない走行を想定
高速道路モード (WLTC-H)	高速道路などでの走行を想定

ただし、お客様の使用環境 (気象、渋滞など) や運転方法 (急発進、エアコン使用など) に応じて燃料消費率は異なります。

MEMO

3 快適装備の使いかた

空調	278
エアコンの上手な使いかた.....	278
吹き出し口.....	279
マニュアルエアコン.....	281
フルオートエアコン.....	284
オーディオ	288
オーディオをご使用の前に.....	288
アンテナ.....	292
オーディオの操作方法.....	293
オーディオソースの使いかた.....	297
マツダコネクト	309
マツダコネクトとは?.....	309
マツダコネクトの基本操作.....	312
室内装備	326
サンバイザー.....	326
室内照明.....	326
電源ソケット.....	328
脱着式カップホルダー.....	329
収納.....	333
エアロボード.....	336

エアコンの上手な使いかた

エアコンを使用する前に

外気取り入れ口について

フロントガラスとボンネットの間にある外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いておきましょう。外気が導入できないため、車内の換気が十分でなくなるおそれがあります。

暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。冷媒の仕様はエンジンルームに貼られたラベルに記載してあります。

エアコンを使用するときは

使用について

エアコンは、エンジンをかけた状態で使用してください。

知識

(i-stop 装備車)

- エアコンの操作により、アイドリングストップしないことや、アイドリングストップ中にエンジンが自動で再始動することがあります。
→125 ページ「i-stop について」 グレード/仕様別装備
- アイドリングストップ中は、吹き出し風量がやや減少する場合があります。
- アイドリングストップ中は、快適な温度を保持するため、インストルメントパネル中央付近からエアコン装置（モーターなど）の作動音が聞こえることがあります。

外気導入と内気循環について

外気導入は、換気したいときやガラスの曇りを取るときに使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用してください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは、室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを起動させてください。

エアコンを使用したあとは

長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときでも、内部のオイル循環のため、1か月に1回程度エアコンを作動させてください。

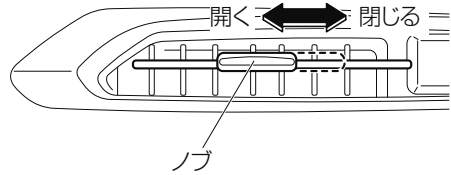
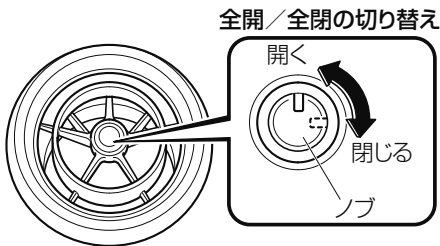
吹き出し口

吹き出し口の調節

吹き出し口の開閉

中央 (運転席側)および側面

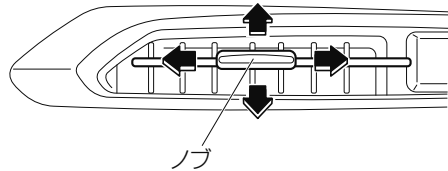
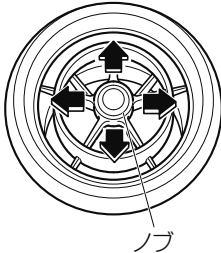
中央 (助手席側)



風向きの調節

中央 (運転席側)および側面

中央 (助手席側)



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

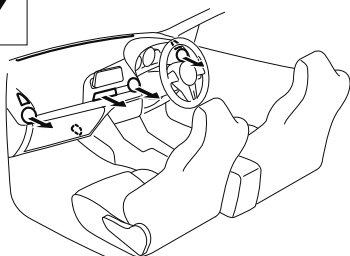
3. 快適装備の使いかた

空調

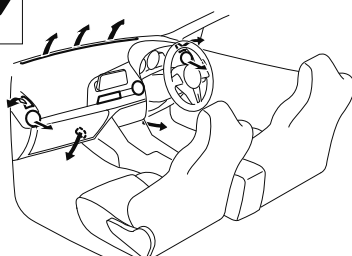
吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

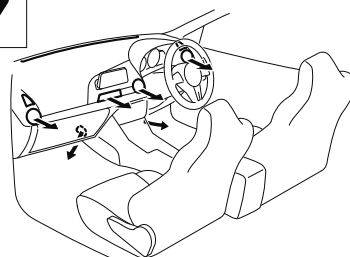
上半身に送風するとき



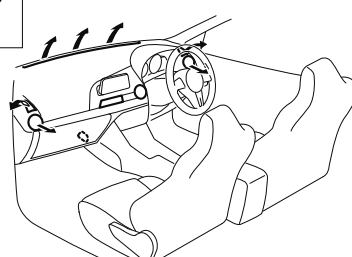
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



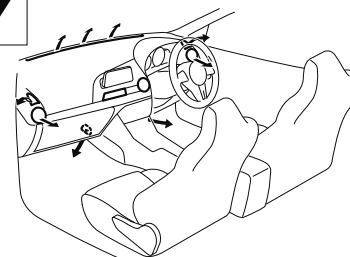
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき



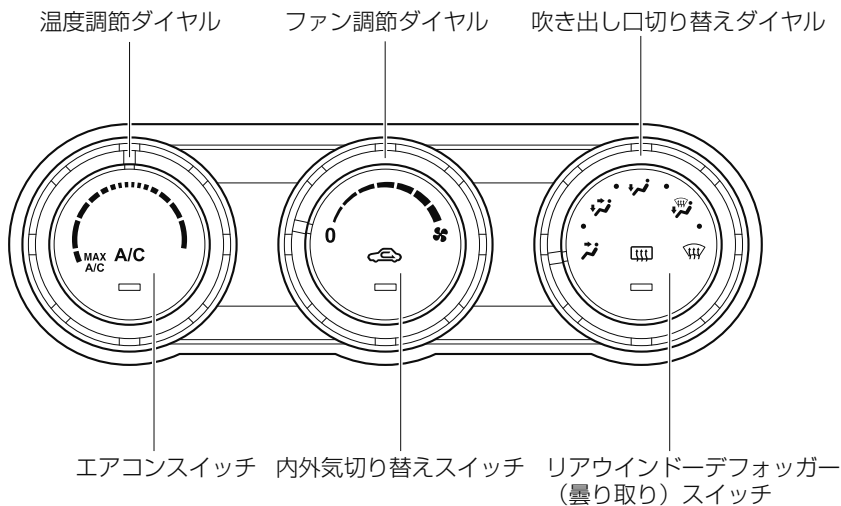
主に足元に送風するとき



知識

吹き出し口の開閉状態により、風が出る位置や風量に変化があります。

マニュアルエアコン



各スイッチの使いかた

温度調節ダイヤル

ダイヤルをまわして、吹き出し風の温度を調節します。

ファン調節ダイヤル

風量を 7 段階に調節できます。

吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的にあわせて、吹き出し口を選択することができます。

→280 ページ「吹き出し口の選択」

知識

- 吹き出し口切り替えダイヤルを**足元**の位置にし、温度調節ダイヤルを中間付近で使用すると暖められた風が足元から吹き出し、比較的温度の低い風がインストルメントパネル中央および左右から吹き出します。この吹き出しは頭寒足熱を目的としています。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら




車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

空調



知識

- ダイヤルは各モードの中間位置●に固定することができます。風量を少し調節したいときは、ダイヤルを中間位置に固定してください。
例えば、ダイヤルを  と  の間の●位置に固定すると、足元からの吹き出し風量は  位置のときよりも減少します。

エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルが0以外のとき、スイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り替わります。
エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。

知識

- 外気温が0℃近くまで下がると、システム保護のためエアコンが作動しない場合があります。
- 吹き出し口切り替えダイヤルが  か 、またはその中間の位置にあり、ファン調節ダイヤルが0以外で温度調節ダイヤルをMAX A/Cの位置にすると、自動的に内気循環に切り替わり、エアコンが作動します。エアコンの作動を停止させたいときは、エアコンスイッチを押してください。

内外気切り替えスイッチ

内気循環（外気を遮断する）と外気導入（外気を室内に入れる）の切り替えができます。
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

知識


寒いときや湿度が高いときに、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環（表示灯点灯）
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入（表示灯消灯）
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ

リアウインドーの曇りを取るときに使用します。
→191 ページ「リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ」

ガラスの曇りを取るとき


吹き出し口切り替えダイヤルをにします。
風量はお好みにあわせて調節してください。

警告



ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。
ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

吹き出し口をに設定すると自動的に外気導入に切り替わります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

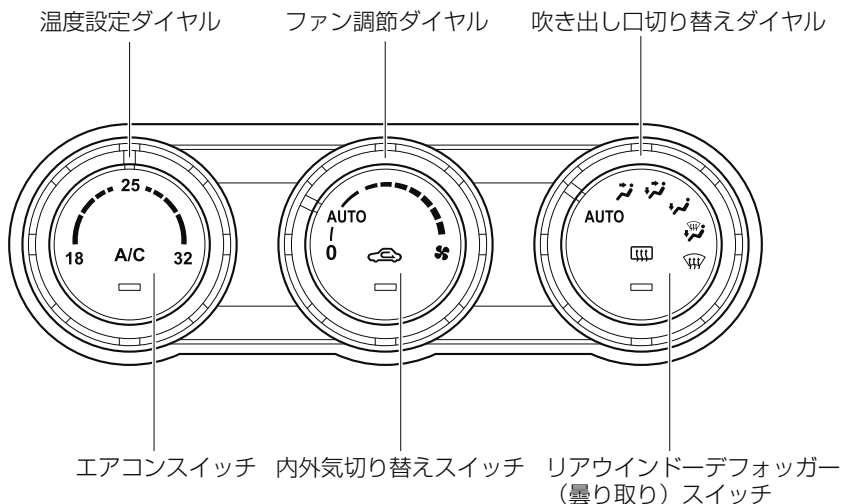
車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

空調

フルオートエアコン



各スイッチの使いかた

温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。
ダイヤルの表示数字は、室温設定時の目安となります。

知識

ダイヤルを左側いっぱいにもわすと最大冷房、右側いっぱいにもわすと最大暖房に固定されます。

ファン調節ダイヤル

AUTO 位置のとき設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、吹き出し風量をお好みで調節できます。
右側いっぱいにもわすと、最大風量に固定されます。

吹き出し口切り替えダイヤル

AUTO 位置のとき、設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行ないます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

→280 ページ「吹き出し口の選択」

エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルが0以外の位置のとき、スイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り替わります。

エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。

知識

外気温が0℃近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しない場合があります。

内外気切り替えスイッチ

内気循環（外気を遮断する）と外気導入（外気を室内に入れる）の切り替えができます。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環（表示灯点灯）
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入（表示灯消灯）
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ

リアウインドーの曇りを取りたいときに使用します。

→191 ページ「リアウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ」

通常の使いかた

1. 吹き出し口切り替えダイヤルを AUTO の位置にします。
2. 内外気切り替えスイッチを外気導入（表示灯消灯）にします。

知識

寒いときや湿度が高いときに、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

3. ファン調節ダイヤルを AUTO の位置にします。
4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動（表示灯点灯）させます。
5. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に調節します。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた


空調

知識

- 設定温度を極端に低く（高く）しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

6. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを 0 の位置にします。

ガラスの曇りを取るとき

ファン調節ダイヤルが 0 以外の位置のときに、吹き出し口切り替えダイヤルを  にします。

自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、窓ガラスに送風されます。

警告



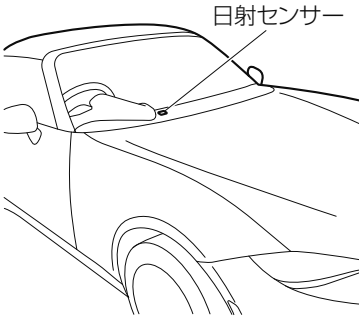
ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。
ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

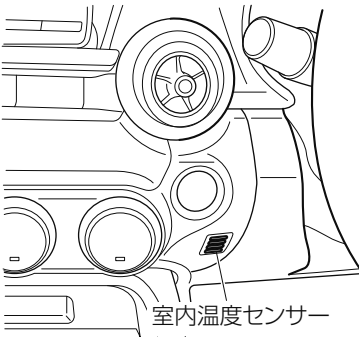
- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

日射センサーについて



日射センサー 日射センサーの上に物を置かないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

室内温度センサーについて



室内温度センサーをふさがないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

オーディオをご使用前に

警告



オーディオは、車を止めてから操作する。
走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ（雑音）が発生することがありますが故障ではありません。

ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

→297 ページ「ラジオを聞く」

USB オーディオ機器について

USB メモリ、USB オーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。

MP3、AAC (M4A) *1、WMA

→290 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」

*1 本機は、拡張子 (.m4a) にのみ対応しています

注意



オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

- データ規格の詳細については「再生可能なオーディオファイルについて」を参照ください。
→290 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」
- FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。
(NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。
- USB メモリは 16GB を超えると動作が不安定になる事があります。
(推奨容量：16GB 以下推奨格納音楽ファイル数：1,000 ファイル以内)
- 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。
USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- 本機は著作権保護された WMA/AAC ファイルを再生できません。
- 機器に保存された曲順と再生順序が違ふことがあります。
- 機器が 1,000mA 以上の電力を使用する場合は、作動しなかったり、充電できない場合があります。
- USB オーディオ再生中に USB オーディオ機器を取り外さないでください。(ラジオや CD などの、別のオーディオモード中に取り外すことができます)。
- パスワードで保護されたデータは、再生することができません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。

記載している規格以外で書き込まれた MP3/WMA/AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
→298 ページ「USB オーディオ機器の音楽を聞く」

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

再生可能なオーディオファイルについて

注意



必ず守る

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	USB
MP3		32 ~ 160kbps	32 ~ 48kHz	○
WMA	WMA Std	32 ~ 160kbps	32 ~ 48kHz	○
M4A	AAC	64 ~ 256kbps	32 ~ 48kHz	○

○: 可能

—: 不可能

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。

本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

知識

フランス、トムソン社からの MP3 特許ライセンスについて

本機は、個人の使用、または非商用的使用を目的としています。次のような、商用目的には使用できません。ご使用には、別途、トムソン社からの商用使用許諾が必要です。

詳しくは <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

- 有料リアルタイム放送 (地上波、衛星、ケーブル、その他の放送媒体)
 - インターネットによる放送、またはストリーミング
 - イントラネット/ネットワーク
 - 有料オーディオ・アプリケーションやオーディオ・オンデマンド・アプリケーションなどの電子情報配信システム
-
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからメディアに書き込んでください。

- 表示される文字数には制限があります。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。

※Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- 記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからメディアに書き込んでください。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.m4a) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

- 記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.m4a」を追記してからメディアに書き込んでください。

iPod について

本機は、音楽ファイルが記録された iPod の再生に対応しています。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

⚠ 注意



必ず守る

iPod を使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。



必ず守る

iPod のバッテリーが劣化している場合、本機に接続しても充電や再生ができない場合があります。



必ず守る

ご使用前に、iPod の取扱書をよくお読みください。



必ず守る

iPod は、USB 端子に接続して、操作をオーディオユニットで行ないます。iPod 本体での操作はできません。

運転
前に

運転
するとき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

知識

- 本機は、iPod の画像やビデオを表示することはできません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→305 ページ「iPod モードの使いかた」

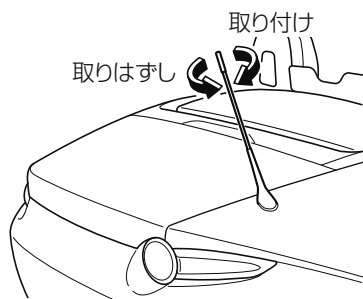
商標について

本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

- iPhone、iPod は Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

アンテナ

脱着タイプ



取りはずすときは、左にまわします。取り付けるときは右にまわし、しっかりと締めます。

注意

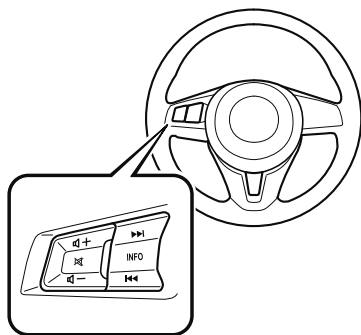


天井の低い車庫に入れるときや洗車するときは、アンテナを取りはずしてください。取り付けしているとアンテナが損傷するおそれがあります。

必ず守る

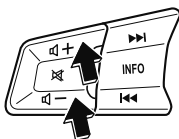
オーディオの操作方法

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作



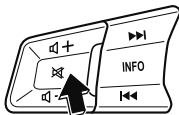
ハンドルの左側にあります。
オーディオの電源が入っているときに、手でオーディオの操作をすることができます。

音量を調節するとき



＋、－ボタンを操作して、音量を調節します。

消音にするとき



muteボタンを押すと、消音できます。もう一度ボタンを押すともとにもどります。

知識

消音にしたあと電源ポジションを OFF にすると、消音は解除されます。その後エンジンをかけると、消音にする前の状態にもどります。音を消したいときは、muteボタンを押してください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

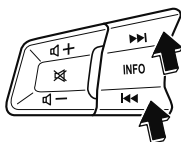
車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

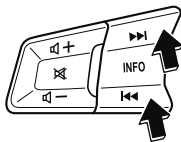
オーディオ

選局するとき



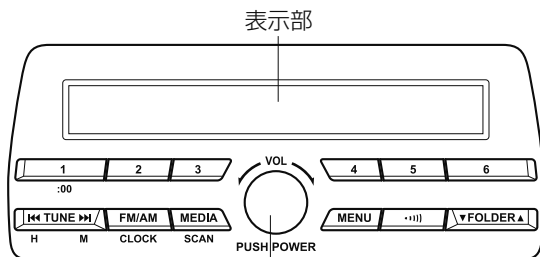
ラジオを聞いているときに|◀◀▶▶|ボタンを押すと、1～6のボタンにあらかじめ記憶させておいた放送局を呼び出すことができます。ボタンを押すごとに順次記憶された放送局に切り替わります。また、ピツと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。

頭出しをするとき



USB オーディオを聞いているときに|◀◀▶▶|ボタンを操作すると、曲の頭出しをすることができます。次の曲の頭に進めたいときは▶▶|ボタンを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは|◀◀|ボタンを押します。

音量/音質の調節



音量調節ダイヤル/オーディオコントロールダイヤル

音量調節

音量調節ダイヤルをまわして調節します。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

音質調節

1. **MENU**ボタンを押して調節したいモードを選びます。
ボタンを押すごとにモードが切り替わります。
2. オーディオコントロールダイヤルをまわして調節します。

モード	ダイヤルをまわす方向	
	左	右
ALC (自動音量調節)	音量変化小	音量変化大
BASS (低音調節)	低音弱	低音強
TREB (高音調節)	高音弱	高音強
FADE (前後音量調節)	—	フロントスピーカ ーの音量小
BAL (左右音量調節)	音量バランスを左 側に移動	音量バランスを右 側に移動
BEEP (操作音設定)	OFF	ON
12Hr <> 24Hr (時間表示設定)	時計を 12Hr 表示 (点滅)	時計を 24Hr 表示 (点滅)

ALC (自動音量調節)

オートマチックレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。

ALC OFF、ALC LEVEL1~7 モードがあり、ALC LEVEL7 にすると変化量が最大になります。状況に応じてモードを選択してください。

BEEP (操作音設定)

ボタンの長押し操作による、オーディオ操作音の設定をすることができます。初期設定では ON になっています。OFF にすると操作音はしなくなります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

12Hr < > 24Hr (時間表示設定)

オーディオコントロールダイヤルをまわして、12/24 時間の表示を切り替えることができます。

→296 ページ「時計の調節」

知識

- 音量/音質調節値は、表示部に表示されます。
- **MENU**ボタンを押してしばらくすると、音質調節前の表示にもどります。ピッと音がするまで押し続けると低音、高音、前後、左右の調節値が中央値 (初期値) にもどり、表示部に“CLEAR”が表示されます。

時計の調節

時刻のあわせかた

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. **FM/AM**ボタンをピッと音がするまで押します。
時刻が点滅表示されます。
 - 時間調節
時刻が点滅中に、**◀◀▶▶**ボタンを押して時刻をあ合わせます。
左 (**◀◀**) 側を押している間 “時” 表示が早送りされます。
右 (**▶▶**) 側を押している間 “分” 表示が早送りされます。
3. 調節後、**FM/AM**ボタンを押します。

時報にあわせるとき

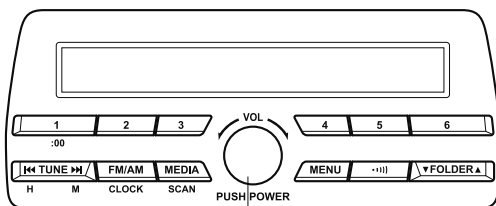
1. **FM/AM**ボタンをピッと音がするまで押します。
時刻が点滅表示されます。
2. 時報にあわせて 1 ボタンを押します。時刻は次のように修正されます。
(例)
12:01~12:29→12:00
12:30~12:59→1:00

知識

- 時刻をあわせたあと、1 ボタンを再度押した時点で “秒” は “00” からスタートします。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは時計がリセットされます。もう一度設定してください。

オーディオソースの使いかた

ラジオを聞く



電源スイッチ

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. **FM/AM** ボタンを押し、聞きたいバンドを選択します。
3. 選局します。
 - **自動選局**
|◀◀, ▶▶| ボタンをピッと音がするまで押し続けると、自動選局を始め、放送を受信すると止まります。
 - **手動選局**
|◀◀, ▶▶| ボタンを押しして選局します。
4. 音量/音質を調節します。
5. ラジオを止めるときは、電源スイッチを押します。

知識

受信する電波が弱いときは、手動選局をしてください。

放送局を記憶するとき

1～6 のボタンを使って、選局した周波数を記憶させておくと便利です。
AM、FM1、FM2 それぞれ 6 局まで記憶できます。

1. 記憶させたい放送局を選びます。
2. 1～6 いずれか 1 つのボタンをピッと音がするまで押します。
記憶させたチャンネル番号と周波数が 1 回点滅します。
3. 呼び出すときは、1～6 いずれかのボタンを押します。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

知識

呼び出すときに、ボタンをピッと音がするまで押すと、そのとき受信している周波数が記憶されます。

聞きたい局を探すとき

MEDIA ボタンを使って、受信可能な放送局を探すことができます。

1. **MEDIA** ボタンをピッと音がするまで押し続けると、周波数の低い方から高い方へ 5 秒間ずつ受信していきます。
2. 聞きたい局が受信されたらもう一度**MEDIA** ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その周波数を受信し続けます。

交通情報の受信

交通情報を放送している地域では、**・(11)** ボタンを押すと交通情報を受信できます。

1. **・(11)** ボタンを押すと、AM1620kHz、または AM1629kHz を受信します。
2. もう一度押すともとの状態にもどります。
3. 受信中、ボタンをピッと音がするまで押すごとに、AM1620kHz と AM1629kHz を切り替えることができます。

知識

・(11) ボタンで受信中は、1～6 のボタンを押しても記憶された放送局は選局されません。

USB オーディオ機器の音楽を聞く

市販の USB メモリー、音楽プレイヤー、スマートフォンを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

警告



USB 端子に接続したコードが、パーキングブレーキレバーやセレクタレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車) に絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



プラグを接続した状態で、USB 端子の上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。



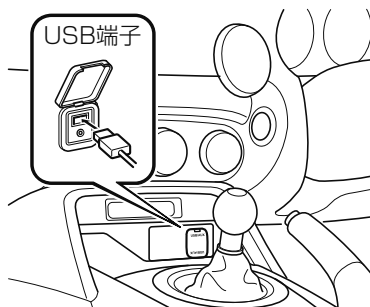
接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。

📖 知識

- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ご使用前に、USB オーディオ機器の取扱説明書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、USB オーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。
プラグの抜き差しは、USB 端子の穴に対して垂直に行なってください。



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

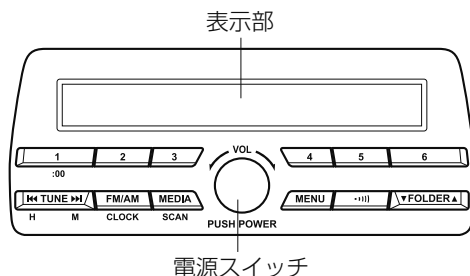
車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

USB モードの使いかた



タイプ	再生できるデータ
USB モード	MP3/WMA/AAC ファイル

USB3.0 の機器には対応していません。また、その他の機器も、機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。
3. オーディオユニットの**MEDIA**ボタンを操作して USB モードに切り替えると再生を開始します。
4. 再生を止めるときは電源スイッチを押します。(もう一度押すと再生できます。)

知識

- スマートフォンなどの一部の機器は、USB 接続による操作ができるように設定を変更してください。
- USB 機器が接続されていないときは、USB モードには切り替わりません。
- USB 機器に再生可能なデータが無いときは“NO CONTENTS”の文字が点滅します。
- 再生はフォルダ番号の順に行なわれます。MP3/WMA/AAC ファイルがないフォルダはスキップされます。
- USB モード中に USB 機器を取りはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

一時停止

一時停止するときは、4 ボタンを押します。
もう一度押すと再生できます。

聞きたいフォルダを選択するとき

今聞いているフォルダの前のフォルダを選択するときは▼ボタン、次のフォルダを選択するときは▲ボタンを押します。

早送り/早もどしをするとき


1. 早送りするときは▶▶ボタン、早もどしするときは◀◀ボタンを押し続けます。
2. ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき


今聞いている曲の頭にもどしたいときは|◀◀ボタンを押します。
次の曲の頭に進めたいときは▶▶ボタンを押します。

同じ曲をくり返して聞くととき

今聞いている曲をくり返し聞くととき

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に  が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとにもう一度押すと解除されます。


今聞いているフォルダ内をくり返し聞くととき

1. 再生中に 1 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すとそのフォルダ内の曲をくり返して再生します。表示部に “FOLDER RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に  が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。


ランダム選曲をするとき

USB 機器内の曲をランダムに選曲し、再生することができます。

フォルダ内の曲をランダムに聞くととき

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “FOLDER RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に  が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとにもう一度押すと解除されます。

USB 機器内の曲をランダムに聞くととき

1. 再生中に 2 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すと USB 機器内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “ALL RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に  が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダ内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

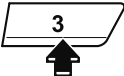
1. 再生中に**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の曲の頭から順に 10 秒間ずつ再生されます。
2. 聞きたい曲が再生されているときにもう一度**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その曲の再生がそのまま続きます。

知識

全ての曲の再生が終わると自動的に解除され、通常の再生にもどります。

表示を切り替えるとき

再生中、3 ボタンを押すごとに、表示部に表示される情報を、次のように切り替えることができます。

ボタン	表示部に表示される情報
	ファイルナンバー/再生時間
	フォルダナンバー/ファイルナンバー
	ファイル名
	フォルダ名
	アルバム名
	曲名
	アーティスト名

知識

- 表示できる情報が USB 機器に記録されている場合のみ、表示部に情報が表示されます。
- 本機の表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字が記録されている場合は、その文字を“*”に置き換えて表示します。

隠れているタイトルを表示する

表示部に一度に表示できる文字数は、13文字までです。タイトルが長く、最後まで表示されていないときは、3ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の13文字を表示します。最後の文字を表示しているときに3ボタンをピッと音がするまで押し続けると、タイトルの最初の13文字を表示します。

知識

表示される文字数には制限があります。

メッセージがでたときは

“CHECK USB” のメッセージが表示されたときは、USB 機器に何らかの異常があります。USB 機器に記録されている内容に MP3/WMA/AAC ファイルがあるか確認して、正しく接続し直してください。

再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

AUX の使いかた

市販のポータブルオーディオを本機の AUX 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

警告



必ず守る

AUX 端子に接続したコードが、パーキングブレーキレバーやセレクタレバー（オートマチック車）、チェンジレバー（マニュアル車）に絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

プラグを接続した状態で、AUX 端子の上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。



禁止

接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

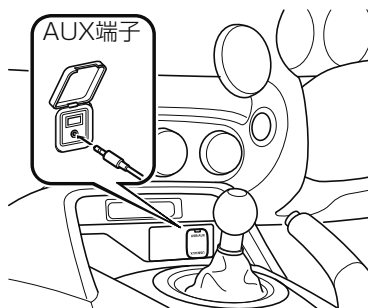
オーディオ

知識

- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ポータブルオーディオを AUX 端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ (3.5φ) を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは AUX 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

プラグの抜き差しは、AUX 端子の穴に対して垂直に行なってください。



AUX モードの使いかた

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。

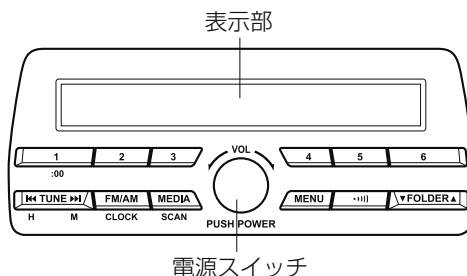
MEDIA

3. オーディオユニットの **MEDIA** ボタンを操作して AUX モードに切り替えます。

知識

- 機器が AUX 端子に接続されていないときは、AUX モードには切り替わりません。
- 音量調節は、ポータブルオーディオ本体およびオーディオユニットで行ないます。
- 音量調節以外の操作は、ポータブルオーディオ本体で行ないます。オーディオユニットでは操作できません。
- AUX モード中に AUX 端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜くとノイズが発生することがあります。

iPod モードの使いかた



機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。
3. オーディオユニットの**MEDIA**ボタンを操作して、iPod モードに切り替えると再生を開始します。
4. 再生を止めるときは、電源スイッチを押します (もう一度押すと再生できます)。

知識

- iPod が接続されていないときは、iPod モードには切り替わりません。
- iPod に再生可能なデータが無いときは“NO CONTENTS”が点滅します。
- iPod モード中に iPod を取りはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

一時停止

一時停止するときには、4 ボタンを押します。
もう一度押すと再生できます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

カテゴリー切り替え

今聞いているカテゴリーの前のカテゴリーを選択するときは 5 ボタン、次のカテゴリーを選択するときは 6 ボタンを押します。

知識

カテゴリーはプレイリスト、アーティスト、アルバム、ソング、Podcast、ジャンル、コンポーザー、オーディオブックがあります。

聞きたいリストを選択するとき

今聞いているリストの前のリストを選択するときは ▼ ボタン、次のリストを選択するときは ▲ ボタンを押します。

知識

選択しているカテゴリーがソング、またはオーディオブックのときは、リストはありません。

早送り/早もどしをするとき

1. 早送りするときは ►► ボタン、早もどしするときは ◀◀ ボタンを押し続けます。
2. ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどしたいときは ◀◀ ボタンを押します。
次の曲の頭に進めたいときは ►► ボタンを押します。

同じ曲をくり返して聞くととき

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に 🎵 が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。


ランダム選曲をするとき

iPod 内の曲をランダムに選曲し、再生することができます。

リスト内の曲をランダムに聞くととき

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、リスト内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “SONG RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に 🎵 が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとに、もう一度押すと解除されます。

iPod 内の曲をランダムに聞くととき

1. 再生中に 2 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押しと iPod 内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “ALBUM RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に  が表示されます)。
2. もう一度押しと解除されます。

聞きたい曲を探すとき

再生中のリスト内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

1. 再生中に **MEDIA** ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の曲の頭から順に 10 秒間ずつ再生されます。
2. 聞きたい曲が再生されているときにもう一度 **MEDIA** ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その曲の再生がそのまま続きます。

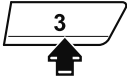


知識

全ての曲の再生が終わると、自動的に解除され、通常の再生にもどります。

表示を切り替えるとき

再生中、3 ボタンを押すごとに、表示部に表示される情報を、次のように切り替えることができます。

ボタン	表示部に表示される情報
	ファイルナンバー/再生時間
	ファイルナンバー
	カテゴリー名
	アーティスト名
	アルバム名
	曲名

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

知識

- 表示できる情報が iPod に記録されている場合のみ、表示部に情報が表示されません。
- 本機の表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字が記録されている場合は、その文字を“*”に置き換えて表示します。

隠れているタイトルを表示する

一度に表示できる文字数は、13文字までです。タイトルが長く、最後まで表示されていないときは、3ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の13文字を表示します。最後の文字を表示しているときに、3ボタンをピッと音がするまで押し続けると、タイトルの最初の13文字を表示します。

知識

表示される文字数には制限があります。

メッセージがでたときは

“CHECK iPod” のメッセージが表示されたときは、iPod に何らかの異常があります。iPod に記録されている内容に再生可能なファイルがあるか確認して、正しく接続し直してください。

再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

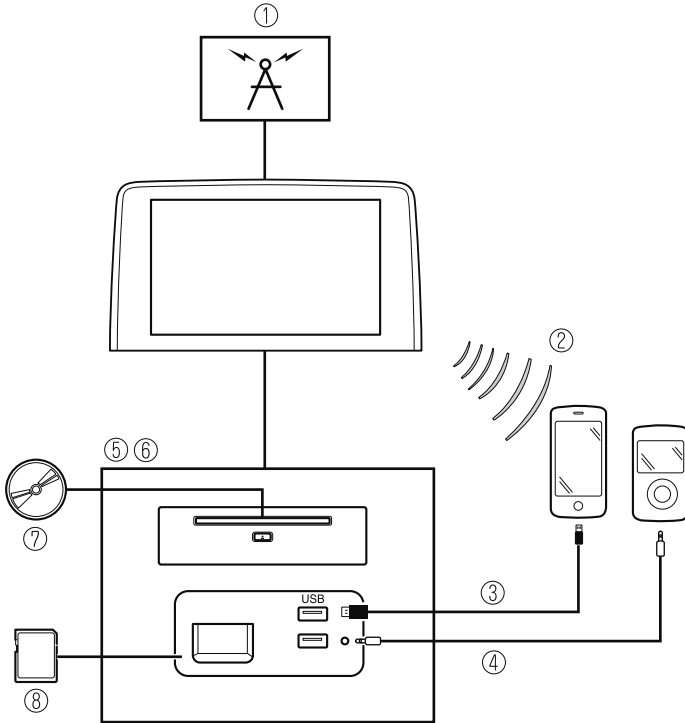
マツダコネクトとは？

マツダコネクトとは？

本書では、マツダコネクトの一部取り扱い情報のみ記載しています。詳細は、マツダサイトから、ウェブ取扱説明書をご確認ください。
マツダコネクトに関する情報は、次のマツダコネクトサポートページでもご確認いただくことができます。



<http://infotainment.mazdahandsfree.com/>



1. ラジオ/テレビ
2. Bluetooth®オーディオ/Bluetooth®ハンズフリー/SMS (Short Message Service)
3. USB オーディオ

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク

4. AUX
5. USB ポート*1/AUX 端子*1/SD カードスロット*2
6. CD/DVD プレイヤー グレード/仕様別装備
7. CD/DVD
8. SD カード (ナビゲーションシステム) グレード/仕様別装備

*1 USB ポート/AUX 端子の位置は仕様により異なります。

*2 SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。

ホーム画面

ホーム画面



アイコン	説明
	Applications (アプリケーション) 平均燃費、メンテナンス、警告などの情報を確認できます。また、Apple CarPlay や Android Auto™も選択できます。
	Entertainment (エンターテインメント) ラジオや CD/DVD、TV などのオーディオを操作します。最後に使用されたオーディオソースが表示されます。ディスクが抜かれた場合など、その時に使用することができなかったオーディオソースはスキップされ、その前のオーディオソースが表示されます。
	Communication (コミュニケーション) 電話や SMS 機能を使用できます。
	Navigation (ナビゲーション) ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。
	Settings (設定) 設定メニュー (画面、安全装備、サウンド、通信など) を表示します。

次の操作方法があります。

- タッチパネルによる操作
- コマンダースイッチによる操作
- オーディオリモートコントロールスイッチによる操作
- 音声認識機能による操作

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク

警告



オーディオは、車を止めてから操作する。走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ（雑音）が発生することがありますが故障ではありません。

マツダコネクの基本操作

マツダコネクの基本操作

知識

本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。
また、これらのコンテンツは、今後のソフトウェアアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

タッチパネルによる操作

注意



画面部分を指で強く押ししたり、先のとがったものなどで触れたりしないでください。画面に傷がついたり、損傷したりするおそれがあります。

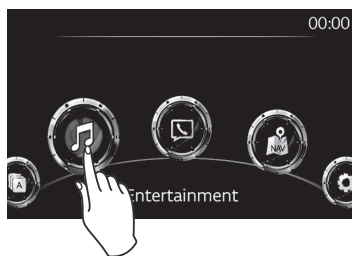
知識

安全のため、走行中はタッチパネルの操作をすることができません。

基本的な操作方法

タッチ&タップ

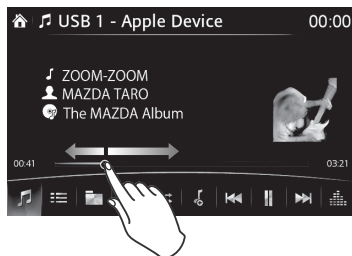
1. 画面に表示されている項目に、指で触れる (タッチする)、または指で軽くたたきます (タップする)。



2. 操作が実行されたり、次の項目が表示されます。

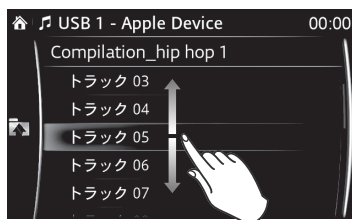
スライド

1. 項目のスライダーバーにタッチします。
2. スライダーを指で押さえながら、設定したい設定値まで移動します。



画面をスクロールする

1. 画面を指で押さえながら、上下に移動します。



2. 表示されていない項目が表示されます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら


車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク


前の画面にもどる

1. にタッチします。



2. 前の画面にもどります。

ホーム画面を表示する

1. にタッチします。

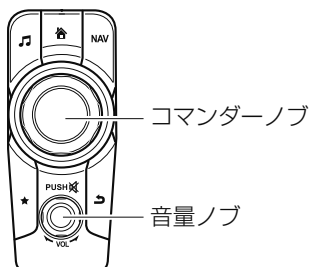


2. ホーム画面が表示されます。

コマンダースイッチによる操作


知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。



コマンダーノブ周囲のスイッチ


コマンダーノブ周囲のスイッチを押すことで次の操作ができます。

: ホーム画面を表示します。

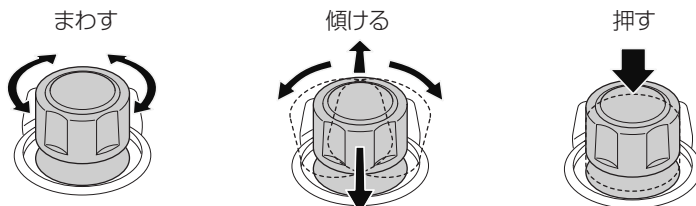
: エンターテインメント画面を表示します。

NAV: ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーション画面の操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。また、ナビゲーションシステム用のSDカード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。

★: お気に入り画面を表示します。長押しすると、お気に入りに登録できます (FM/AM ラジオの放送局、電話帳、ナビゲーションシステムの目的地を登録可能)。

: 前の画面にもどります。

コマンダーノブの操作



(画面上のアイコンを選択するには)

1. コマンダーノブを傾げる、またはまわして、選択したいアイコンにカーソルを移動させます。
2. コマンダーノブを押して、アイコンを選択します。

知識

機能によっては、コマンダーノブの長押しで操作できます。

音量の調節

右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

知識

- 音量ノブを押すと消音し、一時停止します。ただし、FM ラジオなど一時停止できないオーディオソースを再生中の場合は、消音のみとなります。もう一度音量ノブを押すと、もとにもどります。
- オーディオを OFF にしたい場合は、音量をゼロにしてください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

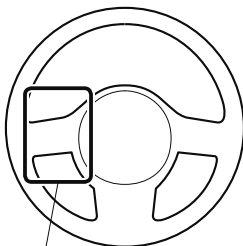
さくいん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作

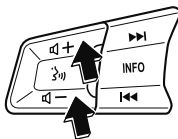
ハンドルの左側にあります。
手でオーディオの操作をすることができます。
スイッチの形状は車種により異なります。



オーディオリモート
コントロールスイッチ

音量を調節するとき

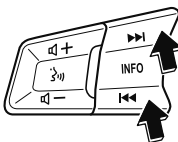
＋、－ ボタンを操作して、音量を調節します。



選局するとき

ラジオを聞いているときに|<<<|>>>| ボタンを押すと、お気に入りあらかじめ登録させておいた放送局を呼び出すことができます。|<<<|>>>| ボタンを押すごとに順次登録された放送局に切り替わります。

また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。テレビを視聴しているときに|<<<|>>>| ボタンを押すと、チャンネルリストを使って設定された放送局を呼び出すことができます。|<<<|>>>| ボタンを押すごとに順次設定された放送局に切り替わります。また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。



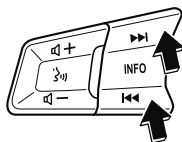
頭出しをするとき

CD、USB、iPod、または Bluetooth® オーディオを聞いているときに|◀◀、▶▶|ボタンを操作すると、曲の頭出しをすることができます。

次の曲の頭に進めたいときは▶▶|ボタンを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは|◀◀ボタンを押しします。

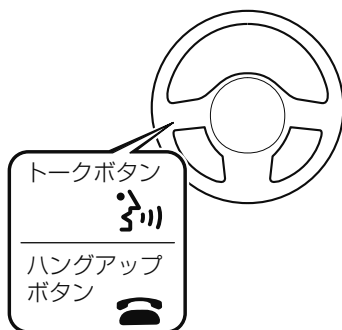
DVD を視聴しているときに|◀◀、▶▶|ボタンを操作すると、チャプターの頭出しをすることができます。次のチャプターの頭に進めたいときは▶▶|ボタンを押し、今視聴しているチャプターの頭にもどしたいときは|◀◀ボタンを押しします。



Aha™、または Stitcher™ ラジオを聞いているときに▶▶|ボタンを押すと、次の曲の頭に進みます。



音声認識機能による操作

この項目では、音声認識の基本操作を説明します。



1. 起動
トークボタン  を押しします。
2.  のあとに発話してください。
発話できるコマンド (音声認識として受け取れることば) は音声認識機能に対応している主な操作をご参照ください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら



車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた


マツダコネク

音声ガイダンスをスキップする

音声ガイダンスが流れているときにトークボタンを押すことで音声ガイダンスをスキップできます。と鳴ったあとに音声コマンドを発話してください。

音声認識を終了する


次の操作のいずれかを行ないます:

- ハングアップボタンを押す。
- 発話: 「キャンセル」
- コマンドスイッチ、またはセンターディスプレイ (車両停車時のみ) を操作する。

知識

- 音声認識実行中に操作方法が分からなくなったときは「チュートリアル」または「ヘルプ」と発話してください。
- 「もどる」と「キャンセル」は、音声認識実行中に常に使用できるコマンドです。
- 音声認識実行中に「キャンセル」と発話すると、音声認識モードを終了します。音声認識実行中に「もどる」と発話すると、前の操作にもどります。

音声認識機能に対応している主な操作

トークボタンを押して、次のコマンドを発話するとオーディオを操作することができます。

[] 内のコマンドは省略することができます。{ } 内には、指定する名前が入ります。
／で分割されたコマンドはどちらか選択できます。

音声コマンド	説明
ヘルプ	使用可能な音声コマンドを確認できます。
チュートリアル	基本的な音声コマンドと使用方法を確認できます。
自宅 [までナビゲート/まで案内/に帰る/までドライブ]	(ナビゲーションシステム装備車) ナビゲーション画面が表示されているときに発話すると、目的地を自宅に設定します。
{電話帳の連絡先} の {携帯/家/仕事} に電話	Bluetooth [®] 機器からダウンロードした電話帳の連絡先に電話を発信します。 例: 「マツダ タロウの携帯に電話。」
リダイヤル	最後に電話をかけた相手 (発信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
コールバック	最後に電話をかけてきた相手 (着信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
{アーティスト名} の曲を再生	接続している USB 機器に保存されている、指定したアーティストの曲を再生します。
Bluetooth (ブルートゥース) [オーディオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを Bluetooth [®] オーディオに切り替えます。 同様に、FM/AM/USB などのコマンドで、各オーディオソースにも切り替えることができます。

知識

- 表のコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。
- ナビゲーション画面で使用できる音声コマンドの詳細は、別冊のナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら



車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- 音声案内中やと鳴っている間は、音声認識を行なうことができません。音声案内やと鳴り終わるのを待ってから、音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- 必要以上に大声でしゃべったり、ゆっくりしゃべったりしないでください。
- 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼び出す場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します（「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります）。
- 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、車両の外の雑音やエアコンの気流を乱すのを防ぐために窓とソフトトップ/リトラクタブルハードトップを閉めてください。
- エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。

マツダコネクトをご使用の前に

Gracenote® データベース

Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc.の登録商標または商標です。



Gracenote® 音楽認識サービスのご利用について

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。 **お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。Gracenote のサービスは、統計的処理を行なうために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

マツダコネク

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

テレビ

⚠ 注意



必ず守る

本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。



必ず守る

各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



禁止

本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。



禁止

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

Apple CarPlay

⚠ 注意



必ず守る

- 適用法によって認められる最大の範囲で Apple Carplay (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとしてします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穏享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。
適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含みます。
 - 逸失利益
 - データの破損または損失
 - 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- Apple CarPlay を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Apple CarPlay を使用してください。

📖 知識

- Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

Android Auto™

注意



- 適用法によって認められる最大の範囲で Android Auto™ (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穏享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。
適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含みます。
 - 逸失利益
 - データの破損または損失
 - 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- Android Auto™を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Android Auto™を使用してください。

知識

- Android Auto™は Google 社によって提供されています。使用するには Android Auto™利用規約に同意していることを条件としています。
- Android Auto™使用中は、場所や速度などの車両データが Android™スマートフォンに転送されます。詳しくは Google プライバシーポリシーを参照ください。

商標について

本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

- Aha™、Aha™ロゴおよび Aha™トレードドレスは Harman International Industries, Inc.の商標、または登録商標です。
- AUDIOPILOT、Centerpoint はボーズコーポレーションの登録商標です。
- Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.
Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc.の登録商標または商標です。
- iPhone、iPod、Siri および Apple Music は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Apple CarPlay は、Apple Inc.の商標です。
- IOS は、米国および他の国々における商標または Cisco の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Google、Android、Android Auto™、およびその他のマークは Google LLC. の商標です。
- Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Stitcher™、Stitcher™ ロゴおよび Stitcher™ トレードドレスは Stitcher, Inc.の商標、または登録商標です。

運転
前に

運転
ときに

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

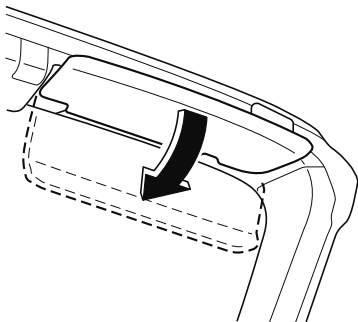
さ
く
い
ん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

サンバイザー

前からの光をさえぎるときは、下げます。



バニティミラー (化粧鏡)

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。

室内照明

知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチが DOOR の位置で、次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

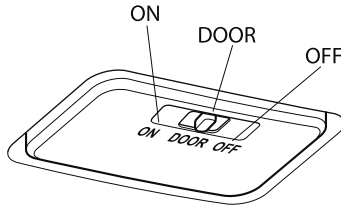
- 電源ポジションが OFF で、運転席ドアを解錠したとき。
- すべてのドアが閉まっている状態で、電源ポジションを OFF にしたとき。

知識

- 点灯時間は操作によって異なります。
- バッテリーあがりを防止するため、電源ポジションが OFF で室内照明が点灯したままのときは、一定時間後に自動的に消灯します。
- イルミネーテッドエントリーシステムの作動時間を変更することができます。設定変更の方法については、マツダコネクト取扱書を参照してください。

ルームランプ

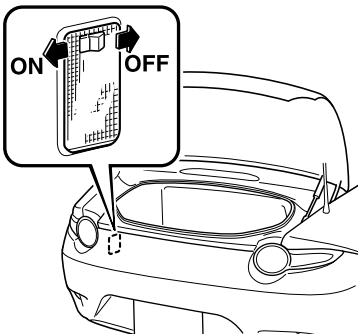
電源ポジションに関係なく使用できます。



スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"> ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。
OFF	常時消灯
ON	常時点灯

トランクルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。



スイッチ位置	トランクルームランプ
ON	トランクを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

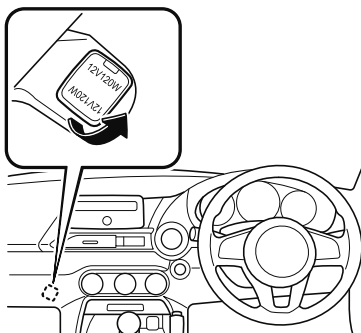
さくいん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

電源ソケット

助手席側、足元の奥にあります。
電源ポジションが ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。
最大消費電力 120W (DC12V—10A) 以下の電気製品を使用してください。



⚠ 注意



必ず守る

使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。



禁止

消費電力が 120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。



必ず守る

電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器をはずし、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットからはずしたあと、電源ポジションを OFF にしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

📖 知識

- エンジン停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがる場合があります。

知識

- シガーライターを差し込まないでください。

脱着式カップホルダー

注意



走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどを
するおそれがあります。



ペットボトル、カップ、缶以外のものを置かないでください。走行中に落ちて、け
がをするおそれがあります。



ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中にペットボトルなど
の中身がこぼれるおそれがあります。

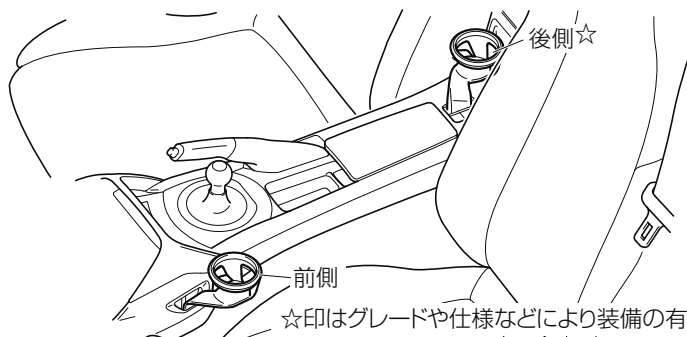


手をついたり、ひじをかけたりして無理な力をかけないでください。無理な力を
かけると破損するおそれがあります。



必ず守る

同乗者がいる場合は、前側のカップホルダーをリアコンソールに取り付けて使用
してください。前側で使用すると、ひざなどが当たり、中身がこぼれるおそれがあ
ります。



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

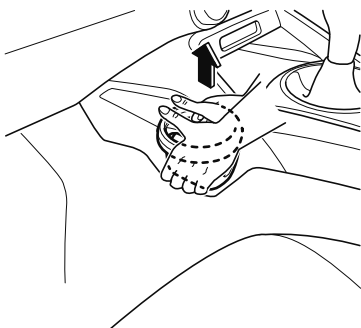
車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

取りはずすとき



取りはずすときは両手で取りはずします。

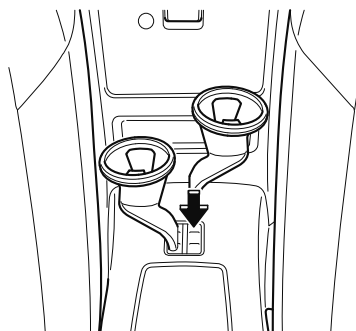
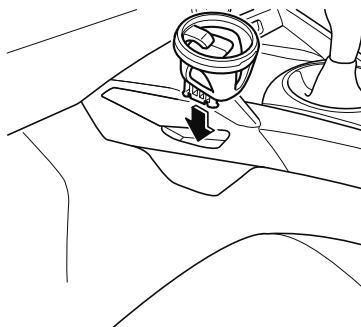
取り付けるとき

⚠ 注意



必ず守る

カップホルダーを取り付けるときは、取り付け穴の奥まで差し込み、固定されていることを確認してください。固定されていないと、走行中にカップホルダーがはずれて、飲み物などがこぼれるおそれがあります。



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

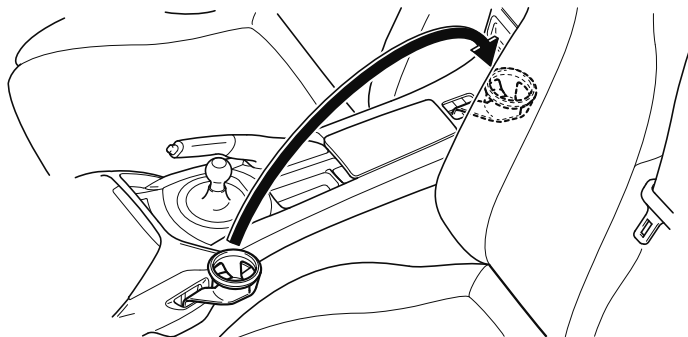
さく
いん

3. 快適装備の使いかた

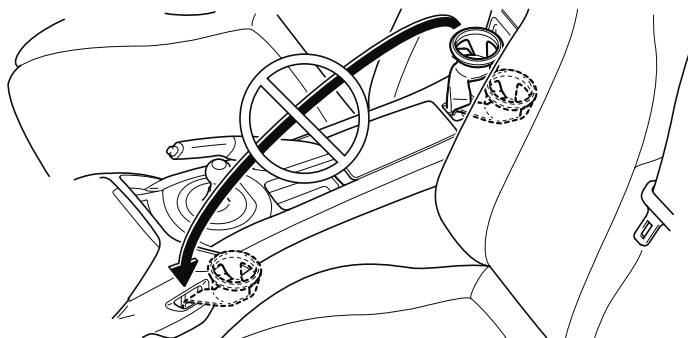
室内装備

知識

- 前側のカップホルダーは取りはずして、リアコンソールに取り付けることができます。



- 後側のカップホルダーはリアコンソール専用のため前側に取り付けることはできません。



収納

警告



必ず守る

荷物を積むときは確実に固定する。
荷物を確実に固定しないと、走行中や急ブレーキ時などに荷物が移動したりくずれたりして、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

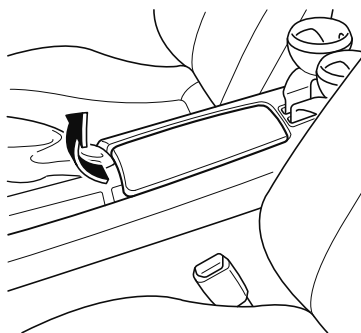
フタ付きの収納は走行中は、必ずフタを閉めてください。急ブレーキ時や衝突時にフタや内部の物でけがをするおそれがあります。



禁止

炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

センターコンソールボックス



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

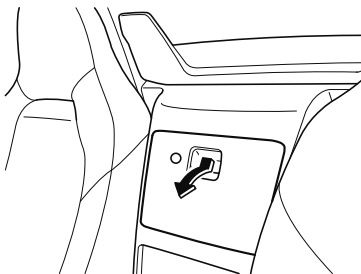
リアコンソールボックス

⚠ 注意

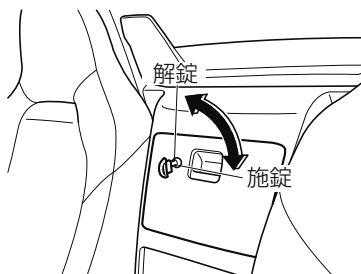


必ず守る

コンソール後側のカップホルダーを使用している場合は、カップなどを取り除いてからリアコンソールボックスを開いてください。
カップなどを置いたまま、リアコンソールボックスを開くとフタがカップなどに当たり、中身がこぼれるおそれがあります。



開くときは、ノブを下に押します。
閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

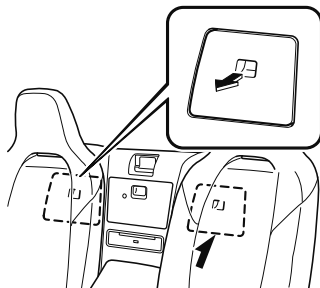


補助キーを差し込み右側にまわすと施錠し、左側にまわすと解錠します。

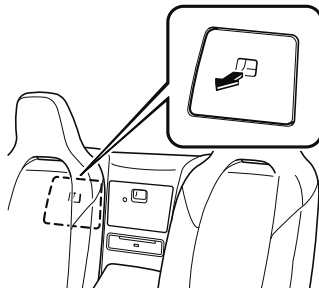
リアストレージボックス

小物などを収納できます。

(ソフトトップ車)



(ハードトップ車)



使用するとき

1. シートをいちばん前へスライドさせ、背もたれを前に倒します。
→47 ページ「運転席の操作」
→51 ページ「助手席の操作」
2. フタを取りはずします。

使用後はシートをもとの位置にもどします。

もどした後は、シート、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

⚠ 注意



禁止

リアストレージボックスに無理に物を押しこまないでください。無理に押しこむと破損するおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

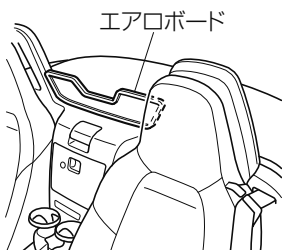
3. 快適装備の使いかた

室内装備

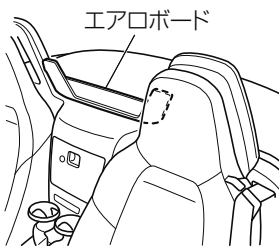
エアロボード

エアロボードは、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップを開けて走行するとき、後方からの風の巻き込みを防ぎます。

(ソフトトップ車)



(ハードトップ車)



4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために	338
必ずまもる.....	338
お車に触れるときはけがに注意する.....	339
点検、整備	340
点検整備について.....	340
定期点検.....	341
日常点検の前に.....	342
日常点検.....	344
その他の手入れ.....	351
ヒューズ切れ、電球切れのとき	352
ヒューズの受け持つ装置.....	352
ランプ類、電気装置が作動しないとき.....	357
電池交換	370
電池を交換するときは.....	370
車の手入れ	373
外装の手入れ.....	373
内装の手入れ.....	382
季節の準備	385
冬にそなえて.....	385
夏にそなえて.....	387
環境保護のために	388
廃棄物を処理するときは.....	388

4.お手入れのしかた 車と上手につきあうために

必ずまもる

違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジンの改造や配線などをしてください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品を装着するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

タイヤ、ホイール、ホイールナットはマツダが推奨するサイズを使用してください。推奨以外のサイズを使用すると走行に悪影響をおよぼしたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、違法改造になることがあります。詳しくは車両スペックのページをご確認ください。

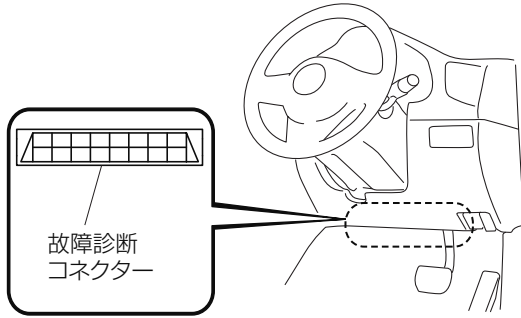
部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。また、不適當な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

故障診断コネクタに点検整備用の故障診断器以外を接続しない

故障診断コネクタは、専用の機器を接続することで故障などを自己診断するためのコネクタです。

故障診断コネクタには、点検整備用の故障診断器以外を接続しないでください。故障診断器以外の機器を接続すると、車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがるなど、思わぬ故障につながるおそれがあります。



お車に触れるときはけがに注意する

お手入れをするとき

日常点検やタイヤ交換などの作業、洗車など手入れをするときは、けがをしないように注意してください。

見えにくい箇所へ触れるとき

手にけがをするおそれがありますので、軍手など厚手の手袋を使用して点検や作業などを行なってください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用かた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 点検、整備

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

使用済みバッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。

警告



必ず守る

点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。
車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。
手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。
置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

無料点検について

新車登録後 1 か月 (または走行距離 1,000 km)、6 か月 (または走行距離 5,000 km) は無料で点検が受けられます。

車両データの記録について

本車両は、車両の制御や操作、その他の走行環境に関する主要なデータを記録するコンピューターを装備しています。

記録されるデータ

- エンジン回転数や車速など、車両の状態
- アクセル/ブレーキなどの運転状態・車両走行時の環境情報
- 各車載コンピューターの故障診断情報
- その他、各車載コンピューターの制御に関する情報

知識

記録されるデータの項目は、車両のグレードやオプション装備の種類により異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

マツダおよびマツダの委託先は、コンピューターに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意（リース車は借貸主の同意）がある場合
- 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

定期点検

1年点検、2年点検はマツダ販売店で受けてください。

知識

- **点検結果について**
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- **シビアコンディションについて**
一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 点検、整備

日常点検の前に

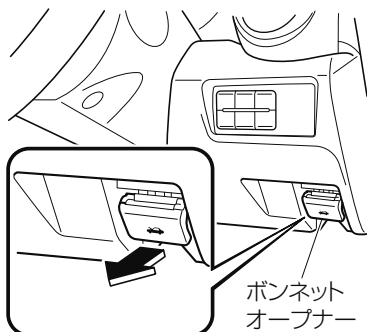
ボンネットの開けかた

警告

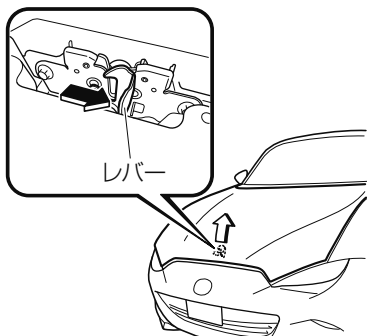


アクティブボンネットが作動したときは、ボンネットオープナーを引かない

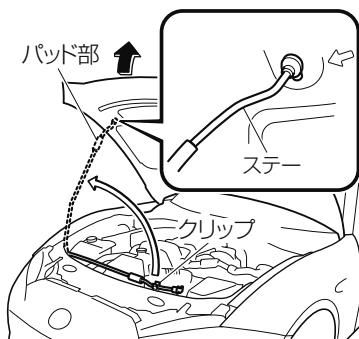
ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、ボンネットを無理に押し戻さないでください。手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。アクティブボンネットが作動したときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。



1. 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

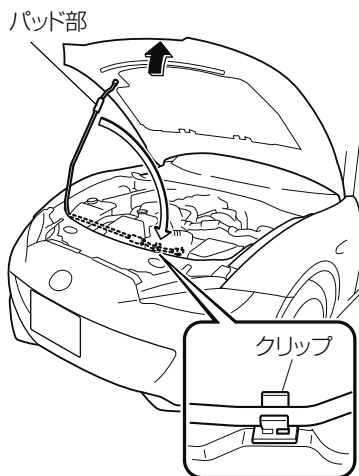


2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを矢印の方向に倒したままボンネットを持ち上げます。



3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

ボンネットの閉めかた



1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
2. ボンネットを手でささえ、ステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。
3. ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

警告



必ず守る ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。
 走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

4.お手入れのしかた 点検、整備

注意



禁止

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。



必ず守る

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

知識

点検結果について

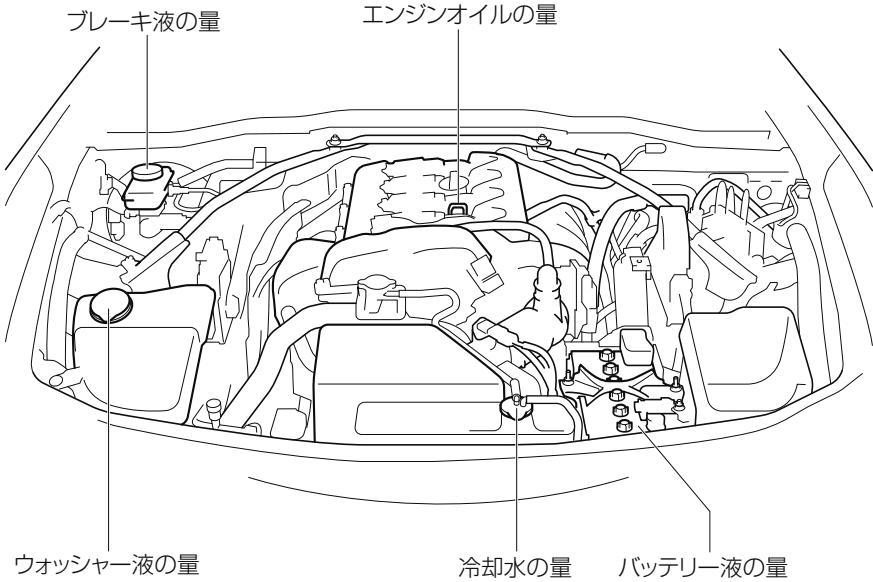
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

点検項目と点検箇所

運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エンジンルームをのぞいて



⚠ 注意



必ず守る

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

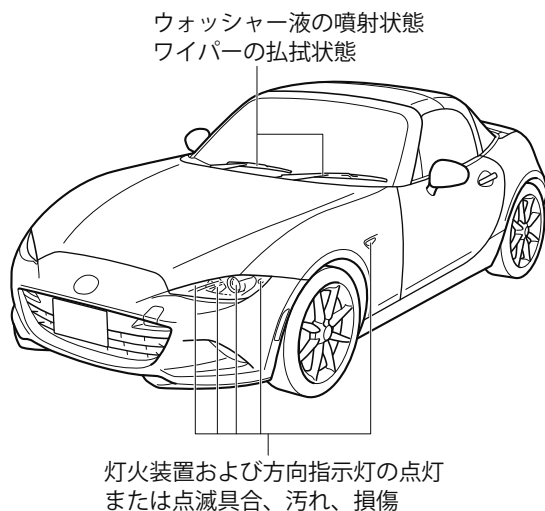
車両スペック

さくいん

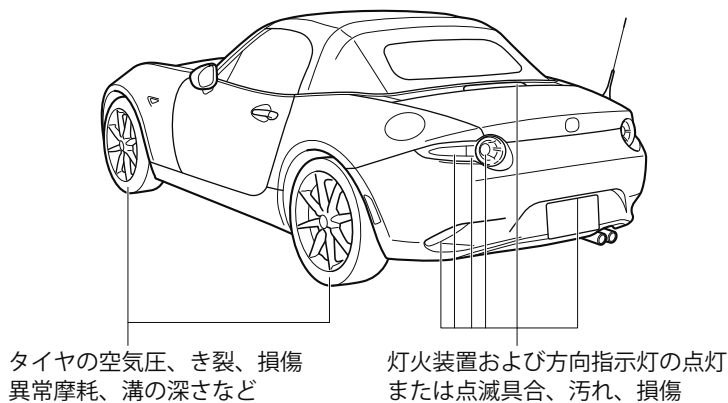
4.お手入れのしかた 点検、整備

全体を見まわして

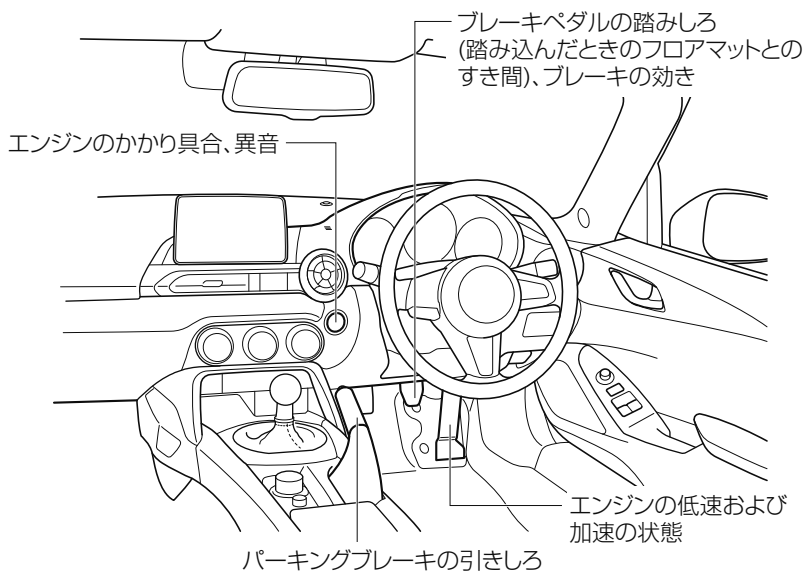
フロント



リア



運転席にすわって



タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

知識

タイヤの劣化について

タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後 5~7 年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 点検、整備

空気圧の点検

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調整してください。

警告



禁止

タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。

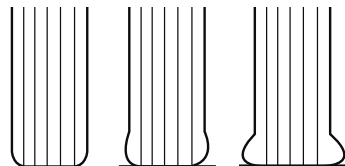
タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤの偏摩耗の原因となります。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多

適正

不足

き裂、損傷の点検

警告

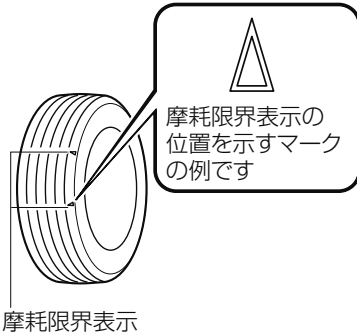


禁止

異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

- 走行中にハンドルがとられる
- 異常な振動を感じる
- パンクやバースト（破裂）する
- 車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できない
- 部品に悪影響をあたえる

溝の深さ、異常摩耗の点検



摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

警告



禁止

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しない。そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

知識

摩耗限界表示について

摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6 mm だけ浅くなっています。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

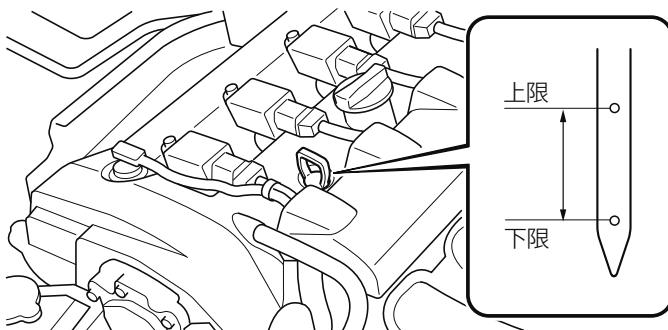
トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

4.お手入れのしかた 点検、整備

エンジンオイルの点検、補充



オイルレベルゲージでエンジンオイルの量を点検してください。
不足しているときは上限から下限の間になるよう補充してください。
点検の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

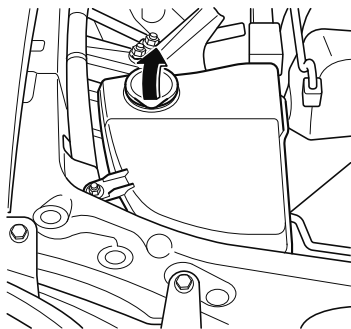
バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

→408 ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の補充



補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

⚠ 注意



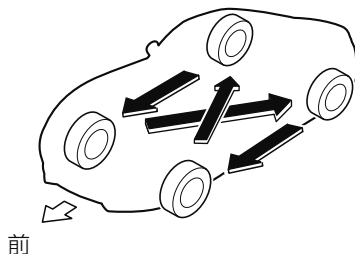
必ず守る

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

その他の手入れ

タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000 km 走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



⚠ 警告



必ず守る

タイヤを交換するときは指定されたサイズや種類のタイヤを装着する。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- タイヤの位置交換を行なうまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。
→347 ページ「タイヤの点検」
- タイヤの位置交換を行なったあとはタイヤの空気圧を規定値に調整してください。
→467 ページ「タイヤ空気圧」
- お客様のお車にはスペアタイヤ、ジャッキが標準で搭載されていないため、お客様自身ではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

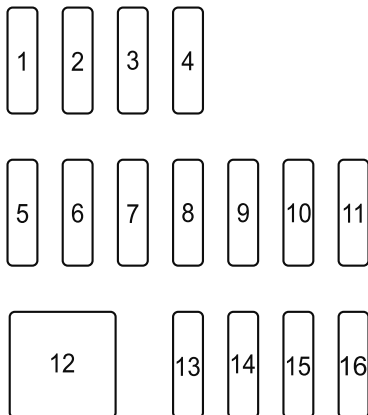
さく
いん

4.お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	RHT R	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
2	RHT L	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
3	—	—	—
4	ENGINE6	10 A	—
5	F.OUTLET	15 A	電源ソケット
6	—	—	—
7	AT IND	7.5 A	セレクトレバー位置表示 グレード/仕様別装備
8	MIRROR	7.5 A	電動ミラー

位置	表示	容量	保護装置
9	R_DECK R	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
10	R_DECK L	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
11	F.WASHER	15 A	ウォッシャー
12	P.WINDOW	30 A	パワーウィンドー
13	—	—	—
14	SRS2/ESCL	15 A	ステアリングロック
15	SEAT WARM	20 A	シートヒーター グレード/仕様別装備
16	M.DEF	7.5 A	—

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

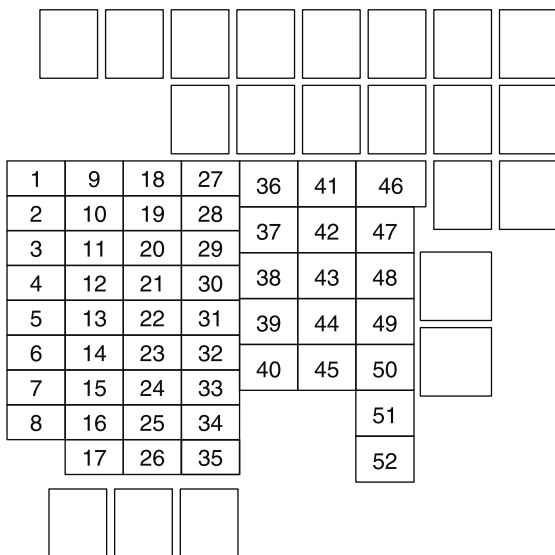
車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	ENG IG3	5 A	—
2	ENG IG2	5 A	—
3	HORN2	7.5 A	ホーン
4	C/U IG1	15 A	各種電源
5	ENG IG1	7.5 A	エンジンコントロールシステム
6	—	—	—
7	INTERIOR	15 A	ルームランプ
8	ENG+B	7.5 A	エンジンコントロールシステム
9	AUDIO2	15 A	オーディオ

位置	表示	容量	保護装置
10	METER1	10 A	メーター
11	SRS1	7.5 A	エアバッグシステム
12	—	—	—
13	RADIO	7.5 A	オーディオ
14	ENGINE3	20 A	—
15	ENGINE1	10 A	エンジンコントロールシステム
16	ENGINE2	15 A	エンジンコントロールシステム
17	AUDIO1	25 A	オーディオ
18	A/C MAG	7.5 A	空調
19	AT PUMP H/L HI	20 A	トランスミッションコントロールシステム <small>グレード/仕様別装備</small>
20	AT	15 A	トランスミッションコントロールシステム、エンジンスイッチ
21	D LOCK	25 A	パワードアロック
22	H/L RH	20 A	ヘッドランプ 右
23	ENG+B2	7.5 A	エンジンコントロールシステム
24	TAIL	20 A	尾灯、番号灯、車幅灯
25	DRL	15 A	—
26	ROOM	25 A	ルームランプ
27	FOG	15 A	—
28	H/CLEAN	20 A	—

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
29	STOP	10 A	制動灯
30	HORN	15 A	ホーン
31	H/L LH	20 A	ヘッドランプ 左
32	ABS/DSC S	30 A	ABS、DSC
33	HAZARD	15 A	方向指示灯/非常点滅灯
34	FUEL PUMP	15 A	フューエルポンプ
35	ENG+B3	5 A	—
36	WIPER	20 A	ワイパー
37	CABIN+B	50 A	各種電源
38	—	—	—
39	ENG SUB	30 A	エンジンコントロールシステム
40	ABS/DSC M	50 A	ABS、DSC
41	EVVT A/R PUMP	20 A	エンジンコントロールシステム
42	EVPS	30 A	ブレーキコントロールシステム
43	FAN1	30 A	クーリングファン
44	FAN2	40 A	—
45	ENG.MAIN	40 A	エンジンコントロールシステム
46	EPS	60 A	電動パワーステアリング
47	DEFOG	30 A	リアウインドーデフォグガー (曇り取り)

位置	表示	容量	保護装置
48	IG2	30 A	各種電源
49	INJECTOR	30 A	—
50	HEATER	40 A	空調
51	—	—	—
52	ENGINE4	20 A	エンジンコントロールシステム

ランプ類、電気装置が作動しないとき

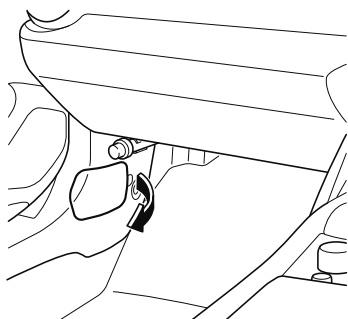
ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。

まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

ヒューズの交換

1. 電源ポジションを OFF にします。
2. ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席左下と、エンジンルーム内にあります。

室内ヒューズボックス



1) 矢印の方向にカバーを引き、カバーを取りはずします。

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使用
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

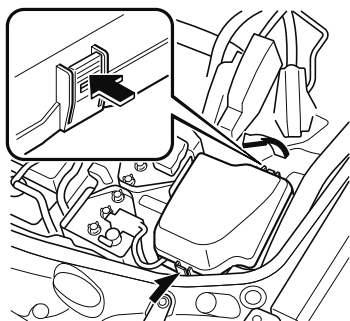
さ
く
い
ん

4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

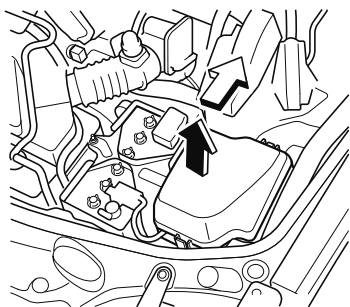
エンジンルーム内ヒューズボックス

知識

勢いよくロックをはずしカバーを引くと、カバーがフレームに干渉し、カバーに傷がつくおそれがあります。カバーを取りはずす際は、次の手順でゆっくり取りはずしてください。



- 1) 前側のツメを手で押さえながら、後側のロックを解除します。
- 2) カバーの後側を少し持ち上げながら、前側のツメをはずします。

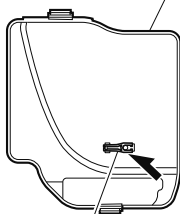


- 3) カバーを持ち上げながら後側にずらして、カバーを取りはずします。

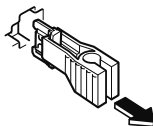
知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。

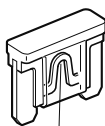
エンジンルーム内
ヒューズボックスカバー



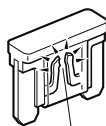
ヒューズはずし具



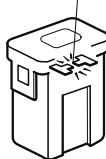
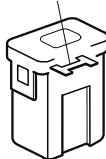
3. ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。
→352 ページ「ヒューズの受け持つ装置」
4. ヒューズを抜き取ります。



切れていない場合



切れている場合



5. ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。
6. ヒューズボックスのカバーを元の通り取り付けます。

警告



規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

注意



必ずマツダ純正品または同等品を使用してください。

知識

ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

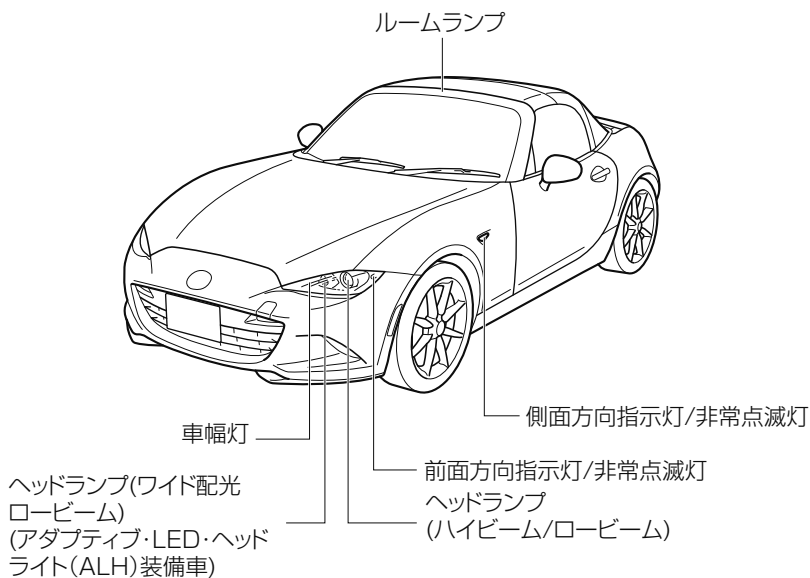
車両
スペック

さく
いん

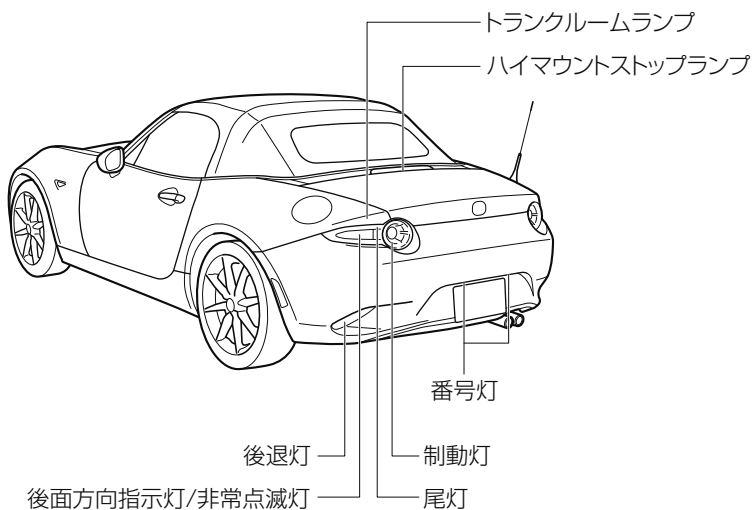
4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

電球 (バルブ) の交換

フロント



リア



⚠ 注意



必ず守る

電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。



必ず守る

番号灯、ルームランプ、トランクルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズや内装に当たると、傷がつくおそれがあります。



必ず守る

マイナスドライバーなどを使ってレンズやランプ本体を取りはずすときは、マイナスドライバーなどが内部の端子に当たらないようにしてください。マイナスドライバーなどが直接端子に当たると、ショートするおそれがあります。

📖 知識

- **交換する電球について**
必ず同じ W 数の電球を使用してください。

- **ランプの曇りについて**

ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

ヘッドランプ、車幅灯、制動灯、尾灯、ハイマウントストップランプ

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使いかた

お
手
入
れ
の
し
か
た

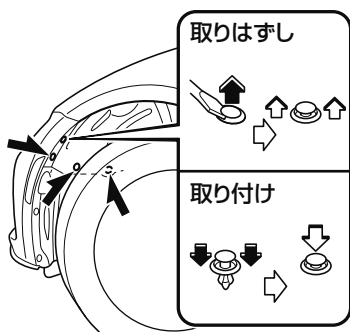
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

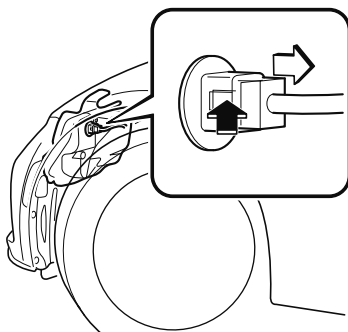
さ
く
い
ん

4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

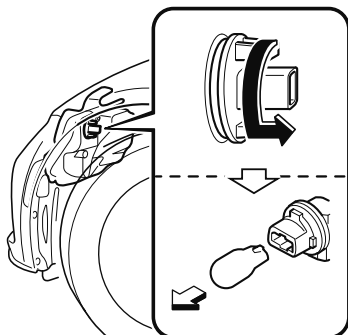
前面方向指示灯/非常点滅灯



1. エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいいきり、エンジンをきります。
2. ファスナーをはずし、マッドガードをめくりま
ず。

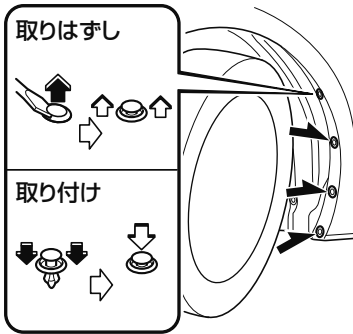


3. ツメを押し、コネクタを取りはずします。

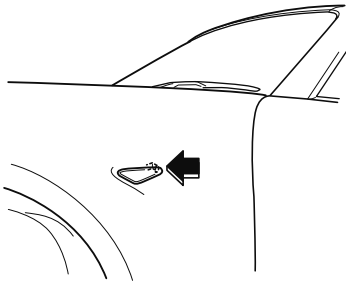


4. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電
球を抜き取ります。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

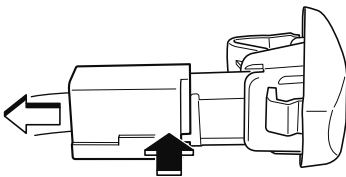
側面方向指示灯/非常点滅灯



1. エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいいきり、エンジンをきります。
2. ファスナーをはずし、マッドガードをめくりま



3. フェンダーの裏から、ユニットのツメを押し、ユニットを取りはずします。



4. ツメを押し、コネクターをはずします。
5. ユニットを取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

知識

側面方向指示灯/非常点滅灯は電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となりますので、側面方向指示灯/非常点滅灯を交換するときはマツダ販売店にご相談ください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用がた

お手入れの
しかた

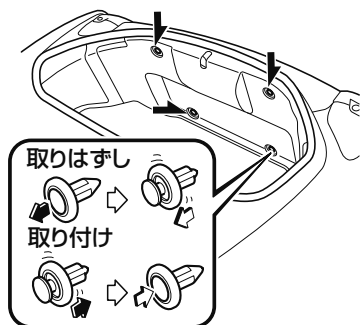
トラブルが
起きたら

車両
スペック

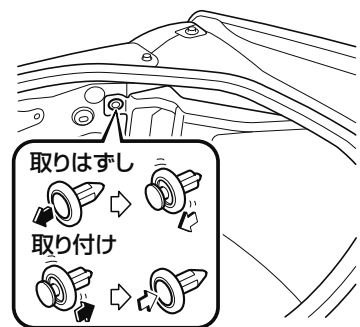
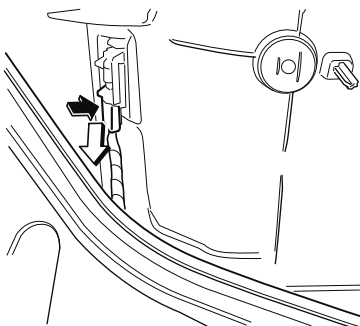
さく
いん

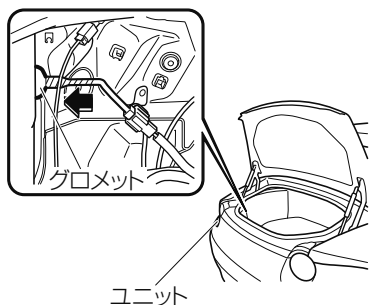
4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

後面方向指示灯/非常点滅灯

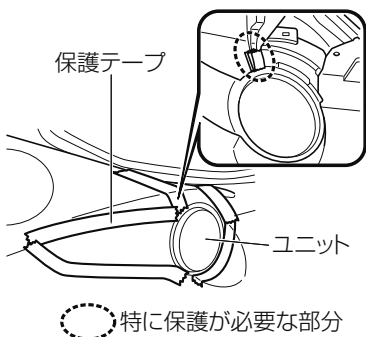
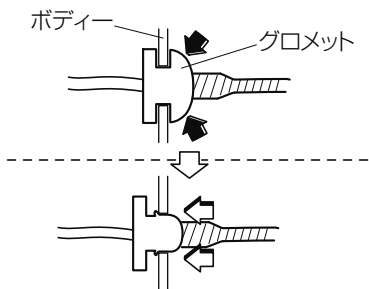


1. トランクを開けます。
2. ファスナーをはずし、トランクエンドトリムを取りはずします。





5. ボディー側に作業用の穴を確保するため、グロメットの上下を押さえながら、グロメットをユニット側に押し込みます。



6. ボディーとユニットが干渉し、ボディーを傷つけるおそれがあるため、図のようにボディーに保護テープを貼り付けます。特に保護が必要な部分は、必ず保護テープを3枚重ねて貼り付けてください。

⚠ 注意



粘着力の強いテープは使用しないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

禁止



特に保護が必要な部分は、必ず保護テープを3枚重ねて貼り付けてください。保護しないと、作業時にボディーを傷つけるおそれがあります。

必ず守る

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

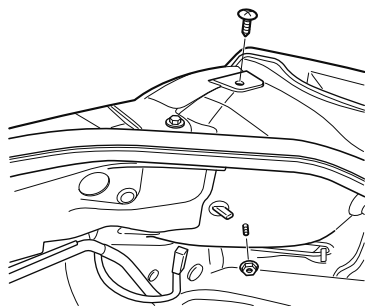
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

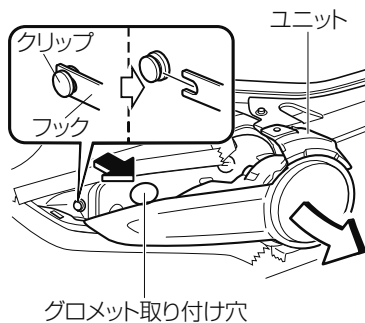
4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき



7. ネジ、ナットをはずします。



8. ユニットを取りはずすときは、ユニットのランプ部分(丸い部分)を手で支えながら、手順5でグロメットがはまっていた穴(グロメット取り付け穴)から指でユニットを押し、フックをはずします。

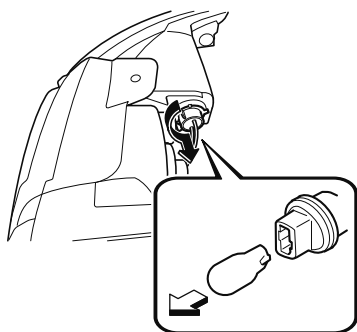


9. フックがはずれたら、ユニットを矢印の方向へ引いて取りはずします。

⚠ 注意

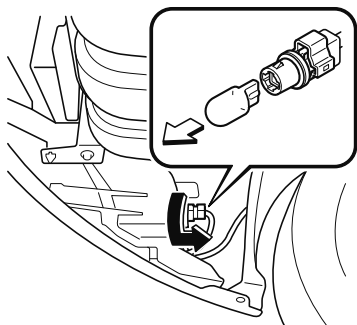


ユニットをボディーから取りはずすときは、慎重に引き抜いてください。
強く引き過ぎると、配線が断線するおそれがあります。



10. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
11. 電球を取り換えます。
12. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

後退灯



1. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
2. 電球を取り換えます。
3. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

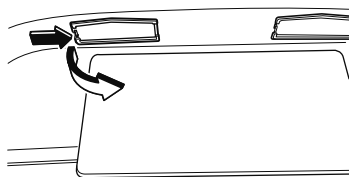
トラブルが
起きたら

車両
スペック

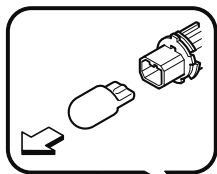
さく
いん

4.お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

番号灯



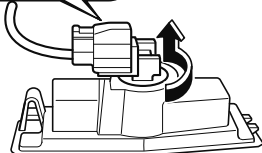
1. ツメを押し、ユニットを取りはずします。



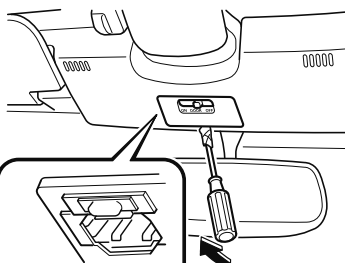
2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

3. 電球を取り換えます。

4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。



ルームランプ

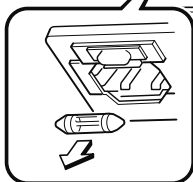


1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。

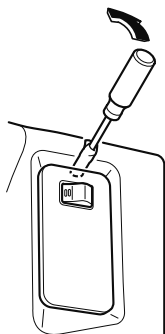
2. 電球を取りはずします。

3. 電球を取り換えます。

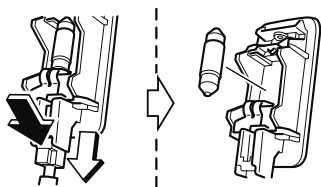
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。



トランクルームランプ



1. トランクを開けます。
2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。



3. ツメを押し、コネクターを取りはずします。
4. 電球を取りはずします。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 電池交換

電池を交換するときは

⚠ 注意



必ず守る

電池の + 側と - 側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。



禁止

電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電池を交換してもキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

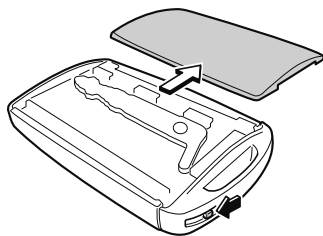
キー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

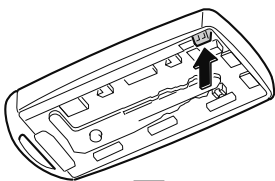
- エンジンをきったときにメーター内の KEY 表示灯 (緑) が点滅する、またはマルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) に KEY 警告表示が表示した
- キーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、キーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

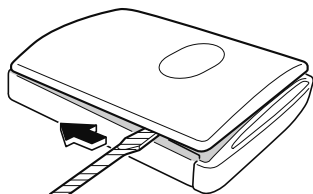
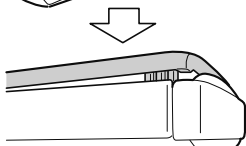
電池の規格: リチウム電池 CR2032



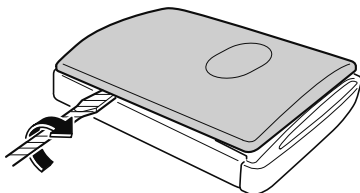
1. ノブを矢印方向に押しながら、下側カバーを取りはずします。



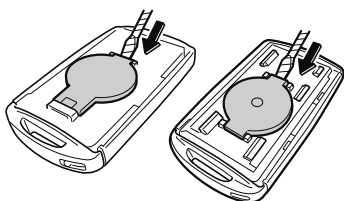
2. ツメを押し込んで、上側カバーのロックを解除します。



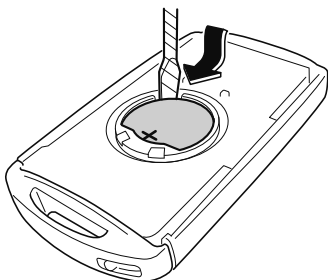
3. 保護テープを巻いたマイナスドライバーをすき間に差し込み、マイナスドライバーを矢印方向にスライドさせます。



4. マイナスドライバーを矢印方向にまわして、上側カバーを取りはずします。



5. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使って、キャップを取りはずします。



6. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使って、電池を取りはずします。
7. 電池の+側が上になるように、キーに新しい電池をはめ込みます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

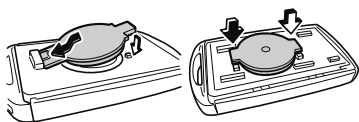
トラブルが
起きたら

車両
スペック

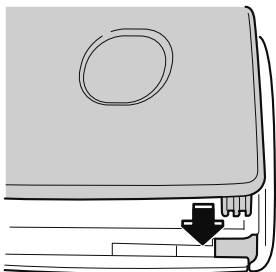
さく
いん

4.お手入れのしかた

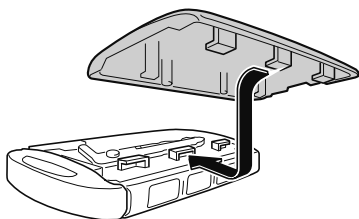
電池交換



8. キャップを取り付けます。



9. 上側カバーを取り付けます。



10. キーのスロットに下側カバーのツメを差し込むように、下側カバーを取り付けます。

外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。そのまま放置しておく、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
 - 海岸地帯を走行したとき。
 - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
 - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
 - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
 - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
 - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

4.お手入れのしかた

車の手入れ

洗車するとき

水洗いするとき

1. 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

注意



必ず守る

オートワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。



必ず守る

フューエルリッドが閉まっていることを確認し、ドアを施錠してください。水圧などでフューエルリッドが勢いよく開き、車体に傷がついたり、フューエルリッドが損傷するおそれがあります。



必ず守る

運転席/助手席側ワイパーアームを立てるときは、運転席側のワイパーアームから立ててください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりともどしてください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。



必ず守る

洗車やワックスかけを行なうときは、車体のボンネット部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、車体がへこむおそれがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスかけは月に 1 回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき（体温以下が目安）に行なってください。

知識

ワックスの使用について

- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

ソフトトップの手入れ

グレード/仕様別装備

ソフトトップは高品質の幌生地を使用しています。手入れの方法を誤ると、生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれがあります。

水洗いするとき

水洗いする前に毛のやわらかいブラシを使用し、砂埃を取り除きます。車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。ボディー用ワックスや油脂類が付着したときは、水で薄めた中性洗剤（約5%）を使用して落としてください。

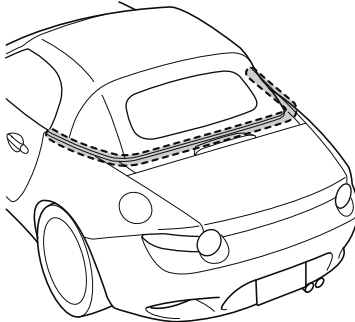
注意



窓ガラスと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内に水が入るおそれがあります。



ボディーと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内、およびトランク内に水が入るおそれがあります。



自動洗車機や高圧洗車機を使用しないでください。幌が破損したり、損傷するおそれがあります。

知識

- シンナー、ガソリンなどの有機溶剤やアルコール、塩素系漂白剤などを使用しないでください。生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすことがあります。
- ソフトトップの手入れは定期的に行なってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミなどの原因になります。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使用がた

お手入れのしかた

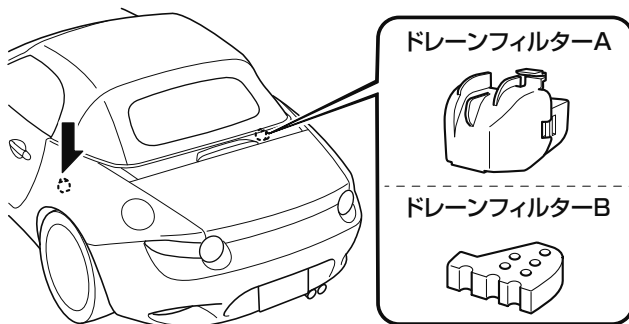
トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

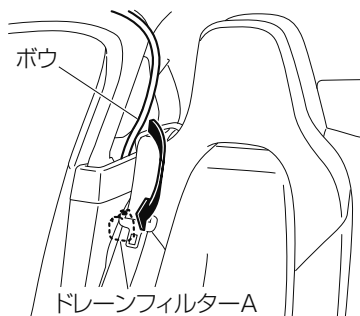
4.お手入れのしかた 車の手入れ

ドレーンフィルター清掃手順

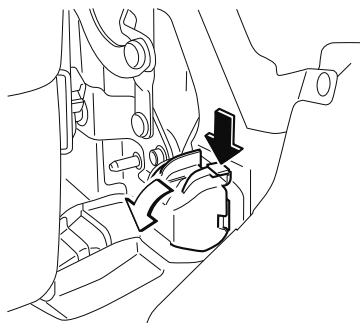


知識

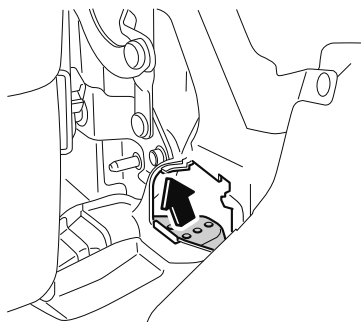
ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。
ドレーンフィルターの清掃は、年に1回程度行なってください。



1. ボウの後ろから手を入れ、ドレーンフィルターAの位置を確認します。



2. ツメを押しながら、ドレーンフィルターAを取りはずします。



- ドレンフィルター A をはずした開口部から、ドレンフィルター B を取り出します。

- ドレンフィルター A とドレンフィルター B に溜まった落ち葉などを取り除きます。
- はずした手順と逆の手順で取り付けます。

注意



ドレンフィルターを取り付ける際は、ツメがかかるまでしっかりと押し込み、所定の位置に確実に固定されたことを確認してください。ドレンフィルターが所定の位置に固定されていない場合、室内に水が入るおそれがあります。

リトラクタブルハードトップの手入れ グレード/仕様別装備

水洗いするとき

- リトラクタブルハードトップに付いている汚れを洗い落とします。
- 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
- はん点が残らないように水をふき取ってください。

知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装を傷つけるおそれがあります。

ワックスをかけるとき

- ワックスかけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディが冷えているとき（体温以下が目安）に行なってください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

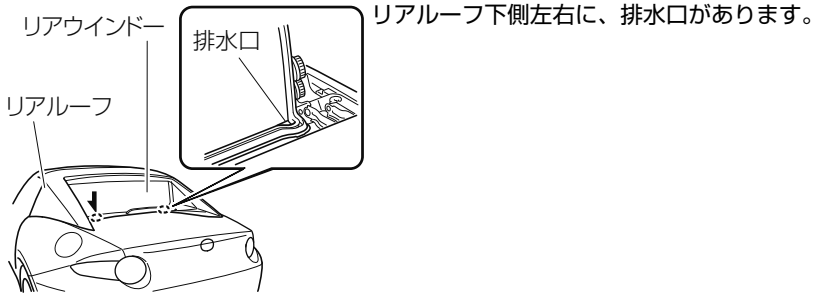
さくいん

4.お手入れのしかた 車の手入れ

📖 知識

- コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

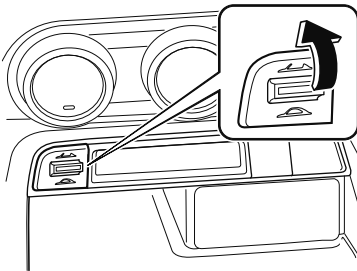
排水口清掃手順



📖 知識

排水口に落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。
排水口の清掃は、6か月に1回程度行なってください。

1. エンジンをかけます。



2. リアルーフが全閉の状態から上がりきるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開方向へ押し続けます。
→83 ページ「ルーフを開けるとき」



3. リアルーフが上がりきったら、スイッチから手を放します。
4. 排水口が見えることを確認します。

5. 電源ポジションを OFF にします。

⚠ 警告



電源ポジションが OFF になっていることを確認する。

必ず守る

突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

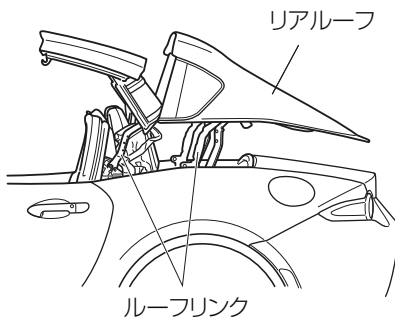
6. 排水口に溜まった落ち葉などを取り除きます。

⚠ 注意



清掃するときは、ルーフレリンクやリアルーフ外郭との接触に気をつけてください。接触によりけがをするおそれがあります。

必ず守る



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

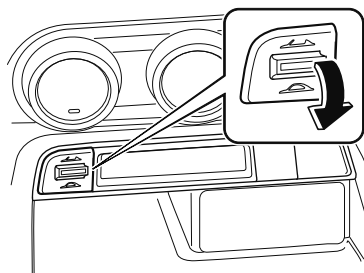
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

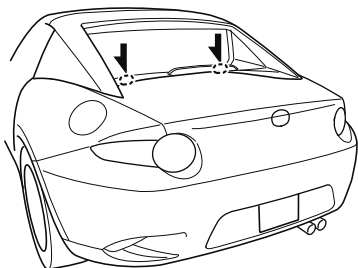
車両スペック

さくいん

4.お手入れのしかた 車の手入れ



7. 排水口の清掃が終わったら、リトラクタブルハードトップスイッチを閉方向へ押し続けて、リアルーフを閉めてください。
→84 ページ「ルーフを閉めるとき」



8. 約 200cc の水を、左右それぞれの排水口に向けて一気に流し込み、排水経路内の微細なゴミを洗い流します。

⚠ 注意



寒冷下では、水の代わりにウインドウォッシャー液を使用してください。
水を流すと内部で凍結し、氷で排水経路がふさがれることがあります。

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。
ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

⚠ 注意



熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。

フロントガラスの油膜をとるときは

フロントガラスに油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなる場合があります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。

汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

注意



中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。
変色・シミの原因となります。

禁止

知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗装はがれなどの原因となります。すみやかにやわらかい布でふき取ってください。
- コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用すると、塗装を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド (みがき粉) がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗装の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 車の手入れ

内装の手入れ

警告



禁止

室内に水をかけない。
オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。

知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

次のような場合は、すみやかにやわらかい布でふき取ってください。
そのままにしておくと変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になったり、汚れが落ちにくくなります。

- 飲み物や芳香剤などをこぼしたとき
- 油脂類が付着したとき
- 汚れがあるとき

シートベルトの手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

警告



必ず守る

シートベルトにほつれ、すり傷などの異常があるときは、マツダ販売店で交換する。
そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。
有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

汚れがあるときはこまめにふき取ってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなることがあります。

ビニールの手入れ

ブラシや掃除機を使用してビニールのほこりや汚れを落としてください。
革・ビニール用クリーナーを使用してビニールの汚れを落としてください。

布張り、合成皮革部分の手入れ

布張り

1. 水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

合成皮革

1. 掃除機などでほこりや砂を取り除きます。
2. 水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れた部分をふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

革張り部分の手入れ

1. 掃除機などでほこりや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

知識

- 天然素材のため、シボ（本革表面の凹凸）の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- 次のような場合は、早めに手入れを行なってください。
そのまま放置しておくと早く摩耗したり、カビやシミなどの原因になります。
 - 砂、ほこりなどが付いたとき
 - ハンドクリームなどの油分が付いたとき
 - 化粧品、整髪料などのアルコール類が付いたとき

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた

車の手入れ

知識

- 革張り部分がぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード（日除け）を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間、革張り部分の上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

樹脂部品の手入れ

注意



つや出し剤を使用しないでください。
含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になります。

インストルメントパネル上面の手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

パネルの手入れ

パネルが汚れたときは、きれいな水にひたして固くしぼったやわらかい布などで軽くふき取ってください。

特に汚れが気になるときは、次の方法で手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

光沢のあるパネル、メッキ部分などの金属部分がある場合は、傷がつきやすいので、特に注意して手入れを行なってください。

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→458 ページ「エンジンオイル」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。
バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	凍結温度
30%	-16℃
50%	-37℃

純正ロングライフクーラント (ゴールドen) **FL22** を使用する場合

純正ロングライフクーラント (ゴールドen) **FL22** は濃度調整済みの冷却水です。
薄めずそのままご使用ください。
冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→350 ページ「ウォッシャー液の補充」

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおっております。
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使用
した

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4.お手入れのしかた 季節の準備

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

警告



必ず守る

タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。
指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみて手順を理解しておきましょう。

→386 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは後輪に取り付けます。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。

路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板（停止表示灯）を使用してください。

注意



必ず守る

標準タイヤのみタイヤチェーンを装着できます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、チェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。



必ず守る

純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。



禁止

積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。



必ず守る

タイヤチェーンを装着したときは、30 km/h 以下で走行してください。30 km/h 以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店で求めください。
- タイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

夏にそなえて

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エアコンのチェック

エアコンの冷媒 (エアコンガス) が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用がた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4.お手入れのしかた 環境保護のために

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。

5 トラブルが起きたら

故障したとき	392
路上で動けなくなったとき.....	392
スタックしたとき.....	394
踏切内で動けなくなったとき.....	395
緊急用具の取り扱い	396
発炎筒.....	396
工具の格納場所.....	397
パンクしたとき	399
タイヤパンク応急修理キット.....	399
バッテリーがあがったとき	408
バッテリーあがりについて.....	408
オーバーヒートしたとき	411
オーバーヒートについて.....	411
フューエルリッドが開かなくなったとき	413
フューエルリッドが開かなくなったときは.....	413
キーが作動しないとき	414
キー一時停止機能.....	414
けん引について	415
けん引してもらうとき.....	415
故障車をけん引するとき.....	416
万一事故が起きたとき	418
警告灯/表示灯	419
警告灯が点灯、点滅したときは.....	419
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にメッセージ が表示されたときは.....	429
センターディスプレイにメッセージが表示されたときは.....	431
警報チャイム	433
チャイムがなったときは.....	433

5 トラブルが起きたら

トランク	438
トランクが開けられなくなったとき.....	438
ルーフが閉まらなくなったとき	445
ルーフが閉まらなくなったときは.....	445

MEMO

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

5.トラブルが起きたら 故障したとき

路上で動けなくなったとき

一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。
チェンジレバー/セレクトレバーを N の位置にいれ、安全な場所まで押し出します。

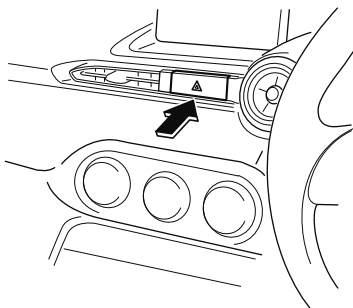
警告



万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止める。
爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

1. 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

非常点滅灯スイッチ



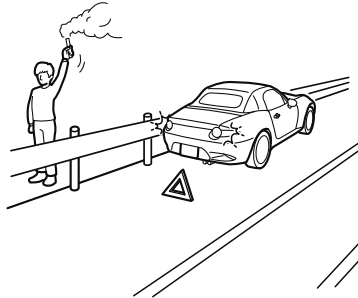
非常点滅表示灯



2. 必要に応じて停止表示板（停止表示灯）、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

→396 ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板（停止表示灯）を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。



3. 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。
4. 安全を確保した後、救援を求めます。
故障の修理などお困りの際はマツダ販売店に連絡してください。

知識

停止表示板（停止表示灯）について

停止表示板（停止表示灯）はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

5.トラブルが起きたら 故障したとき

スタックしたとき

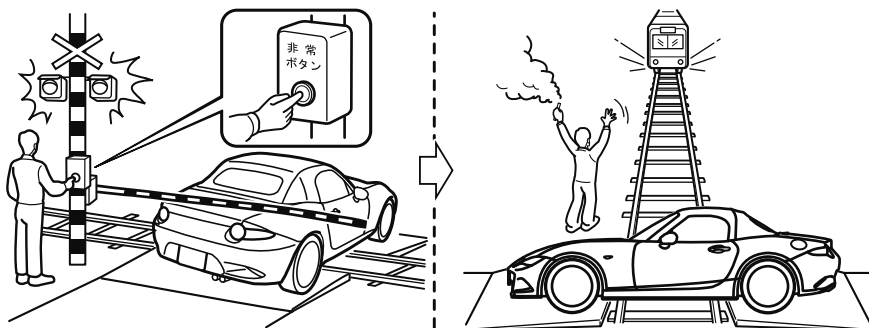
ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。

- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを D または R の位置にいて、アクセルペダルを軽く踏みます。チェンジレバー/セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがリバース（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

踏切内で動けなくなったとき

脱輪などで動けなくなったとき

1. 踏切の非常ボタンを押します。緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→396 ページ「発炎筒」
2. 付近の人に救援を求めます。



エンストで動けなくなったとき

1. エンジンをかけ直します。
2. エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→396 ページ「発炎筒」
3. 付近の人に救援を求めます。
チェンジレバー/セレクトレバーを N の位置にいれ、安全な場所まで押し出します。

知識

緊急避難について

スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら 緊急用具の取り扱い

発炎筒

⚠ 警告



油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。
火災につながるおそれがあります。



使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけない。
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまにはさわらせない。
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。



トンネル内では発炎筒を使用しない。
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

発炎筒について



事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読み、あらかじめ確認しておいてください。

- 使用方法
- 使用上の注意事項
- 発炎時間
- 有効期限

工具の格納場所

⚠ 注意



タイヤパンク応急修理キットを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。

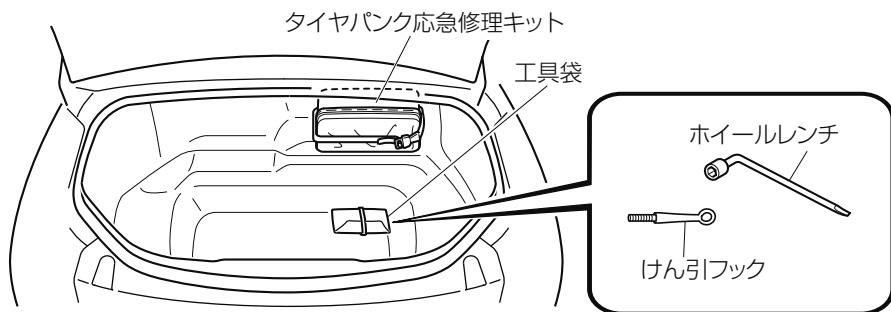
必ず守る

📖 知識

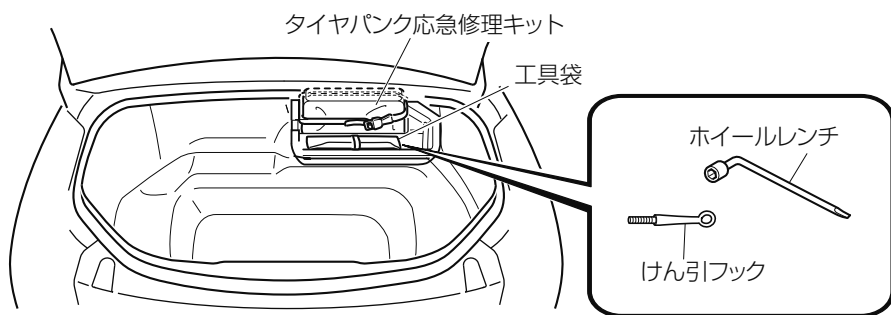
スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。スペアタイヤの取り扱いについては、マツダ販売店にご相談ください。

工具は図の位置に格納されています。

ソフトトップ車



ハードトップ車



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

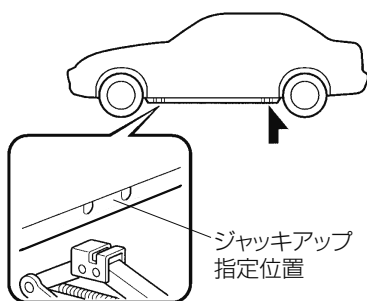
5.トラブルが起きたら 緊急用具の取り扱い

ジャッキについて

📖 知識

ジャッキはお客様のお車に標準で搭載されておりません。用品としてマツダ純正ジャッキがありますので、タイヤ交換の際は、マツダ純正ジャッキを使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

ジャッキアップ指定位置



5.トラブルが起きたら パンクしたとき

タイヤパンク応急修理キット

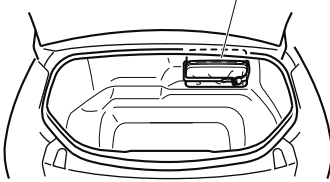
本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。

タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。

タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。

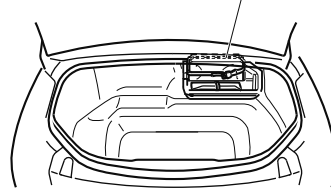
ソフトトップ車

タイヤパンク応急修理キット



ハードトップ車

タイヤパンク応急修理キット



タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。



修理剤



注入ホース



エアコンプレッサー



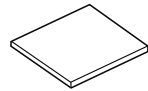
予備バルブコア



コアまわし



速度制限シール



取扱説明書

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用がた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

5.トラブルが起きたら パンクしたとき

警告



必ず守る

万一誤飲したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。

修理剤を誤飲すると健康に害があります。



必ず守る

修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄する。

それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。



禁止

お子さまには修理剤をさわらせない。

誤って使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

天然ゴムに対するアレルギーを有する人は修理剤に触れない。

アレルギー症状を発症する可能性があります。

知識

修理剤の使用について

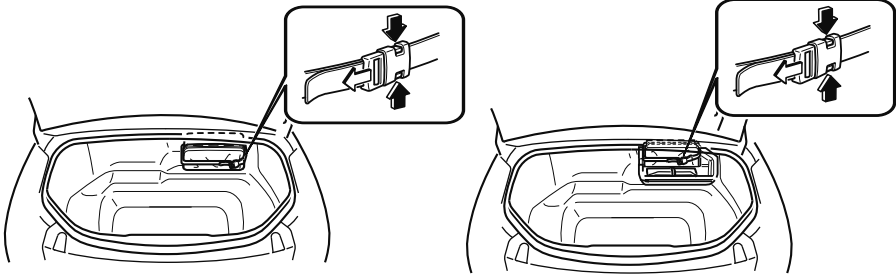
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店で求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
 - 修理剤の有効期限がきれているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています）
 - 約4 mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - 接地部以外が損傷を受けたとき
 - パンクしたまま走行し、タイヤ側面が損傷しているとき
 - タイヤがホイールからはずれているとき
 - ホイールやバルブが破損しているとき
 - タイヤが2本以上パンクしているとき

タイヤパンク応急修理キットの使いかた

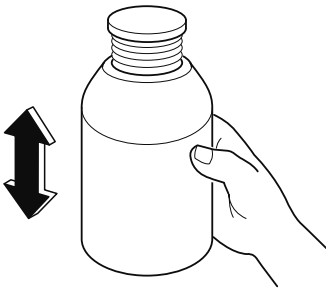
1. 車を交通のさまたげにならない、地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動します。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。
5. 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。

ソフトトップ車

ハードトップ車



6. 修理剤のボトルをよく振ります。



⚠ 警告



必ず守る

注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。
注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散り、衣服などに付着すると取れないおそれがあります。

📖 知識

修理剤の性質について

0°C 以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

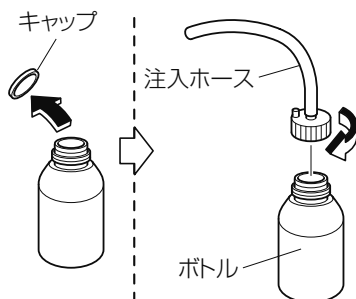
お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

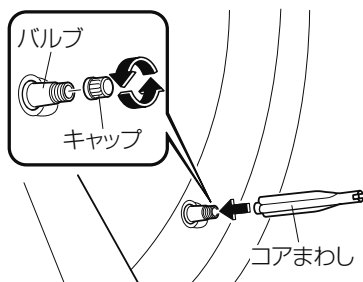
車両
スペック

さく
いん

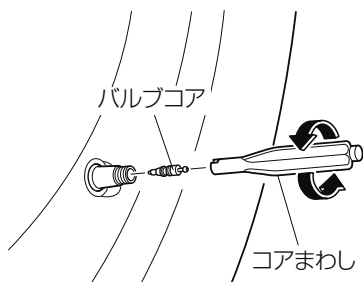
5.トラブルが起きたら パンクしたとき



7. ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。



8. パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。



9. コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。

⚠ 注意

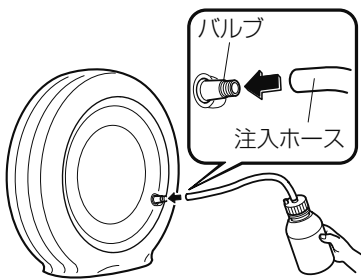


必ず守る

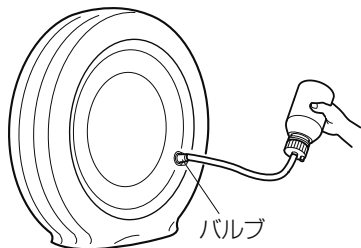
バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。

📖 知識

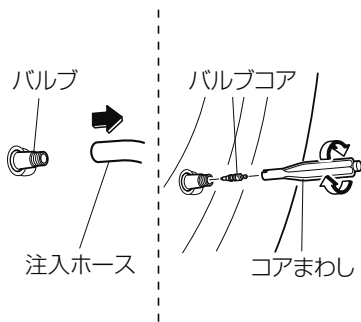
バルブコアは汚れないように保管してください。



10. 注入ホースをバルブに差し込みます。



11. ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤をすべてタイヤの中に注入します。



12. 注入ホースをバルブから引き抜きます。

13. コアマわしでバルブコアを右にまわし、バルブコアを取り付けます。



14. 残った修理剤が漏れないようにするために、注入ホースをタブに取り付けます。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

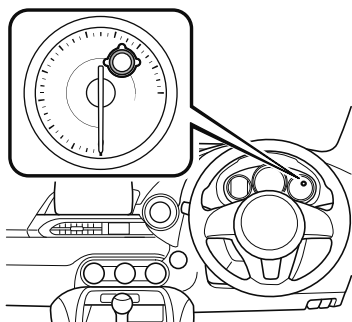
さくいん

5.トラブルが起きたら パンクしたとき

知識

修理剤の回収について

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または修理の際に使用済み修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。



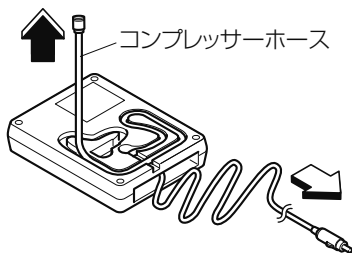
15. 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。

警告

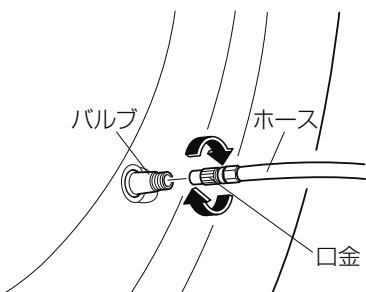


禁止

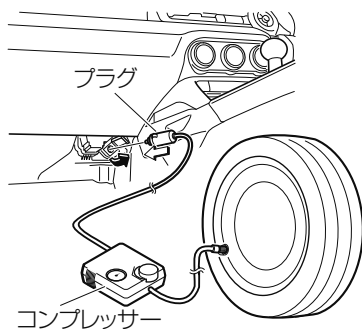
ハンドルのパッド部に速度制限シールを貼らない。
万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。



16. エアコンプレッサーからコンプレッサーホースと電源プラグを引き出します。



17. エアコンプレッサーのホースの口金を右にまわしてバルブに取り付けます。



18. エアコンプレッサーのプラグを車内の電源ソケットに差し込み、電源ポジションを ACC にします。
→328 ページ「電源ソケット」

⚠ 注意



必ず守る

電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら パンクしたとき

19. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

知識

空気圧の調整について

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。
- 10分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店または JAF などに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

20. 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースの口金を左にまわしてバルブから抜きます。

21. バルブキャップを取り付けます。

22. 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、ただちに走行を始めます。

注意



80km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80km/h 以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。

23. 10分間もしくは5km程度走行後に手順17の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧を確認します。適正空気圧より低下していたら、手順18の作業から再度行ないます。

警告



**空気圧が130kPa (1.3kgf/cm²) 以下に低下していたら、運転を中止してマツダ販売店または JAF などに連絡する。
本修理キットによる応急修理はできません。**



**手順17～23の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止する。
マツダ販売店または JAF などに連絡してください。**

注意



タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてから確認してください。

24. 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。

知識

応急修理をしたタイヤとホイールは

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早く新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

知識

修理剤の有効期限について

修理剤には有効期限があります。有効期限がきたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

バッテリーがあがったとき

バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。



警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。



必ず守る

必ず保護メガネを着用する。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。



必ず守る

バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、バッテリー液をこぼさない。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。



必ず守る

絶対に火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。



必ず守る

換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわない。また、充電中はバッテリーに近づかない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。



必ず守る

ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検する。

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

処置方法

押しがけによる始動はできません。

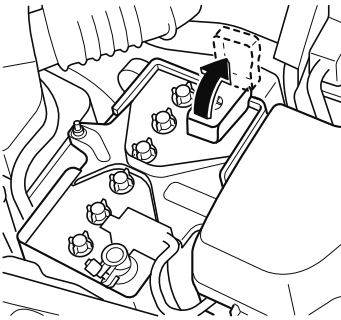
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。

自車と同じ 12V バッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠ 注意



ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。



1. 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
2. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。
3. バッテリーキャップを取りはずします。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら

バッテリーがあがったとき

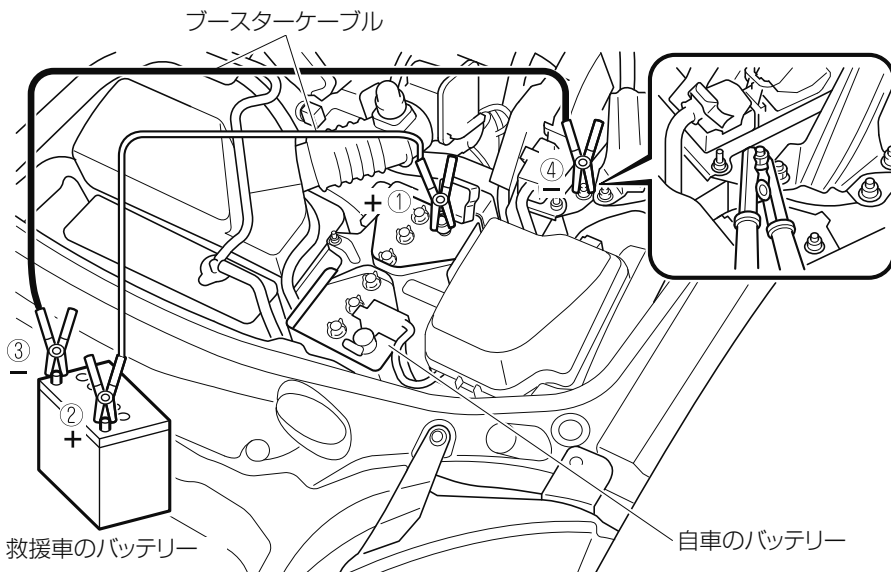
4. 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。
ブースターケーブルはエンジンの振動などで外れないよう確実に接続してください。

• **1本目**

- ①自車のバッテリーの+端子
- ②救援車のバッテリーの+端子

• **2本目**

- ③救援車のバッテリーの-端子
- ④図で表示の箇所 (バッテリーの-端子に接続しない)



5. 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。
6. 自車のエンジンをかけます。約3分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。
7. ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
8. バッテリーキャップを取り付けます。
9. 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯 (赤)が点灯し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

警告



禁止

エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。
エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。



禁止



エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けない。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止



エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら オーバーヒートしたとき

処置方法

1. 安全な場所に車を止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。
エンジンルームから蒸気が出ているときは
エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
エンジンルームから蒸気が出ていないときは
エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。クーリングファンが作動していることを確認し、高水温警告灯 (赤) が消灯したらエンジンを止めます。

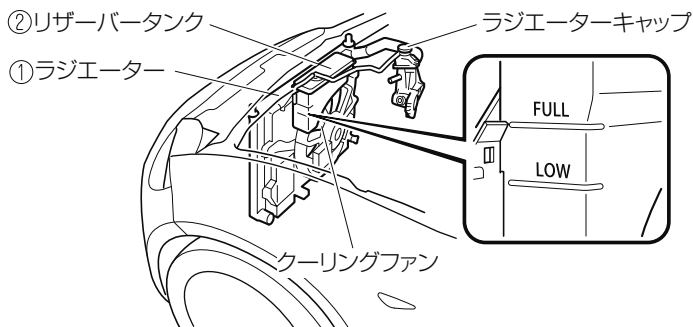
⚠ 注意



必ず守る

クーリングファンが作動していないときは、クーリングファンの故障が考えられます。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。

3. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。冷却水量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。冷却水がない場合は一時的に水を補充してください。補充後はキャップを確実に取り付けてください。



4. 早めに最寄りのマツダ販売店で点検を受けてください。

5.トラブルが起きたら フューエルリッドが開かなくなったとき

フューエルリッドが開かなくなったときは

バッテリーがあがると、フューエルリッドが開けられなくなります。
この場合、バッテリーあがりの対処をすることでフューエルリッドを開けることができます
ようになります。

→409 ページ「処置方法」

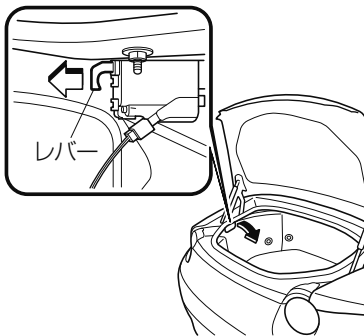
バッテリーあがりの対処をしても、フューエルリッドを開けることができない場合は電気
システムの故障が考えられます。

この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

1. トランクを開けます。
→44 ページ「トランクを開けるとき」



2. ファスナーを取りはずします。



3. トランク内側のカバーをめくります。レバーを引いて、フューエルリッドを開けます。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

5.トラブルが起きたら

キーが作動しないとき

キー一時停止機能

キーが車内にあるとき、車内に置いてあるキーの機能（プッシュボタンスタートでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作（アドバンストキーレス機能装備車））が盗難防止のため、一時停止する場合があります。

車内から一時停止したキーのアンロックスイッチを押すと復帰します。

けん引してもらうとき

けん引はできるだけマツダ販売店または JAF などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店または JAF などに連絡してください。

⚠ 警告



必ず守る

長い下り坂を下りるときは、レッカー車でけん引する。ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

オートマチック車をロープでけん引してもらうときは、速度 30 km/h 以下、走行距離は 30 km 以内にしてください。



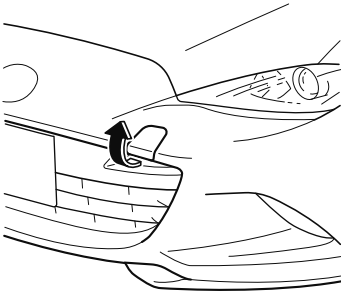
必ず守る

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

やむをえずロープでけん引してもらうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

1. けん引フック、ホイールレンチをトランクルームから取り出します。
→397 ページ「工具の格納場所」

2. カバーを取りはずします。



⚠ 注意



必ず守る

カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

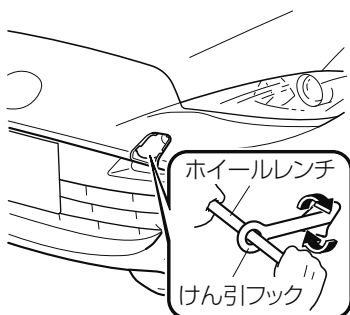
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

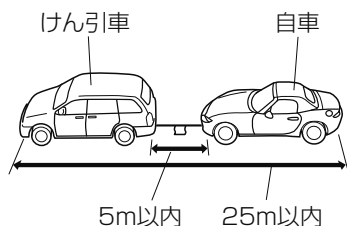
車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら けん引について



- ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



- けん引ロープをフックにかけます。
- ロープは5 m 以内にして、中央に0.3 m 平方 (0.3 m×0.3 m) 以上の白い布を必ずつけてください。
- けん引してもらう車はエンジンをかけ、チェンジレバー/セレクトレバーをNに入れます。エンジンがかからないときは、電源ポジションをACCにします。

警告



やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転する。
必ず守る
エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。OFFにするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
必ず守る

- パーキングブレーキを解除します。
- けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。

⚠ 注意



必ず守る

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

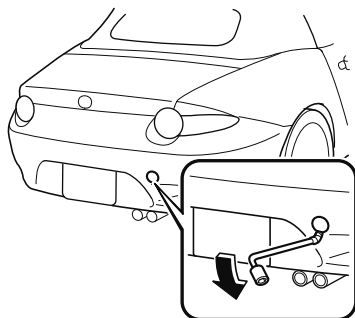
- 自車の重量より重い車はけん引しないでください。
- 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- けん引フック以外にロープをかけないでください。



必ず守る

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

1. けん引フック、ホイールレンチをトランクルームから取り出します。
→397 ページ「工具の格納場所」



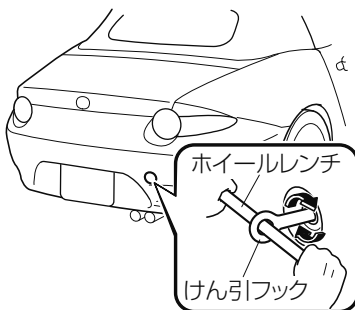
2. ホイールレンチなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

⚠ 注意



必ず守る

カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。



3. ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トランプルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら 万一事故が起きたとき

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行いません。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

4.相手の氏名、住所などの確認

5.マツダ販売店、保険会社への連絡

知識

事故がおきたら

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

警告灯が点灯、点滅したときは

警告灯/表示灯が点灯/点滅した場合は、それぞれの方法で対処してください。消灯すれば問題ありませんが、消灯しない場合、または再度点灯/点滅する場合はマツダ販売店にご相談ください。


警告

警告灯/表示灯が点灯/点滅した場合は、ただちに安全な場所に停車し適切な処置を行なう。

警告灯/表示灯の点灯/点滅を無視して運転を続けると、エンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

センターディスプレイやメーター内のマルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) で詳細を確認できる警告があります。

センターディスプレイで確認する

1. ホーム画面の  を選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 「車両ステータス」を選択します。
3. 「ウォーニング」を選択すると、現在発生している警告が表示されます。
4. 確認したい警告を選択すると、警告の詳細が表示されます。

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使用
に
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

5.トラブルが起きたら 警告灯/表示灯





マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) で確認する






1. ステアリングスイッチの INFO スイッチを押すと、警告表示画面が表示されます。
→138 ページ「マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A)」

グレード/仕様別装備

ただちに安全な場所に停車する

次の警告灯が表示/点灯/点滅したときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示/名称	点灯/点滅条件
 (赤) ブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none">● パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯します。● 次のようなときは点灯し続けます。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。<ul style="list-style-type: none">● ブレーキ液が不足しているとき。● ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム/バキューム系統) に異常があるとき。 <p> 警告</p> <p>ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。</p> <p> 禁止 ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。</p> <p>ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。</p> <p> 必ず守る 急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p>

表示/名称	点灯/点滅条件
 充電警告表示/ 警告灯	<p>エンジン回転中、充電装置に異常があると表示/点灯します。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。</p> <p>警告</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>充電警告灯が表示/点灯したまま走行しない。 エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> </div>
 オイル警告灯	<p>エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下したときに点灯します。ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。点灯したときは、エンジンオイルの量を点検し、不足しているときは補充してください。 →350 ページ「エンジンオイルの点検、補充」 エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。</p>
 (赤) 高水温警告表示/ 警告灯	<p>エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると表示/点灯します。 点滅したときは エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。 表示/点灯したときは オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。 →411 ページ「オーバーヒートについて」</p>
 電動パワーステアリング警告表示/ 警告灯	<p>エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると表示/点灯します。点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。エンジンを再始動した後も表示/点灯するときは、マツダ販売店に連絡してください。</p> <p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示/点灯したときは電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ハンドル操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。 停車中または低速走行時にハンドル操作を繰り返すと、システム保護のためハンドル操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ハンドル操作をしないでください。しばらくするとともにもどります。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら






車両スペック




さくいん

5.トラブルが起きたら 警告灯/表示灯

マツダ販売店で点検を受ける

次の警告灯または表示灯が点灯/点滅したときは、システムになんらかの故障または異常のおそれがあります。マツダ販売店に連絡し、点検を受けてください。

表示/名称	点灯/点滅条件
 マスター警告表示/警告灯	<p>(マツダコネクスト装備車) システムに異常があると点灯します。センターディスプレイで点灯理由を確認してください。→419 ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」</p> <p>(マツダコネクスト非装備車) 次のときに点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリマネジメントシステムに異常があるとき。 ● ブレーキスイッチに異常があるとき。
 (橙) 電動バキュームポンプ警告灯	<p>電動バキュームポンプシステムに異常があると点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
 ABS 警告灯	<p>システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>警告</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。</p> <p><small>必ず守る</small> 急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> </div> <p>知識</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>ABS 警告灯が点灯しているときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。</p> </div>
 エンジン警告灯	<p>エンジン制御システムに異常があると点灯/点滅し続けます。高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯/点滅したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。</p>

表示/名称	点灯/点滅条件
<p>i-stop (橙) (点滅) i-stop 警告灯 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>i-ELOOP i-ELOOP 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>AT オートマチック トランスミッション警告表示/ 警告灯 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
<p> (点灯) TCS/DSC 作 動表示灯</p>	<p>次のようなときは DSC、TCS、またはヒル・ローンチ・アシスト (HLA) の異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。 走行中に点灯したとき。
<p> エアバッグ警告 灯/プリテンシ ョナー警告灯</p>	<p>次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 点灯/点滅し続けるとき。 <p>警告</p> <p>エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。</p> <p> 衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。</p>

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた








トラブルが
起きたら







車両
スペック

さく
いん

5.トラブルが起きたら

警告灯/表示灯

表示/名称	点灯/点滅条件
 <p>アクティブボンネット警告灯</p>	<p>次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 ● 点灯/点滅し続けるとき。 <p>警告</p> <p>アクティブボンネット警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。</p> <p> 歩行者に衝突したときにアクティブボンネット機構が正常に作動せず、本来の機能を果たせないおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
 <p>リトラクタブルハードトップ警告表示</p> <p>グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
 <p>(橙) KEY 警告表示</p> <p>グレード/仕様別装備</p>	<p>“キーレスシステム点検” と表示するとき システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>注意</p> <p> 同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅している場合は、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>必ず守る</p>
 <p>(赤) (点灯) KEY 警告灯</p> <p>グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>注意</p> <p> 同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅している場合は、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>必ず守る</p>

表示/名称	点灯/点滅条件
 <p>ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警告表示 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると表示します。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p> 知識</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>交通量が少なく、障害物が少ない道路を走行すると、レーダーセンサーが一時的に停止する場合がありますが、故障ではありません。</p> </div>
 <p>ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯</p>	<p>次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 ● ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) を作動状態にしても点灯し続けるとき。 <p> 知識</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>悪天候、バンパーの汚れなどによりレーダー感度が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。</p> </div>
 <p>(橙) ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると表示/点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p> 知識</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>悪天候 (雨、霧、雪のときなど) やフロントガラスが汚れているとき、曇っているときなどフォワードセンシングカメラ (FSC) の視界が悪い場合、ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯が表示/点灯することがありますが、故障ではありません。</p> </div>

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた







お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック





さくいん

5.トラブルが起きたら
警告灯/表示灯

表示/名称	点灯/点滅条件
 <p>(橙) アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると表示/点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p> 知識</p> <p>悪天候 (雨、霧、雪のときなど) やフロントガラスが汚れているとき、曇っているときなどフォワードセンシングカメラ (FSC) の視界が悪い場合、アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告表示/警告灯が表示/点灯することがありますが、故障ではありません。</p>
 <p>(点灯) 車線逸脱警報システム警告表示/警告灯</p>	<p>システムに異常があるときは表示/点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> <p> 知識</p> <p>悪天候 (雨、霧、雪のときなど) やフロントガラスが汚れているとき、曇っているときなどフォワードセンシングカメラ (FSC) の視界が悪い場合、車線逸脱警報システム警告表示/警告灯が表示/点灯することがありますが、故障ではありません。</p>
 <p>(橙) ドライバー・アテンション・アラート (DAA) 警告表示 グレード/仕様別装備</p>	<p>システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p>
 <p>LED ヘッドランプ警告灯</p>	<p>システムに異常があると点滅します。 マツダ販売店で点検を受けてください。</p>

処置する

それぞれの処置方法で警告灯が消灯することを確認してください。

表示/名称	点灯/点滅条件	処置方法
 燃料残量警告表示/警告灯	電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると表示/点灯します。  知識 <ul style="list-style-type: none"> 燃料タンク内の燃料残量が 9 L 前後になったときに表示/点灯します。表示/点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告表示/警告灯の表示/点灯タイミングが変わる場合があります。 	燃料を補給してください。
 PASSENGER シートベルト警告灯	点灯するとき 電源ポジションが ON のとき、運転席/助手席シートベルトを着用していないと点灯します。 点滅するとき 運転席/助手席シートベルトを着用しないまま約 20 km/h 以上になるとしばらくの間点滅します。	シートベルトを着用してください。
 半ドア警告灯/半ドア警告表示/トランク開警告表示	いずれかのドア/トランクリッドが確実に閉まっていないときに点灯します。	ドア/トランクリッドを確実に閉めてください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた



お手入れのしかた


トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら 警告灯/表示灯

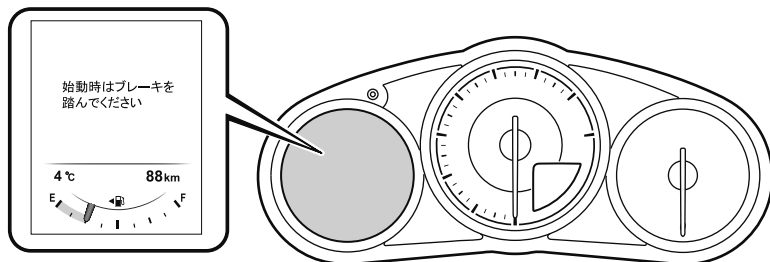
表示/名称	点灯/点滅条件	処置方法
 (白/橙) KEY 警告表示 グレード/仕様別装備	キーの電池が切れたとき。	電池を交換してください。 →370 ページ「電池を交換するときは」
	キーが作動範囲内がないとき。	キーを作動範囲に入れてください。 →32 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っの操作」
	キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき。	
	キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき。	キーに類似した他社のキーを作動範囲外に出してください。
	電源ポジションを OFF にせず、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき。	キーを車内に戻してください。
 (赤) (点滅) KEY 警告灯 グレード/仕様別装備	キーの電池が切れたとき。	電池を交換してください。 →370 ページ「電池を交換するときは」
	キーが作動範囲内がないとき。	キーを作動範囲に入れてください。 →32 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っの操作」
	キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき。	
	キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき。	キーに類似した他社のキーを作動範囲外に出してください。
	電源ポジションを OFF にせず、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき。	キーを車内に戻してください。

表示/名称	点灯/点滅条件	処置方法
 (橙) スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 警告表示/警告灯	フロントガラスが汚れているとき、またはシステムに異常があるときに表示/点灯します。	センターディスプレイまたはマルチインフォメーションディスプレイで表示理由を確認してください。 →419 ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」 表示理由がフロントガラスの汚れのときは、フロントガラスを清掃してください。他の理由のときはで点検を受けてください。

マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にメッセージが表示されたときは グレード/仕様別装備

車両からお知らせがある場合、マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にメッセージが表示されます。それぞれの内容を確認して処置してください。

(表示例)



警告灯が同時に点灯/点滅したとき、またはマルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A) にシンボルが表示されたときは、警告灯、またはシンボルの内容を確認してください。

→419 ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら 警告灯/表示灯

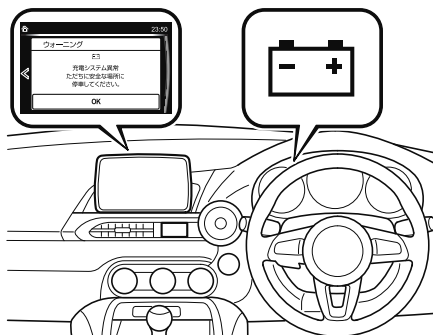
表示	内容	処置方法
シフトレバーを "P"に入れてください	セレクトレバーがPの位置 ではないときにプッシュボタ ンスタートを押したときに表 示	セレクトレバーをPの位置 に入れてください。
エンジンが 停止しました	アイドリングストップ中に、 運転席シートベルトを外して 運転席側ドアを開けたときに 表示	再度プッシュボタンスタート を押してエンジンをかけてく ださい。(オートマチック車 はシフトレバーをPの位置 でエンジンをかけてくださ い。)
始動時はブレーキを 踏んでください	ブレーキペダルを踏まずにプ ッシュボタンスタートを押し たときに表示	ブレーキペダルを踏んだ状態 でプッシュボタンスタートを 押してください。
始動時はクラッチを 踏んでください	クラッチペダルを踏まずにプ ッシュボタンスタートを押し たときに表示	クラッチペダルを踏んだ状態 でプッシュボタンスタートを 押してください。
ステアリングが ロックされています	ステアリングロック作動中に 表示	ステアリングロックを解除し てください。

センターディスプレイにメッセージが表示されたときは

グレード/仕様別装備

センターディスプレイにメッセージが表示されたときは、落ち着いて表示されたメッセージの方法で処置してください。

(表示例)



ただちに安全な場所に停車する

次のメッセージが表示されたときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示	表示条件
	充電装置に異常があると表示します。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

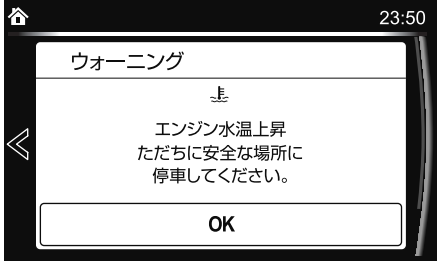
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

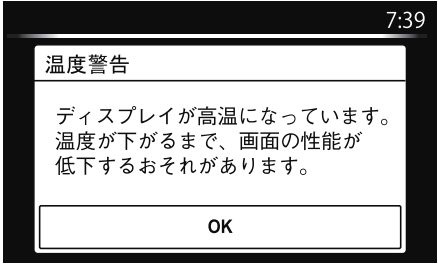
さくいん

5.トラブルが起きたら 警告灯/表示灯

表示	表示条件
	<p>エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに表示します。</p>



表示内容を確認する

次のときに表示します。

表示	表示条件/処置方法
	<p>センターディスプレイ周辺温度が高温状態となっているときに表示します。 車室内の温度を下げる、直射日光を避けるなどセンターディスプレイ周辺温度を下げることをおすすめします。</p>

チャイムがなったときは

システムの故障や、使用上の注意が必要な場合に警報チャイムでお知らせします。

チャイム	現象	確認してください
ランプ消し忘れ防止	電源ポジションを OFF にして運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り続ける。	ランプを点灯させたままになっていないか。
エアバッグ警告/プリテンショナー警告	約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴り続ける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> 警告</p> <p>エアバッグ警告チャイム/プリテンショナー警告チャイムが鳴ったまま走行しない。</p> <p> 衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながのおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> </div>

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた



お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら
警報チャイム

チャイム	現象	確認してください
アクティブボンネット警告	約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴り続ける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> 警告</p> <p>アクティブボンネット警告チャイムが鳴ったまま走行しない。</p> <p> 歩行者に衝突したときにアクティブボンネット機構が正常に作動せず、本来の機能を果たせないおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。</p> </div>
リトラクタブルハードトップ警告 <small>グレード/仕様別装備</small>	リトラクタブルハードトップスイッチを操作中に、チャイムが鳴り続ける。	安全な場所に停車し、エンジンを停止する。エンジン再始動後にリトラクタブルハードトップスイッチを操作し、チャイムが鳴り続けるときはマツダ販売店で点検を受ける。
シートベルト着用忘れ	車速が約 20 km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴る。	運転席/助手席シートベルトの着用を確認する。着用すると鳴り止む。
電源オフ忘れ警報	運転席ドアを開けたときに、車内のチャイムが鳴り続ける。	電源ポジションを OFF にしているか。

チャイム	現象	確認してください
キー車外持ち出し警報 (アドバンストキーレス機能非装備車)	すべてのドアを閉めたときに車内のチャイムが6回鳴り、メーター内のKEY 警告灯 (赤) が点滅し続ける。	電源ポジションを ON にしたままキーを車外に持ち出していないか。
キー車外持ち出し警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	すべてのドアを閉めたときに車外のチャイムが6回鳴ったあと、車内のチャイムが6回鳴り、メーター内のKEY 警告灯 (赤) が点滅し続ける。	
リクエストスイッチ不動作警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	キーを携帯してドアのリクエストスイッチを押すと、車外のチャイムが約2秒間鳴る。	いずれかのドアが開いていないか。
トランク内キー閉じ込み警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	ドアを施錠した状態でトランクを閉めたときに、車外のチャイムが約10秒間鳴る。	キーを荷室に置いていないか。
キー車内閉じ込み警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	キーを携帯して施錠しようとしたときに、車外のチャイムが約10秒間鳴る。	キーを車内に置いていないか。
i-stop 警告 グレード/仕様別装備	アイドリングストップ中にチャイムが鳴り、メーター内の i-stop 警告灯 (橙) と他の警告灯も点灯した。	シートベルトをはずして運転席ドアを開けていないか。
	アイドリングストップ中にチャイムが鳴る。	運転席ドアが開いていないか。
電動ハンドルロック警告	プッシュボタンスタートを押した後、チャイムが鳴る。	ハンドルがロックしていないか。
衝突警報/接近警報	前方車や後方の障害物と衝突する可能性がある場合にチャイムが鳴る。	前方車や後方の障害物に近づきすぎているか。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら 警報チャイム

チャイム	現象	確認してください
AT 誤発進警報 <small>グレード/仕様別装備</small>	障害物と衝突する可能性がある場合にチャイムが鳴る。	アクセルペダルを踏み間違えていないか。
電動パワーステアリング警告	チャイムが鳴ると同時に電動パワーステアリング警告表示/警告灯が表示/点灯した。	安全な場所に停車し、エンジンを停止する。再始動後にも吹鳴するときはマツダ販売店で点検を受ける。
リバースポジション (オートマチック車)	電源ポジションが ON のとき、セレクトレバーを R にすると鳴る。	R 位置以外にすると鳴り止む。 車外には聞こえないので注意する。
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警報	<p><u>前進時 (ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 作動)</u> ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯点灯側へ方向指示器のレバーを操作すると鳴る。</p> <p><u>後退時 (リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動)</u> 車両後方の左右から接近してくる車両と衝突する可能性がある場合、鳴る。</p>	車両後方の、移動する車両や二輪車などを確認する。
速度超過警報 <small>グレード/仕様別装備</small>	マルチ・インフォメーション・ディスプレイに表示されている最高速度標識より自車の速度が超えると、表示している最高速度標識のまわりが橙色に 3 回点滅し、同時にチャイムが 3 回鳴る。	周囲の状況を確認しながら、ブレーキペダルを踏むなどの操作をし、法定速度内に減速する。
車線逸脱警報	車線から逸脱する可能性があるときシステムが判断したときに鳴る。	車線から逸脱していないか。

確認してもチャイムが鳴り止まないときは、マツダ販売店に連絡してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

5.トラブルが起きたら トランク

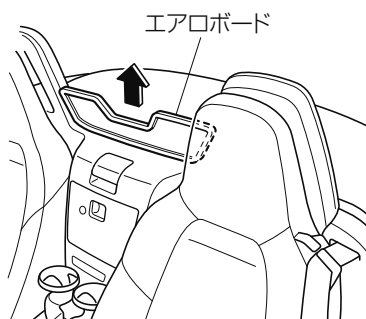
トランクが開けられなくなったとき

バッテリーがあがると、トランクの解錠ができず開けられなくなります。
この場合、バッテリーあがりの対処をすることでトランクの解錠ができるようになります。
→409 ページ「処置方法」

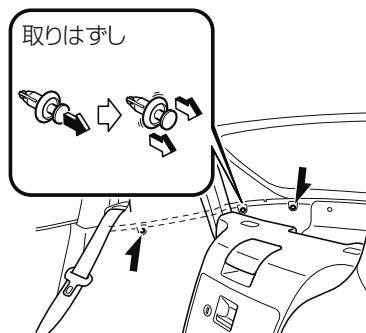
バッテリーあがりの対処をしても、トランクの解錠ができない場合は電気系統の故障が考えられます。

この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

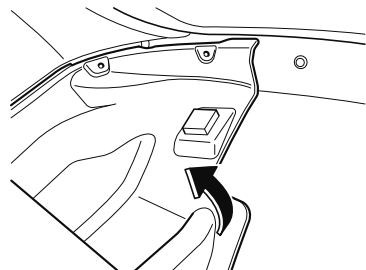
ソフトトップ車



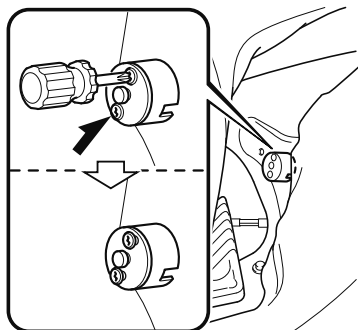
1. ソフトトップを閉めます。
2. エアロボードを取りはずします。



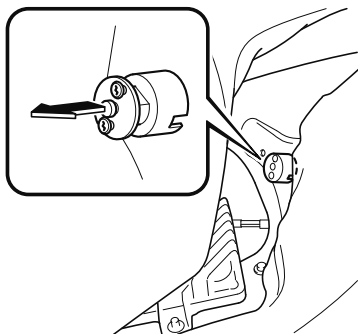
3. 車両右側のファスナーを取りはずします。



4. 車両右側のカバーをめくります。



5. キャップのネジを空回りするまでゆるめます。



6. キャップを引いて、トランクを開けます。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

注意



禁止

キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。
ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら トランク

ハードトップ車

⚠ 注意

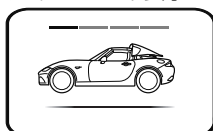


リンク機構やギヤに触らないでください。エッジやギヤに触れるとけがをすることがあります。

ルーフが電動で動くとき

1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
2. エンジンをかけます。

マルチインフォメーション
ディスプレイ表示

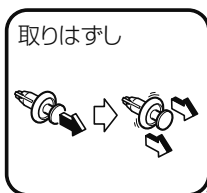


3. リアルーフが全開の状態になるまでリトラクタブルハードトップスイッチを開方向へ押し続けます。
→83 ページ「ルーフを開けるとき」

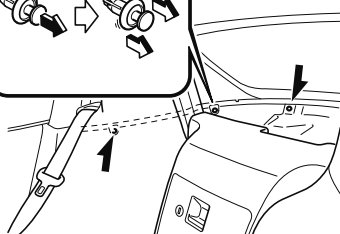
📖 知識

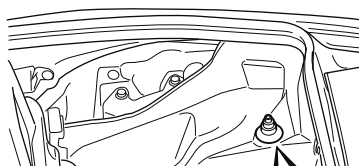
フロントルーフが開く前にスイッチの操作をやめてください。スイッチを操作し続けるとフロントルーフが開き、以降の作業ができなくなります。

4. 電源ポジションを OFF にします。

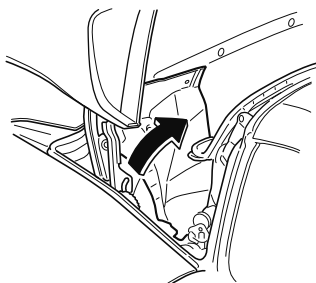
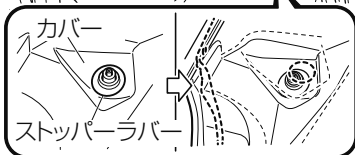


5. 車両右側のファスナーを取りはずします。

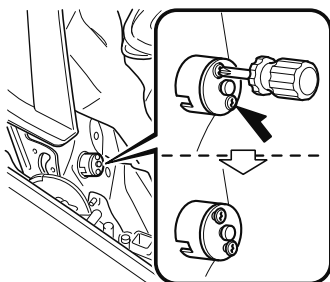




6. 車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせます。



7. 車外から、カバーを持ち上げます。



8. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめます。

知識

この時点ではキャップを引っ張らないでください。キャップを引っ張ると、トランクのロックは解除されますが、リアルーフが電動で作動しなくなります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

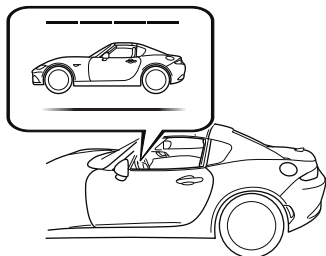
トラブルが起きたら

車両スペック

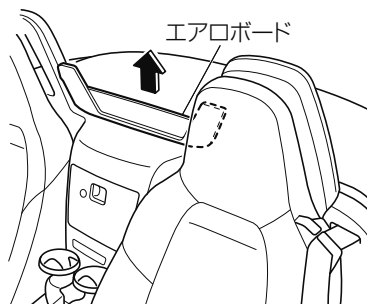
さくいん

5.トラブルが起きたら トランク

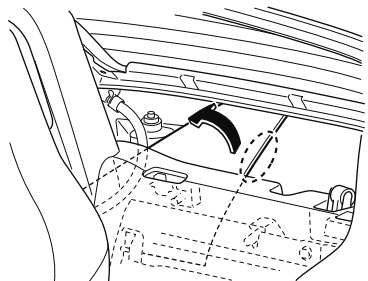
マルチインフォメーション
ディスプレイ表示



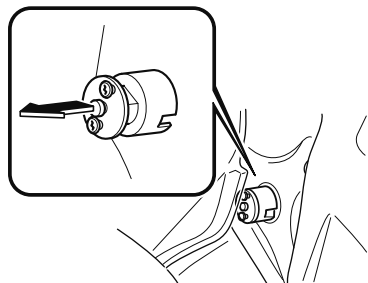
9. エンジンをかけます。
10. リアルーフが全閉の状態になるまでリトラクタブルハードトップスイッチを閉方向へ押し続けます。
→84 ページ「ルーフを閉めるとき」
11. 電源ポジションを OFF にします。



12. エアロボードを取りはずします。



13. 車の中央部分から車両右側のカバーをめくりま
す。



14. キャップを引いて、トランクのロックを解除しま
す。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で
点検を受けてください。

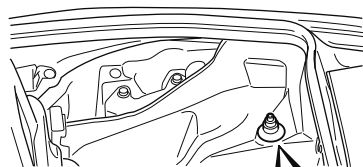
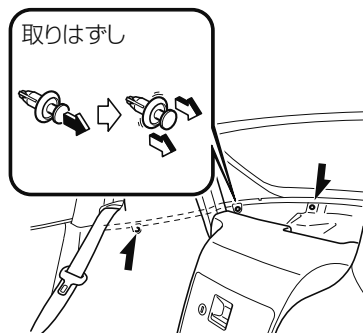
⚠ 注意



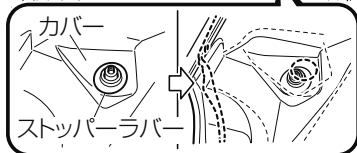
キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。

ルーフが電動で動かないとき

1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
2. 手動操作でリアルーフを持ち上げます。
→445 ページ「ルーフが閉まらなくなったときは」
3. 車両右側のファスナーを取りはずします。



4. 車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせます。



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

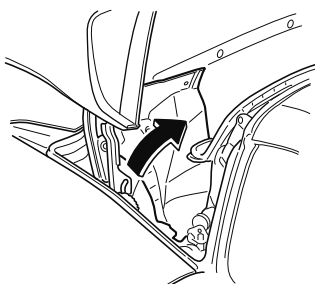
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

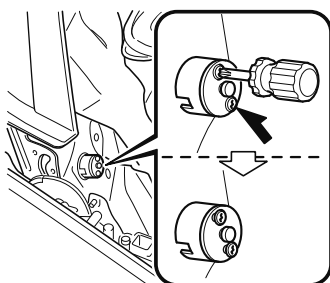
車両スペック

さくいん

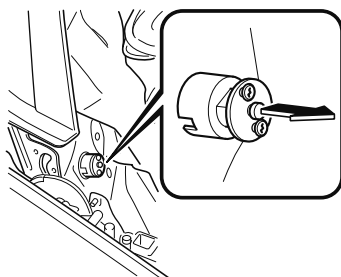
5.トラブルが起きたら トランク



5. 車外から、カバーを持ち上げます。



6. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめます。



7. キャップを引いて、トランクのロックを解除します。

⚠ 注意



この時点ではトランクを開けないでください。リアルーフを完全に閉める前にトランクを開けるとリアルーフとトランクが干渉し、傷がつくおそれがあります。

8. 手動操作でリアルーフを閉めます。
→446 ページ「手動で閉めるとき」
9. トランクを開けます。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき

ルーフが閉まらなくなったときは

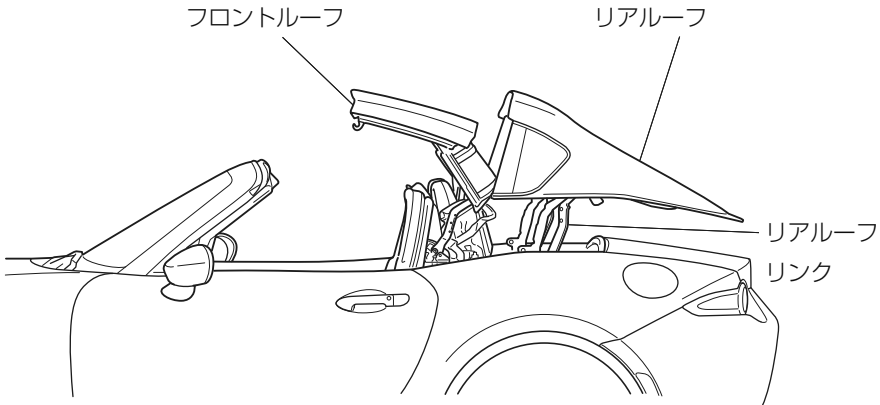
ルーフがリトラクタブルハードトップスイッチで閉まらなくなったときは、ルーフの作動条件を確認してください。

→85 ページ「リトラクタブルハードトップの作動条件」

ルーフの作動条件をすべて満たしているにも関わらず閉まらない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。緊急時は、応急処置として手動でルーフを閉めることができます。

手動でルーフを閉める手順は以下のとおりです。

1. **リアルーフを開ける**
リアルーフを固定しているロックを解除し、リアルーフを開ける。
2. **フロントルーフを閉める**
フロントルーフを持ち上げて閉める。
3. **リアルーフを閉める**
ロープをリアルーフのリンクに結びつけ、リアルーフを閉める。



⚠ 注意



禁止

ルーフが半開の状態では走行しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

風が強いときには作業を行わないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

作業は必ず大人2人で行なってください。特に、フロントルーフを持ち上げる作業は、必ず大人2人以上で行なってください。2人いない場合は作業を行わないでください。けがをするおそれや、車両を損傷させるおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら

ルーフが閉まらなくなったとき

注意



必ず守る

作業には、複数の工具を同時に使用するなど、技術が必要な作業があります。また、長時間無理な姿勢を続ける作業、力が必要な作業や、けがをするおそれのある箇所が含まれます。マツダ販売店で点検を受けていただくことをおすすめします。

知識

- 本作業は緊急時の応急処置として手でルーフを閉める処置です。作業後はマツダ販売店での復旧作業を行なうまで、電動での操作はできません。
- 懐中電灯等を使用すると、作業がしやすくなります。

手動で閉めるとき

手動で閉める前に

警告

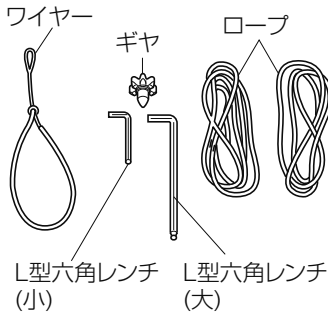


必ず守る

手動でルーフを閉める前に電源ポジションが OFF になっていることを確認する。突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. 交通のさまたげにならず、安全に作業できる平らで固い地面がある場所に車を停車させます。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、電源ポジションを OFF にします。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。

工具の準備



リアコンソールボックス内にある5種類の工具を用意します。

→334ページ「リアコンソールボックス」

リアルーフを開ける

⚠ 注意



必ず守る

ボルトを回す作業をするときは、フロントルーフの上に布を置いて作業をしてください。L型六角レンチがルーフに当たると、フロントルーフに傷がつくおそれがあります。



必ず守る

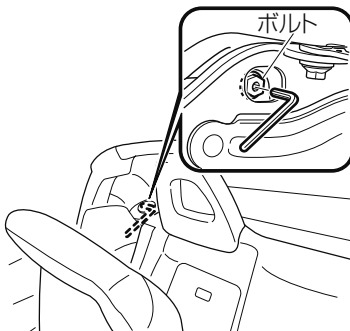
ボルトを回す作業をするときは、格納されたフロントルーフとのすき間が狭いため、L型六角レンチがルーフに当たらないように注意してください。

📖 知識

シートを最前部に移動させ、背もたれを前方へ倒すと作業がしやすくなります。

→47ページ「運転席の操作」

→51ページ「助手席の操作」



1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
2. モーターブラケットのボルトにL型六角レンチ(大)の短い方を差し込みます。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トランクルーフが起きたら

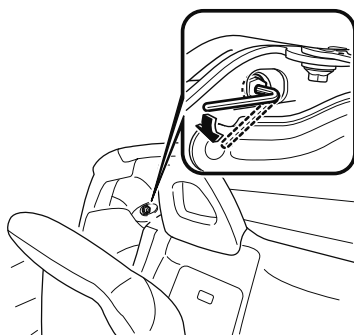
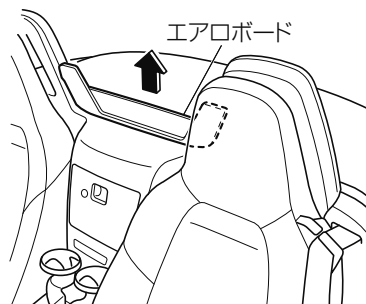
車両スペック

さくいん

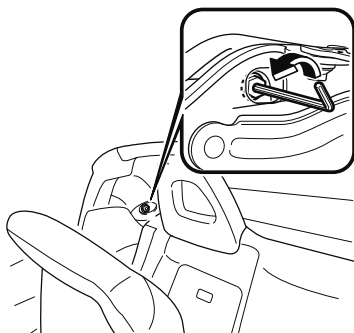
5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき

知識

ボルトが確認しにくい場合は、エアロボードを取りはずして、車両中央から確認してください。



3. L型六角レンチ（大）を反時計回りにまわして、ボルトを少しゆるめます。



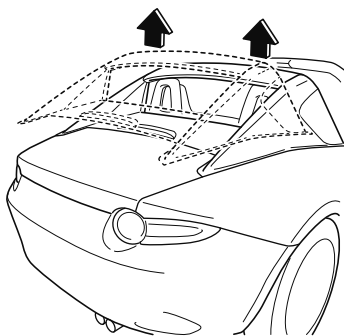
4. L型六角レンチ（大）をいったんボルトから取りはずし、長い方をボルトに差し込みます。
5. L型六角レンチ（大）をボルトに押し付けながら、反時計回りに13回転以上回します。

知識

- L型六角レンチ（大）の長い方の先端は角度を付けて作業することができる形状になっています。少し上方に傾けて作業すると、格納されたフロントルーフとのすき間が広くなり、作業がしやすくなります。
- ボルトは完全には取りはずせません。
- ボルトが回りにくいときは、手順3を2~3回繰り返してください。



6. ワイヤーを図の位置に引っかけます。
7. 1人がリアルーフを上から押さえながら、もう1人がカチッと音がするまでワイヤーを引っ張って、リアルーフのロックを解除します。
8. 反対側も同様の作業を行います。



9. 車両の両側に立ち2人で左右の高さを平行に保ちながら、リアルーフが止まる位置まで持ち上げてください。

注意



リアルーフが完全に開くまで手を離さないでください。リアルーフが下がり、けがをするおそれがあります。



リアルーフは無理に持ち上げないでください。ロックが解除されていない場合、リアルーフを無理に持ち上げると車両部品を破損させるおそれがあります。



リアルーフは左右の高さがなるべく平行になるように持ち上げてください。左右の高さがねじれたままリアルーフを持ち上げるとリンク機構が変形するおそれがあります。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき

フロントルーフを閉める

⚠ 注意



必ず守る

作業には、長時間無理な姿勢を続ける作業、力が必要な作業や、けがをするおそれのある箇所が含まれます。



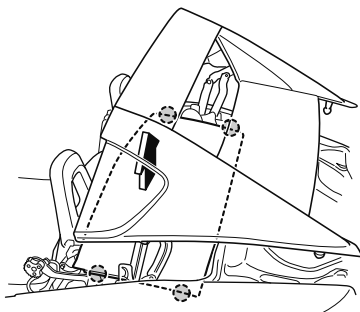
禁止

フロントルーフを閉めるときは、手や指を挟まないように十分に注意しながら作業を行ってください。手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。

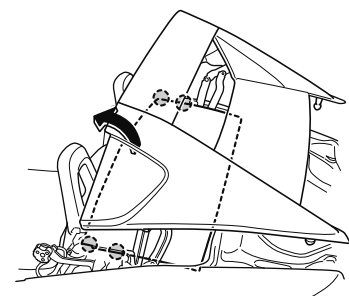


必ず守る

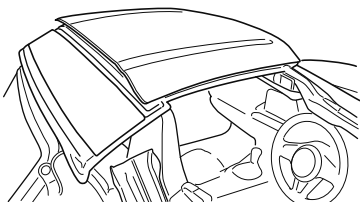
作業にはトップシーリングをはずす作業が含まれますが、トップシーリングを取りはずした状態では絶対に走行しないでください。トップシーリングを取りはずした状態での走行は法律で禁止されています。手順にしたがって確実に作業を行ってください。



1. 車両の両側に立ちフロントルーフの前側と後側を持ち、フロントルーフを上方に引き出します。



2. フロントルーフの後側の手をフロントルーフの前側に持ち替えて、フロントルーフを前方に引き出します。

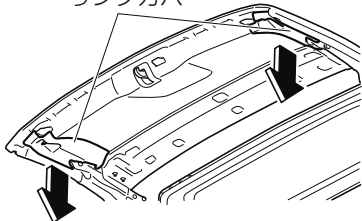


3. フロントルーフの前側が少し開いた状態で止めます。

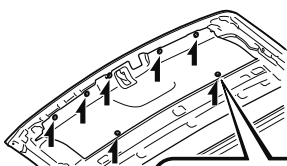
知識

完全に閉めると、次の作業を行なうことができません。

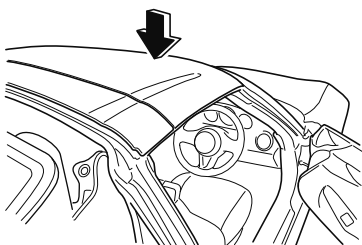
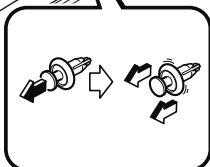
リンクカバー



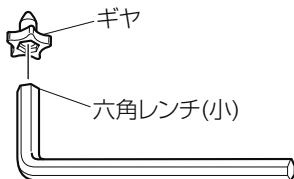
4. 車内から左右のリンクカバーを手で引っ張って取りはずします。



5. ファスナーを取りはずし、トップシーリングを取りはずします。



6. 車外からフロントルーフの前側を軽く押さえて、フロントルーフを閉めます。



7. 六角レンチ (小) の短い方を工具のギヤに差し込みます

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

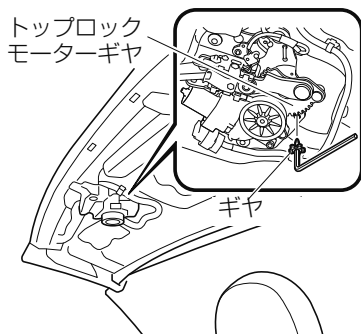
お手入れのしかた

トランクルーフが起きたら

車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき



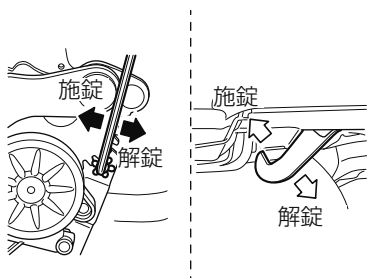
8. 車内から、六角レンチを差し込んだままのギヤの先端をトッブロックモーターギヤ横の穴に差し込んでください。

⚠ 注意



ギヤとトッブロックモーターギヤの歯がかみ合うまで、確実に差し込んでください。確実に差し込んでいないと、不意にギヤがはずれ、破損するおそれがあります。

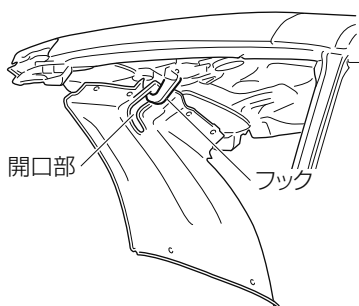
必ず守る



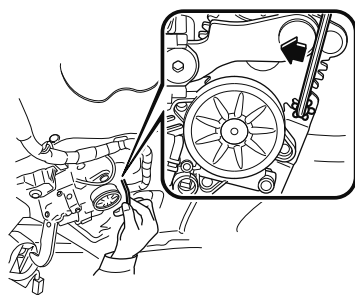
9. トップシーリングの開口部がフックに引っかけられる程度のすき間を残すように、六角レンチを回してフックを施錠方向に移動させます。

📖 知識

ギヤを回すときはモーターの抵抗により回転させるときに力が必要です。ゆっくりと六角レンチを回してください。



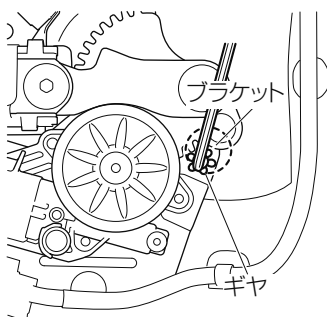
10. トップシーリングの開口部をフックに引っかけます。



11. 六角レンチ (小) とギヤを反時計回りに回して、フックを車体側にかみ合わせます。

知識

ギヤの歯とブラケットが接触する位置まで回すと、フックが車体と完全に噛み合った状態 (ロック状態) になります。



運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

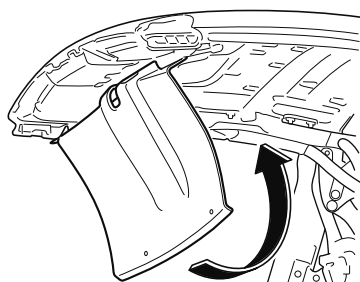
お手入れのしかた

トラブルが起きたら

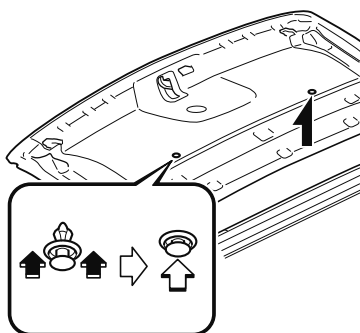
車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき



12. 開口部を軸にしてトップシーリングの後端を持ち上げます。

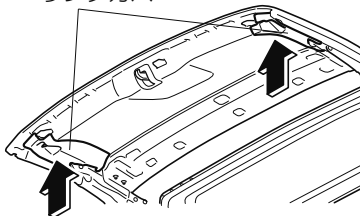


13. 2箇所のファスナーを取り付けます。

知識

トップシーリング前側の5箇所のファスナーは取り付けません。マツダ販売店での修理で使用するため、ファスナーは紛失しないように保管してください。

リンクカバー



14. 左右のリンクカバーを取り付けます。

リアルーフを閉める

⚠ 注意



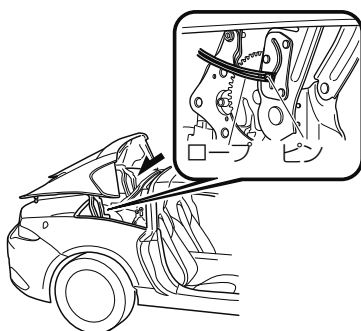
必ず守る

リアルーフを閉めるときはゆっくり閉めてください。急にリアルーフが閉まると手などを挟み、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

リアルーフは無理に押さないでください。無理に押すと車両部品を破損することがあります。



1. ロープを2つ折りにし、リンクのピンにひっかけます。
2. 反対側も同様の作業を行ないます。

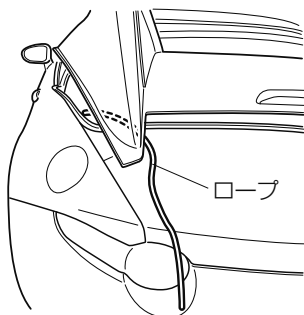
3. 車両の両側に立って、リアルーフを下げます。

⚠ 注意



必ず守る

リアルーフは左右の高さがなるべく平行になるように下げてください。左右の高さがねじれたままリアルーフを下げようとするとリンク機構が変形するおそれがあります。



4. 引っかけたロープが外れないように、2人とも片方の手でロープを軽く引っ張りながら、リアルーフをゆっくりと閉めます。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トランクルーフの起きたり

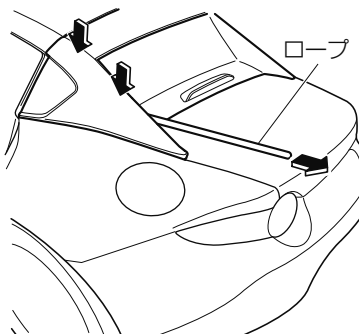
車両スペック

さくいん

5.トラブルが起きたら ルーフが閉まらなくなったとき

知識

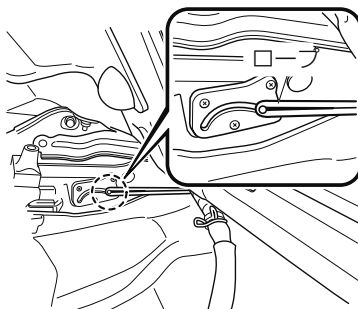
ロープは、リアルーフとトランクのすき間を通してください。



- 1人がリアルーフを上から押し付け、もう1人がロープを車両後方へ水平に”カチッ”と音がするまで強めに引っ張ります。

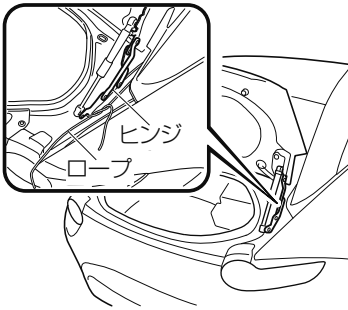
知識

- 車室側から見たとき、図のようにロープを引っかけた位置がブラケット溝の車両後方側の最後端にあれば、リアルーフが完全にロック状態となります。



- リアルーフが完全にロックしていない場合、電磁式トランクオープナー、キーのトランクスイッチを操作してもトランクが開きません。

6. 反対側も同様に作業を行ないます。



7. トランクを開け、ロープの末端をトランクのヒンジ部にしっかりと結びます。

8. 反対側も同様にロープを結びます。

9. トランクを閉めます。

作業が終わったあと

作業が終わったら必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

警告



走行するときは車速を 40km/h 以下にする。
走行中にローフが開くなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

6.車両スペック

燃料、オイル、液類

燃料

使用燃料については、86 ページ「給油するとき」もあわせてお読みください。

項目		サービスデータ
使用燃料		無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン
タンク容量 (参考値)	ソフトトップ車	40 L
	ハードトップ車	45 L

エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。

交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。

寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

項目		サービスデータ
交換時期	標準	15,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション*1	7,500 km または 6 か月ごと
推奨銘柄		純正モーターオイルゴールデン ECO 7 (0W-20)*2、 純正モーターオイルゴールデン SN (5W-30)、 純正モーターオイルゴールデンタ ーボ (5W-30)
指定規格		API SN 以上 (SAE 0W-20、SAE 5W-30)
交換量 (参考値)	オイルのみ	4.1 L
	オイルとオイルフィルター	4.3 L

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。

*2 純正モーターオイルゴールデン ECO 7 は省燃費性に優れたエンジンオイルです。純正モーターオイルゴールデン ECO 7 の使用を推奨します。

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



エンジンオイルフィルター

項目		サービスデータ
交換時期	標準	15,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション*1	7,500 km または 6 か月ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。

マニュアルトランスミッションオイル

項目	サービスデータ
推奨オイル	純正ロングライフギヤオイル IS*1
容量 (参考値)	2.0 L

*1 純正ロングライフギヤオイル IS はシフトフィーリングに優れたオイルです。純正ロングライフギヤオイル IS の使用を推奨します。
純正ロングライフギヤオイル IS を入手できない場合は、一般規格のオイル (SAE 75W-90 (GL-4)) を使用してください。ただし、極低温時にギヤが入りにくくなるおそれがあります。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

オートマチックトランスミッションフルード

項目	サービスデータ
推奨フルード	ATF JWS3317
容量 (参考値)	7.2 L

ディファレンシャルオイル

項目		サービスデータ
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション*1	60,000 km 走行ごと
推奨オイル		マツダロングライフハイポイドギヤ オイル SG1
容量 (参考値)		0.6 L

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。

ブレーキ液

液量の確認は、リザーバタンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2年ごと (初回は3年)
推奨液	純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3)、 純正ブレーキフルード B7 (DOT-3)

冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目			サービスデータ	
交換時期	純正ロングライフクーラント		2年ごと(初回は3年)	
	純正ロングライフクーラント(ゴールデン) ^{*1}		100,000 km 走行または4年ごと (初回は180,000 km 走行または9年)	
推奨液			純正ロングライフクーラント、 純正ロングライフクーラント(ゴールデン) ^{*1}	
容量 (参考値)	ソフトトップ車	マニュアルトランスミッション	NR-A	6.2 L
			NR-A以外	5.8 L
		オートマチックトランスミッション		5.6 L
	ハードトップ車	マニュアルトランスミッション		6.2 L
		オートマチックトランスミッション		5.8 L

*1 ラジエーターキャップまたはその付近に **FL22** のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント(ゴールデン)を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液

項目	サービスデータ
タンク容量(参考値)	1.2 L

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

6.車両スペック

各部の点検値、交換時期

ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	4.6 mm 以下
フロアマットとのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	63 mm 以上

パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力 98 N {10 kgf})	1~4 ノッチ

クラッチペダル

項目	サービスデータ	
遊び (クラッチ油圧が立ちあがるまでのストローク)	8.3mm 以下	
フロアマットとのすき間 (クラッチが切れたとき)	SKYACTIV-G 1.5	37mm 以上
	SKYACTIV-G 2.0	36mm 以上

補機ベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

エアクリーナーエレメント

項目		サービスデータ
交換時期	標準	50,000 km 走行ごと
	シビアコンディション*1	25,000 km 走行ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

6.車両スペック

電気部品/電球 (バルブ)

スパークプラグ

項目		サービスデータ
型式	NGK	ILKAR7L11*1
	DENSO	ZC20HPR11*1

*1 SKYACTIV-G の最適な性能を発揮するためのスパークプラグです。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

注意



イリジウムプラグを使用しておりますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

バッテリー

項目		サービスデータ
型式*1、容量	i-stop 非装備車	46B24L、45Ah (20 時間率)
	i-stop 装備車	N-55 (S)*2

*1 車両に取り付けられたバッテリーを確認の上、同等以上の性能のバッテリーを使用してください。ただし、同一型式の中でも性能が異なる場合がありますので、交換する際はマツダ販売店にご相談ください。

*2 i-stop を正しく作動させるために、N-55 (S) を使用してください。マツダ純正バッテリーの使用を推奨します。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)		W 数 (12 V 用)	規格 (UN-R*1 (SAE))
ヘッドランプ	上向き (ハイビーム)/下向き (ロービーム)	LED	— (—)
	ワイド配光ロービーム (アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 装備車)	LED	— (—)
車幅灯		LED	— (—)
前面方向指示灯/非常点滅灯		21 W	WY21W (7443NA)
側面方向指示灯/非常点滅灯		5 W*2	WY5W (—)
後面方向指示灯/非常点滅灯		21 W	WY21W (7443NA)
制動灯		LED	— (—)
尾灯		LED	— (—)
後退灯		21 W	W21W (7440)
番号灯		5 W	W5W (—)
ハイマウントストップランプ		LED	— (—)
ルームランプ		10 W	— (—)
トランクルームランプ		5 W	— (—)

*1 UN-R は United Nations Regulation (国連規則) の略です。

*2 電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となります。

ヒューズ

→352 ページ「ヒューズの受け持つ装置」

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

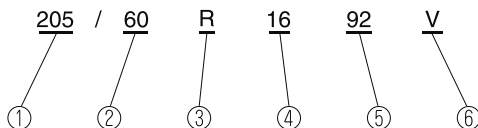
車両スペック

さくいん

6.車両スペック タイヤ/ホイール

タイヤ/ホイールサイズ

タイヤサイズ表示 (一例) の見方



1. タイヤ幅の呼称 (mm)
2. 扁平率 (%)
3. ラジアル構造
4. リム径の呼称 (インチ)
5. ロードインデックス (LI)
6. 速度記号

速度記号の見方

次の速度記号情報で、車両の適切なタイヤを選んでください。

速度記号	最高速度
L	120 km/h まで
N	140 km/h まで
Q	160 km/h まで
R	170 km/h まで
S	180 km/h まで
T	190 km/h まで
U	200 km/h まで
H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで

タイヤ/ホイールサイズ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル 直径
195/50R16 84V	16×6-1/2J、 16×7J	45 mm	100 mm
205/45R17 84W	17×7J		

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使用がた

お手入れの
しきた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

タイヤ空気圧

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。

→347 ページ「タイヤの点検」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
195/50R16 84V	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)
205/45R17 84W	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)

ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。

108 N・m～147 N・m (12 kgf・m～14 kgf・m)

6.車両スペック タイヤ/ホイール

ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

A

AAS モード..... 167
 ABS (アンチロックブレーキシステム)..... 193
 AT 誤発進抑制制御 [後退時]..... 246
 AT 誤発進抑制制御 [前進時]..... 237

D

DSC (ダイナミックスタビリティコントロール)..... 197

E

EDR
 イベントデータレコーダー... 101

I

i-ACTIVSENSE.....200
 AT 誤発進抑制制御 [後退時]..... 246
 AT 誤発進抑制制御 [前進時]..... 237
 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)..... 205
 アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)..... 232
 交通標識認識システム (TSR)..... 218
 車線逸脱警報システム..... 207
 スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)..... 241
 超音波センサー (フロント)... 256
 超音波センサー (リア)..... 256
 ドライバー・アテンション・アラート (DAA)..... 226
 ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)..... 202
 フォワードセンシングカメラ (FSC)..... 250

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)..... 213
 リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA)..... 228
 レーダーセンサー (リア)..... 254
 i-DM..... 150
 i-ELOOP (アイイーループ)..... 133
 i-stop (アイストップ)..... 125

S

SRS エアバッグシステム..... 92
 EDR..... 101
 エアバッグの種類..... 92
 エアバッグの注意点..... 93

T

TCS (トラクションコントロールシステム)..... 196

ア

アイドリングストップ..... 125
 アクティブセーフティ技術..... 200
 アクティブボンネット..... 102
 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)..... 205
 アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)..... 232
 衝突警報..... 234
 アルミホイール
 手入れ..... 381
 アンチロックブレーキシステム (ABS)..... 193
 アンテナ..... 292

イ

イベントデータレコーダー
 EDR..... 101
 イモビライザーシステム..... 90

さくいん

イルミネーテッドエントリーシ テム	326
インテリアライト (室内照明).....	326
インテリジェント・ドライブ・マス ター	150
インナーミラー ルームミラー.....	55

ウ

ウインカー (方向指示器) 電球 (バルブ) 交換.....	360
レバー.....	186
W (ワット) 数.....	465
ウインドー 曇ったとき (フルオートエア コン).....	286
曇ったとき (マニュアルエア コン).....	283
手入れ.....	380
パワーウインドー.....	71
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ.....	191

ウォッシャー ウォッシャー液の補充.....	350
ウォッシャースイッチ.....	188
タンク容量.....	461
冬にそなえて (濃度の調節)...	385

エ

エアクリーナーエレメント 交換時期.....	463
エアコン (空調).....	278
上手な使いかた.....	278
吹き出し口 (空調).....	279
フルオートエアコン.....	284
マニュアルエアコン.....	281
エアバッグシステム.....	92
EDR.....	101

エアバッグの種類.....	92
エアバッグの注意点.....	93
エマーゼンシーシグナルシステ ム (ESS).....	195
エンジン かけかた.....	118
きるとき.....	123
スイッチ.....	117

エンジンオイル 交換時期、オイルグレード、交 換量	458
点検.....	350
フィルター.....	459
冬にそなえて.....	385

エンジンフード(ボンネット) 開けかた.....	342
閉めかた.....	343

エンスト 故障したとき.....	395
---------------------	-----

オ

オーディオ アンテナ.....	292
オーディオソースの使いか た	297
オーディオの操作方法.....	293
オーディオをご使用の前に... ..	288
オートマチックトランスミッシ ン	166
AAS モード.....	167
運転するときに.....	173
キックダウン.....	166
クリープ現象.....	166
シフトロック装置.....	168
セレクトレバー.....	168
ダイレクトモード.....	173
駐車するとき.....	173

マニュアルモード.....	169
オートマチックトランスミッションフルード	
推奨フルード、容量.....	460
オーバーヒートしたとき.....	411
お子さまの安全	
お子さま専用シート選択の目安.....	66
お子さま専用シートについて...64	
お子さま専用シートの種類.....	65
チャイルドシートを固定するとき.....	70
オドメーター	
タイプ A.....	140
タイプ B.....	146

カ

外気温表示	
タイプ A.....	142
タイプ B.....	148
ガソリン (燃料)	
使用燃料、容量.....	458
燃料補給口.....	86
カップホルダー.....	329
カミング・ホーム・ライト.....	184
カメラ、センサー.....	201
ガラス	
曇ったとき (フルオートエアコン).....	286
曇ったとき (マニュアルエアコン).....	283
手入れ.....	380
リアウインドーデフォグガー (曇り取り) スイッチ.....	191

キ

キー.....	27
キー車外持ち出し警報.....	433

キー車内閉じ込み警報.....	433
キーの電池交換.....	370
作動しないとき.....	414
作動範囲.....	32
ドアの施錠/解錠.....	37
トランク内キー閉じ込み警報.....	433
リクエストスイッチ不動作警報.....	433
キー(アドバンストキーレス機能 装備車)	
ドアの施錠/解錠.....	37
キー(アドバンストキーレス機能 非装備車)	
ドアの施錠/解錠.....	40
ギア・シフト・インジケーター (GSI).....	165
キックダウン.....	166
緊急用具.....	396

ク

空気圧 (タイヤ).....	467
空調 (エアコン).....	278
吹き出し口 (空調).....	279
フルオートエアコン.....	284
マニュアルエアコン.....	281
曇り取り (デフォグガー) スイッチ.....	191
クラクション (ホーン).....	192
クラッチスタート.....	118
クラッチペダル	
点検基準値.....	462
クリープ現象.....	166
クルーズコントロール.....	257

ケ

警告灯.....	154
i-stop 警告灯.....	129
警告灯/表示灯が点灯、点滅した...419	

警告表示/警告灯

ABS 警告灯.....	422
i-ELOOP 警告表示/警告灯...	422
i-stop 警告灯.....	422
KEY 警告表示/警告灯.....	422
LED ヘッドランプ警告灯.....	422
アクティブボンネット警告 灯	422
アダプティブ・LED・ヘッドラ イト (ALH) 警告表示/警告 灯	422
エアバッグ警告灯/プリテン ション警告灯.....	422
エンジン警告灯.....	422
オートマチックトランスミッ ション警告表示/警告灯.....	422
オイル警告灯.....	420
高水温警告表示/警告灯.....	420
シートベルト警告灯.....	427
車線逸脱警報システム警告表 示/警告灯.....	422
充電警告表示/警告灯.....	420
スマート・シティ・ブレーキ・ サポート (SCBS) 警告表示/ 警告灯.....	427
電動バキュームポンプ警告 灯	422
電動パワーステアリング警告 表示/警告灯.....	420
ドライバー・アテンション・ア ラート (DAA) 警告表示.....	422
トランク開警告表示.....	427
燃料残量警告表示/警告灯.....	427
ハイ・ビーム・コントロールシ ステム (HBC) 警告表示/警 告灯	422
半ドア警告表示/警告灯.....	427
ブラインド・スポット・モニタ リング (BSM) 警告表示.....	422

ブレーキ警告灯.....	420
マスター警告表示/警告灯.....	422
リトラクタブルハードトップ 警告表示.....	422
警報チャイム.....	433
i-stop 警告チャイム.....	130
アクティブボンネット警告チ ャイム.....	433
エアバッグ/プリテンショナ ー警告チャイム.....	433
キー車外持ち出し警報.....	433
キー車内閉じ込み警報.....	433
シートベルト着用忘れチャ イム	433
車線逸脱警報.....	433
衝突警報.....	433
接近警報.....	433
速度超過警報チャイム.....	433
電源オフ忘れ警報.....	433
電動パワーステアリング警告 チャイム.....	433
電動ハンドルロック警告チャ イム	433
トランク内キー閉じ込み警 報	433
ブラインド・スポット・モニタ リング (BSM) 警報.....	433
ブラインド・スポット・モニタ リング (BSM) 警報チャイ ム	216
ランプ消し忘れ防止チャイ ム	433
リクエストスイッチ不動作 警報	433
リトラクタブルハードトップ 警告チャイム.....	433
リバースポジションチャイ ム	433

化粧鏡

バニティミラー.....	326
けん引.....	415
減光解除機能.....	137

コ

交換

タイヤの位置交換(タイヤロ ーション).....	351
電球(バルブ)交換.....	360
電池交換(キー).....	370
ヒューズの交換.....	357

工具.....	397
---------	-----

後退灯(バックランプ)

電球(バルブ)交換.....	360
W(ワット)数.....	465

交通標識認識システム(TSR).....	218
----------------------	-----

サ

サイドミラー

ドアミラー.....	54
------------	----

サスペンション

車高調整式サスペンション...	180
-----------------	-----

サンバイザー.....	326
-------------	-----

シ

シート.....	47
----------	----

シートヒーター.....	52
--------------	----

シートベルト

ELR(緊急時固定)機構.....	58
シートベルトについて.....	57
シートベルトを使用するとき...	61
正しい着用のしかた.....	59
着用忘れチャイム.....	63
手入れ.....	382
プリテンショナー機構.....	58
ロードリミッター機構.....	58

室内照明.....	326
-----------	-----

イルミネーテッドエントリー

システム.....	326
-----------	-----

ルームランプ.....	327
-------------	-----

室内灯(ルームランプ)

スイッチ.....	327
-----------	-----

電球(バルブ)交換.....	360
----------------	-----

W(ワット)数.....	465
--------------	-----

車高調整式サスペンション.....	180
-------------------	-----

車線逸脱警報システム.....	207
-----------------	-----

車幅灯(スモールランプ)

スイッチ.....	181
-----------	-----

電球(バルブ)交換.....	360
----------------	-----

W(ワット)数.....	465
--------------	-----

収納.....	333
---------	-----

ス

水温計

タイプA.....	140
-----------	-----

タイプB.....	147
-----------	-----

スイッチ

DSC OFF スイッチ.....	198
-------------------	-----

i-stop OFF スイッチ.....	130
----------------------	-----

ウォッシュャースイッチ.....	188
------------------	-----

クルーズコントロールスイッ チ.....	257
-------------------------	-----

車線逸脱警報システムスイ ッチ.....	210
-------------------------	-----

ドライブセレクションスイッ チ.....	177
-------------------------	-----

非常点滅灯スイッチ.....	187
----------------	-----

ヘッドランプスイッチ.....	181
-----------------	-----

ルームランプスイッチ.....	327
-----------------	-----

ワイパースイッチ.....	188
---------------	-----

スタックしたとき.....	394
---------------	-----

ステアリング

ロックされたとき.....	117
---------------	-----

ストップランプ(制動灯)

さくいん

電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
スノータイヤ.....	386
スパークプラグ.....	464
スピードメーター.....	136
スマート・シティ・ブレーキ・サポ ート [後退時] (SCBS R).....	241
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
スリーフラッシュターンシグナ ル.....	187
セ	
制動灯 (ストップランプ)	
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
セレクトレバー.....	168
洗車.....	374
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
ソ	
ソフトトップ	
手入れ.....	375
タ	
ターンシグナル (方向指示器)	
電球 (バルブ) 交換.....	360
レバー.....	186
W (ワット) 数.....	465
ダイナミックスタビリティコント ロール (DSC).....	197
タイヤ	
空気圧.....	467
サイズ.....	466

チェーン.....	386
点検.....	347
パンク応急修理キット.....	399
パンクしたとき.....	399
冬にそなえて.....	386
ローテーション (位置交換)...	351
ダイレクトモード.....	173
タコメーター.....	136
脱輪などで動けなくなったとき...	395
チ	
チェーン (タイヤチェーン).....	386
チェンジレバー.....	163
チャイルドシート.....	64
お子さま専用シート選択の 目安.....	66
お子さま専用シートの種類.....	65
チャイルドシートを固定する とき.....	70
駐車支援システム.....	263
パーキングセンサー.....	263
駐車するとき	
オートマチック車.....	173
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)	
操作方法.....	179
点検基準値.....	462
超音波センサー (フロント).....	256
超音波センサー (リア).....	256
テ	
テールランプ (尾灯)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
定期点検.....	341
手入れ	
アルミホイール.....	381
外装.....	373

外装樹脂部品.....	381
ガラス.....	380
革張り部分.....	383
シートベルト.....	382
樹脂部品.....	384
洗車.....	374
ソフトトップ.....	375
内装.....	382
ビニール.....	383
フロントガラスの油膜をとる ときは.....	380
ミラー.....	380
リトラクタブルハードトッ プ.....	377
ワックスがけ.....	374
ディスプレイ	
マルチインフォメーションデ ィスプレイ (タイプ A).....	138
マルチインフォメーションデ ィスプレイ (タイプ B).....	145
ディファレンシャルオイル	
推奨オイル、容量.....	460
電球	
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
点検整備について.....	340
電源ソケット.....	328
電源ポジション.....	117
電動ミラー	
ドアミラー.....	54
ト	
ドア.....	35
ドアミラー.....	54
パワードアロック.....	41
ドアミラー.....	54
角度調節.....	54

格納.....	54
盗難防止システム.....	90
ドライバー・アテンション・アラ ート (DAA).....	226
ドライブセレクション.....	177
トラクションコントロールシステ ム (TCS).....	196
トランク.....	43
開けかた.....	44
開けられなくなったとき.....	438
閉めかた.....	45
トランスミッション	
オートマチック.....	166
マニュアル.....	163
トリップコンピューター.....	148
トリップメーター	
タイプ A.....	140
タイプ B.....	146

ナ

夏にそなえて.....	387
ナンバープレートランプ (番号灯)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465

ニ

日常点検.....	342
-----------	-----

ネ

燃料	
給油するとき.....	86
使用燃料、容量.....	458
燃料計	
タイプ A.....	141
タイプ B.....	147

ハ

パーキングブレーキ	
-----------	--

さくいん

操作方法.....	179
点検基準値.....	462
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC).....	202
ハイビーム (ヘッドランプ上向き)	
W (ワット) 数.....	465
電球 (バルブ) 交換.....	360
ハイマウントストップランプ	
W (ワット) 数.....	465
ハザードランプ (非常点滅灯)	
スイッチ.....	187
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
発炎筒.....	396
バックミラー	
ルームミラー.....	55
発進補助装置.....	131
バッテリー	
あがったとき.....	408
型式、容量.....	464
点検.....	350
冬にそなえて.....	385
バニティミラー	
化粧鏡.....	326
パネルライトコントロールスイッチ.....	137
バルブ (電球)	
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
パワーウィンドー.....	71
パワードアロック.....	41
番号灯 (ナンバープレートランプ)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
ハンドル	

ロックされたとき.....	117
---------------	-----

ヒ

非常点滅灯	
スイッチ.....	187
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
尾灯 (テールランプ)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
ヒューズ	
エンジンルーム内ヒューズボックス.....	354
ヒューズ点検、交換.....	352
表示.....	154
クルーズコントロール表示 (緑).....	257
クルーズメイン表示 (白).....	257
マニュアルモード表示.....	169
表示灯.....	154
AT 誤発進抑制制御表示灯 (赤) [後退時].....	249
AT 誤発進抑制制御表示灯 (赤) [前進時].....	240
DSC OFF 表示灯.....	199
i-stop 表示灯.....	129
TCS/DSC 作動表示灯.....	196
クルーズコントロール表示灯 (緑).....	257
クルーズメイン表示灯 (橙).....	257
車線逸脱警報システム OFF 表示灯.....	211
スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) OFF 表示灯.....	235
スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 表示灯 (赤) (SCBS R).....	245

スマート・シティ・ブレーキ・サポート (SCBS) 表示灯 (赤) (アドバンスト SCBS)...	234
低水温表示灯 (青).....	162
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 表示灯 (緑)....	204
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯....	216
マニュアルモード表示灯.....	169
表示/表示灯	
TCS/DSC 作動表示灯.....	422
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯....	422
レンチ表示/表示灯.....	162
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) (坂道発進補助機能).....	194
フ	
ブースターケーブルのつなぎ方...	409
フォワードセンシングカメラ (FSC).....	250
吹き出し口 (空調).....	279
フック	
けん引.....	415
踏切内で動けなくなったとき.....	395
冬にそなえて.....	385
冬用タイヤ (スノータイヤ).....	386
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM).....	213
ブリクラッシュセーフティ技術...	201
ブレーキ液 (フルード)	
交換時期、推奨液.....	460
ブレーキペダル	
点検基準値.....	462
ブレーキランプ (制動灯)	
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465



ヘッドランプ (前照灯)	
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465

ホ

ホーン.....	192
ホイール	
サイズ.....	466
手入れ.....	381
方向指示器	
電球 (バルブ) 交換.....	360
レバー.....	186
W (ワット) 数.....	465

補機ベルト

点検基準値.....	462
ボンネット.....	342

マ

マツダコネクト.....	309
マツダコネクトの基本操作...	312
マツダコネクトをご使用の前に.....	321
マニュアルトランスミッション... 163	
ギア・シフト・インジケーター (GSI).....	165
チェンジレバー.....	163
マニュアルトランスミッションオイル	
推奨オイル、容量.....	459
マニュアルモード.....	169
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ A).....	138
オドメーター.....	140
外気温表示.....	142
交通標識認識システム (TSR) 表示.....	144
瞬間燃費表示.....	143
水温計.....	140

さくいん

走行可能距離表示.....	142
ドライバーアテンションアラート (DAA) 表示.....	144
トリップメーター.....	140
燃料計.....	141
平均燃費表示.....	142
メッセージが表示された.....	429
メッセージ表示.....	144
メンテナンスモニター.....	143
マルチインフォメーションディスプレイ (タイプ B).....	145
オドメーター.....	146
外気温表示.....	148
水温計.....	147
トリップコンピューター.....	148
トリップメーター.....	146
燃料計.....	147

ミ

ミラー	
手入れ.....	380
ドアミラー.....	54
バニティミラー.....	326
ルームミラー.....	55

メ

メーター.....	135
-----------	-----

ラ

ライセンスプレートランプ (番号灯)	
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465
ランプ	
カミング・ホーム・ライト.....	184
消し忘れ防止チャイム.....	183
スイッチ.....	181
電球 (バルブ) 交換.....	360
点灯しないとき.....	357

リービング・ホーム・ライト... 185	
W (ワット) 数.....	465

リ

リービング・ホーム・ライト.....	185
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA).....	228
リアウインドーデフォグガー (曇り取り) スイッチ.....	191
リトラクタブルハードトップ	
閉まらなくなったとき.....	445
手入れ.....	377

ル

ルームミラー.....	55
ルームランプ.....	327
スイッチ.....	327
電球 (バルブ) 交換.....	360
W (ワット) 数.....	465

レ

レーダーセンサー (リア).....	254
冷却水	
交換時期、推奨液、容量.....	461
冬にそなえて (濃度の調節)...	385

ロ

路上で動けなくなったとき.....	392
-------------------	-----

ワ


ワイパー	
寒冷地用ワイパーブレード... 385	
スイッチ.....	188
ワックスがけ.....	374

MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター

全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00～17:00

土・日・祝日 9:00～12:00 13:00～17:00

携帯電話からご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。

(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

発行 2021年9月

印刷 2021年10月

478頁2版